

和歌山県立近代美術館年報

二〇二〇(令和2)年度



目 次

刊行にあたって	5
和歌山県立近代美術館の使命	6
沿革	7
展覧会事業	11
普及事業	49
作品貸付	54
調査・研究・発表活動および対外協力活動	55
収集事業	58
図書資料収集	84
保存事業	87
管理運営	88
関係法規・規則・規定等	92
建築概要	99
案内	102

刊行にあたって

2020（令和2）年度は、開館50年の節目を迎え、また2度目の東京オリンピック開催も視野に展覧会の準備を行ってきましたが、未曾有の新型コロナウイルス感染症の感染拡大によって緊急事態宣言が発出されるなかでの出発となりました。展覧会の開催自体も危ぶまれましたが、年度始めの企画展「もようづくし」およびコレクション展を一週間程度休館するのみで、事故もなく開催できたことは幸いでした。その後も、徹底した感染対策を講じて、開館50年を記念した3つの展覧会、特別展「もうひとつの日本美術史—近現代版画の名作2020」、企画展「和歌山県立近代美術館 コレクションの50年」および「美術館を展示する 和歌山県立近代美術館のサステナビリティ」をはじめとするさまざまな展覧会活動を展開しました。しかし、感染拡大の状況によって、シンポジウムなどのイベントは中止、あるいは変更してオンラインでの開催とすることを余儀なくされることもしばしばでした。従来想定されてきた地震や台風等とは異なる、コロナ禍のようなパンデミックの状況下で、いかに「危機管理」を徹底して活動を行うかという厳しい問題が突きつけられた1年であり、展覧会や各種事業の開催形態などについて再考を迫られました。

作品収集では、野長瀬晩花の新発見となる日本画や国吉康雄の初期版画などを購入、また版画家・大久保一の旧蔵作品と資料、写真家・奈良原一高のまとまったコレクションの受贈をはじめ、数多くの貴重な作品を収蔵することができました。

教育普及活動は、職場体験学習が中止となり、学校からの来館も困難な状況が続きました。しかし、教員たちと連携した和歌山美術館教育研究会などは、オンラインも活用しながら開催し、「なつやすみの美術館」でのワークシート作成などにつなげることができました。同展ゲストの画家・田中秀介氏の作品は、2回目となる「芸術に親しもう！おでかけ美術館」にて、紀中地域の方々に美術に親しむ機会を設けました。

調査・研究活動は、学芸員それぞれが取り組み、展覧会事業や収集活動等に還元されています。特別展以外の展覧会での図録やパンフレットの刊行は、依然として困難な状況ですが、美術館ニュースや、またウェブサイトにも活動の記録を残す試みをおこないました。

設備面では、2階展示室の照明改修工事が終了し、LED化された新しい照明のよりよい環境において作品を鑑賞いただけることになりました。しかし1994年の新館開館から25年以上が経過するなか、空調設備の老朽化や、収蔵庫や一時保管庫の狭隘化などの問題もあり、施設面の整備も急がれるところです。

当館の活動は、ご来館くださる方々をはじめ、多くの皆様のご支援とご協力によって成り立っています。ここに心から感謝申し上げるとともに、その成果をご報告し、さらに充実した美術館活動を進める基礎とするため、本年報を刊行いたします。

2022（令和4）年3月

和歌山県立近代美術館

和歌山県立近代美術館の使命

芸術は、私たちに楽しさや深い感動、精神的な安らぎをもたらします。芸術作品に触れることで、人は豊かな人間性を涵養し、未来への創造力を自らのうちに育むことができます。

和歌山県立近代美術館は、展覧会等を通じて人々に国内外の優れた美術文化に接する機会を提供し、地域や学校と連携しながら各種事業を通じて学校教育や生涯学習を支援することをめざします。そうした活動を通じて文化による地域作りを活性化し、文化資源の保全と活用を図り、文化芸術を担う人作りの推進に努めます。

このような目的を実現するため、以下の基本方針をもって臨みます。

1 魅力ある展覧会を開催します。

県民に優れた美術作品を鑑賞する機会を提供するため、魅力的な特別企画展・企画展を開催するとともに、充実した館蔵品コレクションを活用して常設展を開催します。展覧会は次の4つの方針によって開催します。

- ①国内の近現代美術を紹介
- ②海外の多様な美術を紹介
- ③和歌山ゆかりの優れた作家を紹介
- ④現在活躍している若手作家を紹介

2 調査・研究の充実を図り成果の公表と反映に努めます。

美術史等の研究に寄与するため、充実した調査・研究を行い、その成果を展覧会や教育普及活動等に反映させ、印刷物、インターネット等を通して公開します。

3 作品・資料の収集を行います。

美術作品収集方針に沿って作品・資料の収集を行い、県民の文化遺産のさらなる形成に努めます。

4 所蔵作品・資料の状態調査、保存修復、保存環境の整備を行います。

収集した作品・資料を文化財として活用し、文化遺産として未来に伝えるため、状態調査及び保存修復、保存環境の整備に努めます。

5 地域と連携し学校教育や生涯学習を支援します。

地域の学校と連携して、子どもたちが団体鑑賞、体験的プログラムに参加できる環境を整備することによって、また鑑賞教材の作成等を通じて、幅広い学習支援を行います。多様化する県民の関心に応えるため、ワークショップや解説会への参加等を通して生涯学習の支援を行います。またボランティアや友の会との協働を図り、他の県立博物館施設をはじめとする生涯学習施設・関係機関・団体等と連携します。

6 国内外の美術館や関連組織等と連携し、多様な活動を展開します。

これまで深めてきたわが国の美術館や関連組織等との信頼関係を基に、さらなる学術交流を行い、より質の高い、幅広い事業を展開するように努めます。国内外の美術館に所蔵作品・資料を貸し出すことにより、当館の優れたコレクションの魅力を発信します。本県の美術文化の発展並びに博物館活動を通じて広く知的資源の蓄積に寄与できるよう努めます。

7 利用者が安全で快適に利用できるよう美術館運営を行います。

すべての利用者が安全で快適に利用できるよう、施設・設備の維持管理を行うとともに、危機管理、安全、アメニティーに対する職員の意識向上に努めます。また施設の美観の保持と衛生管理に努めます。

沿革

■和歌山県立美術館

- 1963(昭和38)年
3月17日 旧和歌山城二の丸跡に開館
7月 川口軌外展
10月 第1回明治・大正・昭和名作美術展
11月 第17回和歌山県美術展(1969年第23回展まで開催)
- 1964(昭和39)年
4月 紀州陶磁器展
10月 第2回明治・大正・昭和名作美術展
- 1965(昭和40)年
3月 祇園南海展
5月 長沢蘆雪名作展
7月 日高昌克展
10月 近代洋画名作展 特設・原勝四郎遺作展
- 1966(昭和41)年
3月 ダリ・シャガール・ピュッフェ版画展
6月 石垣栄太郎遺作展
6月 日本伝統工芸秀作展
7月 川端龍子展
10月 松方コレクション展
- 1967(昭和42)年
4月 国際青年美術家展・日本／アメリカ展
8月 和歌山アンデパンダン展
10月 富岡鉄斎展
- 1968(昭和43)年
3月 桑山玉洲展
4月 浮世絵総合展(吉川観方コレクション)
7月 1968和歌山アンデパンダン展
9月 扇絵展
10月 明治100年記念 郷土作家回顧展
- 1969(昭和44)年
4月 保田龍門展
10月 明治・大正・昭和・名作美術展
- 1970(昭和45)年
3月 京都の近代日本画展
4月 日本女装展(吉川観方コレクション)
11月2日 廃館

■和歌山県立近代美術館

- 1970(昭和45)年
11月2日 和歌山県民文化会館内に開館
第24回和歌山県美術展(1993年第47回展まで開催)
- 1971(昭和46)年
3月 大夢・晩花展
4月 竹久夢二展
8月 紀州の風景画展
- 1972(昭和47)年
1月 浜口陽三版画展
3月 原勝四郎展
4月 現代日本絵画秀作展
10月 アメリカにおける日本人作家回顧展
—石垣栄太郎・国吉康雄・ヘンリー杉本
- 1973(昭和48)年
3月 地中海の古代美術展
4月 日本伝統工芸秀作展
10月 川口軌外展
- 1974(昭和49)年
4月 吉田政次遺作展
10月 碓伊之助展
- 1975(昭和50)年
10月 木下孝則回顧展
- 1976(昭和51)年
2月 1910年代における京都日本画の新動向
10月 木下義謙作品展
- 1977(昭和52)年
2月 田中恭吉展
10月 川端龍子展 龍子 そのすべて
- 1978(昭和53)年
10月 日高昌克展
- 1979(昭和54)年
2月 神中糸子と工部美術学校展
5月 村井正誠展
10月 高井貞二展
- 1980(昭和55)年
3月 川口軌外とその周辺
—和歌山の初期独立展系作家たち—
10月 開館10周年記念 1930年協会の作家たち展
- 1981(昭和56)年
3月 恩地孝四郎・田中恭吉・逸見享版画展
10月 下村観山—その人と芸術—
- 1982(昭和57)年
2月 建畠覚造展
7月 イタリア美術の一世紀展《1880-1990》
10月 稗田一穂展
- 1983(昭和58)年
7月 関西の美術家シリーズ1
—津高和一・泉茂・吉原英雄展
10月 日本の洋画秀作展
- 1984(昭和59)年
2月 和歌山の作家と県内洋画壇展
7月 関西の美術家シリーズ2 元永定正・白髪一雄展
10月 紀州の風景を描いた作家たち展
- 1985(昭和60)年
3月 第1回和歌山版画ビエンナーレ展
7月 関西の美術家シリーズ3 彫刻の4人
—清水九兵衛・山口牧生・森口宏一・福岡道雄展
10月 開館15周年記念 近代洋画の展開
—初期独立美術協会の作家たち展
- 1986(昭和61)年
7月 独創傑出の画家 朝井閑右衛門の世界
10月 瑛九とその周辺
- 1987(昭和62)年
3月 第2回和歌山版画ビエンナーレ展
7月 関西の美術家シリーズ4 日本画の4人
—大野倣嵩・下村良之介・星野真吾・三上誠展
9月 太平洋を越えた日本の画家たち アメリカに学んだ18人
- 1988(昭和63)年
3月 描かれた動物たち
7月 関西の美術家シリーズ5 版画の4人
—井田照一・木村光佑・黒崎彰・船井裕展
10月 竹久夢二とその周辺
- 1989(昭和64・平成元)年
3月 第3回和歌山版画ビエンナーレ展
7月 関西の美術家シリーズ6 現代の造形
—土と布と糸 荒木高子・前川強・濱谷明夫展
10月 親と子で見る世界の名画展
- 1990(平成2)年
7月 関西の美術家シリーズ7 美術の現在
—4つの試み 宮崎豊治・北山善夫・木村秀樹・野田裕示展

- 10月 現代の陶芸 1980-1990 関西の作家を中心として
- 1991(平成3)年
- 3月 第4回和歌山版画ビエンナーレ展
- 7月 関西の美術家シリーズ 8 美術の現在
—彫刻の変容 小清水漸・北辻良央・川島慶樹展
- 9月 ポスター芸術100年展 サントリー美術館所蔵グランヴィルコレクション
- 1992(平成4)年
- 10月 版画芸術の饗宴—ケネス・タイラーと巨匠たち:1963-1992
- 1993(平成5)年
- 3月 第5回和歌山版画ビエンナーレ展

■新館計画

- 1988(昭和63)年
- 2月 政策調整会議において、美術館及び博物館2館の建設を決定
- 3月 新美術館の建設計画に係る基本的事項についての指導、助言を得るため「新美術館建設懇談会」を設置
- 9月 新美術館に係る基本構想策定のため、「新美術館建設検討委員会」を設置
- 1989(昭和64・平成元)年
- 4月 「和歌山県美術品取得基金条例」を設置
新美術館建設検討委員会より「和歌山県立新美術館の建設基本構想について」答申
- 8月 美術館の美術作品収集基本方針及び開館展等の開催に関する事項を検討、協議するため、「新美術館専門会議」を設置
美術館において収集する美術作品の選定に関し、審議するため「和歌山県立近代美術館美術作品選定委員会」を設置
- 9月 新美術館専門会議において「新美術館の美術作品収集方針について」承認
- 1990(平成2)年
- 3月 新美術館の設計を「黒川紀章建築都市設計事務所」に委託
- 1991(平成3)年
- 7月 和歌山県美術品取得基金によりジョージ・シーガル《煉瓦の壁ぞいに歩く男》(1988)を購入
- 10月 施設着工式を挙行
- 11月 和歌山県美術品取得基金によりマーク・ロスコ《赤の上の黄褐色と黒》(1957)を購入
- 1992(平成4)年
- 8月 和歌山県美術品取得基金によりフランク・ステラ《ラッカIII》(1968)を購入
- 1993(平成5)年
- 9月 和歌山県美術品取得基金によりパブロ・ピカソ《ミノートルマシー》(1935)、《泣く女》(1937)を購入
- 1994(平成6)年
- 2月 定礎式を挙行
- 3月 工事完了
- 4月 新美術館へ移転

■和歌山県立近代美術館 新館

- 7月8日 新近代美術館開館
開館記念展 1 美術館へ行こう
- 10月 開館記念展 2 大正のまなざし
—若き保田龍門とその時代—
- 11月 小企画展 ルオーの「ミゼレーレ」
- 1995(平成7)年
- 1月 恩地孝四郎—色と形の詩人—

- 2月 小企画展 和歌山ゆかりの作家たち
- 4月 1994 年度新収蔵作品展
- 4月 ヴィクトリア&アルバート美術館展
—イギリス絵画の350年
- 7月 村井正誠展 色と形と心—人間の詩
- 8月 小企画展 美術館に行ったらよ!—風景ってなあに—
- 8月 小企画展 日本の近代版画
- 9月 保田春彦展
- 10月 野田裕示近作展
- 1996(平成8)年
- 1月 線画の世界—かたりの表現—
- 2月 ひかる・うごく・おとがする 20世紀の静かならざる作品たち
- 4月 美術館へ行ったら!?「絵画」というしくみ
- 6月 紀伊半島を歩いて
—ロジャー・アックリング&ハミッシュ・フルトン
- 8月 モスクワ、プーシキン美術館名作展—室内への視線—
- 9月 ホックニーのグリム童話
- 11月 日本のグラフィックデザイン
- 1997(平成9)年
- 1月 和歌山の版画家10人
- 3月 新しい関西の美術家たち ものとあらわれ
- 4月 美術館へ行ったらよ! コレクションに見る東京
- 5月 美術館へ行ったらよ! コレクションに見るパリ
- 7月 アルザスとフランス近代美術の歩み
—ストラスブル近代美術館展
- 8月 版画の技法・表現の手法
- 10月 マリノ・マリニ展
- 11月 アメリカの中の日本 石垣栄太郎と戦前の渡米画家たち
- 1998(平成10)年
- 1月 心のかたち
- 2月 泉茂 初期版画作品を中心に
- 4月 世紀末芸術の華 オープリー・ピアズリー展
- 5月 日本の近代版画 コレクション・ダイジェスト1
- 6月 日本の近代版画 コレクション・ダイジェスト2
- 8月 静けさの中から 星の贈りもの
- 9月 和歌山の日本画 コレクション・ダイジェスト3
- 10月 意味とイメージ—あらわれる浪漫主義の明治
- 12月 フランス現代美術展 眼と精神
- 1999(平成11)年
- 2月 関西の戦後美術 1950's-1990's
- 4月 めいさく根掘葉掘 アートと知り合い!
- 6月 デモクラート 1951-1957 開放された戦後美術
- 7月 日本の近代版画 コレクション・ダイジェスト4
- 8月 熊野の音+熊野の色 増田感・北堅吉彦展
- 9月 サンフランシスコ近代美術館展
—カリフォルニア・アートシーン 1920's-1930's
- 11月 川口軌外展 ある洋画家の軌跡
- 12月 越境する想像力 素材との出会い
- 2000(平成12)年
- 2月 コレクションにみる 芸術と社会
- 4月 田中恭吉展
- 5月 定規とコンパス?幾何学図形と美術の表現
- 7月 印象派の巨匠 シスレー展
—イル・ド・フランスの光を愛して
- 9月 東欧絵本の世界展 国境を越える 子どものためのアート
- 11月 現代版画の軌跡 ゆめとめざめ
- 12月 日本の近代版画4 コレクション・ダイジェスト
- 2001(平成13)年
- 2月 版画今昔

4月 夢の世界のおくりもの アンデルセン童話・絵本原画展
 5月 うごけば、かわる。
 8月 宇佐美圭司・絵画宇宙
 9月 浜口陽三へのオマージュ
 10月 マックス・エルンスト展
 12月 一期一会であう めでる つたえる
 —コレクションによる全館展示

2002(平成14)年

4月 あたらしい画面をもとめて 関西の半世紀
 5月 「生活」を「芸術」として 西村伊作の世界
 7月 アンジェ美術館展
 9月 山本容子の美術遊園地
 11月 美術百科「この人のこの一点」の巻
 —コレクションによる全館展示

2003(平成15)年

4月 はじめての美術 絵本原画の世界展
 6月 チャベック兄弟とチェコ・アヴァンギャルド
 7月 近代日本洋画の巨匠 黒田清輝展
 9月 たがやすように 熟す画面の4つのかたち
 11月 和歌山県特別事業 創設40周年記念 文化表彰の歩み展
 12月 美術百科「七つの鍵」の巻
 —コレクションによる全館展示

2004(平成16)年

4月 和歌山県特別事業「日本に向けられたヨーロッパ人の眼・ジャパン トゥディ vol.6」
 4月 和歌山県特別事業 atW vol.1「永坂嘉光・鈴木理策 高野_熊野_聖地」
 6月 小野竹喬展
 7月 ピノッキオ その誕生から現代まで展
 11月 チャールズ&レイ・イームズ 創造の遺産展

2005(平成17)年

1月 開館10周年記念 美術百科「版画」の巻
 —コレクションによる全館展示
 4月 没後10年 遺業・泉茂
 6月 世界の版画名品選
 7月 夏休み わかやま美術探偵団
 関連企画 鈴木昭男「点音 in 和歌山」
 9月 版画家たちの表情
 11月 佐伯祐三—芸術家への道—

2006(平成18)年

1月 美術百科「世界一周」の巻
 —コレクションによる全館展示
 4月 ベトナム近代絵画展 花と銃
 —インドシナ・モダンの半世紀
 4月 小特集 追悼・建島覚造+新収蔵作品
 6月 現代「日本画」の展望 —内と外のあいだで—
 8月 和歌山県特別事業 和歌山県美術展覧会第60回記念 和歌山の美術を担う作家たち展
 7月 小特集 野田裕示+鈴木理策
 9月 森鷗外と美術
 11月 小特集 没後20年高井貞二
 —ニューヨークのタカイ
 11月 科学の感情—あたらしい時代の感覚と表現—

2007(平成19)年

1月 美術百科「前衛の関西」の巻
 —コレクションによる全館展示
 4月 教育普及課を設置
 4月 竹久夢二展—描くことが生きること—
 4月 特集展示 大正デカダンス

「夢二学校」+「テルヲ・バンカ」
 6月 ふだん美術 —日常に向けた目と心—
 6月 特集展示 うるわしき技の世界 近現代美術の達人たち
 7月 relations 関係 —藤本由紀夫 /FUJIMOTO and
 7月 relations 関係 —藤本由紀夫 /happy conceptual
 —杉山知子+藤本由紀夫

10月 森のなかで
 12月 美術百科「色・いろいろ」の巻
 —コレクションによる全館展示

2008(平成20)年

4月 抒情の様式
 6月 共作×共鳴×共感—ともに作られた作品たち
 7月 ルオーの〈ミセレーレ〉 人間へのまなざし
 9月 点と面の詩情—上前智祐・山中嘉一・坪田政彦
 11月 彼岸の美術
 12月 美術百科「この人はだれ」の巻
 —コレクションによる全館展示

2009(平成21)年

4月 原勝四郎展
 4月 アメリカをめぐる
 6月 油絵の理由—「あぶらえ」は好きですか?
 7月 生誕100年記念 浜口陽三展
 7月 サマー・ミュージアム—わかやま発見—
 9月 自宅から美術館へ 田中恒子コレクション展
 9月 コレクション名品展
 11月 世界遺産登録5周年記念
 描かれた紀伊山地の霊場と参詣道
 11月 和歌山県特別事業 第63回和歌山県美術展覧会(以降継続)
 12月 美術百科「ここはどこ」の巻
 —コレクションによる全館展示

2010(平成22)年

4月 開館40周年記念展I ようこそ彫刻の森へ
 4月 特集展示 宇佐美圭司 —絵画の歩み—
 7月 特集展示 大亦新治郎のスケッチから
 —明治・大正の和歌山のまち
 9月 開館40周年記念展II 日本近代の青春
 創作版画の名品
 10月 特集展示 保田春彦 近作デッサンを中心に
 11月 和歌山県特別事業 平山郁夫追悼展示、小沢道治展

2011(平成23)年

1月 開館40周年記念展III 油絵の魅力 イズムを超えて
 3月 版画の「アナ」 ガリ版がつなぐ孔版画の歴史
 3月 特集展示 吉田政次の世界
 4月 ポップ?ポップ!ポップ♡
 コレクションに見るポップなアートの50年
 6月 特集展示 生誕120年記念 恩地孝四郎・藤森静雄
 7月 なつやすみの美術館「みること」「うつすこと」
 9月 生誕100年 高井貞二展 —「昭和」を描いた人—
 9月 特集展示 生誕120年 保田龍門
 11月 吉原英雄展 画家のドラマ
 12月 特集展示 生誕130年 日高昌克
 12月 特集展示 吉原英雄を囲む作家たち

2012(平成24)年

2月 ホックニーのグリム童話
 3月 特集展示 井田照一
 4月 人間と自然の美術
 6月 なつやすみの美術館2:かたちと色のABC
 6月 特集展示 なつやすみ特集 野田哲也
 9月 生誕120年記念 田中恭吉展

9月 特集展示 幻想の美術
 11月 生誕 120年記念 川口軌外の歩み展
 12月 特集展示 没後70年 建畠大夢
 2013(平成25)年
 2月 謄写版の冒険 卓上印刷器からはじまったアート
 3月 特集展示 版画・図案・オブジェ
 4月 日本の絵画の五十年
 6月 特集展示 瑛九:紙の上の仕事
 7月 なつやすみの美術館3 『美術の時間』
 9月 生誕 120年記念 石垣栄太郎展
 9月 特集展示 没後100年 香山小鳥 ゆめの日のかけ
 12月 特集展示 人間と宇宙のドラマ:
 吹田文明・堀井英男・長岡國人
 12月 物質(モノ)と美術
 2014(平成26)年
 2月 版画について考える ー101年目の宿題ー
 3月 特集展示 モノクロームの世界
 4月 美術館の運営状況等を評価することを目的として「和歌山県立近代美術館評価部会」を設置
 4月 建畠寛造と戦後の彫刻 かたちをさぐる
 6月 特集展示 生誕 120年 大赤観風
 7月 なつやすみの美術館4 生きています!
 9月 特集展示 没後50年 野長瀬晩花
 11月 観光する美術 和歌山から始まる旅
 12月 特集展示 コレクション/ドネーション
 2015(平成27)年
 1月 『月映』展 田中恭吉・藤森静雄・恩地孝四郎
 ー木版にいのちを刻んだ青春
 3月 和歌山と関西の美術家たち リアルのリアルのリアルの
 3月 特集展示 『版画』の明治ー印刷と美術のはざままで
 3月 「和歌山県立近代美術館の使命」を公開
 5月 保田龍門・保田春彦展
 6月 特集展示 くりかえしの美
 7月 なつやすみの美術館5 つぶやき おはなしものがたり
 9月 ここだけの日本画
 9月 特集展示 アメリカ移民の歴史と芸術家たち
 9月 特集展示 生誕 120年 逸見享
 12月 生誕 110年 村井正誠展 ひとの居る場所
 12月 特集展示 光について
 2016(平成28)年
 3月 宇佐美圭司回顧展 絵画のロゴス
 3月 特集展示 謄写印刷工房からー印刷と美術のはざままで
 4月 恩地孝四郎展 抒情とモダン
 関連企画 本の美術:ルリユールへの誘い
 6月 特集展示 ドローイングー水彩・パステル・紙の世界
 7月 なつやすみの美術館6 きろくときおく
 9月 特集展示 薔薇色の鏡 銅版画の技と表現
 10月 和歌山県特別事業 第1回和歌山県ジュニア美術展覧会(以降継続)
 11月 動き出す!絵画 ペール北山の夢
 ーモネ、ゴッホ、ピカソらと大正の若き洋画家たち
 11月 大正の異色画家たち(特別展「動き出す!絵画」第二部)
 2017(平成29)年
 1月 泉茂 ハンサムな絵のつくりかた
 1月 特集展示 群像ー交錯する声
 4月 現代版画の展開
 5月 特集 おはなしのなかへ
 6月 鈴木久雄 彫刻の速度 和歌山展
 7月 なつやすみの美術館7 すききらい、すき? きらい?
 9月 特集 NANGA 俗を去り自ら楽しむ

10月 アメリカへ渡った二人 国吉康雄と石垣栄太郎
 2018(平成30)年
 1月 特集 はじまりの景色
 1月 特集 滋賀県立近代美術館所蔵 院展の画家たち I
 古きに学(まね)ぶ 下村観山を中心に
 2月 明治150年記念 水彩画家・大下藤次郎展
 4月 産業と美術のあいだで 印刷術が拓いた楽園
 4月 特集 庭園の眺め 高橋力雄の木版画
 4月 特集 滋賀県立近代美術館所蔵 院展の画家たち II
 なつやすみの美術館8 タイムトラベル
 8月 特集 鈴木昭男 音と場の探究
 8月 特集 滋賀県立近代美術館所蔵 院展の画家たち III
 9月 和歌山ー日本 和歌山を見つめ、日本の美術、そして近代美術館を見つめる
 10月 特集 国展の版画
 11月 創立100周年記念 国画創作協会の全貌展
 2019(平成31・令和元)年
 1月 コレクション名品選
 1月 空調設備工事のため休館
 4月 LOVE(your) LIFE! まいにちがアート
 4月 コレクション展 2019ー春 ー新収蔵作品
 6月 ニューヨーク・アートシーン
 ロスコ、ウォーホルから草間彌生、バスキアまで
 ー滋賀県立近代美術館コレクションを中心に
 7月 なつやすみの美術館9 水と美術 feat. 坂井淑恵
 9月 時代の転換と美術 「大正」とその前後
 9月 特集 滋賀県立近代美術館所蔵品より
 みやこの洗練 明治の京都画壇
 9月 特集 生誕 130年記念 せんぱん
 ー前川千帆の版画ー
 10月 芸術に親しもう! おでかけ美術館
 第1回 紀南地方 坂井淑恵展「水の中」
 11月 2020日・チェコ交流100周年 ミュシャと日本、日本とオルリク
 11月 特集 ニホンラシサを探せ
 11月 外交史料展 外交史料と近代日本のあゆみ
 2020(令和2)年
 1月 コレクション名品選
 1月 2階展示室照明機器改修工事のため休館
 5月 もようづくし
 5月 特集 浜地清松
 6月 特集 浜口陽三
 7月 なつやすみの美術館10 あまたの先日ひしめいて今日
 9月 芸術に親しもう! おでかけ美術館 第2回 紀中地方
 田中秀介展「かなたの先日ふみこんで今日」
 9月 もうひとつの日本美術史ー近現代版画の名作展 2020
 9月 和歌山県立近代美術館 コレクションの50年
 12月 美術館を展示する 和歌山県立近代美術館のサステイナビリティ
 2021(令和3)年
 1月 コレクション名品選
 1月 1階展示室照明改修工事のため休館

2020 (令和 2) 年度展覧会一覧

1. 特別展

- 1. 開館 50 周年記念 もうひとつの日本美術史—近現代版画の名作 2020 …… 12
9月19日(土)～11月23日(月・祝)

2. 企画展

- 1. もようづくし …… 20
5月8日(金)～6月28日(日)
- 2. なつやすみの美術館 10 あなたの先日ひしめいて今日 …… 25
7月11日(土)～8月30日(日)
- 3. 開館 50 周年記念 和歌山県立近代美術館 コレクションの 50 年 …… 28
9月19日(土)～12月20日(日)

3. 常設展

- 1. コレクション展 2020 ー春 特集 浜地清松 …… 33
5月8日(金)～6月21日(日)
- 2. コレクション展 2020 ー夏 特集 浜口陽三 …… 37
特別出品 アルフォンス・ミュシャ
6月30日(火)～9月6日(日)
- 3. 開館 50 周年記念 美術館を展示する …… 40
和歌山県立近代美術館のサステイナビリティ
12月1日(火)～12月20日(日)
- 4. コレクション名品選 …… 45
2021年1月5日(火)～1月24日(日)

4. その他

- 1. 芸術に親しもう! おでかけ美術館 …… 47
第2回 紀中地方 田中秀介展「あなたの先日ふみこんで今日」
9月10日(木)～10月25日(日)

1-1. 開館 50 周年記念

もうひとつの日本美術史——近現代版画の名作 2020

- 会期 : 2020 年 9 月 19 日 (土)～11 月 23 日 (月・祝) 66 日間
*前期展示: 9 月 19 日 (土)～10 月 25 日 (日)、後期展示: 10 月 27 日 (火)～11 月 23 日 (月・祝)
- 会場 : 展示室 C (2 階)
- 主催 : 和歌山県立近代美術館、読売新聞社、美術館連絡協議会
- 協賛 : ライオン、大日本印刷、損保ジャパン
- 共同開催 : 福島県立美術館 (7 月 11 日～8 月 30 日)
- 入場者数 : 7,714 名
- 内容 : 版画は日本の近現代美術を語る上で欠かせないものだが、他の分野に比べて通史的な検証は十分には行われてこなかった。本展では福島県立美術館と当館がそれぞれの風土と向き合いながら作り上げてきた版画コレクションを中心に、日本の近現代版画を通史的に紹介する構成とすることで、地方都市から「もうひとつの」日本美術史を発信する機会とした。当館にとっては、開館 50 周年を記念する特別展でもあった。1. 「版画」前夜—印刷のなかの美術、2. 版画に向かう画家たち—『方寸』の時代、3. 自己を刻む—創作版画という青春、4. 「日本」の版画を求めて—新版画という挑戦、5. 自立する版画—日本創作版画協会のころ、6. 版画の東西—震災、都市、モダニズム、7. 社会のなかで—日本版画協会のころ、8. 版画の戦後—再生、そして世界へ、9. 版への問い—版画の「現代」、10. 版に託す—私、心、イメージ、の 10 部で構成した。
- 展示点数 : 170 作家 366 点、資料 31 点
- 担当学芸員 : 植野比佐見、宮本久宣、青木加苗
- 関連事業 : ・ 記念講演会
10 月 4 日 (日) 「竹久夢二と『月映』」 14:00～15:30 講師: 井上芳子 41 名
11 月 3 日 (火・祝) 「日本の近現代美術を『版画』表現で再考する」 14:00～15:30 講師: 山野英嗣 16 名
11 月 22 日 (日) 「版画のきた道 美術が自分ごとになるとき」 14:00～15:30 講師: 植野比佐見 37 名
*新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況を見ながら実施の可否を検討し、入場者を 60 名までと制限をして開催
- 制作物 : ・ ポスター (B2 判、オフセット印刷)
・ チラシ (A4 判、オフセット印刷)
・ 技法リーフレット (A6 判四つ折 8 頁)
・ 出品目録 (A4 判 16 頁)
・ プレスリリース (A4 判 5 頁)
・ 図録 (菊版変形 22.0×17.5cm 328 頁、オフセット印刷)
- 図録 : ・ 酒井哲朗 展覧会に寄せて—日本の近代美術と版画、そして和歌山県立近代美術館の版画コレクション
・ 山野英嗣 今、「近現代」日本版画をふりかえる。
・ 植野比佐見 版画が息づくところ—印刷と美術の「版画」とその周辺
・ 坂本篤史 版画誌『エッチング』の功績
・ 宮本久宣 錦絵 FOR YOU 川端龍子、鶴田吾郎によるスケッチ倶楽部の版画
・ 青木加苗 版画の「学び」方—美術学校への道のり
・ 紺野朋子 斎藤清の初期作品について—同時代の作家との関わりから
・ 荒木康子 李禹煥の版画—近代と現代をめぐって
・ 宮本久宣、紺野朋子、荒木康子 (編) 関連年譜
・ 坂本篤史 (編) 関野準一郎 銅版画頒布会関連資料 [再録]
・ 坂本篤史 (編) 主要参考文献目録
- 入場料金 : 一般 800 円 (640 円)、大学生 500 円 (400 円) () 内は 20 名以上の団体料金
- 工夫 : 本展では、明治の印刷物からはじまり、1990 年代の表現までを次の十章で構成し、版画で近現代日本美術史を編むこと、それによって従来の日本美術史をより豊かにすることを目指した。同じ展覧会では扱いづらい創作版画を中心とした近代版画と、工房制作を含む現代版画をつなぐために、印刷を版画の母胎としてとらえ、大きな歴史の流れを提示した。新型コロナウイルス感染症拡大のため、来館できない人のためにも図録の充実には力を入れた。
- 自己評価・課題・改善案 : 展覧会準備中に新型コロナウイルス感染症の拡大が始まり、調査や借用を依頼する範囲を狭くするほかなかったうえに、開催そのものも危ぶまれた。そのなかで、おもに当館のコレクションを見直し、福島県立美術館のコレクションをあわせて展示を構成することになった。美術館の活動に、コレクションがいかに大切かを改めて感じるようになった。それだけに、この展覧会は今後の当館の版画コレクションの充実にあたり、留意すべき点を明らかにするよい機会となった。木版画を中心に紹介されてきた日本近代版画史の中で、明治になって市中に普及したため、より印刷のイメージが強い銅版画と石版画の存在感が大きかったこと、さらに関西の版画の持つ精緻な表現の独自性、画家の版画工房との制作が版画家たちに与えた影響など、これから学ぶべきいくつかの課題を得た。
- 受賞 : ・ 2020 年美連協大賞「優秀カタログ賞」(美連協展部門)
- 関連記事 : ・ 植野比佐見「もうひとつの日本美術史—近現代版画の名作 2020」『版画芸術』2020 年夏、no.188、2020 年 6 月 1 日、p.108-109
・ 植野比佐見「福島と和歌山で「もうひとつの日本美術史 近現代版画の名作 2020」「もうひとつの日本美術史——近現代版画の名作 2020」展より」ときの忘れもの ブログ、2020 年 8 月 13 日 (ウェブ配信)
・ 「近代美術館 50 周年展 きょう開幕 所蔵版画など 370 点」『読売新聞』2020 年 9 月 19 日、27 面
・ 「版画の名品、半世紀の歩み 近代美術館の 50 周年展始まる」『わかやま新報』2020 年 9 月 20 日、1 面
・ 「近代美術館開館 50 周年 コレクションの 50 年 もうひとつの日本美術史」『和歌山特報』2020 年 9 月 21 日
・ 小金沢智「〈review〉珠玉の版画作品が問いかける。「日本美術史とは、何か?」小金沢智評「もうひとつの日本美術史 近現代版画の名作 2020」展」『ウェブ版美術手帖』、2020 年 9 月 30 日

- ・植野比佐見「版画 関西と関東はつきり もうひとつの日本美術史(上)」『読売新聞』2020年10月2日、13面
- ・植野比佐見「作家の精神の表れ追う もうひとつの日本美術史(中)」『読売新聞』2020年10月4日、31面
- ・植野比佐見「石版印刷で精密表現 もうひとつの日本美術史(下)」『読売新聞』2020年10月7日、13面
- ・白鳥正夫「〈版画とガラス、お勤めの2展覧会〉和歌山県立近代美術館で「開館50周年記念 特別展 もうひとつの日本美術史 近現代版画の名作2020」明治から平成、70作家の360点余で辿る」『白鳥正夫の関西ぶんか考 ぶんかなび』2020年10月7日号(ウェブ配信)
- ・正木利和「〈美と遊ぶ〉版画 通史的に考える 和歌山県立近代美術館50周年記念展「もうひとつの日本美術史」」『産経新聞』2020年10月9日、3面
- ・「〈美術館便り〉和歌山県立近代美術館、開館50年を記念して同時開催 特別展「近現代版画の名作2020」と企画展「コレクションの50年」県内のゆかりの作家など、えりすぐりの作品が展示」『リビング和歌山』2020年10月17日、6面
- ・「和歌山県立近代美術館で「近現代版画の名作」展 作品366点、一堂に」『和歌山経済新聞』2020年11月5日(11月4日ウェブ配信)
- ・中尾美穂「〈ときの忘れもの本棚から〉第4回」『もうひとつの日本美術史—近現代版画の名作2020』その1」ときの忘れもの ブログ、2020年11月19日(ウェブ配信)
- ・「作品が一層身近に 和高生 近代美術館の50周年展鑑賞」『わかやま新報』2020年11月5日、3面
- ・朽木一「コロナ禍のなかでの周年事業と地方美術館」『前衛』2021年1月号、2020年12月25日、p.161
- ・中尾美穂「〈ときの忘れもの本棚から〉第5回」『もうひとつの日本美術史—近現代版画の名作2020』その2」2021年1月19日(ウェブ配信)
- ・植野比佐見「2020年美連協大賞「優秀カタログ賞」美連協展部門もうひとつの日本美術史 近現代版画の名作2020」『美連協ニュース』No.150、2021年5月号、p.10
- ・「近代美術館優秀カタログ賞 美連協大賞「近現代版画の名作2020」展」『読売新聞』2021年4月18日、28面

- 情報掲載 : ・「〈カルチャーインフォメーション〉開館50周年記念特別展「もうひとつの日本美術史—近現代版画の名作2020」『WACA-P』2020年9・10月号 Vol.93、2020年9月
- ・「〈ミュージアム〉開館50周年記念 特別展「もうひとつの日本美術史—近現代版画の名作2020」『紀州浪漫』2020AUTUMN 秋号、Vol.74、2020年9月1日、p.19
- ・「広告」開館50周年 もうひとつの日本美術史 和歌山県立近代美術館コレクションの50年『Lism』vol.200、2020年10月号、2020年9月25日、p.5
- ・「近代美術館50周年記念展」『ニュース和歌山 PLUS』2020年9月25日、p.13
- ・「近代美術館50周年記念展」『ニュース和歌山』2020年9月26日、p.6
- ・「特別展「もうひとつの日本美術史 近現代版画の名作展2020」『Natts』vol.238 2020年10月号、2020年10月1日、17面
- ・「もうひとつの日本美術史 近現代版画の名作2020」『新美術新聞』No.1552、2020年11月11日、4面
- ・「開館50周年記念に近現代版画の名作を展示」『Lism』vol.201 2020年11月号、2020年11月25日、p.49

もうひとつの日本美術史 近現代版画の名作2020 出品目録
前期9月19日～10月25日/後期10月27日～11月23日

No.	作家名	作品名	制作年	技法	寸法 (cm)	所蔵	前期 後期
第1章 「版画」前夜—印刷のなかの美術							
1-1	鈴木 蕾齋 [画]	明治暴勇聚	明治10年代	木版	36.1×69.3	西宮K氏コレクション	
1-2	鈴木 蕾齋 [画]	「編蝠傘 緋フラン子ル卸商 南為太郎」引札	1887(明治20)頃	木版	36.1×49.2	西宮K氏コレクション	
1-3	林基春 [画]	「つづつ 宵浪花の梅」絵びら	明治20年代	木版	47.1×30.2	西宮K氏コレクション	
1-4	北野 恒富 [画]	引札見本	明治30年代	木版	36.1×50.5	西宮K氏コレクション	
1-5	小林 清親 [画]	「東京昇栄舎大勉強」絵びら	明治20年代	リトグラフ	44.0×31.3	西宮K氏コレクション	
1-6	星野 茂三郎 [印刷]	貴顕令嬢	1889(明治22)	リトグラフ、手彩	37.5×27.3	西宮K氏コレクション	
1-7	荒川 藤兵衛 [画・製版]	入谷之朝顔	1889(明治22)	リトグラフ	36.3×27.2	西宮K氏コレクション	
1-8	結城 正明 [刻]	ヒボクラテス像	1877(明治10)	エッチング、エングレー ヴィング	64.0×47.2	西宮K氏コレクション	
1-9	森 琴石(響泉堂) [画・刻]	有馬温泉炭酸水改良建築并市街写真絵図	1883(明治16)	エッチング	37.3×55.5	西宮K氏コレクション	
1-10	志村 千郷 [画・刻・印刷]	一枝堂明治17年略曆	1883(明治16)	エッチング	30.0×21.0	西宮K氏コレクション	
1-11	合田 清(生巧館) [画・刻]	独逸皇帝フレデリック三世之肖像『毎日新聞』第5253号附録	1888(明治21)	木口木版	32.2×22.2	西宮K氏コレクション	
1-12	合田 清(生巧館) [画・刻]	昇竜図『東京朝日新聞』第2125号附録	1892(明治25)	木口木版	45.2×22.3	西宮K氏コレクション	
1-13	岡村 政子 [画・推定]	露国の帝室『時事新報』第3021号附録	1891(明治24)	リトグラフ	35.5×24.0	西宮K氏コレクション	
1-14	岡村 政子 [画] / 酒井 鈴子 [石画]	忠臣義士	1891(明治24)	リトグラフ	41.5×111.5	西宮K氏コレクション	
1-15	岡村 政子 [画]	「新聞を読む女性」『時事新報』第5000号附録	1897(明治30)	リトグラフ	48.6×33.1	西宮K氏コレクション	
1-16	蔵画館 [版元]	聖皇式拾五年詔勅及憲法文集	1892(明治25)	リトグラフ	110.0×40.8	西宮K氏コレクション	
1-17	浅井 忠 [画]	桜狩〈十二月之内〉『時事新報』第3934号附録	1894(明治27)	リトグラフ	29.6×23.2	西宮K氏コレクション	
1-18	北澤 楽天 [画]	やまとひめとブリタニヤ『時事新報』第6689号附録	1902(明治35)	リトグラフ	47.9×32.7	西宮K氏コレクション	
1-19	和田 英作 [画]	朝日『大阪朝日新聞』第12494号附録	1916(大正5)	リトグラフ	48.3×43.6	西宮K氏コレクション	後
1-20	和田 英作 [画]	[大正天皇と三国元首]『大阪朝日新聞』第12555号附録	1917(大正6)	リトグラフ	34.5×48.3	西宮K氏コレクション	前
1-21	高橋 由一 [画] / 々々堂	『三県道路完成記念帖』栃木県	1885(明治18)	リトグラフ、手彩/絹	26.5×30.0×3.3	個人蔵	
1-22	高橋 由一 [画] / 々々堂	『三県道路完成記念帖』福島県	1885(明治18)	リトグラフ、手彩/絹	26.7×30.3×5.6	個人蔵	
1-23	高橋 由一 [画] / 々々堂	『三県道路完成記念帖』山形県	1885(明治18)	リトグラフ、手彩/絹	26.8×30.4×6.0	個人蔵	
1-24	中丸 精十郎(金峯)	「ギゼー」大石塚井二「スフィンクス」ノ図『輿地誌略』巻8(3篇上)	1875(明治8)	エッチング	25.2×18.0×1.5	西宮K氏コレクション	
1-25	梅村 翠山(慶岸堂) [左] / 松田 緑山(二代玄々堂) [右]	西伏克尼(秘魯)ノ岩石ノ図 [左] / 丹克尼河(秘魯)ノ洞門ノ景 [右]『輿地誌略』巻11下(4篇中)	1877(明治10)	エッチング [左] / リトグラフ [右]	25.2×18.0×1.6	西宮K氏コレクション	
1-26	亀井 至一 [画] / 々々堂	『観古図説 陶器之部』3挿画	1877(明治10)	リトグラフ	27.2×39.0×0.4	西宮K氏コレクション	
1-27	森 琴石(響泉堂) [画・刻]	江州琵琶湖之景『和漢対照挿画 明治新用文大成』上	1881(明治14)	エッチング	18.2×12.2×2.2	西宮K氏コレクション	
1-28	森 琴石(響泉堂) [画・刻]	撰津住吉之図『和漢対照挿画 明治新用文大成』下	1881(明治14)	エッチング	18.5×12.4×2.2	西宮K氏コレクション	

No.	作家名	作品名	制作年	技法	寸法 (cm)	所蔵	前期 後期
1-29	森 琴石 (響泉堂) [画・刻]	一心寺之図 [左] / 茶白山之図 [右] 『明治新刻 大坂名所独案内』上	1882 (明治 15)	エッチング	8.5×12.3×1.8	西宮 K 氏コレクション	
1-30	森 琴石 (響泉堂) [画・刻]	耶穌教天主堂 [左] / 商船学校之図 [右] 『明治新刻 大坂名所独案内』下	1882 (明治 15)	エッチング	8.3×12.4×1.8	西宮 K 氏コレクション	
1-31	松本 楓湖 [画]	平重盛父清盛乃非謀を諫止す『幼学綱要』1	1882 (明治 15)	木版	23.4×15.5×1.0	西宮 K 氏コレクション	
1-32	松本 楓湖 [画]	魏の鄧哀王冲巨象乃斤重を稱礼『幼学綱要』6	1882 (明治 15)	木版	23.2×15.5×1.0	西宮 K 氏コレクション	
1-33	小柴 英 [製版]	会津城中烈婦和歌ヲ残ス之図『佳人之奇遇』2	1885 (明治 18)	リトグラフ	23.2×14.8×1.0	西宮 K 氏コレクション	
1-34	作者者不詳	『普通読本』1 編上 挿画	1887 (明治 20) 第 3 版 (初版 1886)	木版	22.6×15.0×0.4	西宮 K 氏コレクション	
1-35	浅井 忠 [画] / 生巧館 [製版]	『帝国読本』巻 2 扉絵	1893 (明治 26) 版 (初版 1892)	再 木口木版	22.4×14.6×0.8	西宮 K 氏コレクション	
1-36	二世 五姓田 芳柳 [画] / 生巧館 [製版]	『帝国読本』巻 6 扉絵	1893 (明治 26) 版 (初版 1892)	再 木口木版	22.5×15.0×0.8	西宮 K 氏コレクション	

第 2 章 版画に向かう画家たち——『方寸』の時代

2-1	山本 鼎	漁夫『明星』辰歳第 7 号所収	1904 (明治 37)	木版	16.3×11.1	和歌山県立近代美術館	
2-2	山本 鼎	野鷲	1912 (大正元)	木版	17.9×15.3	和歌山県立近代美術館	後
2-3	山本 鼎	フルターニユの小湾	1913 (大正 2)	木版	15.1×21.7	和歌山県立近代美術館	前
2-4	青木 繁 [画] / 山本 鼎 [刻]	繡斧 蒲原有明『春鳥集』所収	1905 (明治 38)	木口木版	12.1×8.3	福島県立美術館	
2-5	戸張 孤雁	千住大橋の雨	1913 (大正 2)	木版	49.5×36.4	和歌山県立近代美術館	
2-6	石井 柏亭	木場	1914 (大正 3)	木版	24.2×17.7	和歌山県立近代美術館	
2-7	織田 一磨	洲崎之景〈東京風景〉	1916 (大正 5)	リトグラフ	25.9×43.2	和歌山県立近代美術館	
2-8	織田 一磨	上野廣小路〈東京風景〉	1916 (大正 5)	リトグラフ	40.3×28.5	和歌山県立近代美術館	
2-9	織田 一磨	道頓堀〈大阪風景〉	1917 (大正 6)	リトグラフ	43.8×28.3	和歌山県立近代美術館	
2-10	織田 一磨	京町橋夜景〈大阪風景〉	1919 (大正 8)	リトグラフ	42.8×28.5	和歌山県立近代美術館	
2-11	南 薫造 (伊上凡骨 [復刻])	魚見『美術新報』第 11 巻第 3 号所収	1912 (明治 45)	木版	14.4×16.8	福島県立美術館	
2-12	南 薫造	舟おろし	1910-13 (明治 43~大正 2)	木版	22.3×10.7	和歌山県立近代美術館	
2-13	南 薫造	[風景]	1910-13 (明治 43~大正 2)	木版	10.8×22.0	和歌山県立近代美術館	
2-14	宮本 憲吉	壺 (竹林月夜)	1920 (大正 9)	頃 木版、手彩	16.7×15.9	和歌山県立近代美術館	
2-15	太田 三郎	銭湯	1914 (大正 3)	木版	21.5×15.2	和歌山県立近代美術館	前
2-16	太田 三郎	カフェーの女『現代の洋画』第 23 号「版画号」所収	1914 (大正 3)	木版	21.0×11.3	和歌山県立近代美術館	後
2-17	岡本 帰一	夕の街路『現代の洋画』第 23 号「版画号」所収	1914 (大正 3)	木版	13.9×15.2	和歌山県立近代美術館	
2-18	清宮 彬	花『フェウザン』第 4 号表紙	1913 (大正 2)	木版	15.9×12.3	和歌山県立近代美術館	
2-19	バーナード・リーチ	天壇	1916 (大正 5)	エッチング	27.2×29.9	個人蔵	
2-20	岸田 劉生	怒れるアダム〈天地創造〉	1914 (大正 3) / 1975 (昭和 50) 刷	エッチング	12.5×12.5	福島県立美術館	
2-21	岸田 劉生	築地風景	1912 (明治 45/大正元)	木版	16.3×23.0	和歌山県立近代美術館	
2-22	竹久 夢二	港屋絵草紙店	1914 (大正 3)	木版	31.9×23.2	千葉市美術館	前
2-23	竹久 夢二	新富座当り狂言 雁治郎の忠兵衛 福助の梅川	1914 (大正 3)	木版	39.0×25.8	千葉市美術館	前
2-24	竹久 夢二	小春	1914 (大正 3)	木版	30.0×12.0	千葉市美術館	後
2-25	竹久 夢二	治兵衛	1914 (大正 3)	木版	30.0×12.0	千葉市美術館	後
2-26	藤島 武二 [画] / 伊上 凡骨 [刻]	靴なほし『明星』第 13 号 挿画	1901 (明治 34)	木版	20.6×18.6×0.4	個人蔵	
2-27	藤島 武二 [画]	『明星』第 14 号 表紙	1901 (明治 34)	リトグラフ	26.1×18.7×0.4	個人蔵	
2-28	石井 柏亭	休業『方寸』第 2 巻第 4 号 挿画	1908 (明治 41)	リトグラフ	31.4×23.1×0.1	和歌山県立近代美術館	
2-29	山本 鼎	真昼『方寸』第 3 巻第 4 号 挿画	1909 (明治 42)	木版	31.4×23.4×0.1	和歌山県立近代美術館	
2-30	石井 柏亭	サイダア (空壇買ひの娘)『方寸』第 3 巻第 6 号 挿画	1909 (明治 42)	リトグラフ	31.2×23.3×0.1	和歌山県立近代美術館	
2-31	織田 一磨	十字花『方寸』第 3 巻第 7 号 挿画	1909 (明治 42)	リトグラフ	30.7×23.0×0.1	和歌山県立近代美術館	
2-32	森田 恒友	『方寸』第 3 巻第 9 号 表紙装画	1909 (明治 42)	木版	31.2×22.9×0.2	和歌山県立近代美術館	
2-33	浅井 忠 [画]	『時事漫画 非美術画報』巻 2 表紙	1904 (明治 37)	リトグラフ	38.2×26.3×0.1	個人蔵	
2-34a~b	鹿子木 孟郎『時事漫画 非美術画報』巻 3		1904 (明治 37)	リトグラフ	38.3×26.8×0.1	個人蔵	
2-34a	鹿子木 孟郎 [画]	百年後に於ける桂太郎君の銅像	1904 (明治 37)	リトグラフ		個人蔵	
2-34b	鹿子木 孟郎 [画]	百年後に於ける寺内正毅君の掛物	1904 (明治 37)	リトグラフ		個人蔵	
2-35a~b	浅井 忠『黙語図案集』		1908 (明治 41)	木版	37.5×25.0×2.4	個人蔵	
2-35a	浅井 忠	鹿	1908 (明治 41)	木版		個人蔵	後
2-35b	浅井 忠	大原女	1908 (明治 41)	木版		個人蔵	前
2-36a~b	『鳳梨』第 1 号		1914 (大正 3)	木版	19.2×12.8×0.2	和歌山県立近代美術館	
2-36a	河合 卯之助	表紙	1914 (大正 3)	木版		和歌山県立近代美術館	
2-36b	松宮 實	景風 [ママ]	1914 (大正 3)	木版		和歌山県立近代美術館	
2-37	河合 卯之助	『黙鐘』第 1 巻第 6 号 表紙	1915 (大正 4)	木版	22.3×15.0×0.4	和歌山県立近代美術館	
2-38a~c	河合 卯之助 図案私集『伊羅保』		1916 (大正 5)	木版	36.9×25.4×1.2	和歌山県立近代美術館	
2-38a	河合 卯之助	表紙	1916 (大正 5)	木版		和歌山県立近代美術館	
2-38b	河合 卯之助	あきのゝあざみ 図案私集『伊羅保』	1916 (大正 5)	木版		和歌山県立近代美術館	前
2-38c	河合 卯之助	るりとらのをに文鳥 図案私集『伊羅保』	1916 (大正 5)	木版		和歌山県立近代美術館	後
2-39	南 薫造	『白樺』第 3 巻第 5 号 表紙	1912 (明治 45)	木版	22.5×15.0×0.7	和歌山県立近代美術館	
2-40	バーナード・リーチ	『白樺』第 4 巻第 6 号 表紙	1913 (大正 2)	木版	22.1×15.2×0.8	和歌山県立近代美術館	
2-41	宮本 憲吉	『とりで』第 2 号 表紙	1914 (大正 3)	木版	22.1×14.9×1.1	和歌山県立近代美術館	
2-42	岡本 帰一	『とりで』第 8 号 表紙	1913 (大正 2)	木版	22.6×15.6×0.9	和歌山県立近代美術館	
2-M1		『現代の洋画』第 23 号「版画号」	1914 (大正 3)	冊子 (雑誌)	25.8×18.5×0.6	和歌山県立近代美術館	

第 3 章 自己を刻む——創作版画という青春

3-1	香山 小鳥	深川の冬	1912 (大正元)	木版	24.7×17.8	個人蔵	
3-2	香山 小鳥	愁	1913 (大正 2)	木版	12.5×8.6	和歌山県立近代美術館	
3-3	田中 恭吉	病める夕べ 回覧雑誌『密室』VIII 所収	1913 (大正 2)	木版	15.7×10.3	和歌山県立近代美術館	後
3-4	田中 恭吉	焦心 私輯『月映』II 所収	1914 (大正 3)	木版	20.9×10.0	和歌山県立近代美術館	前
3-5	田中 恭吉	五月の呪 私輯『月映』IV 所収	1914 (大正 3)	木版	15.7×10.7	和歌山県立近代美術館	
3-6	田中 恭吉	冬虫夏草 公刊『月映』III 所収	1914 (大正 3)	木版 (機械刷り)	15.7×13.0	和歌山県立近代美術館	
3-7	藤森 静雄	『月映』III ポスター	1914 (大正 3)	木版	49.1×23.0	和歌山県立近代美術館	
3-8	藤森 静雄	よる 私輯『月映』III 所収 [推定]	1914 (大正 3)	木版	18.0×12.8	和歌山県立近代美術館	前
3-9	藤森 静雄	[かいぢ]	1914 (大正 3)	木版	23.3×16.2	和歌山県立近代美術館	後
3-10	藤森 静雄	夜のうた 私輯『月映』II 所収	1914 (大正 3)	木版	22.7×15.7	和歌山県立近代美術館	
3-11	藤森 静雄	[灯のまえ]	1914 (大正 3)	木版	23.7×15.9	和歌山県立近代美術館	
3-12	恩地 孝四郎	キリストとマリア 私輯『月映』III 所収 [推定]	1914 (大正 3)	木版	24.0×17.5	和歌山県立近代美術館	前

No.	作家名	作品名	制作年	技法	寸法 (cm)	所蔵	前期 後期
3-13	恩地 孝四郎	『望と怖』	1914 (大正 3) 頃	木版	15.1×11.0	和歌山県立近代美術館	後
3-14	恩地 孝四郎	裸形のくるしみ III 私輯『月映』V所収	1914 (大正 3)	木版	22.1×7.9	和歌山県立近代美術館	
3-15	恩地 孝四郎	裸形のくるしみ IV 私輯『月映』V所収	1914 (大正 3)	木版	22.0×7.9	和歌山県立近代美術館	
3-16	恩地 孝四郎	抒情『あかるい時』 公刊『月映』V所収	1915 (大正 4)	木版(機械刷り)	13.6×9.8	和歌山県立近代美術館	
3-17	長谷川 潔	ダンス B	1914 (大正 3)	木版	30.7×21.2	和歌山県立近代美術館	
3-18	長谷川 潔	トランプト修道院礼拝堂	1915 (大正 4)	木版	30.5×32.8	個人蔵	
3-19	長谷川 潔	牧神の午後(ステファン・マラルメの牧歌)	1916 (大正 5)	木版	21.5×18.2	個人蔵	
3-20	永瀬 義郎	抱擁	1915 (大正 4)	木版	30.2×21.5	和歌山県立近代美術館	
3-21	永瀬 義郎	『風景』	1916 (大正 5)	木版	20.9×14.7	個人蔵	
3-22	廣島 新太郎	泊船	1920-22 (大正 9-11) 頃	木版	18.1×21.1	和歌山県立近代美術館	
3-23	廣島 新太郎	夕暮小景	1922 (大正 11)	木版	23.0×18.3	個人蔵	
3-24	長谷川 潔	仮面を持てる女『仮面』第3巻第6号表紙	1914 (大正 3)	木版	22.4×16.5×0.8	和歌山県立近代美術館	
3-25	永瀬 義郎	をんな『仮面』第3巻第9号表紙	1914 (大正 3)	木版	22.3×16.2×0.9	和歌山県立近代美術館	
3-26	長谷川 潔	ある踊の印象『水鏡』第2巻第6号表紙	1915 (大正 4)	木版	21.7×15.2×0.6	和歌山県立近代美術館	
3-27	恩地 孝四郎	公刊『月映』VI表紙	1915 (大正 4)	木版	27.3×20.0×0.5	和歌山県立近代美術館	
3-28	恩地 孝四郎	公刊『月映』VII表紙	1915 (大正 4)	木版	26.2×20.0×0.5	和歌山県立近代美術館	
3-29	長谷川 潔	『日本版画倶楽部 第1回 版画展目録』表紙	1916 (大正 5)	木版	18.1×16.1×1.5	個人蔵	
第4章 「日本」の版画を求めて—新版画という挑戦							
4-1	石井 柏亭 [画] / 伊上 凡骨 [刻]	よし町<東京十二景>	1910 (明治 43)	木版	39.4×25.7	和歌山県立近代美術館	
4-2	石井 柏亭 [画] / 伊上 凡骨 [刻]	赤さか<東京十二景>	1916 (大正 5) 頃	木版	39.7×26.0	和歌山県立近代美術館	
4-3	川端 龍子 [画]	木曾の秋	1915 (大正 4)	木版	29.0×20.7	和歌山県立近代美術館	
4-4	鶴田 吾郎 [画]	泊船	1915 (大正 4)	木版	29.5×21.6	和歌山県立近代美術館	
4-5	坂本 繁二郎 [画] / 伊上 凡骨 [刻]	神の湊—玄海灘を遠望 <日本風景版画 第六輯 筑紫之部>	1918 (大正 7)	木版	16.7×23.8	和歌山県立近代美術館	
4-6	坂本 繁二郎 [画] / 伊上 凡骨 [刻]	水繩山—小森野より望む <日本風景版画 第六輯 筑紫之部>	1918 (大正 7)	木版	16.8×23.7	和歌山県立近代美術館	
4-7	橋口 五葉 [画]	化粧の女	1918 (大正 7)	木版	51.2×36.3	和歌山県立近代美術館	
4-8	橋口 五葉 [画]	髪梳ける女	1920 (大正 9)	木版	44.1×32.7	和歌山県立近代美術館	
4-9	橋口 五葉 [画]	神戸之宵月	1920 (大正 9)	木版	28.3×44.7	和歌山県立近代美術館	
4-10	橋口 五葉 [画]	京都三条大橋	1920 (大正 9)	木版	28.4×44.5	和歌山県立近代美術館	
4-11	川瀬 巴水 [画]	塩原畑下り	1918 (大正 7)	木版	47.7×17.8	千葉市美術館	前
4-12	川瀬 巴水 [画]	塩原しほがま	1918 (大正 7)	木版	47.5×18.0	千葉市美術館	前
4-13	伊東 深水 [画]	三井寺<近江八景>	1917 (大正 6)	木版	30.0×20.0	千葉市美術館	後
4-14	伊東 深水 [画]	堅田浮御堂<近江八景>	1918 (大正 7)	木版	29.6×20.0	千葉市美術館	後
4-15	伊東 深水 [画]	野の池之端	1921 (大正 10)	木版	38.7×24.1	千葉市美術館	後
4-16	吉田 博 [画]	帆船朝<瀬戸内海集>	1926 (大正 15/ 昭和元)	木版	50.8×35.9	千葉市美術館	後
4-17	吉田 博 [画]	帆船午前<瀬戸内海集>	1926 (大正 15/ 昭和元)	木版	50.8×36.1	千葉市美術館	後
4-18	吉田 博	溪流	1928 (昭和 3)	木版	54.5×82.8	千葉市美術館	前
4-M1		『川瀬巴水 創作版画解説』	1921 (大正 10)	冊子	19.0×12.7×0.5	個人蔵	
4-M2		『伊東深水 創作版画解説』	1921 (大正 10)	冊子	18.9×12.8×0.3	個人蔵	
4-M3		『木版画目録』	1935 (昭和 10)	冊子	18.5×12.5×0.5	個人蔵	
第5章 自立する版画—日本創作版画協会のころ							
5-1	山本 鼎	支那婦人	1917 (大正 6)	木版	30.2×24.5	和歌山県立近代美術館	後
5-2	山本 鼎	ブルトンヌ	1920 (大正 9)	木版	36.9×28.4	千葉市美術館	前
5-3	戸張 孤雁	女学生	1920 (大正 9)	木版	38.2×25.2	和歌山県立近代美術館	
5-4	石井 鶴三	温泉	1928 (昭和 3)	リトグラフ	19.0×28.2	和歌山県立近代美術館	
5-5	川西 英	銭湯図	1920 (大正 9)	木版	23.6×28.9	和歌山県立近代美術館	
5-6	逸見 亨	幸福な海女の群	1919 (大正 8)	木版	23.0×18.3	和歌山県立近代美術館	
5-7	萬 鐵五郎	羅布かつづく人	1924 (大正 13)	木版	17.2×12.6	和歌山県立近代美術館	
5-8	川上 澄生	春の伏兵	1924 (大正 13)	木版	23.7×33.0	和歌山県立近代美術館	
5-9	川上 澄生	絵ノ上ノ静物	1926 (大正 15/ 昭和元)	木版	22.1×31.2	和歌山県立近代美術館	
5-10	深澤 素一	『風景』	1925 (大正 14)	木版	21.2×15.4	和歌山県立近代美術館	
5-11	深澤 素一	薄日	1925 (大正 14)	木版	25.8×23.0	和歌山県立近代美術館	
5-12	平川 清蔵	風景	1926 (大正 15/ 昭和元)	木版	26.8×35.1	和歌山県立近代美術館	
5-13	織田 一磨	感覚	1920 (大正 9)	リトグラフ	20.8×24.6	和歌山県立近代美術館	
5-14	織田 一磨	深林	1927 (昭和 2)	リトグラフ	22.6×26.4	和歌山県立近代美術館	
5-15	前川 千帆	少女	1927 (昭和 2)	木版	27.6×22.2	和歌山県立近代美術館	
5-16	平塚 運一	木崎湖	1927 (昭和 2)	木口木版	13.6×24.5	和歌山県立近代美術館	
5-17	平塚 運一	机上小禽	1928 (昭和 3)	木口木版	11.8×12.1	和歌山県立近代美術館	
5-18	旭 正秀	聖母マリア	1928 (昭和 3)	木版	36.3×22.3	和歌山県立近代美術館	
5-19	永瀬 義郎	髪	1927 (昭和 2) [後摺]	木版(紺紙金泥摺)	31.5×25.5	個人蔵	
5-20	永瀬 義郎	ある日の草人	1928 (昭和 3)	木版	39.3×20.2	和歌山県立近代美術館	
5-21	恩地 孝四郎	植物の世界	1922 (大正 11)	木版	26.5×23.0	和歌山県立近代美術館	
5-22	恩地 孝四郎	『人体』	1927 (昭和 2) 頃	木版	28.4×21.7	和歌山県立近代美術館	
5-23	諏訪 兼紀	花つぶて 『諏訪兼紀遺作小聚 小品六種』	1929-30 (昭和 4-5) 頃	木版	17.0×11.9	和歌山県立近代美術館	
5-24	畷 伊之助	マントン	1928 (昭和 3)	木版	27.0×39.3	和歌山県立近代美術館	
5-25	竹腰 健造	ペルーシアのアウグストゥス門	1917 (大正 6) 頃	エッチング、アクアチント	34.3×17.3	公益財団法人西宮市大谷記念美術館	前
5-26	竹腰 健造	西横堀	1917 (大正 6) 頃	エッチング	17.2×25.0	公益財団法人西宮市大谷記念美術館	後
5-27	西田 武雄	4本の樹	1924 (大正 13) 頃	エッチング	10.8×18.1	公益財団法人西宮市大谷記念美術館	後
5-28	間部 時雄	キャンパール	1925 (大正 14) 頃	エッチング	15.8×23.5	和歌山県立近代美術館	前
5-29	寺崎 武男	運河	制作年不詳	エッチング	16.7×24.2	和歌山県立近代美術館	
5-30	渡辺 光徳	すかり川なべし橋	1925 (大正 14)	エッチング	15.0×20.3	福島県立美術館	
5-31	渡辺 光徳	すかり川 御隠居岳	制作年不詳	エッチング	15.0×20.0	福島県立美術館	
5-32	織田 一磨	『版画』Vol.1, No.1 創刊の巻 表紙装画	1921 (大正 10)	凸版	30.3×22.8×0.3	和歌山県立近代美術館	
5-33	小泉 癸巳男	『版画』Vol.1, No.3 春の巻 表紙	1921 (大正 10)	木版	30.4×22.6×0.3	和歌山県立近代美術館	

No.	作家名	作品名	制作年	技法	寸法 (cm)	所蔵	前期 後期
5-34	河合 卯之助	菓ごもる鳩『詩と版画』第6輯 表紙	1924 (大正 13)	木版	25.2×18.3×0.4	和歌山県立近代美術館	
5-35	恩地 孝四郎	人貌『詩と版画』第8輯 表紙	1924 (大正 13)	木版	26.2×19.6×0.7	和歌山県立近代美術館	
5-36	藤森 静雄	木守り『詩と版画』第9輯 表紙	1925 (大正 14)	木版	27.0×19.7×0.3	和歌山県立近代美術館	
5-37	逸見 亨	『詩と版画』第11輯 表紙	1925 (大正 14)	木版	26.5×19.0×0.5	和歌山県立近代美術館	
5-38	深澤 素一	『港』第3輯 表紙	1927 (昭和 2)	木版	26.9×19.9×0.4	和歌山県立近代美術館	
5-39	恩地 孝四郎	『風』第1号 表紙	1927 (昭和 2)	木版	23.8×16.3×0.7	和歌山県立近代美術館	
5-40	川上 澄生	『風』再刊第4号 表紙	1929 (昭和 4)	木版	25.9×19.1×1.0	和歌山県立近代美術館	
5-41	村井 正誠	『LE CHER PEINTRE』4表紙	1926 (大正 15)	木版	26.5×19.2×0.2	個人蔵	
5-42	村山 知義	『マヴォ』1 表紙デザイン	1924 (大正 13)	リノカット、写真版	31.5×23.1×0.1	個人蔵	
5-43	村山 知義	『マヴォ』2 表紙デザイン・表紙画	1924 (大正 13)	リノカット	31.0×23.0×0.1	個人蔵	
5-44	村山 知義	『マヴォ』3 表紙デザイン/高見澤路直《ランヤメンの像》	1924 (大正 13)	リノカット、カラージュ	31.1×23.3×0.2	個人蔵	
5-M1	戸張 孤雁	『創作版画と版画の作り方』	1922 (大正 11)	冊子 (書籍)	21.5×13.2×1.5	和歌山県立近代美術館	
5-M2	永瀬 義郎	『版画を作る人へ』	1922 (大正 11)	冊子 (書籍)	19.8×14.1×1.4	個人蔵	
5-M3	小泉 癸巳男	『木版画の彫り方と刷り方』	1932 (昭和 7) 第6版 (初版1924)	冊子 (書籍)	18.9×12.9×0.8	和歌山県立近代美術館	
5-M4	平塚 運一	『版画の技法』	1927 (昭和 2)	冊子 (書籍)	19.1×13.7×2.0	和歌山県立近代美術館	
5-M5	旭 正秀	『創作版画の作り方』	1927 (昭和 2)	冊子 (書籍)	19.1×13.5×1.7	個人蔵	
5-M6	西田 武雄	『エッチングの描き方』	1930 (昭和 5)	冊子 (書籍)	18.9×13.2×1.2	個人蔵	
5-M7	田辺 至	『エッチングの技法』	1930 (昭和 5)	冊子 (書籍)	15.2×11.2×0.2	個人蔵	
5-M8	旭 正秀	『版画の手ほどき』	1930 (昭和 5)	冊子 (書籍)	19.4×13.4×2.3	個人蔵	
5-M9	平塚 運一・織田 一磨・田辺 至	『創作版画 木版・石版・エッチングの作り方』	1931 (昭和 6)	冊子 (書籍)	19.5×13.1×2.0	個人蔵	
5-M10	川西 英	『たやすい版画の作り方』	1931 (昭和 6)	冊子 (書籍)	18.3×12.5×0.2	個人蔵	
5-M11	旭 正秀	『版画実習読本』	1932 (昭和 7)	冊子 (書籍)	19.0×13.1×0.5	和歌山県立近代美術館	
5-M12	武藤 完一	『エッチング技法』	1938 (昭和 13)	冊子 (書籍)	22.1×15.2×0.1	個人蔵	
5-M13	小野 忠重	『新理念 版画の技法』	1942 (昭和 17)	冊子 (書籍)	18.2×12.9×0.8	個人蔵	
5-M14	今 純三	『版画の新技法』	1943 (昭和 18)	冊子 (書籍)	18.8×13.4×1.3	個人蔵	
5-M15	大宮 昇	『絵画と印刷』	1944 (昭和 19)	冊子 (書籍)	18.8×13.4×1.3	個人蔵	
5-M16		『版画 CLUB』第1年第1号	1929 (昭和 4)	冊子 (雑誌)	27.6×20.0×0.1	和歌山県立近代美術館	
5-M17		『日本創作版画協会 第6回展覧会目録』表紙掲載 作品:石井 鶴三	1924 (大正 13)	冊子	17.0×13.1×0.1	和歌山県立近代美術館	
5-M18		『日本創作版画協会 第7回展覧会目録』表紙掲載 作品:恩地 孝四郎	1927 (昭和 2)	冊子	15.1×11.5×0.1	和歌山県立近代美術館	
5-M19		『日本創作版画協会 第8回展覧会目録』	1928 (昭和 3)	冊子	15.3×11.1×0.2	和歌山県立近代美術館	
5-M20		『日本創作版画協会 第9回展覧会目録』表紙掲 載作品:平塚 運一	1929 (昭和 4)	冊子	15.3×11.1×0.2	和歌山県立近代美術館	

第6章 版画の東西—震災、都市、モダニズム

6-1	平塚 運一	ニコライ会堂《東京震災跡風景》	1923 (大正 12)	木版	28.8×21.2	和歌山県立近代美術館	
6-2	平塚 運一	あさくさ《東京震災跡風景》	1925 (大正 14)	木版	28.3×21.2	和歌山県立近代美術館	
6-3	稲垣 知雄	関東大震災直後の如水館	1924 (大正 13)	木版	20.1×29.5	和歌山県立近代美術館	
6-4	前川 千帆	地下鉄《新東京百景》第3輯第22号	1931 (昭和 6)	木版	18.1×24.3	和歌山県立近代美術館	
6-5	藤森 静雄	七月・花火の両国(隅田川)《大東京十二景》	1933 (昭和 8)	木版	31.7×24.2	和歌山県立近代美術館	
6-6	武藤 六郎	東京駅《武藤六郎版画集》第1輯	1932 (昭和 7)	木版	23.0×32.1	和歌山県立近代美術館	
6-7	武藤 六郎	清洲橋《武藤六郎版画集》第1輯	1933 (昭和 8)	木版	21.2×30.0	和歌山県立近代美術館	
6-8	山口 進	永代橋《帝都復興二十五景》	1930 (昭和 5)	木版	24.4×18.0	和歌山県立近代美術館	
6-9	平川 清蔵	[クレーン]	1932 (昭和 7) 頃	リノカット	23.0×16.4	和歌山県立近代美術館	
6-10	藤牧 義夫	「新版画集団第2回展」ポスター	1933 (昭和 8)	木版	54.2×26.6	和歌山県立近代美術館	
6-11	水船 六洲	「新版画第2回展」ポスター	1933 (昭和 8)	木版	31.8×23.9	和歌山県立近代美術館	
6-12	小野 忠重	死を回る人々	1933 (昭和 8)	木版	49.0×62.2	和歌山県立近代美術館	前
6-13	小野 忠重	工場街	1935 (昭和 10)	木版	48.5×48.5	和歌山県立近代美術館	後
6-14	清水 正博	数寄屋橋より	1933 (昭和 8)	木版	17.9×24.0	和歌山県立近代美術館	
6-15	清水 正博	橋	1935 (昭和 10)	木版	26.1×37.1	和歌山県立近代美術館	
6-16	大久保 一	陸橋	1932 (昭和 7)	木版	16.5×21.1	和歌山県立近代美術館	
6-17	大久保 一	[車軸の折れた馬車(鉄西風景)]	1933 (昭和 8) 頃	木版	16.9×30.3	和歌山県立近代美術館	
6-18	徳力 富吉郎	大秦の牧場	1921 (大正 10) 頃	木版	19.9×28.0	和歌山県立近代美術館	
6-19	徳力 富吉郎	道頓堀の夜	1938 (昭和 13)	木版	22.6×30.3	和歌山県立近代美術館	
6-20	麻田 辨次	燕子花其他	1930 (昭和 5)	木版	48.0×26.1	和歌山県立近代美術館	
6-21	麻田 辨次	花	1936 (昭和 11)	木版	38.9×27.4	和歌山県立近代美術館	
6-22	亀井 藤兵衛	鱒	1927 (昭和 2)	木版	28.9×37.7	和歌山県立近代美術館	
6-24	亀井 藤兵衛	静まれる四条街頭	1928 (昭和 3)	木版	17.6×24.2	和歌山県立近代美術館	
6-25	高橋 三太郎	玉乗り	1928 (昭和 3)	木版	28.2×41.1	個人蔵	
6-26	武田 新太郎	[ステーション売店]	1935 (昭和 10) 頃	木版	52.8×40.0	和歌山県立近代美術館	
6-27	武田 新太郎	[豚]	1936 (昭和 11)	木版	45.0×31.5	和歌山県立近代美術館	
6-28	長永 治良	虫相撲	1932 (昭和 7)	木版	35.5×26.2	和歌山県立近代美術館	
6-29	長永 治良	ガラス器と果物	1933 (昭和 8)	木版	47.6×31.7	和歌山県立近代美術館	
6-30	前田 藤四郎	シウインドー (装飾窓)	1931 (昭和 6)	リノカット	19.8×25.0	個人蔵	
6-31	前田 藤四郎	時計	1932 (昭和 7)	リノカット、銅凸版	26.4×34.1	和歌山県立近代美術館	
6-32	川西 英	サーカス	1933 (昭和 8)	木版	26.0×36.0	和歌山県立近代美術館	
6-33	北村 今三	秋色の阪神パーク《新日本百景》	1939 (昭和 14)	木版	22.8×30.3	和歌山県立近代美術館	
6-34	春村 ただを	[風景]	1928 (昭和 3)	木版	23.6×31.1	和歌山県立近代美術館	
6-35	川上 澄生	クイン『HANGA』第1号 表紙	1924 (大正 13)	木版	24.6×19.4×0.3	和歌山県立近代美術館	
6-36	深澤 素一	土蔵のある風景『HANGA』第3号 表紙	1924 (大正 13)	木版	25.0×18.9×0.3	和歌山県立近代美術館	
6-37	徳力 富吉郎	『大衆版画』第1輯 表紙	1931 (昭和 6)	木版	30.2×22.2×0.5	和歌山県立近代美術館	
6-38	麻田 辨次	井上雪子『大衆版画』第2輯 表紙	1931 (昭和 6)	木版	30.2×22.2×0.4	和歌山県立近代美術館	
6-39	武田 新太郎	『黄楊』創刊号 表紙	1933 (昭和 8)	木版	19.0×26.8×0.8	和歌山県立近代美術館	
6-40	西村 眞琴	『さとぼろ』第1巻第5号 表紙	1925 (大正 14)	木版	26.3×19.2×0.4	個人蔵	
6-41	高久 彌太郎	『さとぼろ』第2巻第4号 表紙	1926 (大正 15)	木版	26.0×19.0×0.3	個人蔵	
6-42	栗山 茂	オセアニヤ土蛮画『ゆうかり』第3輯 表紙	1931 (昭和 6)	木版	29.4×21.3×0.3	和歌山県立近代美術館	
6-43	仲村 岳	『ゆうかり』第14輯 表紙	1933 (昭和 8)	木版	39.3×30.4×0.5	和歌山県立近代美術館	
6-44	田川 憲一	酔ひどれ船『版画長崎』第5輯所収	1935 (昭和 10)	木版	27.7×21.1×0.3	和歌山県立近代美術館	
6-45	棟方 志功	佛婦裸体『青森版画』創刊号 表紙	1939 (昭和 14)	木版	27.3×19.2×0.5	和歌山県立近代美術館	
6-46	伊東 健乃典	瓦斬タンク『九州版画』第24号 表紙	1941 (昭和 16)	木版	27.5×19.2×0.3	和歌山県立近代美術館	
6-47	藤牧 義夫	都会風景『新版画』第3号所収	1932 (昭和 7)	木版	30.6×23×0.5	和歌山県立近代美術館	
6-48	藤牧 義夫	『新版画』第4号 都市田園診断号 表紙	1932 (昭和 7)	木版	29.6×22.5×0.5	和歌山県立近代美術館	

No.	作家名	作品名	制作年	技法	寸法 (cm)	所蔵	前期 後期
6-49	藤牧 義夫	鉄の橋『新版画』第10号 第3回展覧会開催記念号所収	1933 (昭和8)	木版	28.9×21.7×0.3	和歌山県立近代美術館	
6-50	藤牧 義夫	つき『新版画』第12号 第4回展覧会記念号所収	1934 (昭和9)	木版	29.7×21.6×0.4	和歌山県立近代美術館	
6-51	藤牧 義夫	『新版画』第14号 表紙	1934 (昭和9)	木版	29.5×22.0×0.3	和歌山県立近代美術館	
6-52	清水 正博	『新版画』第16号 都市貫流特輯号 表紙	1935 (昭和10)	木版	28.5×21.7×0.3	和歌山県立近代美術館	
第7章 社会のなかで—日本版画協会のころ							
7-1	長谷川 潔	アレキサンドル三世橋とフランスの飛行船	1930 (昭和5)	メゾチント	17.4×30.8	福島県立美術館	
7-2	長谷川 潔	『竹取物語』	1933 (昭和8)	エングレーヴィング、 ドライポイント	31.6×24.4×3.5	和歌山県立近代美術館	
7-3	三木 辰夫	ギャンプリング	1933 (昭和8) 頃	エッチング	12.6×23.6	和歌山県立近代美術館	後
7-4	今 純三	風景	1936 (昭和11)	ドライポイント	24.0×34.1	青森県立郷土館	後
7-5	今 純三	松尾鉱山精錬場	1938 (昭和13)	エッチング	28.0×49.4	青森県立郷土館	前
7-6	武藤 完一	蘇州風景	1940 (昭和15)	エッチング、ドライポイント	29.9×36.4	和歌山県立近代美術館	
7-7	武藤 完一	支那の裏町	1942 (昭和17)	エッチング	45.0×35.6	公益財団法人西宮市大谷記念美術館	前
7-8	武藤 完一	支那の裏町	1950 (昭和25)	エッチング	31.0×36.4	公益財団法人西宮市大谷記念美術館	後
7-9	関野 準一郎	河畔	1936 (昭和11)	エッチング	36.0×46.8	青森県立郷土館	前
7-10	関野 準一郎	埠頭裏	1937 (昭和12)	エッチング	46.0×35.8	青森県立郷土館	後
7-11	神原 浩	銀汀(波切風景)	1936 (昭和11)	エッチング、アクアチント	25.4×28.9	和歌山県立近代美術館	
7-12	曾我尾 武治	船の修理所	1936 (昭和11)	エッチング	46.7×36.2	和歌山県立近代美術館	
7-13	高羽 敏	石仏と子供	1942 (昭和17)	エッチング	28.4×41.0	公益財団法人西宮市大谷記念美術館	前
7-14	高羽 敏	草	1943 (昭和18)	ドライポイント	24.3×44.6	公益財団法人西宮市大谷記念美術館	後
7-15	西田 武雄	岡崎夫人像	1937 (昭和12) 頃	エッチング、ドライポイント	25.3×25.6	青森県立郷土館	
7-16	笠木 實	のぶ	1940 (昭和15)	エッチング、ドライポイント	47.4×36.3	和歌山県立近代美術館	
7-17	駒井 哲郎	河岸	1935 (昭和10)	エッチング	12.2×18.3	和歌山県立近代美術館	
7-18	駒井 哲郎	足場	1942 (昭和17) [1975 (昭和50) 年刷]	エッチング	15.7×19.5	和歌山県立近代美術館	
7-19	織田 一磨	井ノ頭の池	1931 (昭和6)	リトグラフ	43.3×58.5	和歌山県立近代美術館	
7-20	田辺 至	裸婦	1933 (昭和8)	リトグラフ	26.7×22.0	和歌山県立近代美術館	
7-21	田坂 乾	西便門外 (北京)	1938 (昭和13)	リトグラフ	27.2×33.3	和歌山県立近代美術館	
7-22	村井 正誠	ポウトレ・アラブ	1930 (昭和5) 頃	リトグラフ	34.4×28.5	和歌山県立近代美術館	
7-23	梅原 龍三郎	座裸婦<裸婦十題>	1930 (昭和5)	木版、ステンシル	45.2×30.6	和歌山県立近代美術館	
7-24	安井 曾太郎	外房風景<安井曾太郎版画集>	1932 (昭和7)	木版	27.7×39.7	輝開	
7-25	安井 曾太郎	画家とモデル<安井曾太郎版画集>	1934 (昭和9)	木版	39.7×27.8	和歌山県立近代美術館	
7-26	谿 伊之助	金鳳花	1931 (昭和6)	木版	27.4×38.2	和歌山県立近代美術館	
7-27	谿 伊之助	南仏の田舎娘	1931 (昭和6) 頃	木版	36.4×27.8	和歌山県立近代美術館	
7-28	鷹山 宇一	月の形象	1933 (昭和8)	木版	28.6×22.8	和歌山県立近代美術館	
7-29	逸見 亨	サボテンのある風景	1932 (昭和7)	木版	44.0×33.5	和歌山県立近代美術館	後
7-30	旭 正秀	四人の使徒	1933 (昭和8)	木版	28.3×37.5	和歌山県立近代美術館	
7-31	谷中 安規	ムッテル・ショウス (ムッター・ハウス)	1933 (昭和8)	木版・手彩	15.8×21.0	和歌山県立近代美術館	後
7-32	谷中 安規	ドラゴンズドリーム	1939 (昭和14) 頃	木版	22.0×28.1	和歌山県立近代美術館	前
7-33	前川 千帆	夏の花	1939 (昭和14)	木版	31.3×35.2	輝開	
7-34	朝井 清	ぼんぶをおす男	1933 (昭和8)	木版	37.4×44.9	和歌山県立近代美術館	前
7-35	杉本 義夫	海女	1932 (昭和7)	木版	25.2×32.5	和歌山県立近代美術館	
7-36	新田 穰	卓上静物	1944 (昭和19)	木版	24.8×33.8	和歌山県立近代美術館	
7-37	宇治山 哲平	段々畠と無花果	1936 (昭和11)	木版	24.3×31.8	和歌山県立近代美術館	
7-38	斎藤 清	鏡 (自画像)	1938 (昭和13) 頃	木版	36.1×29.0	福島県立美術館	
7-39	水船 六洲	裸婦	1939 (昭和14)	木版	28.0×19.8	和歌山県立近代美術館	
7-40	勝平 得之	みろり<秋田風俗十題>	1939 (昭和14)	木版	27.3×37.9	和歌山県立近代美術館	前
7-41	畦地 梅太郎	草津白根山	1940 (昭和15)	木版	30.5×45.7	和歌山県立近代美術館	後
7-42	川西 英	古道具屋	1941 (昭和16)	木版	45.3×60.4	和歌山県立近代美術館	
7-43	平塚 運一	湖へゆく道、信州木崎湖	1933 (昭和8)	木版	29.0×36.7	輝開	
7-44	平塚 運一	高野山奥の院	1941 (昭和16)	木版	37.4×45.4	和歌山県立近代美術館	
7-45	北川 民次	メキシコの浴み	1941 (昭和16) [小野 忠重 摺]	木口木版	26.0×28.4	和歌山県立近代美術館	
7-46	恩地 孝四郎	南海への思念	1942 (昭和17)	木版	84.2×59.8	和歌山県立近代美術館	
7-47	杉原 正巳	作品2<版画集>	1944 (昭和19) 頃	木版	32.6×27.7	和歌山県立近代美術館	
7-48	杉原 正巳	作品4<版画集>	1944 (昭和19) 頃	木版	36.1×27.7	和歌山県立近代美術館	
7-49	加藤 太郎	朴<版画集>	1938 (昭和13) 頃	木版	36.1×23.5	和歌山県立近代美術館	
7-50	加藤 太郎	トンボ<版画集>	1944 (昭和19) 頃	木版	21.1×14.3	和歌山県立近代美術館	
7-51	平塚 運一	『きつつき』創刊号 表紙	1930 (昭和5)	木版	26.5×19.7×0.4	和歌山県立近代美術館	
7-52	前田 藤四郎	粉飾術『きつつき』第3号 静物号所収	1931 (昭和6)	リノカット	27.3×19.9×0.4	和歌山県立近代美術館	
7-53	料治 朝鳴	からたちの花『白と黒』[第1次] 第25号 表紙	1932 (昭和7)	木版	30.9×22.0×0.4	和歌山県立近代美術館	
7-54	棟方 志功	貴女行路『白と黒』[第1次] 第26号所収	1932 (昭和7)	木版	30.2×22.0×0.4	和歌山県立近代美術館	
7-55	棟方 志功	蝶々と女『白と黒』[第1次] 第27号所収	1932 (昭和7)	木版	31.0×22.3×0.4	和歌山県立近代美術館	
7-56	谷中 安規	シネマ『白と黒』[第1次] 第28号 特輯新秋号 所収	1932 (昭和7)	木版	30.5×22.1×0.5	和歌山県立近代美術館	
7-57	谷中 安規	髪模様『白と黒』[第1次] 第37号 表紙	1933 (昭和8)	木版	30.2×22.0×0.4	和歌山県立近代美術館	
7-58	若山 八十氏	『孔版』創刊号 表紙	1942 (昭和17)	謄写版	21.0×15.0×0.2	和歌山県立近代美術館	
7-59	小泉 與吉	『謄写版』第1巻 第2号 表紙	1935 (昭和10)	謄写版	18.5×15.6×0.2	和歌山県立近代美術館	
7-M1		『エッチング』87号 (2月号) 表紙掲載作品: 長谷川 潔 静物(花)	1940 (昭和15)	冊子 (雑誌)	26.3×19.2×0.1	和歌山県立近代美術館	
7-M2		『エッチング』95号 (11月号) 表紙掲載作品: 笠木 實 のぶ	1940 (昭和15)	冊子 (雑誌)	26.5×19.2×0.1	和歌山県立近代美術館	
7-M3		『エッチング』106号 (11月号) 表紙掲載作品: 駒井 哲郎 河岸	1941 (昭和16)	冊子 (雑誌)	26.6×18.9×0.1	和歌山県立近代美術館	
7-M4		『エッチング』111号 (4月号) 表紙掲載作品: 高羽 敏 石仏と子供	1942 (昭和17)	冊子 (雑誌)	26.2×19.0×0.1	和歌山県立近代美術館	

No.	作家名	作品名	制作年	技法	寸法 (cm)	所蔵	前期 後期
第8章 版画の戦後—再生、そして世界へ							
8-1	棟方 志功	二菩薩釈迦十大弟子	1939 (昭和 14)	木版 (二曲六隻屏風)	100.5×50.5	千葉市美術館	前
8-2	棟方 志功	二菩薩釈迦十大弟子	1939/48 (昭和14/23) 1967 (昭和 42)	木版 (六曲一双屏風)	101.5×38.0	一般財団法人棟方志功 記念館	後
8-3	斎藤 清	ミルク	1949 (昭和 24)	木版	36.6×29.8	福島県立美術館	
8-4	斎藤 清	凝視 (花)	1950 (昭和 25)	木版	60.0×41.1	福島県立美術館	
8-5	駒井 哲郎	東の間の幻影	1951 (昭和 26)	サンドペーパーによる エッチング	18.0×29.1	福島県立美術館	
8-6	駒井 哲郎	海底の祭	1951 (昭和 26)	メゾチント、 ソフトグラウンドエッチング	23.9×17.2	福島県立美術館	
8-7	恩地 孝四郎	フォルム No.14 グロテスク (II)	1952 (昭和 27)	マルチブロック	45.8×35.2	和歌山県立近代美術館	前
8-8	恩地 孝四郎	ポエム No.22 葉っぱと雲	1953 (昭和 28)	マルチブロック	43.5×34.0	和歌山県立近代美術館	後
8-9	山口 源	能役者	1958 (昭和 33)	木版	83.9×45.7	福島県立美術館	
8-10	品川 工	息吹き	1959 (昭和 34)	木版	61.8×45.2	和歌山県立近代美術館	
8-11	吉田 政次	地の泉 No.1	1956 (昭和 31)	木版	51.9×83.2	和歌山県立近代美術館	前
8-12	上阪 雅人	鉄橋	1950 (昭和 25)	木版	54.0×70.5	和歌山県立近代美術館	後
8-13	萩原 英雄	石の花 (赤)	1960 (昭和 35)	木版	87.2×58.3	和歌山県立近代美術館	後
8-14	吹田 文明	開かれた世界	1967 (昭和 42)	木版	60.2×90.0	和歌山県立近代美術館	前
8-15	関野 準一郎	ニコライ堂 (聖堂)	1950 (昭和 25)	エングレーヴィング	23.5×32.0	青森県立美術館	
8-16	関野 準一郎	郊外の景	1948 /1950 (昭和 23/25)	メゾチント	28.2×36.0	青森県立美術館	
8-17	関野 準一郎	フィレンツェの屋根	1959 (昭和 34)	木版	81.2×55.7	和歌山県立近代美術館	前
8-18	長谷川 潔	玻璃球のある静物	1959 (昭和 34)	メゾチント	35.8×25.9	福島県立美術館	後
8-19	長谷川 潔	狐と葡萄 (ラ・フォンテーヌ寓話)	1963 (昭和 38)	メゾチント	36.0×26.8	福島県立美術館	前
8-20	浜口 陽三	スペイン風油入れ	1954 (昭和 29)	メゾチント	28.8×28.5	和歌山県立近代美術館	前
8-21	浜口 陽三	パリの屋根	1956 (昭和 31)	カラーメゾチント	18.5×18.5	和歌山県立近代美術館	
8-22	浜口 陽三	青いガラス	1957 (昭和 32)	カラーメゾチント	11.6×11.6	和歌山県立近代美術館	前
8-23	浜口 陽三	19と1つのさくらんぼ	1965 (昭和 40)	カラーメゾチント	23.4×53.7	和歌山県立近代美術館	後
8-24	浜田 知明	初年兵哀歌 (歩哨)	1951 (昭和 26)	エッチング、アクアチント	30.4×21.5	福島県立美術館 河野保雄コレクション	後
8-25	浜田 知明	初年兵哀歌 (歩哨)	1954 (昭和 29)	エッチング、アクアチント	23.9×16.2	福島県立美術館	前
8-26	深沢 幸雄	ダンテ『神曲』〈地獄篇〉より プルネット・ラティエ ニ	1956 (昭和 31)	エッチング、ディープ エッチング、ソフトグラウンド エッチング、ルーレット	35.8×28.9	和歌山県立近代美術館	後
8-27	深沢 幸雄	めし	1956 (昭和 31)	メゾチント	17.2×10.2	和歌山県立近代美術館	前
8-28	瑛九	旅人	1957 (昭和 32)	リトグラフ	37.1×52.0	和歌山県立近代美術館	
8-29	泉 茂	深夜のセロ弾き	1954 (昭和 29)	エッチング、アクアチント	18.3×10.6	和歌山県立近代美術館	後
8-30	泉 茂	インディアン	1956 (昭和 31)	リトグラフ	48.8×39.0	和歌山県立近代美術館	
8-31	巖嘯	田園	1956 (昭和 31)	リトグラフ	53.4×72.8	和歌山県立近代美術館	後
8-32	池田 満寿夫	女・動物たち	1960 (昭和 35)	ドライポイント、 アクアチント	23.8×18.1	国立国際美術館	後
8-33	池田 満寿夫	ヴォーグから来た女	1966 (昭和 41)	ドライポイント、エッチング、 エングレーヴィング	40.7×44.8	国立国際美術館	前
8-34	菅井 汲	サムライ	1958 (昭和 33)	リトグラフ	65.0×48.0	和歌山県立近代美術館	
8-35	加納 光於	星・反芻学 I	1961 (昭和 36)	インタリオ	66.1×32.7	和歌山県立近代美術館	
8-36	加納 光於	星・反芻学 II	1962 (昭和 37)	インタリオ	33.1×67.7	福島県立美術館	
8-37	村井 正誠	風	1962 (昭和 37)	リトグラフ	64.0×52.0	和歌山県立近代美術館	
8-38	村井 正誠	黒い太陽	1962 (昭和 37)	リトグラフ	56.0×42.0	和歌山県立近代美術館	
8-39	オノサト トシノブ	二つの円 緑・赤	1959 (昭和 34)	リトグラフ	31.0×49.3	和歌山県立近代美術館	
8-40	岩根 豊秀	ひなげし	1951 (昭和 26)	謄写版	24.7×18.7	和歌山県立近代美術館	
8-41	岩根 豊秀	彦根城の石垣	制作年不詳	謄写版	35.5×24.6	和歌山県立近代美術館	
8-42	福井 良之助	静物	制作年不詳	謄写版	21.6×40.7	和歌山県立近代美術館	後
8-43	福井 良之助	けし (2)	1959 (昭和 34)	謄写版	26.7×39.3	和歌山県立近代美術館	前
8-44	若山 八十氏	妖	1963 (昭和 38)	謄写版 (和紙孔版)	42.0×54.4	和歌山県立近代美術館	後
8-45	若山 八十氏	浮	1967 (昭和 42)	謄写版 (和紙孔版)	40.6×54.5	和歌山県立近代美術館	前
8-46	清水 武次郎	白い花	1960 (昭和 35)	謄写版 (和紙孔版)	42.9×28.0	和歌山県立近代美術館	前
8-47	清水 武次郎	曲	1963 (昭和 38)	謄写版 (和紙孔版)	28.5×42.7	和歌山県立近代美術館	後
8-M1	関野 準一郎	銅版画頒布会第一回作品・聖堂・解説	1950 (昭和 25)	謄写版	25.4×35.9	青森県立美術館	
8-M2	関野 準一郎	銅版画頒布会第二回作品・郊外の景・解説	1950 (昭和 25)	謄写版	25.4×35.8	青森県立美術館	
8-M3	関野 準一郎	エッチング頒布会十二回完了の為のお願	1952 (昭和 27)	謄写版	25.1×36.2	青森県立美術館	
第9章 版への問い—版画の「現代」							
9-1	横尾 忠則	腰巻お仙	1966 (昭和 41)	シルクスクリーン	102.7×72.0	和歌山県立近代美術館	後
9-2	横尾 忠則	第 6 回東京国際版画ビエンナーレ展	1968 (昭和 43)	オフセット	107.8×75.8	和歌山県立近代美術館	前
9-3	両角 修	No.13	1972 (昭和 47)	木版	91.6×56.1	和歌山県立近代美術館	
9-4	百瀬 寿	S-Silver and Gold by Silver and Gold	1986 (昭和 61)	シルクスクリーン	90.2×90.2	福島県立美術館	前
9-5	吉原 英雄	シーソー I	1968 (昭和 43)	リトグラフ、エッチング	100.1×100.2	和歌山県立近代美術館	
9-6	巖嘯	レインボー北斎 ポジション A	1970 (昭和 45)	シルクスクリーン、 コラーージュ	89.8×134.9	福島県立美術館	
9-7	井田 照一	Stone, Paper and Stone	1976 (昭和 51)	リトグラフ	95.3×62.7	和歌山県立近代美術館	前
9-8	木村 光佑	現在位置 - 存在	1970 (昭和 45)	リトグラフ、 シルクスクリーン	73.8×103.0	和歌山県立近代美術館	後
9-9	黒崎 彰	闇のコンポジション	1970 (昭和 45)	木版	79.6×55.0	福島県立美術館	
9-10	高松 次郎	英語の単語	1970 (昭和 45)	オフセットリトグラフ	78.7×54.4	和歌山県立近代美術館	後
9-11	吉田 克朗	Work 9	1970 (昭和 45)	シルクスクリーン	72.7×75.1	和歌山県立近代美術館	前
9-12	李禹煥	関係項 -B	1979 (昭和 54)	木版	60.0×80.8	和歌山県立近代美術館	後
9-13	李 禹煥	遺跡地にて 2	1984 (昭和 59)	リトグラフ	67.1×82.0	福島県立美術館	前
9-14	木村 秀樹	Pencil 2-3	1974 (昭和 49)	シルクスクリーン	75.2×106.8	和歌山県立近代美術館	
9-15	齋藤 智	Untitled C	1976 (昭和 51)	シルクスクリーン	56.5×70.3	和歌山県立近代美術館	後
9-16	一原 有徳	ZOP 84	1984 (昭和 59)	モノタイプ	160.2×120.0	和歌山県立近代美術館	後
9-17	小枝 繁昭	Still Life on the Table #3	1990 (平成 2)	シルクスクリーン、 アクリル絵具	179.3×117.8	和歌山県立近代美術館	
9-18	小林 敬生	蘇生の刻 S63-12	1988 (昭和 63)	木口木版、コラーージュ	100.0×170.1	和歌山県立近代美術館	
9-19	辰野 登恵子	May-7-91	1991 (平成 3)	リトグラフ	192.1×130.4	福島県立美術館	前

No.	作家名	作品名	制作年	技法	寸法 (cm)	所蔵	前期 後期
第10章 版に託す私、心、イメージ							
10-1	清宮 質文	ある空間(蝶)	1962 (昭和 37)	木版	22.2×25.1	福島県立美術館	後
10-2	清宮 質文	九月の海辺	1970 (昭和 45)	木版	13.5×23.4	福島県立美術館	前
10-3	斎藤 清	会津の冬 (I)	1970 (昭和 45)	木版	38.4×52.8	福島県立美術館	
10-4	野田 哲也	日記 1976 年 8 月 19 日	1976 (昭和 51)	木版、シルクスクリーン	70.9×47.1	福島県立美術館	
10-5	山中 現	第二夜	1984 (昭和 59)	木版	58.8×42.3	福島県立美術館	
10-6	日和崎 尊夫	KALPA-X	1969 (昭和 44)	木口木版	24.4×22.2	福島県立美術館	
10-7	日和崎 尊夫	KALPA- 夜	1972 (昭和 47)	木口木版	33.0×27.5	福島県立美術館	
10-8	柄澤 齊	肖像画 IV アルチュール・ランボー	1982 (昭和 57) / 1988 (昭和 63) [深沢幸雄による 没後刷]	木口木版	19.4×14.6	福島県立美術館	
10-9	柄澤 齊	肖像画 VII シャルル・ボードレー	1983 (昭和 58)	木口木版	17.1×16.0	福島県立美術館	
10-10	秀島 由己男	風の舟 A	1981 (昭和 56)	メゾチント	53.4×35.9	福島県立美術館	
10-11	菊池 伶司	Writing-Lecture	1968 (昭和 43)	エッチング、アクアチント	41.2×42.8	和歌山県立近代美術館	
10-12	北川 健次	午後	1975 (昭和 50)	エッチング、アクアチント	39.2×31.8	和歌山県立近代美術館	
10-13	清原 啓子	久生十蘭に捧ぐ	1982 (昭和 57) / 1988 (昭和 63) [深沢幸雄による 没後刷]	エッチング	55.0×31.1	和歌山県立近代美術館	
10-14	安部 直人	卵型二態 III	1990 (平成 2)	ディープエッチング、 メゾチント	42.2×59.6	福島県立美術館	
10-15	中林 忠良	転位 '82- 地 -II (秋)	1982 (昭和 57) / 1988 (昭和 63) [深沢幸雄による 没後刷]	エッチング、アクアチント	42.2×59.6	和歌山県立近代美術館	
10-16	長岡 國人	Homage to 6 Japanese Nobel Prize Winners No.1	1986 (昭和 61)	エッチング、フロタージュ、 アクアチント	49.2×39.0	和歌山県立近代美術館	
10-17	池田 良二	cape watershed (岬の分水嶺)	1988 (昭和 63)	フォトエッチング、 エッチング、アクアチント、 ドライポイント、メゾチント	57.7×75.7	和歌山県立近代美術館	
10-18	山口 啓介	繭の記憶	1991 (平成 3)	エッチング	156.0×180.0	国立国際美術館	
10-19	藤田 修	Visitor	1993 (平成 5)	フォトエッチング、 エッチング、アクアチント	79.5×108.5	和歌山県立近代美術館	
10-20	山本 桂右	光・時間・静寂 No.13	1995 (平成 7)	リトグラフ	60.0×85.1	和歌山県立近代美術館	
10-21	大宮 政郎	ミリオンカラットの友人たち III (宮沢賢治)	1987 (昭和 62)	エッチング / 綿	83.1×26.3	福島県立美術館	
10-22	太田 三郎	POST WAR 46-47 兵士の肖像	1994 (平成 6)	コピー	28.5×15.2	和歌山県立近代美術館	
10-22a		堀山信太郎 (1921-1944) 朝日新聞東京版夕刊掲載 1992 年 7 月 2 日					
10-22b		中山成雄 (1913-1940) 朝日新聞東京版夕刊掲載 1992 年 9 月 3 日					
10-22c		兵藤春次郎 (1922-1946) 朝日新聞東京版夕刊掲載 1992 年 9 月 10 日					
10-22d		村田弘道 (1918-1944) 朝日新聞東京版夕刊掲載 1992 年 10 月 1 日					
10-22e		松山孝次 (1926-1945) 朝日新聞東京版夕刊掲載 1993 年 4 月 1 日					
10-22f		片田彰吾 (1915-1944) 朝日新聞東京版夕刊掲載 1993 年 4 月 8 日					
10-22g		片田四朗 (1917-1945) 朝日新聞東京版夕刊掲載 1993 年 4 月 8 日					



ポスター



チラシ表/裏



図録



技法リーフレット



会場風景

2-1. もようづくし

- 会期 : 2020年5月8日(金)～6月28日(日) 45日間
*前期展示:5月8日(金)～5月31日(日)、後期展示:6月2日(火)～6月28日(日)
*新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開会を予定していた4月25日(土)から5月6日(水)までを臨時休館とし、5月8日(金)から開館した。
- 会場 : 展示室C(2階)
主催 : 和歌山県立近代美術館
入場者数 : 2,616名
内容 : 当館所蔵品を中心に、県立紀伊風土記の丘、県立博物館、市立博物館、県立自然博物館からの協力も得て、作品だけでなく考古資料や標本等を借用して展示。色々な角度から私たちの世界をとりまく模様アプローチし、美術表現としてのその可能性についても再考した。1.人のいとなみと模様、2.模様化と抽象化、3.模様を引用する、4.模様再考 具象・抽象を超えて、5.ちょっとよみみち身の回りにある自然の模様、の5部で構成。
- 展示点数 : 53作家 254点(うち資料・標本 136点)
担当学芸員 : 藤本真名美
関連事業 : ・和歌山県立近代美術館公式 Youtube チャンネルにて Web シンポジウム「もようがたり」ウェブ配信(6月23日配信)
「イントロダクション」
「縄文・弥生時代の土器と文様」講師:萩野谷正宏(県立紀伊風土記の丘学芸員)
「仏を荘厳する金色の模様」講師:大河内智之(県立博物館学芸員)
「駿河屋の菓子木型に見る模様」講師:近藤壮(共立女子大学准教授、前市立博物館館長)
「魚の体表に見る模様」講師:揖善継(県立自然博物館学芸員)
「近現代の美術と模様」講師:藤本真名美(当館学芸員)
各パネリストによる討議は書き起こしの上、紙上シンポジウムとして『和歌山県立近代美術館ニュース』105号(2021年3月16日、pp.3-6)に掲載
*新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、下記は中止
・ワークショップ「もよう採集」5月5日(火・祝) 13:00～17:00 講師:染谷聡(漆作家)
・シンポジウム「もようがたり」6月21日(日) 14:00～15:30 講師:萩野谷正宏、大河内智之、近藤壮、揖善継、藤本真名美 →上記 Web シンポジウムとして実施
・フロアレクチャー 5月3日(日)、6月7日(日) 14:00～15:00
・たまごせんせいとわくわくアートツアー(和歌山大学美術館部の学生による鑑賞ガイド) 4月29日(水・祝) 13:00～14:00
・こども美術館部 5月2日(土) 11:00～12:00
・だれでも美術館部 5月2日(土) 14:00～15:00
- 制作物 : ・ポスター(B2判、オフセット印刷)
・チラシ(A4判、オフセット印刷)
・出品目録(A4判8頁)
・プレスリリース(A4判4頁)
・Web シンポジウム プレスリリース(A4判1頁)
・英語版概要(A4判1頁)
- 入場料金 : 一般520円(410円)、大学生300円(260円)()内は20名以上の団体料金
工夫 : 展示室空間をどのエリアからも自由に行き来できるよう構成し、美術とそれ以外のジャンルとをリンクさせながら観覧できるよう工夫した。自然博物館から借用した資料に関しては、同館学芸員による解説も付した。
- 自己評価・課題・改善案: 県立3館と市立博物館から協力を得て、ジャンル横断的に「もよう」の面白さに迫ることができた。コロナ禍の影響が出始めた頃で、当初予定していたワークショップ等が中止となったのは残念であった。シンポジウムも集客しての開催は叶わなかったが、Zoomの録画機能を活用して、Web シンポジウムおよび当館ニュースの紙上シンポジウムとして実現させることができた。
- 関連記事(新型コロナウイルスによる臨時休館に関する記事を含む):
・「企画展「もようづくし」『わかやま探検ミュージアム』vol.58 4・5月、2020年4月1日発行
・「休業要請きょうから 県が遊戯施設など対象に 博物館や文化会館も 公共施設の閉鎖さらに拡大」『わかやま新報』2020年4月25日、1面
・「新型コロナ 事業者 休業対応急ぐ きょうから「準備短く補償ない」『読売新聞』2020年4月25日、25面
・「企画展延期「非常に残念」 休業要請 県立近代美術館 準備数か月」『読売新聞』2020年4月26日、23面
・「休業要請15日まで延長 県博物館や美術館は解除」『読売新聞』2020年5月6日、25面
・新宮達「博物館などが再開 県外客は自粛要請継続」『毎日新聞』2020年5月8日、20面
・「美術館など8日から再開 緊急事態宣言延長で県が方針」『わかやま新報』2020年5月8日、7面
・「再開へ動き出す博物館、美術館 アクリル板、消毒液…対策万全」『産経新聞』2020年5月8日、20面
・「和歌山市3施設再開 県立一部施設きょうから」『読売新聞』2020年5月8日、22面
・田島広景、澤俊太郎、後藤奈緒「コロナ緊急事態延長 初の週末 警戒胸に 外へ 和歌山 美術館再開」『毎日新聞』2020年5月9日、1面
・「抗原検査13日承認 保険適用15分でコロナ判定」『産経新聞』2020年5月10日、1面
・「自粛疲れ心癒やす 美術館など再開に市民ら」『読売新聞』2020年5月10日、23面
・後藤奈緒、木村綾「新型コロナ 休業要請緩和 初の週末もひっそり 一部文化施設 日常には遠く」『毎日新聞』2020年5月10日、18面

- ・最上聡「「模様」から見るアート 近代美術館 土器や絵画など 253点」『毎日新聞』2020年5月13日、19面
- ・「和歌山で美術館が開館、「県外からの来館は自粛お願い」」『Lmaga.jp』2020年5月15日（ウェブ配信）
- ・「文化施設悩みつつ… 図書館車で本受け渡し 美術館企画展は延期」『朝日新聞』2020年5月18日、23面
- ・「和歌山県立近代美術館で企画展「もようづくし」 県立・市立博物館などとコラボ」『和歌山経済新聞』2020年5月22日（ウェブ配信）
- ・「ギョギョッと和歌山 NHK 和歌山放送局 2020年5月25日、26日、27日、28日、29日 18:30～（もようづくし展を計5回特集）
- ・「美術館 順次再開 当面は越境の来場控えて」『毎日新聞』2020年5月27日、17面
- ・最上聡「学芸員「模様」を語る 県立近代美術館 配信用シンボル収録」『毎日新聞』2020年6月22日、20面
- ・「5館連携で語る「もよう」 ウェブシンポの映像公開へ」『わかやま新報』2020年6月23日、7面（7月2日ウェブ配信）

情報掲載：・「美術館・博物館」『毎日新聞』2020年6月11日17面、18日19面、25日19面

もようづくし 出品目録

前期5月8日～5月31日／後期6月2日～6月28日 *特に記載のない作品は当館蔵

No.	作者名	作品名	制作年	材質、技法	寸法 (cm)	所蔵/備考	前期 後期
第1章 人のいとなみと模様							
1	染谷聡	緑鹿(サイクルジカ)	2008(平成20)	漆(乾漆技法)、葉莢、鹿の角、金銀ほか	80.0×55.0×45.0	田中恒子氏寄贈	
	[資料]	考古資料 9点 (縄文土器片、弥生土器片、須恵器片、石刀 川辺遺跡出土、装飾太刀 伝岩橋千塚出土、西国分廃寺軒丸瓦、上野廃寺軒丸瓦、鷲の森御坊軒丸瓦)				和歌山県立紀伊風土記の丘	
	[資料]	縄文土器 深鉢 廣島遺跡出土				和歌山県教育委員会	
2	深沢幸雄	古い楽譜(青)	1965(昭和40)	銅版、紙	59.5×36.2	作者寄贈	
3	栗山茂	古代の賦・装	1989(平成元)	紙版、紙	60.0×74.8	栗山薫氏寄贈	
4	栗山茂	古代の賦-大和挽歌	1995(平成7)	紙版、紙	70.6×54.5	栗山薫氏寄贈	
5	栗山茂	古代の賦-農耕の民	1985(昭和60)	紙版、紙	65.2×52.3	栗山薫氏寄贈	
6	栗山茂	古代の賦 地下の囁き	1993(平成5)	紙版、紙	73.0×58.7	栗山薫氏寄贈	
7	栗山茂	古代の賦-さつき	2010(平成22)	木版・トナー、紙	53.5×38.3	栗山薫氏寄贈	
8	橋口五葉	喜多川歌麿「婦人相学十躰 浮気之相」復刻	制作年不詳(大正期)	木版、紙	39.0×26.0	橋口幸子氏寄贈	
9	橋口五葉	喜多川歌麿「婦人手業操鏡 機織」復刻	制作年不詳(大正期)	木版、紙	38.3×24.9	橋口幸子氏寄贈	
10	橋口五葉	喜多川歌麿「艶中八仙 琴高」復刻	制作年不詳(大正期)	木版、紙	38.8×25.5	橋口幸子氏寄贈	
11	橋口五葉	喜多川歌麿「当時三美人」復刻	制作年不詳(大正期)	木版、紙	38.2×25.3	橋口幸子氏寄贈	
12	橋口五葉	喜多川歌麿「錦織歌麿形新模様 白うちかけ」復刻	制作年不詳(大正期)	木版、紙	38.2×24.8	橋口幸子氏寄贈	
13	橋口五葉	喜多川歌麿「婦女人相十品 煙草の煙を吹く女」復刻	制作年不詳(大正期)	木版、紙	38.2×25.5	橋口幸子氏寄贈	
14	橋口五葉	喜多川歌麿「玉屋内若梅」復刻	制作年不詳(大正期)	木版、紙	37.1×25.1	橋口幸子氏寄贈	
15	小糸源太郎	横たわる裸婦	制作年不詳	油彩、ボード	22.8×35.3×2.0	篠田博之・篠田めぐみ氏寄贈	
16	山下新太郎	臥婦	制作年不詳(1910年代)	油彩、キャンバス	79.5×140.7	個人蔵	
17	富本憲吉	壺	1920(大正9)頃	木版、紙	17.0×15.6		
18	麻田辨自	煙管	制作年不詳	木版、紙	36.7×24.2		
19	内田静馬	[金魚鉢]	制作年不詳	木版、紙	37.6×27.6		
20	草間彌生	果物	1984(昭和59)	シルクスクリーン、紙	45.5×52.9		
21	草間彌生	花	1984(昭和59)	シルクスクリーン、紙	52.9×45.5		
22	草間彌生	私の犬のリンリン	2009(平成21)	ウレタン樹脂、シリコン	10.9×5.0×2.0	KDDI 株式会社寄贈	
23	草間彌生	宇宙へ行くときのハンドバッグ	2009(平成21)	ウレタン樹脂ほか	5.8×11.2×1.9	KDDI 株式会社寄贈	
24	草間彌生	ドッツ・オブセッション、水玉で幸福いっぱい	2009(平成21)	ウレタン樹脂、アクリルほか	11.0×5.0×3.0	KDDI 株式会社寄贈	
25	福田美蘭	Handkerchief	1996(平成8)	市販のハンカチーフ、インク	47.0×47.0	田中恒子氏寄贈	
26	[作者不詳]	鈴丸焼 交趾写飛輪菓子鉢	江戸時代前期	陶磁器	口径19.3×高さ6.8	和歌山県立博物館	
27	[作者不詳]	三楽園焼 更紗手兜鉢	江戸時代後期	陶磁器	口径18.0×高さ4.7×底径11.6	和歌山県立博物館	
28	[作者不詳]	瑞芝焼 青磁瑞雲文硯	江戸時代後期	陶磁器	17.1×11.2×2.3	和歌山県立博物館	
29	[作者不詳]	借楽園御庭織襪紗	江戸時代後期	染織	27.5×26.7	和歌山県立博物館	
30	[作者不詳]	南紀男山焼 染付八つ藤紋火鉢	江戸時代後期	陶磁器	口径20.1×高さ14.2×底径12.5	和歌山県立博物館	
31	[作者不詳]	借楽園焼 染付菊唐草鬼面文香炉	江戸時代後期	陶磁器	口径17.2×総高12.2×胴張19.3	和歌山県立博物館	
32	前田常作	『西国巡礼』15 新那智山 観音寺	1988(昭和63)	リトグラフ、紙	67.0×49.8	山本陽一氏寄贈	
33	前田常作	『西国巡礼』31 姨綺耶山 長命寺	1988(昭和63)	リトグラフ、紙	66.9×49.8	山本陽一氏寄贈	
34	前田常作	『西国巡礼』33 谷汲山 華嚴寺	1988(昭和63)	リトグラフ、紙	67.0×49.7	山本陽一氏寄贈	
35	申璋湜	アリランー祈りI	1990(平成2)	木版、紙	181.2×360.0	和歌山版画ビエンナーレ実行委員会寄贈	
36	[作者不詳]	十禅律院本 十六羅漢図のうち「蘇頻陀」	室町時代	顔料、絹	98.1×42.3	和歌山県立博物館	後
37	[作者不詳]	十禅律院本 十六羅漢図のうち「迦哩迦」	室町時代	顔料、絹	98.1×42.3	和歌山県立博物館	前
38	[作者不詳]	十禅律院本 十六羅漢図のうち「伐闍羅弗多羅」	室町時代	顔料、絹	98.1×42.3	和歌山県立博物館	前
39	[作者不詳]	十禅律院本 十六羅漢図のうち「伐那婆斯」	室町時代	顔料、絹	98.1×42.3	和歌山県立博物館	後
40	保田龍門	十禅律院本 十六羅漢図のうち「蘇頻陀」模写	大正～昭和時代	顔料、絹	92.3×42.5	和歌山県立博物館	後
41	保田龍門	十禅律院本 十六羅漢図のうち「迦哩迦」模写	大正～昭和時代	顔料、絹	92.3×42.5	和歌山県立博物館	前
42	保田龍門	十禅律院本 十六羅漢図のうち「伐闍羅弗多羅」模写	大正～昭和時代	顔料、絹	92.3×42.5	和歌山県立博物館	前
43	保田龍門	十禅律院本 十六羅漢図のうち「伐那婆斯」模写	大正～昭和時代	顔料、絹	92.3×42.5	和歌山県立博物館	後
44	鈴木松年	十六羅漢図	制作年不詳	顔料、絹	150.8×50.7	滋賀県立近代美術館	
45	ヴァザレリ、ヴィクトル	PARIS-TOKYO 1 テュパテュ	1980(昭和55)	シルクスクリーン、紙	51.9×52.0		
46	ヴァザレリ、ヴィクトル	PARIS-TOKYO 2 オダール	1980(昭和55)	シルクスクリーン、紙	52.2×52.0		

No.	作者名	作品名	制作年	材質、技法	寸法 (cm)	所蔵/備考	前期 後期
47	ヴァザレリ、ヴィクトル	PARIS-TOKYO 3 スペイン詩	1980 (昭和 55)	シルクスクリーン、紙	52.0×52.0		
48	ヴァザレリ、ヴィクトル	PARIS-TOKYO 4 タカト	1980 (昭和 55)	シルクスクリーン、紙	52.0×52.0		
49	ヴァザレリ、ヴィクトル	PARIS-TOKYO 5 複八方円	1980 (昭和 55)	シルクスクリーン、紙	51.9×51.9		
50	ヴァザレリ、ヴィクトル	PARIS-TOKYO 6 三つの飾り	1980 (昭和 55)	シルクスクリーン、紙	52.0×52.3		
51～65	[川上澄生]	ろまんちっく手摺千代紙 15点	1934 (昭和 9) 以後	木版、紙	各 32.9×22.6		
	[資料]	駿河屋絵手本帖	江戸時代後期	顔料、紙 (冊子体)	16.0×23.5×1.5	和歌山市立博物館	頁替
	[資料]	駿河屋絵手本帖	江戸時代	顔料、紙 (冊子体)	32.5×30.4×2.3	和歌山市立博物館	頁替
	[資料]	駿河屋絵手本帖	江戸時代	顔料、紙 (冊子体)	32.5×30.2×2.5	和歌山市立博物館	頁替
	[資料]	駿河屋絵手本帖	江戸時代	顔料、紙 (冊子体)	32.5×30.3×2.0	和歌山市立博物館	頁替
	[資料]	駿河屋絵手本帖	江戸時代	顔料、紙 (冊子体)	32.5×30.3×2.0	和歌山市立博物館	頁替
	[資料]	駿河屋絵手本帖	江戸時代	顔料、紙 (冊子体)	31.0×21.8×1.7	和歌山市立博物館	頁替
	[資料]	駿河屋絵手本帖	江戸時代	顔料、紙 (冊子体)	32.5×30.2×2.3	和歌山市立博物館	頁替
	[資料]	駿河屋絵手本帖	江戸時代	顔料、紙 (冊子体)	32.0×29.1×2.8	和歌山市立博物館	頁替
	[資料]	駿河屋菓子木型 (古瓦之形)	1857 (安政 4)	木	29.5×5.6×2.7 /29.5×5.6×2.6 /33.4×5.5×2.6	和歌山市立博物館	
	[資料]	駿河屋菓子木型 (青海波)	近代 (明治期)	木	34.7×6.3×2.1	和歌山市立博物館	
	[資料]	駿河屋菓子木型 (山の井)	1837 (天保 8)	木	11.2×25.2×3.6	和歌山市立博物館	
	[資料]	駿河屋菓子木型 (雪花糕)	江戸時代後期	木	7.4×27.0×2.9 /6.8×27.1×2.8	和歌山市立博物館	
	[資料]	駿河屋菓子木型 (比翼糕)	1835 (天保 6)	木	20.7×25.8×3.6	和歌山市立博物館	
	[資料]	駿河屋菓子木型 (天鶏)	1835 (天保 6)	木	18.8×14.1×3.7	和歌山市立博物館	
	[資料]	駿河屋菓子木型 (万代糕)	文政年間	木	9.2×17.9×3.7	和歌山市立博物館	
	[資料]	駿河屋菓子木型 (総合)	江戸時代後期	木	10.4×24.6×3.4	和歌山市立博物館	
	[資料]	駿河屋菓子木型 (紫更紗)	文政年間	木	10.3×16.1×3.7	和歌山市立博物館	
	[資料]	駿河屋菓子木型 (きれかかみ)	1845 (弘化 2)	木	14.8×22.4×5.2	和歌山市立博物館	
	[資料]	駿河屋菓子木型 (大和錦)	19 世紀	木	8.2×14.9×3.2 /8.3×14.8×3.2 /8.5×15.7×3.2 /8.2×14.4×3.1	和歌山市立博物館	
	[資料]	駿河屋菓子木型 (花の袂)	江戸時代後期	木	20.8×12.7×2.6	和歌山市立博物館	
	[資料]	駿河屋菓子木型 (笹蔓糕)	江戸時代後期	木	8.2×12.8×2.7	和歌山市立博物館	
	[資料]	駿河屋菓子木型 (鶴寿紋)	1898 (明治 31)	木	10.8×23.0×6.3	和歌山市立博物館	
	[資料]	駿河屋菓子木型 (雲井の船)	江戸時代後期	木	17.4×10.5×2.9	和歌山市立博物館	
	[資料]	駿河屋菓子木型 (高野山開創 1100 年記念)	1915 (大正 4)	木	33.2×8.7×2.5 /33.2×8.5×2.4	和歌山市立博物館	
第 2 章 模様化と抽象化							
66	マティス、アンリ	『ジャズ』馬、曲馬師、道化師	1947 (昭和 22)	ステンシル、紙	42.2×65.1		
67	ミロ、ジョアン	鏡の前の女	1956 (昭和 31)	リトグラフ、紙	37.5×55.0	田中恒子氏寄贈	
68	ポロック、ジャクソン	無題	1944-55 (昭和 19-30)	エングレーヴィング・ドライポ イント、紙		滋賀県立近代美術館	
69	村井 正誠	パンチュール No. 2	1929 (昭和 4)	油彩、キャンバス	100.2×80.0	作者寄贈	
70	村井 正誠	パンチュール No. 3	1929-33 (昭和 4-8)	油彩、キャンバス	113.5×194.5	作者寄贈	
71	村井 正誠	人々	1975 (昭和 50)	木版、紙	60.5×45.0	村井伊津子氏寄贈	
72	杉全直	きっこう	1962 (昭和 37)	油彩、キャンバス	161.4×130.5		
73	泉 茂	ピーコック	1959 (昭和 34)	エッチング、アクアチント、紙	61.0×45.3	泉照子氏寄贈	
74	泉 茂	ピーコック	1960 (昭和 35)	リトグラフ、紙	47.8×62.2	泉照子氏寄贈	
75	泉 茂	層	1961 (昭和 36)	エッチング、紙	45.0×51.9		
76	泉 茂	FS2008	1967 (昭和 42)	油彩、キャンバス	154.0×249.5	泉照子氏寄贈	
77	菅井 汲	Soleil Vert [緑の太陽]	1968 (昭和 43)	油彩、キャンバス	244.8×330.0		
第 3 章 模様を引用する							
78	柳原 睦夫	雲気紋笑口壺 1	1986 (昭和 61)	陶	51.0×47.0×25.5		
79	森野 泰明	碑	1970 (昭和 45)	陶	32.5×26.5×26.0		
80	佐藤 敏	唐草マン	1973 (昭和 48)	陶	44.0×26.5×30.0	作者寄贈	
81	坪井 明日香	唐織追想	1990 (平成 2)	陶	63.0×44.0×34.0		
82	磯辺 行久	WORK 62-12	1962 (昭和 37)	油彩、紙、大理石粉、塗料、 木	182.2×127.6		
83	横尾 忠則	予兆の刻 I	1989 (平成元)	シルクスクリーン、紙	112.1×71.1		
84	横尾 忠則	予兆の刻 II	1989 (平成元)	シルクスクリーン、紙	112.2×71.1		
85	篠原 有司男	女の祭り	1969 (昭和 44)	石版、紙	73.1×150.7		
86	小泉 雅代	眉 - EYEBROW 8.1/4.2/24.1	1996 (平成 8)	布、綿、水性ニス、アクリル 絵具	10.0×34.0×5.0	田中恒子氏寄贈	
87	宮田 彩加	簞流水図	2015 (平成 27)	布、糸	11.5×25.2×20.5	田中恒子氏寄贈	
第 4 章 模様再考 具象・抽象を超えて							
88	瀧口 修造	無題	制作年不詳	インク (デカルコマニー)、紙	19.9×13.8		
89	坂上 チユキ	Drei Romanzen 1 Romance		銅版、紙	10.8×8.8	田中恒子氏寄贈	
90	坂上 チユキ	Drei Romanzen 2 Requiem		銅版、紙	10.8×8.8	田中恒子氏寄贈	
91	坂上 チユキ	Drei Romanzen 3 Fantasy		銅版、紙	10.8×8.8	田中恒子氏寄贈	
92	名和 晃平	Psychic numbing (blue)	2000 (平成 12)	水性ボールペン、プリント合 板	90.0×89.0	田中恒子氏寄贈	
93	山田 光	作品	1953 (昭和 28)	陶	25.5×13.2×16.0	作者寄贈	
94	ヴァラマネシュ、 ホセイン	CHANGE OF SEASONS	1997 (平成 9)	鉛	51.0×40.5×9.5	田中恒子氏寄贈	

No.	作者名	作品名	制作年	材質、技法	寸法 (cm)	所蔵／備考	前期 後期
95	ヴァラマネシュ、ホセイン	CHANGE OF SEASONS	1997 (平成 9)	樺の皮	51.0×40.5×9.5	田中恒子氏寄贈	
96	ヴァラマネシュ、ホセイン	CHANGE OF SEASONS	1997 (平成 9)	蓮の葉	51.0×40.5×9.5	田中恒子氏寄贈	
97	ヴァラマネシュ、ホセイン	CHANGE OF SEASONS	1997 (平成 9)	百日紅の葉	51.0×40.5×9.5	田中恒子氏寄贈	
98	ヴァラマネシュ、ホセイン	CHANGE OF SEASONS	1997 (平成 9)	白樺皮	51.0×40.5×9.5	田中恒子氏寄贈	
99	河合 晋平	オルプテルアール (リトメオジア寄生)	2005 (平成 17)	ロールパン、樹脂、他	9.0×7.0×5.5	田中恒子氏寄贈	
100	河合 晋平	オルプテルアール (リトメオジア寄生)	2005 (平成 17)	ロールパン、樹脂、他	9.0×7.0×5.5	田中恒子氏寄贈	
101	内海 聖史	色彩の下	2005 (平成 17)	油彩、綿布	30.0×40.0×6.0	田中恒子氏寄贈	
102	内海 聖史	色彩の下	2005 (平成 17)	油彩、綿布	30.0×40.0×6.0	田中恒子氏寄贈	
103	金子 潤	DANGO	1985 (昭和 60)	陶	57.0×72.0×53.0		
104	辰野 登恵子	WORK 87-P-26	1987 (昭和 62)	油彩、キャンバス	227.0×182.2		
105	末松 正樹	立夏	1986 (昭和 61)	油彩、キャンバス	131.8×196.7	香山万里恵氏寄贈	
106	李 禹煥	点より	1980 (昭和 55)	岩彩、キャンバス	193.9×258.8		
107	中西 夏之	L R 一目前のひびき-I・II・III	1988 (昭和 63)	油彩、キャンバス	194.4×146.2 193.7×146.3 194.0×146.3		
108	中村 一美	示差性の絵画—赤と銀	1987 (昭和 62)	アクリル絵具、キャンバス	194.5×162.5		
第 5 章 ちよっとよみち 身の回りにある自然の模様							
109	曾我尾 武治	貝	1961 (昭和 36)	エッチング、紙	30.5×48.6	金子勝則氏寄贈	
110	曾我尾 武治	木塊	1960 (昭和 35)	エッチング、紙	32.0×37.9	金子勝則氏寄贈	
111	曾我尾 武治	梢	1963 (昭和 38)	エッチング、紙	53.0×36.3	金子勝則氏寄贈	
112	曾我尾 武治	木立	制作年不詳	エッチング、紙	36.0×20.7	金子勝則氏寄贈	
113	曾我尾 武治	罌粟(けし)	1962 (昭和 37)	エッチング、紙	22.1×23.6	金子勝則氏寄贈	
114	曾我尾 武治	虫	1960 (昭和 35)	エッチング、紙	15.8×34.4	金子勝則氏寄贈	
115	下村 清時	亀置物	制作年不詳	木	大: 12.3×21.5×6.2 小: 10.2×19.3×5		
116	秀島 由己男	静物考 Cabbage	1985 (昭和 60)	メゾチント、紙	17.6×16.9	小倉キサ子氏氏寄贈	
117	浜口 陽三	貝	1976 (昭和 51)	カラーメゾチント、紙	11.5×11.4		
118	北尾 博史	収集箱(鳥)	1998 (平成 10)	木、アクリル絵具	24.5×46.5	田中恒子氏寄贈	
119 ~ 161	福井 正二郎	日本魚類図譜 43 点 (オイカワ、ヒメ、ベニカエルアンコウ、アカマンボウ、ユキフリソデウオ、ハナタツ、ハナミノカサゴ、ユカタハタ、オオモンハタ、カスミサクラダイ、オオスジハタ、タナバタウオ、チョウセンバカマ、ヨスジフエダイ、コショウダイ、チョウチョウウオ、ユウゼン、タテジマキンチャクダイ、テングダイ、ツボダイ、ミギマキ、オハグロベラ、ササノハベラ、ニシキベラ、キュウセン、トラギス、チャガラ、アミアイゴ、ツノダシ、クロモンツキ、シマウシノシタ、モンガラカワハギ、ナメモンガラ、ソウシハギ、シマフグ、ホシフグ、モヨウフグ、サザナミフグ)	1962-1990 (昭和 37-平成 2)	水彩、紙	各 37.8×26.8	和歌山県立自然博物館	
[資料]		蝶・蛾標本 26 点 (タテハモドキ・コムラサキ・スミナガシ・イシガケチョウ・アサギマダラ・ツマムラサキマダラ・クロメンガタスズメ・キョウチクトウスズメ・モモスズメ・サツマニシキ・シンジュサン・イボタガ・アオスジアゲハ・アゲハ・キアゲハ・ベニモンアゲハ・ミヤマカラスアゲハ・ナガサキアゲハ)				和歌山県立自然博物館	
[資料]		鉱石標本 24 点 (ラピスラズリ・蛍石・ジャスパー・アマゾナイト・ラリマー・桜石・瑪瑙・孔雀石・珪孔雀石・ラブラドライト・ロードクロサイト)				個人蔵	
[資料]		化石標本 9 点 (アンモナイト化石・珪化木・化石珊瑚)				個人蔵	



チラシ表/裏

ポスター



会場風景



2-2. なつやすみの美術館 10 あなたの先日ひしめいて今日

会期 : 2020年7月11日(土)～8月30日(日) 52日間

会場 : 展示室C(2階)

主催 : 和歌山県立近代美術館

入場者数 : 4,416名

内容 : 夏休み中の子供たちをはじめ、だれもが気軽に美術館を訪れ、美術の楽しみ方を体験できる展覧会の10回目。今回は和歌山出身の若手作家、田中秀介氏をゲストに迎え、見慣れた日常が作品となっていく面白さを紹介した。また、県の新政策「おでかけ美術館」へと展開させた(詳細は47～48頁)。1. 睨み、2. 傍ら、3. 案件、4. 案外、5. 他人事、6. 杳然、の6部で構成。

展示点数 : 38作家89点(うち田中秀介作品46点)

担当学芸員 : 奥村泰彦

関連事業 : ・あなたのプログラム

(1) あなたのあたまたにあなたのあしたワークシート

例年通り学校の宿題としての来館呼びかけは困難であったが、学齢を問わない1種のワークシートを作成。

(2) あなたはどこ?ここはだれ?

展示室入口前に、作品と自分との距離感を示す場所を設け、作品のシールを貼って、自分の感覚を記せるようにした。

(3) あなたの今日ひしめくPOST

感想を書いて投函できる「ポスト」を設置。

(4) もより石 <https://www.momaw.jp/2020/moyori/>

ウェブから自由に参加できるワークショップ。道すがら拾った石を携えて一日過ごし、就寝前に一日を振り返りながら印象に残る事柄を石に書き込み、翌日、拾った場所で写真を撮影して元の場所に戻すことで、日常をいつもより意識して過ごせるよう促した。

・夏休みアートワークショップ「思い出を重ねて、誰も知らない思い出を描こう!」

8月8日(土) 13:00～15:00 20名 講師: 田中秀介(画家)

主催: 和歌山県、一般財団法人和歌山県文化振興財団

企画・運営協力: 特定非営利活動法人和歌山芸術文化支援協会(wacss)

協力: 和歌山県立近代美術館

会場: 和歌山県立近代美術館

・たまごせんせいとわくわくアートツアー(和歌山大学美術館部の学生による作品鑑賞会)

8月12日(水) 13:30～14:30 8名/15:00～16:00 17名、8月22日(土) 13:30～14:30 12名/15:00～16:00 12名

・和歌山県立近代美術館公式 Youtube チャンネルにて「なつやすみの美術館 10 あなたの先日ひしめいて今日 展示風景」ウェブ配信(7月12日配信)

・和歌山県立近代美術館公式 Youtube チャンネルにて「田中秀介さんと見る「あなたの先日ひしめいて今日」」ウェブ配信(8月5日配信)

制作物 : ・ポスター(B2判、オフセット印刷)

・チラシ(A4判、オフセット印刷)

・出品目録(A4判6頁)

・プレスリリース(A4判3頁)

・ワークシート1種(A4判4頁)

・もより石ガイド(A5判1頁)

入場料金 : 一般520円(410円)、大学生300円(260円)()内は20名以上の団体料金

工夫 : 日常を元に描く田中秀介氏の視点を収蔵作品への眼差しに拡張し、来館者と体験を共有できる展示となるよう構成を考えた。新型コロナウイルス感染拡大予防の観点から近年の「なつやすみの美術館」展で実施してきた展示室内のワークスペース設置を断念したが、作家の提案による「距離感」をキーワードに展示を構成し、ワークシートをはじめ展示への鑑賞者の主体的な関わりが生まれるよう工夫した。鑑賞後にワークシートに取り組める手がかりとなるよう、出品目録には全作品の画像を掲載した。インターネットを通じて参加者が独自に実施できるワークショップを実施するとともに、作家による解説の配信も行った。

自己評価・課題・改善案 : 作家が制作に取り組む観点を展覧会全体に敷衍し、作家の視点で選ばれた作品を展示として再構成することで、展示する機会が少なかった作品を交え、収蔵作品への新たな視点を提示することができた。新型コロナウイルス感染症への対策が優先し、休校措置の影響があつて夏期休暇が短縮され、宿題として取り組むことも困難な中であつたが、地元出身の新進作家を広く紹介することができた。インターネットを活用した普及プログラムの開発が今後の課題である。

関連記事 : ・「なつやすみの美術館 10 あなたの先日ひしめいて今日 田中秀介の作品展示 11日から県立近代美術館」『紀伊民報』2020年7月4日、6面

・田中糸れ奈「画家の目と作品 種明かし なつやすみの美術館 和歌山近美」『朝日新聞』2020年7月28日、3面

・「物事の見方変わるかも?近代美術館で夏休みの企画展」『わかやま新報』2020年7月28日、7面(同日ウェブでも配信)

・「揺るぎない日常描く 和歌山市出身の田中秀介さん」『わかやま新報』2020年7月28日、1面(同日ウェブでも配信)

・「企画展「なつやすみの美術館 10・あなたの先日ひしめいて今日」」『わかやま探検ミュージアム』8、9月号、vol.60、2020年8月1日、p.4

・清水有香「私」を巻き込むクセと感性」『毎日新聞』2020年8月12日、7面

・正木利和「「あなたの先日ひしめいて今日」和歌山県立近代美術館 田中秀介 ナゾナゾのような構図」『産経新聞』2020年8月21日、4面

情報掲載 : ・「〈カルチャーインフォメーション〉和歌山県立近代美術館 企画展 なつやすみの美術館 10 あなたの先日ひしめいて今日」『WACA-P』2020年7・8月号、vol.92、2020年7月

・「美術ワークショップ 8月8日近代美術館」『わかやま新報』2020年7月2日、1面

- ・「〈ギャラリー〉なつやすみの美術館 10：あまたの先日ひしめいて今日」『わかやま新報』2020年7月8日、3面
- ・「〈ギャラリー・和歌山〉なつやすみの美術館 10「あまたの先日 ひしめいて今日」」『読売新聞』2020年7月10日、28面
- ・「〈催し物紹介〉美術館・博物館」『毎日新聞』2020年7月9日19面、8月6日23面
- ・「〈イベントカレンダー〉日常から生み出される美術」『ニュース和歌山』2020年7月18日、5面
- ・「〈otent〉企画展「なつやすみの美術館 10 あまたの先日ひしめいて今日」」『Natts』2020年8月号、2020年8月1日、p.17

なつやすみの美術館 10 出品目録

*特に記載のない作品は当館蔵

No.	作者名	作品名	制作年	材質、技法	寸法 (cm)	所蔵/備考
1. 睨み						
1	田中 秀介	一見秘蔵	2018 (平成 30)	油彩、キャンバス	31.0×25.0	個人蔵
2	三木 富雄	耳	1965 (昭和 40)	アルミニウム	70.0×42.5×12.5	所明義氏寄贈
3	田中 秀介	寸前に我なし	2020 (令和 2)	油彩、キャンバス	67.0×60.0	個人蔵
4	森口 宏一	表面・壘	1976 (昭和 51)	ブロンズ、クロームメッキ	12.0×65.0×65.0	森口まどか氏寄贈
5	田中 秀介	ついつい配す	2019 (令和元)	油彩、キャンバス	20.0×22.0	個人蔵
6	田中 秀介	余りなじみ	2018 (平成 30)	油彩、キャンバス	72.0×60.0	個人蔵
7	上田 薫	スプーンのジャム B	1975 (昭和 50)	油彩、キャンバス	181.9×227.3	
8	田中 秀介	こ	2017 (昭和 29)	油彩、キャンバス	130.0×162.0	個人蔵
9	ヴォーコス、ピーター	セラミック・スタック	1982 (昭和 57)	陶	109.4×55.2×54.3	
10	保田 春彦	[犬の頭骨]	1950 (昭和 25)	セメント	22.0×51.8×24.7	作者寄贈
11	稗田 一穂	羽化	1959 (昭和 34)	顔料、紙	155.3×112.3	作者寄贈
12	田中 秀介	普段落景	2019 (令和元)	油彩、キャンバス	105.0×120.0	個人蔵
13	田中 秀介	日用紋	2018 (平成 30)	油彩、キャンバス	45.0×38.0	個人蔵
14	田中 秀介	角情	2018 (平成 30)	油彩、キャンバス	31.0×25.0	個人蔵
15	熊倉 順吉	秘められた欲望	1972 (昭和 47)	陶	54.7×34.0×16.5	
2. 傍ら						
16	田中 秀介	問答のよりどころ	2020 (令和 2)	油彩、キャンバス	73.0×61.0	個人蔵
17	保田 龍門	自画像	1915 (大正 4)	油彩、キャンバス	60.9×50.2	
18	横尾 忠則	海の男	1969 (昭和 44)	シルクスクリーン、アクリル絵具、紙	90.3×90.2	
19	今村 源	1994-2 ネガシダ	1994 (平成 6)	ステンレススチール、和紙、塗料	144.0×105.0	田中恒子氏寄贈
20	田中 秀介	影漬し	2018 (平成 30)	油彩、キャンバス	72.0×60.0	個人蔵
21	森野 泰明	WORK 61-1	1961 (昭和 36)	陶、銅板、木	103.0×44.0×14.3	作者寄贈
22	田中 秀介	備蓄遊び	2020 (令和 2)	油彩、キャンバス	25.0×20.0	個人蔵
23	碓 伊之助	吸坂手呉須上絵大皿「新緑の中のひと」	1972 (昭和 47)	磁器	7.5×45.5×45.5	作者寄贈
24	田中 秀介	前向き迷子	2019 (令和元)	油彩、キャンバス	38.0×45.0	個人蔵
25	田中 秀介	黙光	2018 (平成 30)	油彩、キャンバス	72.0×60.0	個人蔵
26	ホジキン、ハワード	一つ片づき	1982 (昭和 57)	リトグラフ、グワッシュ、紙	91.8×122.3	
27	三島 喜美代	パッケージ	1974 (昭和 49)	シルクスクリーン、陶	14.0×35.0×27.0	
28	野長瀬 暁花	『一茶遺跡と四季句集』13	1942 (昭和 17) 頃	紙本、彩色	24.0×33.4	
29	田中 秀介	只中のしらしめ	2020 (令和 2)	油彩、キャンバス	31.0×25.0	個人蔵
3. 案件						
30	田中 秀介	右から西へ	2018 (平成 30)	油彩、キャンバス	90.0×70.0	個人蔵
31	高橋 秀	版画集『8つの作品』8 金曜日	1973 (昭和 48)	石版、シルクスクリーン、空押し、紙	56.0×75.7	
32	田中 秀介	面積おこし	2016 (平成 28)	油彩、木製パネルに紙	145.0×110.0	個人蔵
33	田中 秀介	白化っくれ	2018 (平成 30)	油彩、キャンバス	97.0×130.0	個人蔵
34	田中 秀介	成り板	2018 (平成 30)	油彩、キャンバス	100.0×78.0	個人蔵
35	田中 秀介	凹世	2018 (平成 30)	油彩、キャンバス	130.0×162.0	個人蔵
36	林 秀行	美容体操	1973 (昭和 48)	磁器	31.0×20.5×11.9	
37	元永定正	無題	1972 (昭和 47)	アクリル絵具、キャンバス	130.5×162.5×3.0	
38	土谷 武	178 の嗅覚 a	1976 (昭和 51)	鉄	30.5×82.5×12.2	
39	米良 道博	少年像	1941 (昭和 16) 頃	油彩、キャンバス	116.6×91.0	米良道光氏寄贈
40	田中 秀介	石代わり	2018 (平成 30)	油彩、キャンバス	72.0×60.0	個人蔵
41	木下 義謙	アカデミー (男)	1930 (昭和 5)	油彩、キャンバス	46.0×38.4	作者寄贈
42	稗田 一穂	夏去る 下図	1980 (昭和 55)	鉛筆、コンテ、紙	185.0×169.8	作者寄贈
43	ウェッセルマン、トム	果物と金魚鉢のある静物のはしりがき	1989 (平成元)	シルクスクリーン、紙	144.2×199.5	
4. 案外						
44	田中 秀介	界面のしらべ	2019 (令和元)	油彩、キャンバス	194.0×130.3	個人蔵
45	ホックニー、デヴィッド	グレゴリーのイメージ	1985 (昭和 60)	リトグラフ、コラージュ、紙	222.3×104.1	
46	田中 秀介	抜き打ち車	2020 (平成 32)	油彩、キャンバス	145.0×96.0	個人蔵
47	田中 秀介	度外視	2019 (令和元)	油彩、キャンバス	90.0×70.0	個人蔵
48	田中 秀介	化門	2018 (平成 30)	油彩、キャンバス	130.0×162.0	個人蔵
49	田中 秀介	一刻の主役	2017 (平成 29)	油彩、キャンバス	97.0×130.0	個人蔵
50	田中 秀介	三日前	2017 (平成 29)	油彩、キャンバス	90.0×70.0	個人蔵
51	石垣 栄太郎	キューノ島の反乱	1933 (昭和 8)	油彩、キャンバス	181.5×139.0	石垣綾子氏寄贈
52	建島 覚造	地層 (作品 A の 23)	1951 (昭和 26)	ポリエステル	130.0×90.0×70.0	作者寄贈
53	亀井 玄兵衛	きつつき	1973 (昭和 48)	顔料、紙	72.6×121.0	亀井寛子氏寄贈
54	野長瀬 暁花	門づけ	1916 (大正 5)	顔料、紙	131.4×30.2	
55	田中 秀介	横風情	2020 (令和 2)	油彩、キャンバス	70.0×110.0	個人蔵
56	田中 秀介	ラッキー待ち	2019 (令和元)	油彩、キャンバス	30.0×20.0	個人蔵
57	石垣 栄太郎	拳闘	1925 (大正 14)	油彩、キャンバス	75.4×91.2	
5. 他人事						
58	田中 秀介	突貫風情	2018 (平成 30)	油彩、キャンバス	102.0×130.0	個人蔵
59	田中 秀介	寄ってたかって偶発寓意	2018 (平成 30)	油彩、キャンバス	162.0×194.0	個人蔵
60	ノグチ、イサム	考える議長	1978 (昭和 53)	御影石、木	27.5×23.5×30.0 作品/ 104.5×46.8×26.4 台座	
61	田中 秀介	無興味本位	2018 (平成 30)	油彩、キャンバス	145.0×110.0	個人蔵
62	高井 貞二	ゼブラ	1966 (昭和 41)	油彩、キャンバス	127.8×127.4	作者寄贈

No.	作者名	作品名	制作年	材質、技法	寸法 (cm)	所蔵／備考
63	玉置 正敏	洪水と男	1968 (昭和 43)	油彩、キャンパス	162.0×391.5	作者寄贈
64	建畠 大夢	若き日の北村西望	1911 (明治 44) 頃／ 铸造年不明	ブロンズ	19.0×8.0×7.0	北村西望氏寄贈
65	ヴァン・ドンゲン, キース	黒い服の婦人	1910 年代 [推定]	油彩、キャンパス	144.5×113.0	森林平氏寄贈
66	山本 容子	The Museum	1978 (昭和 53)	銅版、紙	45.4×59.8	ブリッジ寄贈
67	田中 秀介	昼隔	2020 (令和 2)	油彩、キャンパス	25.0×20.0	個人蔵
68	田中 秀介	晴れて虚勢	2019 (令和 元)	油彩、キャンパス	110.5×70.0	個人蔵
69	福岡 道雄	鳥になれるか 2	1990 (平成 2)	ブロンズ	90.5×61.2×14.5	
70	田中 秀介	秘めやか時局	2020 (令和 2)	油彩、キャンパス	107.0×143.0	個人蔵
71	田中 秀介	生計の表皮	2018 (平成 30)	油彩、キャンパス	90.0×70.0	個人蔵
72	野長瀬 暁花	路傍青物市	1932 (昭和 7) 頃	顔料、紙	27.2×48.2	
73	田中 秀介	無料の静穏	2017 (平成 29)	油彩、キャンパス	78.0×100.0	個人蔵
74	田中 秀介	むくろにも平日	2018 (平成 30)	油彩、キャンパス	110.0×145.0	個人蔵

6. 呆然

75	田中 秀介	星の上の実家	2016 (平成 28)	油彩、木製パネルに紙	110.0×120.5	個人蔵
76	高井 貞二	煙	1933 (昭和 8)	油彩、キャンパス	91.1×117.0	高井志づ氏寄贈
77	田中 秀介	平和	2020 (令和 2)	油彩、キャンパス	162.0×194.0	個人蔵
78	山田 光	陶片受茶羅	1973 (昭和 48) 頃	陶	51.5×41.5×7.5	
79	田中 秀介	一望で顕著まみれ	2020 (令和 2)	油彩、キャンパス	67.0×60.0	個人蔵
80	白髪 一雄	作品	1972 (昭和 47)	油彩、キャンパス	130.4×162.5	鈴木直弥氏寄贈
81	田中 秀介	古今台頭摩擦	2019 (令和 元)	油彩、キャンパス	259.0×194.0	個人蔵
82	高井 貞二	地図	1934 (昭和 9) 頃	油彩、キャンパス	131.0×162.6	作者寄贈
83	田中 秀介	道作り	2016 (平成 28)	油彩、木製パネルに紙	130.0×162.0	個人蔵
84	ローゼンクイスト, ジェームズ	スペース・ダスト	1989 (平成 元)	リトグラフ、コラージュ、紙	169.0×267.5	
85	田中 秀介	無縁はおあいこ	2019 (令和 元)	油彩、キャンパス	127.0×145.0	個人蔵
86	田中 秀介	とどく悠遠の所在、ゆるる微塵の器	2017 (平成 29)	油彩、キャンパス	194.0×162.0	個人蔵
87	田中 秀介	言葉なく勝手に旺盛	2017 (平成 29)	油彩、キャンパス	97.0×130.0	個人蔵
88	笹山 忠保	四本柱	1986 (昭和 61)	陶	75.3×46.2×45.4	個人蔵
89	田中 秀介	ここまでの先	2020 (令和 2)	油彩、キャンパス	145.0×110.0	個人蔵



ポスター



チラシ表／裏



ワークシート表／裏



もより石ガイド



会場風景



2-3.開館 50 周年記念

和歌山県立近代美術館 コレクションの 50 年

- 会期 : 2020年9月19日(土)～12月20日(日) 93日間
*前期展示:9月19日(土)～11月1日(日)、後期展示:11月3日(火)～12月20日(日)
- 会場 : 展示室 A・B (1階)
- 主催 : 和歌山県立近代美術館
- 入場者数 : 8,637名
- 内容 : 1970年に和歌山県民文化会館内に開館した当館が開館50年を迎えたのに合わせ、半世紀をかけて形作ってきた12000点を超えるコレクション形成の歩みを通して、当館の活動を振り返った。また会期後半には、作品収集に留まらない幅広い美術館活動を紹介する「美術館を展示する」展と合わせて、多面的な活動を提示し、美術館のこれからの見据える機会とした。序章.1963-1970 和歌山県立美術館、1.1970-1993 和歌山県立近代美術館(旧館)、2.1994-2020 和歌山県立近代美術館(新館)、の3部で構成。
- 展示点数 : 120作家198点 *前期のみ120作家160点、後期のみ119作家160点 *展示室外を含む
- 担当学芸員 : 宮本久宣、奥村一郎、青木加苗
- 関連事業 : ・フロアレクチャー
10月24日(土)14:00～15:00 12名、10月25日(日)14:00～15:00 15名 宮本久宣、奥村一郎、青木加苗
11月14日(土)17:00～18:00 50名、11月15日(日)17:00～18:00 45名 宮本久宣、青木加苗
・こども美術館部
10月24日(土)「これくしょん、はっくしょん」11:00～12:00 6名、10月25日(日)11:00～12:00 6名 青木加苗
・ナイトミュージアム(「関西文化の日」に合わせ、19時30分まで夜間開館を実施)
11月14日(土)、11月15日(日)
- 制作物 : ・ポスター(B2判、オフセット印刷)*「美術館を展示する」展と共通
・チラシ(A3判二つ折、オフセット印刷)*「美術館を展示する」展と共通
・出品目録(A4判8頁)
・プレスリリース(A4判4頁)
- 入場料金 : 一般520円(410円)、大学生300円(260円)()内は20名以上の団体料金
- 工夫 : 開館50周年を記念したコレクション展示として、前身の和歌山県立美術館から、和歌山県民文化会館内に開館した和歌山県立近代美術館(旧館)を経て、現在の和歌山県立近代美術館(新館)にいたるまで、建物の変遷による3期に分けて、展覧会を中心としたそれぞれの時代の活動と収蔵作品とを結びつけて紹介した。そのことにより、コレクションを通して当館の活動の歩みをたどれるような構成とした。
- 自己評価・課題・改善案 : 館職員にとってはあらためて自らの歴史を調べ、まとめる重要な機会となり、各世代の来館者に対しては自身と当館とも関わりをふりかえる機会を提供することができた。小冊子としても調査内容を残すことができなかつたのは残念であり、展覧会を記録として残す方法は課題として残る。
- 関連記事 : ・「版画の名品、半世紀の歩み 近代美術館の50周年展始まる」『わかやま新報』2020年9月20日、1面
・「近代美術館開館50周年 コレクションの50年 もうひとつの日本美術史」『和歌山特報』2020年9月21日、11面
・最上聡「多彩な作品そろそろ 県立近代美術館50周年企画・特別展」『毎日新聞』2020年9月25日、24面
・「〈美術館便り〉和歌山県立近代美術館、開館50周年を記念して同時開催 特別展「近現代版画の名作2020」と企画展「コレクションの50年」県内のゆかりの作家など、えりすぐりの作品が展示」『リビング和歌山』2020年10月17日、6面
・「開館50周年記念「和歌山県立近代美術館 コレクションの50年」」『わかやま探検ミュージアム』12・1月号、Vol.62、2020年12月1日、p.5
・奥村一郎「美術館のこれまでとこれからのために 和歌山県立近代美術館 コレクションの50年」『新美術新聞』2020年12月1日、2面
- 情報掲載 : ・「〈EVENT CALENDAR〉近代美術館50周年記念展」『ニュース和歌山 PLUS』2020年9月25日、p.13
・「〈イベントカレンダー〉近代美術館50周年記念展」『ニュース和歌山』2020年9月26日、p.6
・[広告]「開館50周年 もうひとつの日本美術史 和歌山県立近代美術館コレクションの50年」『Lism』2020年10月号、Vol.200、2020年9月25日、p.5
・「〈カルチャーインフォメーション〉開館50周年記念和歌山県立近代美術館「コレクションの50年」」『WACA-P』2020年11月号 Vol.94、2020年11月
・「近代美術館開館50周年の記念展覧会」『Lism』2020年11月号、Vol.201、2020年11月25日、p.59



チラシ表/中(二つ折) *「美術館を展示する」展と共通
ポスター

コレクションの50年 出品目録

前期 9月19日～11月1日/後期 11月3日～12月20日 ※特に記載のない作品は当館蔵

No.	作者名	作品名	制作年	材質、技法	寸法 (cm)	所蔵/備考	前期 後期
序章 1963-1970 和歌山県立美術館							
1	浜口 陽三	赤い鉢と黒いさくらんぼ	1968 (昭和 43)	カラーメゾチント、紙	47.0×62.0	濱口儀兵衛氏寄贈	
2	日高 昌克	山峽池畔図	1960 (昭和 35)	墨、紙	44.4×56.0		
3	川口 軌外	少女と貝殻	1934 (昭和 9)	油彩、キャンバス	167.3×267.2		
4	石垣 栄太郎	街	1925 (大正 14)	油彩、キャンバス	126.0×91.0		
5	原 勝四郎	道化	1941 (昭和 16)	油彩、厚紙	90.3×73.2		
6	保田 龍門	アンドレの首	1922 (大正 11)	ブロンズ	20.3×20.0×20.0	和歌山県立美術館友の会寄贈	
7	野長瀬 晩花	被布着たる少女	1911 (明治 44)	顔料、絹	114.1×134.8		前
8	野長瀬 晩花	スペインの田舎の子供	1924 (大正 13)	顔料、寒冷紗	103.1×135.6	原浩吉郎氏寄贈	後
1章 1970-1993 和歌山県立近代美術館 (旧館)							
1-1 和歌山ゆかりの作家たち コレクションの礎							
9	裨田 一穂	帰り路	1981 (昭和 56)	顔料、紙	193.8×166.5		
10	神中 糸子	海岸風景	1888-1892 (明治 21-25)	油彩、キャンバス	38.0×80.4	神中茂次氏寄贈	
11	保田 龍門	村の娘	1916 (大正 5)	油彩、キャンバス	82.4×66.9	保田淳子氏寄贈	
12	碓 伊之助	フザンソソ風景	1924 (大正 13)	油彩、キャンバス	50.1×60.8	小島善太郎氏寄贈	
13	木下 孝則	女優の像	1926 (大正 15 / 昭和元)	油彩、キャンバス	91.2×72.9		
14	木下 義謙	カーニユ風景	1929 (昭和 4)	油彩、キャンバス	62.0×73.2	作者寄贈	
15	石垣 栄太郎	拳闘	1925 (大正 14)	油彩、キャンバス	75.4×91.2		
16	川口 軌外	ボヘミアン	1928 (昭和 3)	油彩、キャンバス	117.0×80.7		
17	高井 貞二	感情の遊離	1932 (昭和 7)	油彩、キャンバス	150.7×91.0	作者寄贈	
18	村井 正誠	URBAIN No.1	1936 (昭和 11)	油彩、キャンバス	112.2×194.2		
19	ヘンリー・杉本	寺院のみえるビーエー村	1940 (昭和 15)	油彩、キャンバス	80.4×100.6		
20	原 勝四郎	小湾	1940 (昭和 15)	油彩、厚紙	59.9×71.7		
21	建畠 大夢	おゆのつかれ	1913 (大正 2) / 1970 (昭和 45) 铸造	ブロンズ	68.0×40.0×56.0		
22	建畠 覚造	CHIMNEY BOTTLES	1970 (昭和 45)	アルミニウム、ステンレス スチール	62.0×66.3×20.0		
1-2 版画 コレクションの力点							
23	田中 恭吉	[死の支配者の微笑]	1914 (大正 3)	木版、紙	22.8×15.5	恩地邦郎氏寄贈	前
24	田中 恭吉	生ふるもの 去るもの (私輯『月映』II)	1914 (大正 3)	木版、紙	10.6×8.3	恩地邦郎氏寄贈	前
25	田中 恭吉	[失題]	1914 (大正 3) 頃	木版、紙	20.6×10.6	恩地邦郎氏寄贈	後
26	田中 恭吉	[失題]	1914 (大正 3) 頃	木版、紙	18.8×9.9	恩地邦郎氏寄贈	後
27	恩地 孝四郎	抒情 躍る	1915 (大正 4)	木版、紙	13.3×9.7		前
28	恩地 孝四郎	徂春 (私輯『月映』II)	1914 (大正 3)	木版、紙	13.0×11.0		前
29	恩地 孝四郎	抒情 いとなみ祝福せらる	1915 (大正 4)	木版、紙	13.6×9.7		後
30	恩地 孝四郎	人物	1922 (大正 11)	木版、紙	28.9×24.1		後
31	藤森 静雄	二の心 (私輯『月映』IV うつそみ)	1914 (大正 3)	木版、紙	24.9×13.3		前
32	藤森 静雄	自然と人生 (私輯『月映』III ひかるもの)	1914 (大正 3)	木版、紙	20.8×11.8		前
33	藤森 静雄	春 (私輯『月映』II)	1914 (大正 3)	木版、紙	12.2×17.7		後
34	藤森 静雄	人類 (私輯『月映』VI 伴病めり)	1914 (大正 3)	木版、紙	20.8×11.8		後
35	逸見 享	風景	1925 (大正 14)	木版、紙	21.0×14.7	逸見渚氏・逸見京子氏寄贈	前
36	逸見 享	サボテン	1933 (昭和 8)	木版、紙	44.0×30.8	逸見渚氏・逸見京子氏寄贈	前
37	逸見 享	夜汽車	1928 (昭和 3)	木版、紙	16.5×13.6	逸見渚氏・逸見京子氏寄贈	後
38	逸見 享	砂丘	1933 (昭和 8)	木版、紙	36.3×48.3	逸見渚氏・逸見京子氏寄贈	後
39	碓 伊之助	朝顔	1935 (昭和 10)	リトグラフ、紙	74.5×54.0	中畑岬人氏寄贈	前
40	碓 伊之助	尼寺	1934 (昭和 9)	リトグラフ、紙	64.8×52.1		後
41	村井 正誠	棒を持つ人	1964 (昭和 39)	リトグラフ、紙	60.5×47.0		前
42	村井 正誠	夜の人	1964 (昭和 39)	リトグラフ、紙	61.0×48.0		後
43	吉田 政次	ミニとデモの時代 No.1	1968 (昭和 43)	木版、紙	86.8×72.0	吉田敦子氏寄贈	前
44	吉田 政次	憂愁の空 No.2	1957 (昭和 32)	木版、紙	43.7×71.8	吉田敦子氏寄贈	後
45	浜口 陽三	緑のぶどう	1958 (昭和 33)	カラーメゾチント、紙	24.4×19.4		前
46	浜口 陽三	赤い皿	1969 (昭和 44)	カラーメゾチント、紙	24.5×51.3		前
47	浜口 陽三	毛糸	1978 (昭和 53)	メゾチント、紙	62.2×47.2		前
48	浜口 陽三	水差しとぶどうとレモン	1957 (昭和 32)	メゾチント、紙	29.4×34.4		後
49	浜口 陽三	黒いさくらんぼ	1963 (昭和 38)	カラーメゾチント、紙	34.3×29.4		後
50	浜口 陽三	突堤	1965 (昭和 40)	カラーメゾチント、紙	28.2×28.5		後
1-3 和歌山版画ビエンナーレ展 世界への視点							
51	山田 彊一	Push (ボルト B)	1985 (昭和 60)	シルクスクリーン、 アルミニウム板	130.0×105.6	和歌山版画ビエンナーレ展 実行委員会寄贈	
52	島 州一	CONSTRUCTION OF FINGER PRINTS	1984 (昭和 59)	粘土のプロッタージュ、 紙、シルクスクリーン、 アクリル絵具	140.4×179.5×14.6	和歌山版画ビエンナーレ展 実行委員会寄贈	
53	河内 成幸	'84 桂 (響き)	1984 (昭和 59)	木版、紙	141.5×92.5	和歌山版画ビエンナーレ展 実行委員会寄贈	
54	マクシミリアン・スノッホ	眺め No.1	1983 (昭和 58)	リノカット、紙	64.7×49.5	和歌山版画ビエンナーレ展 実行委員会寄贈	
55	園山 晴巳	d'encres - U	1986 (昭和 61)	リトグラフ、紙	98.4×69.0	和歌山版画ビエンナーレ展 実行委員会寄贈	
56	木村 秀樹	冬のライオン	1986 (昭和 61)	シルクスクリーン、 キャンバス	140.3×199.9	和歌山版画ビエンナーレ展 実行委員会寄贈	
57	パトリシア・アンネ・ピアス	APPROACHING RED	1988 (昭和 63)	コラグラフ、手彩ほか、 紙	91.4×196.8	和歌山版画ビエンナーレ展 実行委員会寄贈	
58	タウォーン・コーウドムウィツ	儀式における象徴 22	1990 (平成 2)	シルクスクリーン、木版、 紐、コラージュ、紙	68.0×78.2	和歌山版画ビエンナーレ展 実行委員会寄贈	
59	オールドジク・クルハーネク	法廷	1990 (平成 2)	リトグラフ、紙	66.1×50.7	和歌山版画ビエンナーレ展 実行委員会寄贈	
60	トーキル・グドナソン	無題	1992 (平成 4)	写真	183.0×124.8	和歌山版画ビエンナーレ展 実行委員会寄贈	
61	濱田 弘明	Untitled '92-12	1992 (平成 4)	シルクスクリーン、写真、 キャンバス、紙	180.0×225.0	和歌山版画ビエンナーレ展 実行委員会寄贈	
62	エステバン・チャヴェス	エイズを知るための習作としてのキルト	1992 (平成 4)	銅版、紙	134.9×271.5	和歌山版画ビエンナーレ展 実行委員会寄贈	

No.	作者名	作品名	制作年	材質、技法	寸法 (cm)	所蔵／備考	前期 後期
1-4 戦後関西の美術 現代へのまなざし							
63	津高 和一	爆発	1954 (昭和 29)	油彩、キャンバス	131.0×163.0		
64	吉原 英雄	たわむれ	1956 (昭和 31)	油彩、板	129.9×91.0		
65	下村 良之介	夜の曲	1951 (昭和 26)	顔料、紙	121.0×121.1		
66	三上 誠	経絡 暦	1968 (昭和 43) 頃	顔料、紙、板	170.7×121.0		
67	星野 眞吾	喪中の作品 A	1965 (昭和 40)	顔料、紙	180.6×89.5		
68	大野 俊嵩	Two Forms	1959 (昭和 34)	麻布、顔料、木屑、綿布	136.8×122.1		
69	前川 強	作品	1963 (昭和 38)	塗料、麻布、綿布	162.5×130.5		
70	元永 定正	作品	1964 (昭和 39)	アクリル絵具、小石、 キャンバス	281.0×181.2		
71	白髪 一雄	地察星 青眼虎	1961 (昭和 36)	油彩、キャンバス	194.0×130.6		
72	森口 宏一	作品 B	1964 (昭和 39)	油彩、ラッカー、ポリエス テル樹脂、アルミニウム板、 ベニヤ板、キャンバス	180.7×104.3		
73	船井 裕	FUGA No.1	1968 (昭和 43)	リトグラフ、紙	61.1×49.7		前
74	船井 裕	TRAP	1968 (昭和 43)	リトグラフ、紙	59.8×48.1		後
75	井田 照一	Blue Cake	1967 (昭和 42)	リトグラフ、シルク スクリーン、紙	66.0×51.8		前
76	井田 照一	Rose Hole	1973 (昭和 48)	リトグラフ、シルク スクリーン、スポンジ、紙	71.8×55.6		後
77	林 康夫	人体	1950 (昭和 25)	陶	46.0×23.0×18.5		
78	清水 九兵衛	WIG 7	1980 (昭和 55)	アルミニウム	97.5×18.5×12.2		
79	福岡 道雄	石をおとす (2)	1977 (昭和 52)	黒色強化ポリエステル	97.0×46.0×60.5		
80	宮崎 豊治	身辺モデル 類似化一	1984 (昭和 59)	鉄、漆	84.0×60.0×46.5		
81	荒木 高子	砂の聖書	1983 (昭和 58)	シルクスクリーン、 シャモット、砂	18.0×64.0×46.0		
82	北辻 良央	WORK-RR2	1982 (昭和 57)	鉄、素焼粘土、パステル、 紙	106.0×88.0×20.0		
83	北山 善夫	船でもどうかね	1987 (昭和 62)	竹、紙、革	69.0×214.5×61.0		
84	小清水 漸	花・赤い	1986 (昭和 61)	木、水銀朱、落葉、 白大理石	75.0×240.0×240.0	竹田功氏寄贈	
2章 1994-2020 和歌山県立近代美術館 (新館)							
2-1 新館開館 広がるコレクション							
85	マーク・ロスコ	赤の上の黄褐色と黒	1957 (昭和 32)	油彩、キャンバス	176.2×136.6		
86	アンディ・ウォーホル	キャンベル・スープ II オールドファッション・ペジダブル (ビーフストック仕立て)	1969 (昭和 44)	シルクスクリーン、紙	89.0×58.6		前
87	アンディ・ウォーホル	キャンベル・スープ II ニューイングランド風クラムチャウダー	1969 (昭和 44)	シルクスクリーン、紙	89.0×58.6		前
88	アンディ・ウォーホル	キャンベル・スープ II アルファベットスープ (動物性食材不使用)	1969 (昭和 44)	シルクスクリーン、紙	89.1×58.6		前
89	アンディ・ウォーホル	キャンベル・スープ II ホットドッグビーフ (柔らか豆とフランクフルトスライス入り)	1969 (昭和 44)	シルクスクリーン、紙	88.0×58.6		前
90	アンディ・ウォーホル	キャンベル・スープ II ゴールデン・マッシュルーム (スライスマッシュルームたっぷり)	1969 (昭和 44)	シルクスクリーン、紙	89.0×58.6		後
91	アンディ・ウォーホル	キャンベル・スープ II 丸バス入りトマトビーフ	1969 (昭和 44)	シルクスクリーン、紙	89.0×58.6		後
92	アンディ・ウォーホル	キャンベル・スープ II チキンと蒸し団子	1969 (昭和 44)	シルクスクリーン、紙	89.1×58.5		後
93	アンディ・ウォーホル	キャンベル・スープ II スコッチブロス (具だくさん肉入り)	1969 (昭和 44)	シルクスクリーン、紙	89.1×58.6		後
94	ロイ・リキテンシュタイン	夢想	1965 (昭和 40)	シルクスクリーン、紙	69.2×58.0		前
95	ロイ・リキテンシュタイン	スイート・ドリームス、ベイビー!	1965 (昭和 40)	シルクスクリーン、紙	90.4×64.5		後
96	トム・ウェッセルマン	シースケープ #8	1966 (昭和 41)	アクリル絵具、キャンバス	172.9×106.8		
97	ジョージ・シーガル	煉瓦の壁ぞいに歩く男	1988 (昭和 63)	石膏、木、アクリル絵具 ほか	264.6×359.9×270.4		
98	チャック・クロース	自画像	1983 (昭和 58)	ペーパーパルプ、 キャンバス	137.2×101.6		
99	シンディ・シャーマン	無題 # 132	1984 (昭和 59)	写真	181.0×122.8		
100	イサム・ノグチ	ヴォイド	1971 (昭和 46) / 1979 (昭和 54) 铸造	ブロンズ	116.0×86.0×66.0		
101	エドヴァルド・ムンク	病める子	1896 (明治 29)	リトグラフ、紙	42.0×52.0		前
102	エドヴァルド・ムンク	骸骨の腕のある自画像	1895 (明治 28)	リトグラフ、紙	45.6×32.0		後
103	オディロン・ルドン	アントワヌ：これらすべての目的は何だろう? 悪魔：目的などはないのだ! (『聖アントワヌの誘惑』 第 3 集より)	1896 (明治 29)	リトグラフ、紙	31.0×25.0		前
104	オディロン・ルドン	……そして頭を持たない眼が軟体動物のように漂っていた (『聖アントワヌの誘惑』 第 3 集より)	1896 (明治 29)	リトグラフ、紙	31.0×22.5		前
105	オディロン・ルドン	死神：わたしのおかげで、お前も本気になることができるのだ。さあ抱きあおう! (『聖アントワヌの誘惑』 第 3 集より)	1896 (明治 29)	リトグラフ、紙	30.0×21.4		後
106	オディロン・ルドン	かれはまっさかさまに深淵へおちてゆく (『聖アントワヌの誘惑』 第 3 集より)	1896 (明治 29)	リトグラフ、紙	27.7×21.2		後
107	ジョルジュ・ブラック	コンポジション (静物 I)	1911 (明治 44) / 1950 (昭和 25) 刷	エッチング、紙	34.7×21.8		前
108	パウル・クレー	綱渡り	1923 (大正 12)	リトグラフ、紙	43.8×26.9		前
109	パウル・クレー	内なる光の聖女	1921 (大正 10)	リトグラフ、紙	31.0×17.5		後
110	ワシリー・カンディンスキー	「赤と青と黒のなかの 3 人の騎士たち」(詩画集『響き』より)	1911 (明治 44)	木版、紙	22.0×22.3		後
111	ジョルジュ・ルオー	神よ、われを憐れみたまえ、あなたの大きな慈しみによって (『ミセレーレ』より)	1922 (大正 11)	銅版、紙	57.5×42.0		前
112	ジョルジュ・ルオー	われらが癒されたるは、彼の受けたる傷によりてなり (『ミセレーレ』より)	1922 (大正 11)	銅版、紙	57.6×47.0		後
113	アンリ・マティス	道化師 (『ジャズ』より)	1947 (昭和 22)	ステンシル、紙	41.3×31.3		前
114	アンリ・マティス	ナイフ投げの男 (『ジャズ』より)	1947 (昭和 22)	ステンシル、紙	41.5×65.2		前
115	アンリ・マティス	ピエロの葬式 (『ジャズ』より)	1947 (昭和 22)	ステンシル、紙	42.1×65.4		後
116	アンリ・マティス	イカルス (『ジャズ』より)	1947 (昭和 22)	ステンシル、紙	40.9×27.5		後
117	パブロ・ピカソ	貧しき食事	1904 (明治 37) / 1913 (大正 2) 刷	エッチング、紙	46.3×38.0		
118	パブロ・ピカソ	ミノトーロマシー	1935 (昭和 10)	エッチング、ビュラン、紙	49.5×69.0		

No.	作者名	作品名	制作年	材質、技法	寸法 (cm)	所蔵／備考	前期 後期
119	パブロ・ピカソ	泣く女	1937 (昭和 12)	エッチング、アクアチント、 ドライポイント、紙	72.3×49.3		
2-2 和歌山ゆかりの作家と日本の近現代美術 コレクションの継承と展開							
120	石井 柏亭	滞船	1913 (大正 2)	不透明水彩、紙	52.5×73.0		
121	有島 生馬	樹下の裸婦	1913 (大正 2)	油彩、キャンバス	52.5×45.5		
122	高村 光太郎	佐藤春夫像	1914 (大正 3)	油彩、キャンバス	61.0×45.5	個人蔵	
123	岸田 劉生	男性肖像	1912 (明治 45)	油彩、キャンバスボード	32.9×23.6		
124	岸田 劉生	黒き帽子の自画像	1914 (大正 3)	油彩、板	51.3×39.2	個人蔵	
125	保田 龍門	自画像	1915 (大正 4)	油彩、キャンバス	60.9×50.2		
126	佐伯 祐三	広告のある門	1925 (大正 14)	油彩、キャンバス	59.9×73.2	玉井一郎氏寄贈	
127	佐伯 祐三	レ・ジュ・ド・ノエル	1925 (大正 14)	油彩、キャンバス	72.3×60.8	玉井一郎氏寄贈	
128	国吉 康雄	乳しぼり	1921 (大正 10)	油彩、キャンバス	61.0×50.5		
129	清水 登之	ヨコハマ・ナイト	1921 (大正 10)	油彩、キャンバス	76.2×96.5		
130	浜地 清松	赤い帽子	1928 (昭和 3)	油彩、キャンバス	100.0×73.0		
131	石垣 栄太郎	ハーレム裁判所の壁画(「奴隷解放」の部 分)	1937-1938 (昭和 12-13) 頃	油彩、キャンバス	112.0×109.0		
132	木下 孝則	赤衣の女	1934 (昭和 9)	油彩、キャンバス	72.9×53.2		
133	川口 軌外	月夜の雪景	1933 (昭和 8)	油彩、キャンバス	92.3×65.8		
134	高井 貞二	煙	1933 (昭和 8)	油彩、キャンバス	91.1×117.0	高井志づ氏寄贈	
135	村井 正誠	クリジフィ	1947 (昭和 22) 頃	油彩、キャンバス	100.0×80.5	村井伊津子氏寄贈	
136	難波田 龍起	郊外	1951 (昭和 26)	油彩、キャンバス	53.2×45.8		前
137	瑛九	自転車	1956 (昭和 31)	油彩、キャンバス	50.0×60.8		後
138	建島 大夢	感に打たれた女	1932 (昭和 7) / 鑄造年不詳(生前鑄造)	ブロンズ	155.0×40.0×44.0		
139	山口 八九子	月見草と少女	1912(明治45/大正元) 頃	顔料、絹	171.8×65.6	山口由季子氏寄贈	前
140	下村 観山	白描 魔障図	1910 (昭和 43)	墨、絹	67.2×164.6		後
141	日高 昌克	草	1923 (大正 12)	顔料、絹	39.4×44.8	池田壽一氏寄贈	後
142	野長瀬 晩花	鳥の女	1916 (大正 5) 頃	顔料、絹	145.1×51.7		前
143	野長瀬 晩花	[三味線を弾く女]	1917 (大正 6) 頃	顔料、絹	136.1×127.0		後
144	川端 龍子	雷雨	1936 (昭和 11)	顔料、墨、絹	各 172.5 × 170.2		前
145	狩野 光雅	雨後	1936 (昭和 11)	顔料、絹	175.0×229.1		後
146	裨田 一穂	鷲と岩	1956 (昭和 31)	顔料、紙	145.2×112.3	作者寄贈	前
147	菅井 汲	雷神	1958 (昭和 33)	油彩、キャンバス	162.6×130.7		
148	上前 智祐	作品	1963 (昭和 38)	油彩ほか、板	184.0×94.0	作者寄贈	
149	松谷 武判	WORK-63-9	1963 (昭和 38)	ビニール接着剤、油彩、 水彩、キャンバス	187.0×192.0		
150	田中 敦子	'61 赤と黒	1961 (昭和 36)	ビニール絵具、キャンバス	175.0×129.5		
151	泉 茂	DF1005	1965 (昭和 40)	油彩、キャンバス	161.5×130.5		
152	山口 長男	連	1965 (昭和 40)	油彩、板	182.2×364.3		前
153	村井 正誠	風の中の除幕式	1968 (昭和 43)	油彩、キャンバス	194.5×259.8		後
154	宇佐美 圭司	還元 No.6	1963 (昭和 38)	油彩、キャンバス	135.0×184.8		
155	建島 覚造	核	1956 (昭和 31)	セメント、鉄	63.0×53.0×43.0	作者寄贈	
156	保田 春彦	階段のある広場・TAORMINA	1973 (昭和 48)	ステンレススチール	11.0×75.0×75.0		
157	保田 春彦	階段のある広場・SIRACUSA	1973 (昭和 48)	ステンレススチール	9.1×75.0×75.0		
158	山田 光	塔	1964 (昭和 39)	陶(伊羅保釉)	60.4×36.8×27.4		
159	八木 一夫	陰気な暦	1977 (昭和 52)	黒陶	30.4×30.6×7.8		
160	李 禹煥	点より	1980 (昭和 55)	岩彩、キャンバス	193.9×258.8		前
161	川島 慶樹	Yellow Vacation II	1986 (昭和 61)	木、鉄、真鍮、石、 アクリル絵具	255.0×250.0×44.0	作者寄贈	後
162	野田 裕示	WORK 796	1993 (平成 5)	アクリル絵具、キャンバス	266.6×186.5		
163	中ハシ 克シゲ	Second Marriage	1990 (平成 2)	ブロンズ、タタン、銅線、 御影石ほか	145.0×300.0×150.0		
164	森村 泰昌	美術史の娘、王女 A	1990 (平成 2)	写真に透明メディウム	210.7×164.8		
165	戸谷 成雄	森化 IX	2004 (平成 16)	木、灰、アクリル絵具	左：155.0 × 32.0 × 38.0 / 右： 155.0×30.0×36.0		
166	奈良 美智	どんまいQちゃん	1993 (平成 5)	木、彩色	123.0×37.5×43.5	田中恒子氏寄贈	
2-3 そして和歌山へ つづくコレクション							
167	ハミッシュ・フルトン	山の辺の道	1986 (昭和 61)	写真、テキスト	139.2×109.8		
168	鈴木 理策	海と山のあいだ (14, DK-507)	2014 (平成 26)	写真	95.2×119.0	作者寄贈	前
169	鈴木 理策	海と山のあいだ (14, DK-410)	2014 (平成 26)	写真	95.2×119.0	作者寄贈	後
170	佐藤 時啓	光一呼吸シリーズより #330 Taiji	1998 (平成 10) / 2014 (平成 26) プリント	写真	126.2×103.2		
171	野村 仁	自転と重力	1982-1984 (昭和 57-59)	写真	178.0×119.6		
172	ロジャー・アックリング	潮岬	1996 (平成 8)	木、太陽光線	29.2×17.6×1.0	作者寄贈	
173	中川 佳宣	monogram 98008	1998-1999 (平成 10-11)	牛革、綿、糸、木、 アクリル絵具ほか	95.0×33.0×45.0		
174	妻木 良三	境界 II	2009-2011 (平成 21-23)	鉛筆、アクリル絵具、 ジェッソ、板	90.0×90.0		
175	小柳 裕	Shrine (Source of Light 14-7)	2014 (平成 26)	油彩、アクリル絵具、 キャンバス、パネル	180.2×168.3		
176	北堅 吉彦	絵画浴一 kuro (黒)	1995 (平成 7)	油彩、キャンバス	260.0×210.0		
177	湯川 雅紀	Untitled (Tears)	2002 (平成 14)	油彩、キャンバス	230.0×190.0	作者寄贈	
178	河崎 ひろみ	あらゆるものと小さなひとつのために 94-8	1994 (平成 6)	油彩、キャンバス	194.0×162.0		
179	坂井 淑恵	Whale	2017 (平成 29)	油彩、キャンバス	112.0×145.5		
180	原田 要	絵画の庭一平遠 II	2002 (平成 14)	木、顔料ほか	82.0×95.0×232.0		
181	栗田 宏一	土の時間/和歌山	2007 (平成 19)	和歌山県内の土、 ガラス皿	各 8.8 × 8.8 (14点組)	個人蔵	
展示室外の作品							
<エントランス周辺>							
182	曾我 孝司	重力質一柱	1984 (昭和 59)	ブリキ、真鍮、 塩化ビニールパイプ	サイズ可変		
183	小河 朋司	COLOR TINT -RED-	1996 (平成 8)	木、アクリル絵具、 ミックスホワイト	130.0×250.0×40.0	作者寄贈	

No.	作者名	作品名	制作年	材質、技法	寸法 (cm)	所蔵／備考	前期 後期
184	フランク・ステラ	ラッカ III	1968 (昭和 43)	アクリル絵具、キャンバス	304.0×760.0		
185	バーバラ・クルーガー	無題 (私を覚えていて)	1988 (昭和 63)	シルクスクリーン、 ビニール	378.7×268.1		
186	エミリオ・グレコ	病人を看護する	1963 (昭和 38)	ブロンズ	157.0×186.5×12.0	玉井一郎氏寄贈	
〈階段・ホワイエ〉							
187	バリー・フラナガン	ねじまがった釣鐘の上を跳ぶ野兎	1989 (平成元)	ブロンズ	230.0×187.0×128.5		
188	北堅 吉彦	山並 - senkoushu (鮮光朱)	1999 (平成 11)	油彩	170.0×1020.0	作者の厚意により保存	
〈テラス〉							
189	鈴木久雄	散距離	2008 (平成 20)	鍛造ステンレス鋼	472.0×590.0×180.0	作者寄贈	
190	鈴木久雄	交叉距離	2009 (平成 21)	鍛造ステンレス鋼	340.0×800.0×624.0	作者寄贈	
191	鈴木久雄	木の現象〈喬木 1〉	1997 (平成 9)	鍛造ステンレス鋼	244.0×76.0×82.0	作者寄贈	
192	鈴木久雄	木の現象〈喬木 2〉	1997 (平成 9)	鍛造ステンレス鋼	244.0×76.0×82.0	作者寄贈	
〈ライトコート〉							
193	保田 春彦	聚落を囲う壁 II	1994-1995 (平成 6-7)	鉄	60.0×127.5×451.2		
194	イサム・ノグチ	雲の山	1982 (昭和 57)	酸化処理した鉄	176.0×113.0×71.8		
〈館周辺〉							
195	保田 春彦	球を覆う幕舎	1994 (平成 6)	ステンレススチール	208.0×335.0×305.0		
196	建島 覚造	MANJI	1982 (昭和 57)	ステンレススチール	270.0×170.0×75.0	作者寄贈	
197	ケネス・スネルソン	着地	1969 (昭和 44)	ステンレススチール	250.0×1000.0×360.0		
198	北尾 博史	アンモトノセカイ	1999 (平成 11)	銅、鉄	200.0×500.0×500.0	田中恒子氏寄贈	



会場風景



3-1. コレクション展 2020ー春 特集 浜地清松

- 会期 : 2020年5月8日(金)～6月21日(日) 39日間
 *新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開会を予定していた4月25日(土)から5月6日(水)までを臨時休館とし、5月8日(金)から開館した。
- 会場 : 展示室 A・B (1階)
- 主催 : 和歌山県立近代美術館
- 入場者数 : 1,930名
- 内容 : 当館所蔵作品により、和歌山ゆかりの作家を中心に近現代美術の流れを紹介した。また、滋賀県立近代美術館のリニューアルにあたり、その休館期間中に受託したコレクションもあわせて、アメリカも含めた戦後美術をテーマにしたコーナーを設けた。最後に、人のイメージをさまざまな角度から解釈した作品を紹介し、美術文化への理解を深より深める機会とした。コレクション展は、1. 和歌山ゆかりの作家と近現代の美術、2. 滋賀県立近代美術館コレクションと戦後美術、3. 人のイメージ、の3部で構成。特集では、アメリカ、そしてフランスで学んだ和歌山県出身の洋画家・浜地清松(1885-1947)を、浜地と交流のあった作家や同時代の作家たちとともに紹介した。
- 展示点数 : 【コレクション展】62作家86点 *展示室外を含む 【特集 浜地清松】16作家50点、資料12点
- 担当学芸員 : 奥村一郎
- 関連事業 : *新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、下記は中止
 ・フロアレクチャー 5月4日(土)、6月20日(土) 14:00～ 奥村一郎
- 制作物 : ・出品目録(A4判8頁)
 ・プレスリリース(A4判4頁)
 ・英語版概要(A4判1頁)
- 入場料金 : 一般350(270円)、大学生240(180)円()内は20名以上の団体料金。企画展・特別展観覧者は無料
- 工夫 : 【コレクション展】「和歌山ゆかりの作家と近現代の美術」「滋賀県立近代美術館コレクションと戦後美術」「人のイメージ」のテーマによって、近年新しく収蔵した作品も交えながら展示を構成した。受託中の滋賀県立近代美術館コレクションは、同展が当館で展示できる最後の機会となったことから、特に戦後アメリカの大型作品を中心に紹介した。
 【特集 浜地清松】近年少しずつ作品が集まってきたとは言え、浜地清松のみで展示を構成することは難しいので、浜地と交流のあった作家たちの作品や、また資料とともに浜地の足跡を紹介した。印刷物は制作できなかったが、調査研究の成果は、当館ニュースの107号にまとめることができた。
- 自己評価・課題・改善案 : 【コレクション展】新型コロナウイルス感染症の影響で、開館できるかどうか不明なまま準備し、また開館してからも不安な状況での展示となったが、来館者にはあらためてコレクションの魅力を知ってもらえる機会となった。とはいえず来館がかなわなかった方も多い。コロナ禍に限らず、来館できない方々へのアプローチは今後工夫していきたい。
 【特集 浜地清松】浜地清松は残された作品が少なく、経歴にも不明な点が多いが、近年少しずつ作品や情報が集めることができ、今回没後初めての回顧的な展示となった。移民として渡ったアメリカ時代、パリ時代、そして帰国後の活動の足跡を、交流のあった作家や同時代の作家たちとともに辿ることで、再評価の機会を設けられたと思う。同展示を機会に新しい資料など発見もあり、今後も調査研究を継続していきたい。
- 関連記事 : ・「春の特集展「浜地清松」 25日から県立近代美術館」『紀伊民報』2020年4月8日
 ・猪島郁「津荷・浜地清松作品など紹介 25日～、コレクション展で 県立近代美術館」『熊野新聞』2020年4月24日
 ・「〈文化・芸術〉浜地清松を初めて特集 近代美術館コレクション展」『わかやま新報』2020年5月20日、3面
 ・「人物画「肌が透き通る」 県立近代美術館 浜地清松作品展」『読売新聞』2020年5月24日、20面
 ・泉真子「作品まだあるはず」ふるさとの巨匠、浜地清松 県立近代美術館に情報を『熊野新聞』2020年6月21日、8面
- 情報掲載 : ・「〈information〉コレクション展 2020- 春 特集 浜地清松」『建築と社会』Vol.101、2020年5月1日、p.36
 ・「〈短信〉コレクション展 2020- 春 特集 浜地清松」『朝日新聞』2020年6月11日、18面

コレクション展 2020ー春 出品目録

*特に記載のない作品は当館蔵

No.	作者名	作品名	制作年	材質、技法	寸法 (cm)	所蔵/備考
和歌山ゆかりの作家と近現代の美術						
1	神中 糸子	海岸風景	1888-1892 (明治 21-25)	油彩、キャンバス	38.0×80.4	神中茂次氏寄贈
2	神中 糸子	牡丹	1915-1925 (大正 4-14)	油彩、キャンバス	50.4×61.0	森上安也氏寄贈
3	建島 大夢	子供	1917 (大正 6) / 1994 (平成 6) 鋳造	ブロンズ	91.5×37.5×20.0	建島寛造氏寄贈
4	中村 不折	白頭翁	1907 (明治 40)	油彩、キャンバス	200.2×136.6	個人蔵
5	岸田 劉生	黒き帽子の自画像	1914 (大正 3)	油彩、板	51.3×39.2	個人蔵
6	高村 光太郎	佐藤春夫像	1914 (大正 3)	油彩、キャンバス	61.0×45.5	個人蔵
7	高須 光治	自画像	1915 (大正 4)	油彩、板	45.4×37.3	
8	寺中 美一	自画像	1916 (大正 5)	油彩、キャンバス	45.7×33.6	立石靖子氏寄贈
9	久本 信男	和服婦人	大正初期頃	油彩、キャンバス	41.4×27.7	恩地邦郎氏寄贈
10	[徳川 頼貞]	風景	制作年不詳	油彩、キャンバス	41.0×53.0	
11	林 義明	農夫	1915 (大正 4) 頃	油彩、キャンバス	53.3×41.0	林建樹氏寄贈
12	萬 鉄五郎	風景	1922 (大正 11) 頃	油彩、キャンバス	33.3×46.0	個人蔵
13	保田 龍門	少年	1912 (明治 45 / 大正元)	油彩、キャンバス	45.8×60.6	保田春彦氏寄贈
14	保田 龍門	村の娘	1916 (大正 5)	油彩、キャンバス	82.4×66.9	保田淳子氏寄贈

No.	作者名	作品名	制作年	材質、技法	寸法 (cm)	所蔵／備考
15	保田 龍門	アンドレの首	1922 (大正 11)	ブロンズ	20.3×20.0×20.0	和歌山県立美術館友の会寄贈
16	保田 龍門	少女	1925 (大正 14)	ブロンズ	173.5×67.0×43.0	
17	保田 龍門	裸婦群像 (構図の研究)	1926 (大正 15 / 昭和元)	油彩、キャンバス	130.2×194.2	保田淳子氏寄贈
18	保田 龍門	四季 (春夏秋冬)	昭和初期頃	油彩・水彩・色鉛筆、紙	177.5×374.0	木原達夫氏寄贈 * 2018 年度新収蔵作品
19	大亦 観風	蟬丸	1923 (大正 12)	顔料、紙、二曲一屏風	168.3×360.8	
20	佐伯 祐三	リュ・デュ・シャトーの歩道	1925 (大正 14)	油彩、キャンバス	60.0×73.1	玉井一郎氏寄贈
21	佐伯 祐三	レ・ジュ・ド・ノエル	1925 (大正 14)	油彩、キャンバス	72.3×60.8	玉井一郎氏寄贈
22	佐伯 祐三	オブセルヴァトワール附近	1927 (昭和 2)	油彩、キャンバス	73.2×91.8	玉井一郎氏寄贈
23	佐伯 祐三	男の顔 (K 氏の像)	1927 (昭和 2)	油彩、板	33.0×23.8	玉井一郎氏寄贈
24	佐伯 祐三	モラン風景	1928 (昭和 3)	油彩、ボード	38.0×44.5	玉井一郎氏寄贈
25	原 勝四郎	画工像	1932 (昭和 7)	油彩、厚紙	65.0×52.6	
26	高井 貞二	静物	1920 年代	油彩、キャンバス	29.8×40.5	佐藤圭子氏寄贈 * 2018 年度新収蔵作品
27	高井 貞二	感情の遊離	1932 (昭和 7)	油彩、キャンバス	150.7×91.0	作者寄贈
28	黒田 重太郎	トルドオニュー山村の初秋	1923 (大正 12)	油彩、キャンバス	37.0×45.3	* 2019 年度新収蔵作品
29	川口 軌外	裸婦群像	1925 (大正 14) 頃	油彩、キャンバス	88.2×94.1	川口京村氏寄贈
30	川口 軌外	少女と貝殻	1934 (昭和 9)	油彩、キャンバス	167.3×267.2	
31	森 有材	ピエロ	1932 (昭和 7)	油彩、キャンバス	91.3×73.0	河野喬氏寄贈
32	津高一	爆発	1954 (昭和 29)	油彩、キャンバス	131.0×163.0	
33	菅井 汲	雷神	1958 (昭和 33)	油彩、キャンバス	162.6×130.7	
34	難波田 龍起	緑の空間	1960 (昭和 35)	油彩、キャンバス	91.4×117.2	
35	村井 正誠	黒い線	1962 (昭和 37)	油彩、キャンバス	193.8×259.3	
36	宇佐美 圭司	水族館の中の水族館 No.2	1967 (昭和 42)	油彩、キャンバス	185.2×276.0	
37	麻生 三郎	生きている気配 2	1978 (昭和 53)	油彩、キャンバス	162×227.3	個人蔵
38	山口 長男	連	1965 (昭和 40)	油彩、板	182.2×364.3	

滋賀県立近代美術館コレクションと戦後美術

39	ゴークー、アーシル	無題 (バージニア風景)	1943-1944 (昭和 18-19)	油彩、キャンバス	86.4×116.8	滋賀県立近代美術館
40	ルイス、モーリス	ダレット・ペー	1959 (昭和 34)	アクリル絵具、キャンバス	234.0×367.5	滋賀県立近代美術館
41	ロスコ、マーク	ナンバー 28	1962 (昭和 37)	油彩、キャンバス	205.8×193.5	滋賀県立近代美術館
42	ラインハート、アド	トリプティック	1960 (昭和 35)	油彩、キャンバス	228.6×76.2	滋賀県立近代美術館
43	スティル、クリフォード	PH-386	1955 (昭和 30)	油彩、キャンバス	287.0×393.7	滋賀県立近代美術館
44	ノーランド、ケネス	カドミウム・レイディアンス	1963 (昭和 38)	油彩、キャンバス	237.0×241.0	滋賀県立近代美術館
45	ノグチ、イサム	考える議長	1978 (昭和 53)	御影石、木	27.5×23.5×30.0 / 台座: 104.5×46.8×26.4	
46	シーガル、ジョージ	煉瓦の壁ぎいに歩く男	1988 (昭和 63)	石膏、木、アクリル絵具ほか	264.6×359.9×270.4	
47	リキテンシュタイン、ロイ	泣く女	1963 (昭和 38)	オフセットリトグラフ、紙	43.7×58.9	滋賀県立近代美術館
48	リキテンシュタイン、ロイ	フット・アンド・ハンド	1964 (昭和 39)	オフセットリトグラフ、紙	42.1×53.3	滋賀県立近代美術館
49	ステラ、フランク	バルパライソ・フレッシュ	1964 (昭和 39)	メタリックペイント、キャンバス	197.5×457.2	滋賀県立近代美術館
50	草間 彌生	Interminable Net No.2	1959 (昭和 34)	油彩、キャンバス	139.0×139.0	滋賀県立近代美術館
51	フランシス、サム	サーキュラー・ブルー	1953 (昭和 28)	油彩、キャンバス	196.6×174.0	滋賀県立近代美術館
52	グリーン、アラン	深紅色にかこまれた白	1982 (昭和 57)	油彩、キャンバス	201.3×200.5	
53	クライン、イヴ	RE42	制作年不詳	スポンジ・小石・染料・合成樹脂、木	93.5×73.5	滋賀県立近代美術館
54	フォンタナ、ルーチョ	空間概念	1962 (昭和 37)	油彩、キャンバス	100.0×73.0	滋賀県立近代美術館
55	フォンタナ、ルーチョ	空間概念-期待	1964 - 65 (昭和 39 - 40)	塗料、キャンバス	61.0×50.0	個人蔵
56	ライナー、ブリジット	旗 4	1969 (昭和 44)	アクリル絵具、キャンバス	189.4×44.0	
57	松谷 武判	WORK-63-9	1963 (昭和 38)	ビニール接着剤・油彩・水彩、 キャンバス	187.0×192.0	
58	田中 敦子	'61 赤と黒	1961 (昭和 36)	ビニール絵具、キャンバス	175.0×129.5	
59	金山 明	Work1961	1961 (昭和 36)	油彩、キャンバス	178.5×174.0	滋賀県立近代美術館
60	吉原 治良	無題 71	1971 (昭和 46)	アクリル絵具、キャンバス	97.0×130.0	滋賀県立近代美術館

人のイメージ

61	戸谷 成雄	森化 IX	2004 (平成 16)	木、灰、アクリル絵具	左: 155.0×32.0× 38.0 / 右: 155.0× 30.0×36.0	
62	坂井 淑恵	Whale	2017 (平成 29)	油彩、キャンバス	112.0×145.5	* 2019 年度新収蔵作品
63	安藤 榮作	歩く富士山	2015 (平成 27)	木	23.5×15.0×14.0	田中恒子氏寄贈 * 2018 年度新収蔵作品
64	三木 富雄	耳	1965 (昭和 40)	アルミニウム	45.7×27.3×9.7	
65	三木 富雄	耳	1965 (昭和 40) 頃	アルミニウム	70.0×42.5×12.5	所明義氏寄贈
66	三木 富雄	耳	制作年不詳	アルミニウム	23.0×26.5×6.0	
67	クロス、チャック	自画像	1983 (昭和 58)	ペーパーバルブ、キャンバス	137.2×101.6	
68	中ハシ 克シゲ	Second Marriage	1990 (平成 2)	ブロンズ、トタン、銅線、御影石ほか	145.0×300.0×150.0	

展示室外の作品

〈エントランス周辺〉

69	ステラ、フランク	ラッカ III	1968 (昭和 43)	アクリル絵具、キャンバス	304.0×760.0	
70	クルーガー、バーバラ	無題 (私を覚えていて)	1988 (昭和 63)	シルクスクリーン、ビニール	378.7×268.1	
71	フラナガン、パリー	ねじまがった釣鐘の上を跳ぶ野兎	1989 (平成元)	ブロンズ	230.0×187.0×128.5	
72	グレコ、エミリオ	病人を看護する	1963 (昭和 38)	ブロンズ	157.0×186.5×12.0	
73	鈴木 久雄	塔体 I	1989 (平成元)	鉄	230.0×52.0×54.0	
74	鈴木 久雄	塔体 III	1989 (平成元)	鉄	230.0×54.0×54.0	
75	秋山 陽	META-VOID	2004 (平成 16)	陶	130.0×125.0×136.0	

〈ライトコート〉

76	保田 春彦	聚落を囲う壁 II	1994 - 95 (平成 6 - 7)	鉄	60.0×127.5×451.2	
77	ノグチ、イサム	雲の山	1982 (昭和 57)	酸化処理した鉄	176.0×113.0×71.8	

〈階段・ホワイエ〉

78	北堅 吉彦	山並一 senkoushu (鮮光朱)	1999 (平成 11)	油彩	170.0×1020.0	
----	-------	---------------------	--------------	----	--------------	--

〈テラス〉

79	鈴木 久雄	散距離	2008 (平成 20)	鍛造ステンレス鋼	472.0×590.0×180.0	
80	鈴木 久雄	交叉距離	2009 (平成 21)	鍛造ステンレス鋼	340.0×800.0×624.0	

No.	作者名	作品名	制作年	材質、技法	寸法 (cm)	所蔵／備考
81	鈴木久雄	木の現象〈喬木1〉	1997 (平成 9)	鍛造ステンレス鋼	244.0×76.0×82.0	
82	鈴木久雄	木の現象〈喬木2〉	1997 (平成 9)	鍛造ステンレス鋼	244.0×76.0×82.0	
〈館周辺〉						
83	北尾博史	アシモノノセカイ	1999 (平成 11)	銅、鉄	200.0×500.0×500.0	
84	スネルソン、ケネス	着地	1969 (昭和 44)	ステンレススチール	250.0×1000.0×360.0	
85	建畠覚造	MANJI	1982 (昭和 57)	ステンレススチール	270.0×170.0×75.0	
86	保田春彦	球を覆う幕舎	1994 (平成 6)	ステンレススチール	208.0×335.0×305.0	

特集 浜地清松 出品目録

*特に記載のない作品は当館蔵

No.	作者名	作品名	制作年	材質、技法	寸法 (cm)	所蔵／備考
1	浜地清松	暖炉	1911 (明治 44)	油彩、キャンバス	102.2×82.1	古座町立津荷小学校寄贈
2	浜地清松	静物	1922 (大正 11)	油彩、キャンバス	64.1×73.1	浜地洋二郎氏寄贈
3	浜地清松	花	1921 (大正 10)	油彩、キャンバス	91.6×73.5	
4	浜地清松	赤い帽子	1928 (昭和 3)	油彩、キャンバス	100.0×73.0	
5	浜地清松	裸婦	1928 (昭和 3)	油彩、キャンバス	144.0×110.5	
6	浜地清松	裸婦	制作年不詳	油彩、キャンバス	98.8×80.5	
7	浜地清松	裸婦	1938 (昭和 13)	油彩、キャンバス	112.3×145.0	
8	浜地清松	[種まき]	制作年不詳	油彩、キャンバス	60.5×81.0	串本町立古座小学校蔵
9	浜地清松	[花]	制作年不詳	油彩、キャンバス	53.0×45.2	秋山百合氏寄贈
10～16	「浜地清松旧蔵画帳」より					
10	浜地清松	[風景]	1912 (大正元)	水彩、紙	22.8×33.3	浜地洋二郎氏寄贈
11	澤部清五郎	紐育の花売り	1912 (大正元)	水彩、紙	22.8×33.3	浜地洋二郎氏寄贈
12	澤部清五郎	[水車のある風景]	1912 (大正元)	水彩、紙	22.8×33.3	浜地洋二郎氏寄贈
13	澤部清五郎	[黄葉した木]	1912 (大正元)	水彩、紙	22.8×33.3	浜地洋二郎氏寄贈
14	作者不詳	サンクスギビングの夜	1912 (大正元) 頃	水彩、紙	22.8×33.3	浜地洋二郎氏寄贈
15	作者不詳	サンクスギビングデイ	1912 (大正元)	水彩、紙	22.8×33.3	浜地洋二郎氏寄贈
16	[国吉康雄]	[地下鉄車両の中]	1918 (大正 7)	水彩、紙	22.8×33.3	浜地洋二郎氏寄贈
17	国吉康雄	乳しぼり	1921 (大正 10)	油彩、キャンバス	61.0×50.5	
18	清水登之	ヨコハマ・ナイト	1921 (大正 10)	油彩、キャンバス	76.2×96.5	
19	石垣栄太郎	拳闘	1925 (大正 14)	油彩、キャンバス	75.4×91.2	
20	鹿子木孟郎	パイプを持つ男	1906 (明治 39)	油彩、キャンバス	79.6×64.0	
21	鹿子木孟郎	勝浦狼煙山上ノ眺望	1934 (昭和 9) 頃	水彩、紙	27.5×33.0	個人蔵
22	鹿子木孟郎	牛背之牧童	1921 (大正 10)	顔料、絹	55.3×39.9	森佑一郎氏寄贈
23	佐伯祐三	カフェ・レストラン	1927 (昭和 2)	油彩、キャンバス	61.0×50.3	個人蔵
24	川口軌外	カフェにて	1927 (昭和 2)	油彩、キャンバス	79.0×64.0	個人蔵
25	木下義謙	カーニュ風景	1929 (昭和 4)	油彩、キャンバス	62.0×73.2	作者寄贈
26	園部邦香	二人	1928-1930 (昭和 3-5)	油彩、キャンバス	117.0×91.3	個人蔵
27	園部邦香	[ノートルダム寺院からの眺め]	1928-1930 (昭和 3-5)	油彩、キャンバス	72.8×53.0	個人蔵
28	建畠大夢、狩野光雅、浜地清松 共作	[垣根の少女]	制作年不詳 (大正期)	墨、紙	136.2×33.1	海瀬亀太郎氏寄贈
29	建畠大夢	[母子]	制作年不詳 (大正期)	顔料、絹	116.5×34.7	海瀬亀太郎氏寄贈
30	建畠大夢	[少女]	制作年不詳 (大正期)	顔料、紙	127.5×29.7	海瀬亀太郎氏寄贈
31	狩野光雅	[波濤図]	制作年不詳	顔料、絹	115.6×41.5	熊田司氏寄贈
32	青山熊治	雪の馬	1927 (昭和 2)	油彩、キャンバス	201.2×362.5	個人蔵
〈展示ケース内に展示〉						
33	[資料]	ボストン美術館附属美術学校卒業証書	1909 (明治 42) 年 5 月 29 日付		42.8×31.8	浜地洋二郎氏寄贈
34	[資料]	スクラップブック			45.0×31.5	浜地洋二郎氏寄贈
35	浜地清松	スケッチ帖 (鹿子木孟郎)	1921 (大正 10)	鉛筆、紙	17.5×12.0	浜地洋二郎氏寄贈
36	浜地清松	スケッチ帖 (海岸風景)	制作年不詳	鉛筆、紙	10.5×18.5	浜地洋二郎氏寄贈
37	浜地清松	スケッチ帖 (カサゴ)	制作年不詳	鉛筆、紙	18.5×27.8	浜地洋二郎氏寄贈
38	浜地清松	スケッチ帖 (ideal face)	制作年不詳	鉛筆、紙	18.3×10.9	浜地洋二郎氏寄贈
39	浜地清松	パリ時代の習作 1	制作年不詳	鉛筆、紙	39.0×31.5	浜地洋二郎氏寄贈
40	浜地清松	パリ時代の習作 2	制作年不詳	鉛筆・色鉛筆、紙	39.0×31.5	浜地洋二郎氏寄贈
41	浜地清松	パリ時代の習作 3	制作年不詳	鉛筆・色鉛筆、紙	39.0×31.5	浜地洋二郎氏寄贈
42	浜地清松	パリ時代の習作 4	制作年不詳	鉛筆・色鉛筆、紙	39.0×31.5	浜地洋二郎氏寄贈
43	浜地清松	スケッチ帖 (裸婦)	制作年不詳	水彩、紙	18.3×10.9	浜地洋二郎氏寄贈
44	[資料]	「ル・サロン」展カタログ	1928 (昭和 3)	印刷物	20.7×11.5	浜地洋二郎氏寄贈
45	[資料]	《赤い帽子》で使用した浮世絵図版 (歌川豊国) 1		印刷物	28.0×16.5	浜地洋二郎氏寄贈
46	[資料]	《赤い帽子》で使用した浮世絵図版 (歌川豊国) 2		印刷物	25.5×21.4	浜地洋二郎氏寄贈
47	[資料]	鹿子木孟郎、浜地清松あて書簡	1928 (昭和 3) 年 5 月 5 日付		18.3×140.5	浜地洋二郎氏寄贈
48	[資料]	第 10 回帝国美術院展覧会原色画帖 (古典の聯想)	1929 (昭和 4)	印刷物		浜地洋二郎氏寄贈
49	[資料]	第 11 回帝展集 (聖書を持つ少女)	1930 (昭和 5)	印刷物		浜地洋二郎氏寄贈
50	[資料]	第 9 回第一美術協会作品集 (ブルーの着物)	1937 (昭和 14)	印刷物		浜地洋二郎氏寄贈
51	[資料]	第 10 回第一美術協会作品集 (裸婦)	1938 (昭和 15)	印刷物		浜地洋二郎氏寄贈
52	[資料]	浜地清松画伯洋画個展目録	1936 (昭和 13)	印刷物		浜地洋二郎氏寄贈
53	[資料]	南紀美術会会員名簿	1930 (昭和 5)	印刷物	15.5×39.1	保田龍門旧蔵
54	浜地清松	北軽井沢草花集	1935 (昭和 12)	水彩、紙	29.5×42.0	浜地洋二郎氏寄贈
55	浜地清松	スケッチ帖 (早朝の浅間山)	制作年不詳	水彩、紙	11.5×18.7	浜地洋二郎氏寄贈
56	浜地清松	習作 (警備員の試運転)	1937 (昭和 12)	水彩、紙	26.6×35.7	浜地洋二郎氏寄贈
57	浜地清松	習作 (武昌洪山宝通寺)	1940 (昭和 16)	水彩、紙	32.0×23.6	浜地洋二郎氏寄贈
58	浜地清松	習作 (十二航空隊)	制作年不詳	鉛筆、紙	23.6×32.1	浜地洋二郎氏寄贈
59	浜地清松	習作 (牛と人)	制作年不詳	鉛筆、紙	26.6×35.7	浜地洋二郎氏寄贈
60	浜地清松	習作 (むしろ織り)	制作年不詳	鉛筆、紙	25.8×35.8	浜地洋二郎氏寄贈
61	霜鳥之彦 (正三郎)	[貝]	1935 (昭和 12)	水彩、紙	30.0×42.0	浜地洋二郎氏寄贈
62	霜鳥之彦 (正三郎)	[魚]	1935 (昭和 12)	水彩、紙	30.0×42.0	浜地洋二郎氏寄贈



会場風景



3-2. コレクション展 2020ー夏

特集 浜口陽三／特別出品 アルフォンス・ミュシャ

会期 : 2020年6月30日(火)～9月6日(日) 69日間

会場 : 展示室 A・B (1階)

主催 : 和歌山県立近代美術館

協力 : 株式会社インテック

入場者数 : 3,843名

内容 : 所蔵作品を通して美術文化への理解を深められるよう、テーマを設けながら和歌山ゆかりの作家を中心に近現代美術の秀作を展示。特集として、カラー・メゾチントのパイオニア浜口陽三(1909～2000)の没後20年およびその曾祖父濱口梧陵の生誕200年を記念し、作品を紹介。また、浜口が制作を続けたパリで、19世紀末のアール・ヌーヴォーを代表する画家となったアルフォンス・ミュシャ(1860～1939)の作品15点を株式会社インテックの協力により紹介した。コレクション展は、1. 和歌山ゆかりの作家と近現代の美術、2. 滋賀県立近代美術館コレクションと戦後美術、3. 特別出品アルフォンス・ミュシャ、4. 静物画、の4部で構成。

展示点数 : 【コレクション展】64作家116点 *展示室外を含む【特集 浜口陽三】1作家47点

担当学芸員 : 井上芳子

関連事業 : ・フロアレクチャー 7月12日(日)14:00～15:00 3名、8月9日(日)14:00～15:00 5名、9月6日(日)14:00～15:00 5名 井上芳子

制作物 : ・出品目録(A4判8頁)

・プレスリリース(A4判3頁)

入場料金 : 一般350(270円)、大学生240(180)円()内は20名以上の団体料金

工夫 : 濱口梧陵の生誕200年記念として、県立博物館、県立文書館等で特集展示が行われるのと合わせ、当館でも浜口陽三の特集展示を行った。初期から代表作のカラーメゾチントまで、技法の実験・展開をたどりつつ、モノクロームとカラーの比較をするなど、作品の魅力を感じられるよう工夫した。また前年度に開催した特別展「ミュシャと日本、日本とオルリック」で出品された株式会社インテック蔵のミュシャ作品15点が、コロナ禍のため借用期間の延長がなされ、特別展の際には他館で展示されたものも含め、あらためて紹介する機会とした。

自己評価・課題・改善案 : 浜口陽三をまとめて取り上げるのは2009年の生誕100年記念展以来、11年ぶりだった。モノクロームからカラーメゾチントに至るあいだに、ダブルトーンを試していたことが分かり、今後は原版の調査を進めることが課題である。

関連記事 : ・「コレクション展 2020-夏 浜口陽三特集、アルフォンス・ミュシャ」『和歌山特報』2020年7月21日、6面

・「浜口陽三、ミュシャ 近代美術館コレクション展」『わかやま新報』2020年7月22日、3面

・「夏の特集「浜口陽三」ミュシャの特別出品も 9月6日まで県立近代美術館」『紀伊民報』2020年8月22日、6面

情報掲載 : ・「〈電車&ウォーク〉コレクション展 2020-夏 特集「浜口陽三」」『西 NAVI』2020年7月号、2020年7月1日

・「〈EVENT CALENDAR〉銅版画家、浜口陽三を特集」『ニュース和歌山 PLUS』Vo.65、2020年8月24日、p.13

コレクション展 2020ー夏 出品目録

*特に記載のない作品は当館蔵

No.	作者名	作品名	制作年	材質、技法	寸法(cm)	所蔵/備考
和歌山ゆかりの作家と近現代の美術						
1	神中糸子	海岸風景	1888-1892(明治21-25)	油彩、キャンバス	38.0×80.4	神中茂次氏寄贈
2	鹿子木 孟郎	パイプを持つ男	1906(明治39)	油彩、キャンバス	79.6×64.0	
3	中村 不折	白頭翁	1907(明治40)	油彩、キャンバス	200.2×136.6	個人蔵
4	有島生馬	樹下の裸婦	1913(大正2)	油彩、キャンバス	52.5×45.5	
5	高村 光太郎	佐藤春夫像	1914(大正3)	油彩、キャンバス	61.0×45.5	個人蔵
6	岸田 劉生	黒き帽子の自画像	1914(大正3)	油彩、板	51.3×39.2	個人蔵
7	高須 光治	自画像	1915(大正4)	油彩、板	45.4×37.3	
8	恩地 孝四郎	妻のぶ像	1916(大正5)	油彩、キャンバス	60.6×40.9	
9	久本 信男	和服婦人	大正初期頃	油彩、キャンバス	41.4×27.7	恩地邦郎氏寄贈
10	小林 徳三郎	風景	1918(大正7)	油彩、キャンバス	40.8×31.8	
11	萬 鉄五郎	風景	1922(大正11)頃	油彩、キャンバス	33.3×46.0	個人蔵
12	古賀 春江	海水浴	1922(大正11)	油彩、キャンバス	91.3×117.0	
13	下村 観山	鶺鴒図	1901(明治34)	顔料、紙	各168.0×363.0	滋賀県立近代美術館
14	下村 観山	白描 魔障図	1910(明治43)	墨、絹	67.2×164.6	
15	下村 観山	観音図	1911(明治44)頃	顔料、絹	138.5×56.4	滋賀県立近代美術館
16	下村 観山	維摩図	制作年不詳	顔料、絹	130.0×55.0	滋賀県立近代美術館
17	下村 観山	寿老	大正末～昭和初期	顔料、墨、紙	144.0×56.5	
18	下村 清時	太子像	1921(大正10)	顔料、木	101.5×59.2	
19	建島 大夢	おゆのつかれ	1913(大正2) / 1970(昭和45) 铸造	ブロンズ	68.0×40.0×56.0	
20	玉置 照信	秋晴喜鳥	制作年不詳	顔料、紙	135.2×33.0	玉置モト氏寄贈
21	玉置 照信	久地の梅	1930-1931(昭和55-56)	顔料、絹	右隻166.5×83.5 左隻171.5×85.3	個人蔵
22	玉置 照信	海の幸	制作年不詳	油彩、キャンバス	72.6×91.0	個人蔵
23	玉置 照信	猫を抱く女	制作年不詳	油彩、キャンバス	117.0×90.5	個人蔵
24	ルノワール、ピエール・オーギュスト	苺	制作年不詳	油彩、キャンバス	19.8×21.2	個人蔵
25	梅原 龍三郎	小川(フルターニュ風景)	1909(明治42)	油彩、キャンバス	24.6×32.4	個人蔵
26	藤田 嗣治	鳥と少女	制作年不詳	油彩、キャンバス	46.5×33.0	個人蔵
27	東郷 青児	静物	1924(大正13)	油彩、キャンバス	46.0×38.0	
28	川口 軌外	キャフェにて	1927(昭和2)	油彩、キャンバス	79.0×64.0	個人蔵
29	佐伯 祐三	広告のある門	1925(大正14)	油彩、キャンバス	59.9×73.2	玉井一郎氏寄贈

No.	作者名	作品名	制作年	材質、技法	寸法 (cm)	所蔵/備考
30	シュヴィッターズ, クルト	gc	1924 (大正 13)	コラージュ	17.0×10.9	滋賀県立近代美術館
31	高井 貞二	機械	1931 (昭和 6) 頃	油彩、キャンバス	52.9×45.5	作者寄贈
32	高井 貞二	感情の遊離	1932 (昭和 7)	油彩、キャンバス	150.7×91.0	作者寄贈
33	石垣 栄太郎	街	1925 (大正 14)	油彩、キャンバス	126.0×91.0	
34	原 勝四郎	道化	1941 (昭和 16)	油彩、厚紙	90.3×73.2	
35	川口 軌外	少女と貝殻	1934 (昭和 9)	油彩、キャンバス	167.3×267.2	
36	川口 軌外	夏の家	1940 (昭和 15)	油彩、キャンバス	165.7×267.0	川口京村氏寄贈
37	村井 正誠	URBAIN No.1	1936 (昭和 11)	油彩、キャンバス	112.2×194.2	
38	鳥海 青児	蘇州風景	1939 (昭和 14)	油彩、キャンバス	89.6×145.8	個人蔵
39	難波田 龍起	郊外	1951 (昭和 26)	油彩、キャンバス	53.2×45.8	
40	松本 竣介	三人	1943 (昭和 18)	油彩、キャンバス	162.2×112.5	個人蔵

滋賀県立近代美術館コレクションと戦後美術

41	ゴーキー, アーシル	無題 (バージニア風景)	1943-1944 (昭和 18-19)	油彩、キャンバス	86.4×116.8	滋賀県立近代美術館
42	ステイル, クリフォード	PH-386	1955 (昭和 30)	油彩、キャンバス	287.0×393.7	滋賀県立近代美術館
43	ルイス, モーリス	ダレット・ペー	1959 (昭和 34)	アクリル絵具、キャンバス	234.0×367.5	滋賀県立近代美術館
44	ロスコ, マーク	赤の上の黄褐色と黒	1957 (昭和 32)	油彩、キャンバス	176.2×136.6×3.8	
45	ロスコ, マーク	ナンバー 28	1962 (昭和 37)	油彩、キャンバス	205.8×193.5	滋賀県立近代美術館
46	シーガル, ジョージ	煉瓦の壁ぞいに歩く男	1988 (昭和 63)	石膏、木、アクリル絵具ほか	264.6×359.9×270.4	
47	ラインハート, アド	トリプティック	1960 (昭和 35)	油彩、キャンバス	228.6×76.2	滋賀県立近代美術館
48	フランシス, サム	サーキュラー・ブルー	1953 (昭和 28)	油彩、キャンバス	196.6×174.0	滋賀県立近代美術館
49	草間 彌生	Interminable Net No.2	1959 (昭和 34)	油彩、キャンバス	139.0×139.0	滋賀県立近代美術館
50	ステラ, フランク	バルバライン・フレッシュ	1964 (昭和 39)	メタリックペイント、キャンバス	197.5×457.2	滋賀県立近代美術館
51	ノーランド, ケネス	カドミウム・レイディアンス	1963 (昭和 38)	油彩、キャンバス	237.0×241.0	滋賀県立近代美術館
52	ウェッセルマン, トム	シリーズ#8	1966 (昭和 41)	アクリル絵具、キャンバス	172.9×106.8	
53	ウェッセルマン, トム	グレート・アメリカン・ヌード # 6	1961 (昭和 36)	ミクストメディア・コラージュ、ボード	121.9×121.9	滋賀県立近代美術館
54	ダイン, ジム	ナイト・ポートレート	1969 (昭和 44)	リトグラフ、紙	135.2×95.7	滋賀県立近代美術館
55	吉原 治良	無題 71	1971 (昭和 46)	アクリル絵具、キャンバス	97.0×130.0	滋賀県立近代美術館
56	金山 明	Work1961	1961 (昭和 36)	油彩、キャンバス	178.5×174.0	滋賀県立近代美術館
57	田中 敦子	'61 赤と黒	1961 (昭和 36)	ビニール絵具、キャンバス	175.0×129.5	
58	白髪 一雄	地察星 青眼虎	1961 (昭和 36)	油彩、キャンバス	194.0×130.6	
59	建畠 寛造	PILED CUP 2 (大)	1996 (平成 8)	木、FRP、鉛	140.7×41.1×41.1	作者寄贈

特別出品 アルフォンス・ミュシャ

60	ミュシャ, アルフォンス	「ジズモンダ」ポスター	1895 (明治 28)	リトグラフ、紙	211.0×71.5	株式会社インテック
61	ミュシャ, アルフォンス	「メディア」ポスター	1898 (明治 31)	リトグラフ、紙	206.0×76.0	株式会社インテック
62	ミュシャ, アルフォンス	トバズ<宝石>	1900 (明治 33)	リトグラフ、紙	96.7×38.9	株式会社インテック
63	ミュシャ, アルフォンス	ルビー<宝石>	1900 (明治 33)	リトグラフ、紙	97.2×38.3	株式会社インテック
64	ミュシャ, アルフォンス	アメジスト<宝石>	1900 (明治 33)	リトグラフ、紙	96.8×38.4	株式会社インテック
65	ミュシャ, アルフォンス	エメラルド<宝石>	1900 (明治 33)	リトグラフ、紙	97.2×39.5	株式会社インテック
66	ミュシャ, アルフォンス	「ジョ」ポスター	1896 (明治 29)	リトグラフ、紙	51.0×38.5	株式会社インテック
67	ミュシャ, アルフォンス	「サロン・デ・サン ミュシャ 作品展」ポスター	1897 (明治 30)	リトグラフ、紙	62.2×42.7	株式会社インテック
68	ミュシャ, アルフォンス	『ラ・プリュム』誌の黄道十二宮カレンダー	1897 (明治 30)	リトグラフ、紙	63.3×47.1	株式会社インテック
69	ミュシャ, アルフォンス	春<四季>	1896 (明治 29)	リトグラフ、紙	98.0×50.6	株式会社インテック
70	ミュシャ, アルフォンス	夏<四季>	1896 (明治 29)	リトグラフ、紙	99.0×51.0	株式会社インテック
71	ミュシャ, アルフォンス	秋<四季>	1896 (明治 29)	リトグラフ、紙	99.0×51.0	株式会社インテック
72	ミュシャ, アルフォンス	冬<四季>	1896 (明治 29)	リトグラフ、紙	99.8×51.5	株式会社インテック
73	ミュシャ, アルフォンス	桜草	1899 (明治 32)	リトグラフ、紙	53.2×22.6	株式会社インテック
74	ミュシャ, アルフォンス	羽根	1899 (明治 32)	リトグラフ、紙	53.0×22.4	株式会社インテック
75	ロダン, オーギュスト	永遠の偶像	1889 (明治 22)	ブロンズ	高さ 75.0	個人蔵

静物画

76	佐伯 祐三	ポスターとロウソク立て	1925 (大正 14)	油彩、キャンバス	45.5×53.6	玉井一郎氏寄贈
77	坂本 繁二郎	能面	1955 (昭和 30)	油彩、キャンバス	31.8×41.4	個人蔵
78	長谷川 潔	静物画、仮装したる狐 (フィンランド童話)	1965 (昭和 40)	メソチント、紙	36.0×26.7	
79	山本 容子	A Birth < June Brand '75 >	1975 (昭和 50)	エッチング、シルクスクリーン、紙	61.0×88.0	個人蔵
80	山本 容子	TAP TAP DANCE	1976 (昭和 51)	カラーインク、紙	38.0×56.0	個人蔵
81	山本 容子	Ping Pong Pineapple	1977 (昭和 52)	エッチング・アクアチント、紙	45.0×59.7	ブリッジ寄贈
82	山本 容子	Joke, Juice, Journey	1977 (昭和 52)	エッチング・アクアチント、紙	45.2×59.7	ブリッジ寄贈
83	山本 容子	Sausage Age	1977 (昭和 52)	エッチング・アクアチント、紙	45.5×59.3	ブリッジ寄贈
84	小枝 繁昭	Dine's Red and Flowers#7	1989 (平成元)	シルクスクリーン・アクリル絵具、紙	150.0×120.0	滋賀県立近代美術館
85	小枝 繁昭	Dine's Red and Flowers#10	1989 (平成元)	シルクスクリーン・アクリル絵具、紙	150.0×120.0	滋賀県立近代美術館
86	小枝 繁昭	Dine's Red and Flowers#11	1989 (平成元)	シルクスクリーン・アクリル絵具、紙	150.0×120.0	滋賀県立近代美術館
87	ジョーンズ, ジャスパー	第1のエッチング集 1 懐中電灯	1967-1968 (昭和 42-43)	エッチング・写真製版、紙	上: 8.9×11.2 / 下: 20.6×33.0	
88	ジョーンズ, ジャスパー	第1のエッチング集 2 電球	1967-1968 (昭和 42-43)	エッチング・写真製版、紙	上: 12.3×22.1 / 下: 8.8×11.2	
89	ジョーンズ, ジャスパー	第1のエッチング集 4 絵筆	1967-1968 (昭和 42-43)	エッチング・写真製版、紙	上: 35.9×27.9 / 下: 11.3×9.2	
90	ジョーンズ, ジャスパー	第1のエッチング集 5 旗	1967-1968 (昭和 42-43)	エッチング・写真製版、紙	上: 24.9×42.5 / 下: 6.8×10.2	
91	ジョーンズ, ジャスパー	旗	1960-1969 (昭和 35-44)	鉛	48.2×53.4	

展示室外の作品

<エントランス周辺>

99	秋山 陽	META-VOID	2004 (平成 16)	陶	130.0×125.0×136.0	
100	ステラ, フランク	ラッカ III	1968 (昭和 43)	アクリル絵具、キャンバス	304.0×760.0	
101	クルーガー, ハーバラ	無題 (私を覚えていて)	1988 (昭和 63)	シルクスクリーン、ビニール	378.7×268.1	
102	フラナガン, バリー	ねじまがった釣鐘の上を跳ぶ野兎	1989 (平成元)	ブロンズ	230.0×187.0×128.5	
103	鈴木 久雄	塔体 I	1989 (平成元)	鉄	230.0×52.0×54.0	
104	鈴木 久雄	塔体 III	1989 (平成元)	鉄	230.0×54.0×54.0	
105	グレコ, エミリオ	病人を看護する	1963 (昭和 38)	ブロンズ	157.0×186.5×12.0	

<階段・ホワイエ>

106	北堅 吉彦	山並 - senkoushu (鮮光朱)	1999 (平成 11)	油彩	170.0×1020.0	
-----	-------	----------------------	--------------	----	--------------	--

<テラス>

No.	作者名	作品名	制作年	材質、技法	寸法 (cm)	所蔵／備考
107	鈴木久雄	散距離	2008 (平成 20)	鍛造ステンレス鋼	472.0×590.0×180.0	
108	鈴木久雄	交叉距離	2009 (平成 21)	鍛造ステンレス鋼	340.0×800.0×624.0	
109	鈴木久雄	木の現象〈喬木 1〉	1997 (平成 9)	鍛造ステンレス鋼	244.0×76.0×82.0	
110	鈴木久雄	木の現象〈喬木 2〉	1997 (平成 9)	鍛造ステンレス鋼	244.0×76.0×82.0	
〈ライトコート〉						
111	保田 春彦	聚落を囲う壁 II	1994-95 (平成 6-7)	鉄	60.0×127.5×451.2	
112	ノグチ、イサム	雲の山	1982 (昭和 57)	酸化処理した鉄	176.0×113.0×71.8	
〈館周辺〉						
113	保田 春彦	球を覆う幕舎	1994 (平成 6)	ステンレススチール	208.0×335.0×305.0	
114	建島 覚造	MANJI	1982 (昭和 57)	ステンレススチール	270.0×170.0×75.0	
115	スネルソン、ケネス	着地	1969 (昭和 44)	ステンレススチール	250.0×1000.0×360.0	
116	北尾 博史	アシモトノセカイ	1999 (平成 11)	銅、鉄	200.0×500.0×500.0	

特集 浜口陽三 出品目録

*特に記載のない作品は当館蔵

No.	作者名	作品名	制作年	材質、技法	寸法 (cm)	所蔵／備考
1	浜口 陽三	猫	1950 (昭和 25)	頃	ドライポイント、紙	5.7×4.2
2	浜口 陽三	堀削	1951 (昭和 26)		メゾチント、紙	8.8×10.6
3	浜口 陽三	永代橋	1951 (昭和 26)		メゾチント、紙	8.8×10.7
4	浜口 陽三	魚河岸の汽車	1951 (昭和 26)		メゾチント、紙	8.8×10.8
5	浜口 陽三	手	1951 (昭和 26)		ドライポイント、紙	5.5×4.9
6	浜口 陽三	猫	1952 (昭和 27)		ドライポイント、ルーレット、紙	6.5×9.0
7	浜口 陽三	レダ	1952 (昭和 27)		ドライポイント、紙	18.2×24.2
8	浜口 陽三	港	1951 (昭和 26)		メゾチント、紙	27.0×36.2
9	浜口 陽三	杭	1952 (昭和 27)		メゾチント、紙	17.5×23.6
10	浜口 陽三	姑娘	1951 (昭和 26)		ドライポイント、紙	19.4×13.4
11	浜口 陽三	二人	1952 (昭和 27)		ドライポイント、紙	20.5×14.7
12	浜口 陽三	洋梨とぶどう	1951 (昭和 26)		ドライポイント、メゾチント、紙	26.5×36.0
13	浜口 陽三	西瓜二切	1954 (昭和 29)		メゾチント、紙	29.4×39.1
14	浜口 陽三	魚と果物	1954 (昭和 29)		メゾチント、紙	29.0×39.0
15	浜口 陽三	メロンと筆	1955 (昭和 30)		メゾチント、紙	29.2×29.0
16	浜口 陽三	女達	1953 (昭和 28)		メゾチント、紙	17.8×23.7
17	浜口 陽三	秋の女	1953 (昭和 28)		メゾチント、紙	18.0×24.0
18	浜口 陽三	西瓜	1955 (昭和 30)		カラーメゾチント、紙	8.5×13.5
19	浜口 陽三	魚とさくらんぼ	1956 (昭和 31)		カラーメゾチント、紙	14.5×19.5
20	浜口 陽三	壺ととうがらし	1955 (昭和 30)		カラーメゾチント、紙	44.2×29.5
21	浜口 陽三	モーヴ	1954 (昭和 29)		ドライポイント、アクアチント、紙	11.5×8.4
22	浜口 陽三	ジブシー	1954 (昭和 29)		メゾチント、紙	28.7×28.7
23	浜口 陽三	うさぎ	1954 (昭和 29)		カラーメゾチント (2色刷)、紙	29.4×29.2
24	浜口 陽三	四つたさくらんぼ	1963 (昭和 38)		カラーメゾチント、紙	23.5×54.0
25	浜口 陽三	暗い背景のぶどう	1961 (昭和 36)		カラーメゾチント、紙	34.5×29.5
26	浜口 陽三	黒いさくらんぼ	1960 (昭和 35)		メゾチント、紙	19.7×26.6
27	浜口 陽三	ぶどう	1955 (昭和 30)		メゾチント、紙	29.0×34.2
28	浜口 陽三	青いぶどう	1956 (昭和 31)		カラーメゾチント、紙	14.6×19.5
29	浜口 陽三	ぶどうとナイフ	1956 (昭和 31)		メゾチント、紙	10.1×18.4
30	浜口 陽三	魚とレモン	1958 (昭和 33)		メゾチント、紙	26.6×49.0
31	浜口 陽三	ボブラ	1960 (昭和 35)		カラーメゾチント、紙	19.5×26.7
32	浜口 陽三	雲	1958 (昭和 33)		メゾチント、紙	26.2×49.0
33	浜口 陽三	14 のさくらんぼ	1966 (昭和 41)		カラーメゾチント、紙	51.3×24.4
34	浜口 陽三	トリコット	1965 (昭和 40)		メゾチント、紙	24.5×52.0
35	浜口 陽三	2匹の蝶	1977 (昭和 52)		カラーメゾチント、紙	15.5×15.3
36	浜口 陽三	8つのくるみ	1977 (昭和 52)		リトグラフ、紙	90.2×60.3
37	浜口 陽三	毛糸とさくらんぼのデッサン	制作年不詳		色鉛筆、紙	32.0×44.0
38	浜口 陽三	くるみ デッサン	制作年不詳		鉛筆、紙	15.8×23.9
39	浜口 陽三	葉のデッサン	1961 (昭和 36)		コンテ・色鉛筆、紙・台紙に貼付け	3.8×3.9
40～45	浜口 陽三	葉 試刷り				
40		一色	制作年不詳		メゾチント、紙	3.7×3.8
41		一色・緑	制作年不詳		アクアチント、紙	3.1×3.2
42		二色・緑・1	制作年不詳		メゾチント・アクアチント、紙	3.8×3.8
43		二色・緑・2	制作年不詳		メゾチント・アクアチント、紙	3.7×3.8
44		二色・赤	制作年不詳		メゾチント・アクアチント、紙	3.7×3.8
45		二色・薄黄	制作年不詳		メゾチント・アクアチント、紙	3.8×3.8
46	浜口 陽三	銅版上のデッサン	制作年不詳		鉛筆、紙	9.1×9.5×0.3
47	浜口 陽三	銅版上のデッサン 2 匹のてんとう虫	制作年不詳		鉛筆、紙、ボール紙に貼付け	5.0×5.0×0.2



会場風景



3-3. 開館 50 周年記念 美術館を展示する 和歌山県立近代美術館のサステナビリティ

会期 : 2020 年 12 月 1 日 (火) ~ 12 月 20 日 (日) 20 日間

会場 : 展示室 C (2 階)

主催 : 和歌山県立近代美術館

入場者数 : 1,098 名

内容 : 美術館が行うのは、展覧会だけではない。当館のコレクションを歴史としてたどる同時期開催の「コレクションの 50 年」と連動し、多面的な活動の場としての美術館を振り返り、またそれを支える地域との繋がりに目も向け、それぞれの活動に関わる作品と多数の資料を映像も交えて紹介することで、美術館の継続性を考える機会とした。はじめに、ミュージアムとサステナビリティ、1. 和歌山県立近代美術館の 50 年+α、2. 和歌山県立近代美術館という箱、3. あつめてのこす 明治 100 年記念郷土作家回顧展、4. 託されるコレクション、5. 見せてのこす 展覧会とサステナビリティ、6. 支えるしくみをつくる、7. これまでとこれから、の 8 部で構成。

展示点数 : 29 作家、50 点、資料 104 点ほか

担当学芸員 : 青木加苗、奥村一郎、宮本久宣

関連事業 : ・フロアレクチャー 12 月 5 日 (土) 14:00 ~ 15:00 7 名 奥村一郎、宮本久宣、青木加苗、6 日 (日) 14:00 ~ 15:00 18 名 宮本久宣、青木加苗

・子ども美術館部 (小学生対象の作品鑑賞会)「わたしの『びじゅつかん』」 12 月 5 日 (土) 11:00 ~ 12:00 5 名 青木加苗、6 日 (日) 11:00 ~ 12:00 4 名 青木加苗

・だれでも美術館部 12 月 19 日 (土) 13:30 ~ 14:15 8 名 青木加苗 ※当初、たまごせんせいとわくわくアートツアー (和歌山大学美術館部の学生による鑑賞ガイド) の実施を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため和歌山大学において全学生団体の課外活動禁止期間が延長されたため、学芸員とお話をしながら展覧会を楽しむ「だれでも美術館部」に変更。

・「美術館を展示する 和歌山県立近代美術館のサステナビリティ」展 記録ウェブサイト <https://www.momaw.jp/2020/momaw50/>
*上記サイト内で展示作業の様子をタイムラプスで記録した「撤去と展示」映像も紹介

制作物 : ・ポスター (B2 判、オフセット印刷) ※「コレクションの 50 年」展と共通

・チラシ (A3 判二つ折、オフセット印刷) ※「コレクションの 50 年」展と共通

・出品目録 (A4 判 6 頁)

・プレスリリース (A4 判 3 頁)

入場料金 : 一般 350 (270 円)、大学生 240 (180 円) () 内は 20 名以上の団体料金

工夫 : 「コレクションの 50 年」展では紹介しきれない 50 年間の美術館活動を、美術館の理念や展覧会活動、美術館建築、調査研究、収集、寄託、展示、教育普及といった側面から多面的に紹介した。現物資料とともにプロジェクターを多用して写真・映像を多く展示した。20 日間という短期間の会期であったため、展覧会内容をウェブ展示として再構成して、2021 年 1 月より公開、現在も公開を継続している。

自己評価・課題・改善案 : 「持続性/サステナビリティ」という現在の広い問題に関わる観点との結びつき、あるいは美術館とは何かという本質的な問いかけが注目を集め、短期間ながら遠方からの来館者が多くあった。ウェブ展示を設けたために、1 年以上経った現在でも関心を集められており、ページビューも続いている。博物館学的なアプローチとして、美術館以外の館種にも、大いに刺激を与えた。展示の面では、ひとつ前の展覧会からの展示替え作業を撮影した早回し動画や、展示道具や調査道具の展示など、美術館の仕事をよりリアルに感じられるような構成としたが、単なる「お仕事紹介」にとどまらず、美術館という存在を人々と共有する視点は一貫して保てたと思う。「コレクションの 50 年」展と同じ学芸員が担当したことも、その総合性を意識することに寄与した。しかしそのために、展覧会準備の時間的余裕がなかったことは否めない。

関連記事 : ・「もはや版画 消しゴムはんこ 近代美術館 知らない世界と出合う機会に」『ニュース和歌山』2020 年 11 月 28 日、4 面

・高橋咲子「〈この 1 年 美術〉美術館のあり方再考を促す」『毎日新聞』2020 年 12 月 10 日、4 面

・青木加苗「〈Curator's Voice〉美術館はサステナブルな存在か? 担当キュレーターが語る「美術館を展示する 和歌山県立近代美術館のサステナビリティ」」『ウェブ版美術手帖』2021 年 1 月 26 日

・青木加苗「ミュージアムがサステナブルであるために—和歌山県立近代美術館の場合」『ICOM ジャーナル』2021 年 8 月 (英訳: Kanae Aoki, "The Future of Museums and Their Sustainability—A Case of The Museum of Modern Art, Wakayama", *ICOM Journal*, Aug. 2021)

情報掲載 : ・「近代美術館開館 50 周年の記念展覧会」『Lism』2020 年 11 月号、Vol.201、2020 年 11 月 25 日、p.59

・「美術館を展示する」『産経新聞』2020 年 12 月 1 日、3 面



チラシ表 (二つ折) *「コレクションの 50 年」展と共通



会場風景



美術館を展示する 和歌山県立近代美術館のサステナビリティ 出品目録

*特に記載のない作品は当館蔵

作者名/資料名	作品名	制作年	材質、技法	寸法 (cm)	所蔵/備考
はじめに ミュージアムとサステナビリティ					
・パネル展示					
1. 和歌山県立近代美術館の50年+α					
・展覧会ポスター 和歌山県立近代美術館(旧館)～和歌山県立近代美術館(新館)					
・『美術館だより』『和歌山県立近代美術館ニュース』					
和歌山県立美術館 1963-1970					
・「県立和歌山美術館建設計画書」1冊					
・川口軌外アルバム *川口軌外展の展示風景 1冊					
・県立美術館時代のチラシ、目録、スクラップブックなど					
和歌山県立近代美術館(旧館) 1970-1993					
・「和歌山県立近代美術館案内」1枚					
・「和歌山県立美術館のあゆみ」1冊					
・「博物館登録申請書」1冊					
・県立近代美術館(旧館)時代のチラシ、目録など					
和歌山県立近代美術館(新館) 1994-2020					
・「和歌山県立近代美術館要覧」1冊					
・「和歌山県立近代美術館カレンダー」1994年～2020年分					
2. 和歌山県立近代美術館という箱					
・和歌山県立近代美術館・和歌山県立博物館建築模型(400分の1スケール)				119.0×84.0×18.5	
・和歌山県立近代美術館・和歌山県立博物館建築模型(200分の1スケール)				106.0×134.0×25.0	
・和歌山県立近代美術館設計案模型				A案 35.5×35.5×5.4 B案 36.5×35.0×5.5 C案 35.5×35.0×6.0 D案 36.0×36.5×5.0 F案 36.5×35.5×5.5	
・トラス構造模型(大)				47.5×37.0×4.5	
・トラス構造模型(小)				33.5×24.0×4.0	
・灯笼(上部)模型				25.0×25.0×25.3	
・和歌山県立近代美術館のカウンター天板 モックアップ				150.0×60.0×10.0	
・フラクタル家具シリーズ ハイバックチェア モックアップ				45.0×22.0×152.0	
・フラクタルシリーズ ドアハンドル モックアップ				真鍮 103.5×19.3	
・フラクタルシリーズ ドアハンドル モックアップ				真鍮 87.3×18.0	
・フラクタルシリーズ ドアハンドル モックアップ				キャスト 62.0×15.3	
・建設予定地航空写真				写真 44.5×54.6 / 45.5×56.1	
・建築模型写真(近景)				写真 59.5×84.3	
・建築模型写真(遠景)				写真 36.1×53.1 / 46.0×55.8	
・和歌山県立近代美術館・博物館完成イメージ図(三年坂通り)				グワッシュ、ボード 40.3×84.1 / 57.5×84.1	
・和歌山県立近代美術館・博物館完成イメージ図(鳥瞰)				写真 59.4×84.0	
・和歌山県立近代美術館立面図(北)				コピー、鉛筆、紙 62.1×102.5	
・和歌山県立近代美術館立面図(東)				コピー、鉛筆、紙 62.0×101.0	
・オーディオビジュアルルーム展開図				コピー、紙 84.8×158.8	
・和歌山県立博物館エントランス平面図				コピー、鉛筆、紙 84.3×158.8	
・外構・配置図				コピー、鉛筆、色鉛筆、紙 84.3×141.3	
・和歌山県立近代美術館・博物館夜間照明計画図				コピー、グワッシュ、紙 59.0×83.8	
・和歌山城との方角関係図				コピー、鉛筆、色鉛筆、紙 103.2×84.7	
・黒川紀章展 近年のプロジェクトー 4つの美術館について [ポスター] (1993年)				インクジェットプリント、紙 59.5×42.0	
・黒川紀章『共生の思想』(徳間書店、1987年) 1冊					個人蔵
・黒川紀章『黒川紀章ノート 思索と創造の軌跡』(同文書店、1994年) 1冊					
・Kisho Kurokawa, The Philosophy of Symbiosis (Academy Editions、1994年) 1冊					個人蔵
・『黒川紀章回顧展 共生の思想—機械の時代から生命の時代へ』図録(パリ日本文化会館、1998年) 1冊					
・『黒川紀章回顧展 共生の思想—機械の時代から生命の時代へ』図録(埼玉県立近代美術館・広島市現代美術館・名古屋市美術館、2000年) 1冊					
・『和歌山県立近代美術館ニュース』78号、79号、80号(2014年) 各1冊					
・「和歌山県立近代美術館・博物館建設工事」冊子 1冊					
・「新館建設記録写真2019」1～5(1991年12月～1994年4月) 計5冊					
・「和歌山県立近代美術館・博物館建設説明」冊子 1冊					
・「和歌山県立近代美術館・博物館～建築工事記録～」映像					
・和歌山県立近代美術館建設時の施設紹介写真 映像					
・和歌山県立近代美術館・博物館開館時のテレビ報道(テレビ和歌山)映像					

作者名/資料名	作品名	制作年	材質、技法	寸法 (cm)	所蔵/備考
3. あつめてのこす 明治100年記念郷土作家回顧展					
・「明治100年記念郷土作家回顧展」出品目録 1枚					
・「明治100年記念郷土作家回顧展」案内状 1枚					
・「明治100年記念郷土作家回顧展」関連スクラップブック 1冊					
・「明治以降郷土出身美術作家調査票」(和歌山県立美術館、1968年) 1冊					
・『郷土の美術家 明治・大正・昭和の物故作家』(和歌山県立美術館、1968年) 1冊					
保田龍門					
島村 逢紅	保田龍門ポートレイト	制作年不詳	プリント	29.5×21.5	保田春彦氏寄贈
保田 龍門	裸婦立像	1921-1923 (大正10-12)	油彩、キャンバス	80.0×45.0	龍門展開催委員会寄贈
保田 龍門	四季(春夏秋冬)	制作年不詳 (昭和初期頃)	油彩、水彩、色鉛筆、紙	177.5×374.0	木原達夫氏寄贈
保田 龍門	少女	1925(大正14)	ブロンズ	173.5×67.0×43.0	
西村 伊作	花器	1919(大正8)	陶	20.5×23.0×20.0	松本英子氏寄贈
・保田龍門スケッチブック(明治末から大正初期頃) 1冊					
・旧蔵書「The Masterpieces of DURER, GOWANS & GRAY, Ltd., London, 1909」1冊					
・「撮影者不詳、保田龍門『村の娘』」写真 1枚					
・「撮影者不詳、保田龍門『村の娘』とモデル」写真 1枚					
・「紀井高野口岡田写真館撮影、保田龍門『母と子』」写真 1枚					
・賞状「文部省第11回展覧会、特選」1枚					
・「島村逢紅撮影(保田龍門ポートレイト)撮影年不詳」写真 1枚					
・「撮影者不詳、制作中の保田龍門とモデルの西村伊作、1918年(複写)」写真 1枚					
・「撮影者不詳、保田龍門と完成した伊作胸像、1918年(複写)」写真 1枚					
・スケッチブック(滞欧期) 1冊					
・「撮影者不詳、西村伊作設計のアトリエの前で保田龍門夫妻と近所の子、犬とともに、撮影年不詳」写真 1枚					
・「K. Esaki 撮影、徳川頼貞、為子夫妻と東京・紀州徳川邸にて(撮影年不詳)」写真 1枚					
・『保田龍門滞欧紀年展覧会目録』(1924年) 1冊 *東京・紀州徳川邸(Villa Elisa)にて開催					
・『保田龍門展』図録(和歌山県立美術館、1969年) 1冊					
・作品調査カード(1993年6月、遺族宅にて) 1冊					
・『大正のまなざし 若き保田龍門とその時代』展図録(和歌山県立近代美術館、1994年) 1冊					
・案内はがき「生誕120年記念 保田龍門」展(和歌山県立近代美術館、2011年) 1枚					
・『保田龍門 わかやま作品巡りガイドブック』(和歌山県那賀振興局地域振興部、2016年) 1冊					
石垣栄太郎					
石垣 栄太郎	男の半身(2)	1950(昭和25)	コンテ、紙	42.0×35.0	石垣綾子氏寄贈
石垣 栄太郎	女の半身	制作年不詳	コンテ、紙	42.0×35.0	石垣綾子氏寄贈
石垣 栄太郎	自画像	1917(大正6)	油彩、キャンバス	46.0×37.3	石垣綾子氏寄贈
石垣 栄太郎	K.K.K.	1936(昭和11)	油彩、キャンバス	76.8×91.6	石垣綾子氏寄贈
石垣 栄太郎	キューバ島の反乱	1933(昭和8)	油彩、キャンバス	181.5×139.0	石垣綾子氏寄贈
・「石垣栄太郎遺作展」案内(和歌山県立美術館、1966年) 1枚					
・「石垣栄太郎遺作展」出品目録(和歌山県立美術館、1966年) 1枚					
・「石垣栄太郎スクラップ・ブック」1冊 *遺作展を機に石垣綾子氏より寄贈					
・「石垣栄太郎第2回個展」図録(A.C.A.ギャラリー、1940年) 1冊					
・「石垣栄太郎と綾子、結婚の記念写真、1929年12月」写真 1枚					
・『アメリカにおける日本人作家回顧展 石垣栄太郎・国吉康雄・ヘンリー杉本』図録(和歌山県立近代美術館、1972年) 1冊					
・『太平洋を越えた日本の画家たち アメリカに学んだ18人』展図録(和歌山県立近代美術館・埼玉県立近代美術館ほか、1987年) 1冊					
・『アメリカの中の日本 石垣栄太郎と戦前の渡米画家たち』展図録(和歌山県立近代美術館、1997年) 1冊					
・『生誕120年記念 石垣栄太郎展』図録(和歌山県立近代美術館、2013年) 1冊					
・「特集展示 アメリカ移民の歴史と芸術家たち」関連事業案内(和歌山県立近代美術館、2015年) 1枚					
・「アメリカへ渡った二人 国吉康雄と石垣栄太郎」展パンフレット(和歌山県立近代美術館、2017年) 1葉					
・「太地町立石垣記念館」案内 1枚					
・『和歌山県立近代美術館ニュース』97号(2019年) 1冊					
村井正誠					

作者名/資料名	作品名	制作年	材質、技法	寸法 (cm)	所蔵/備考
村井 正誠	アラブの窓	1929 (昭和 4)	油彩、キャンバス	80.1×196.5	作者寄贈
村井 正誠	ロンバルディア	1929 (昭和 4)	油彩、キャンバス	80.8×66.0	作者寄贈
<ul style="list-style-type: none"> ・作品カード「村井正誠《アラブの窓》」 1枚 ・作品カード「村井正誠《ロンバルディア》」 1枚 ・記事コピー「村井正誠「ロンバルディア」『美術手帖』NO.90 (1955年)」 4枚 ・修復報告書「村井正誠《アラブの窓》」 一式 ・修復報告書「村井正誠《ロンバルディア》」 一式 ・『和歌山県立近代美術館紀要』第6号 (和歌山県立近代美術館、2006年) 1冊 					

野長瀬晩花

野長瀬 晩花	秋の頃	1917 (大正 6)	顔料、紙	165.4×183.0	田中明里子氏寄贈
野長瀬 晩花	お馬鹿の道行	1917 (大正 6)	墨、紙	21.5×27.9	野長瀬婉子氏寄贈
野長瀬 晩花	少年像	1922 (大正 11)	油彩、キャンバス	71.8×37.7	木崎みさを氏寄贈
野長瀬 晩花	田舎の舞妓	1926 (大正 15)	鉛筆、顔料、紙	30.6×47.2	
野長瀬 晩花	夢ばかりみてゐる男	1950 (昭和 25)	顔料、紙	48.3×36.2	
黒田 重太郎	少女マドオの像	1924 (大正 13)	パステル、紙	48.3×31.5	
<ul style="list-style-type: none"> ・賞状「近野尋常小学校長山本寅一より野長瀬弘男あて、1903年3月24日」 1枚 ・賞状「近野尋常小学校長山本寅一より野長瀬弘男あて、1903年3月24日」 1枚 ・アルバム、1冊 ・*野長瀬晩花および妻婉子ポートレイト ・絵はがき帳 1冊 ・スクラップブック (晩花没後、1964年に野長瀬婉子編) 1冊 ・「榊原紫峰、野長瀬晩花あて絵はがき (年不詳9月12日)」 1枚 *月見団子を喰うから暇なれば今夜遊びに来ないか、九月十二日、榊原紫峰拜 ・スクラップブック (1919年から1926年) 1冊 ・野長瀬婉子あて絵はがき、1922年4月20日 (バリより) 1枚 *この通りを毎日ゆききしている (サンミッセル) ・滞欧日記『Le Livre journal』(1921～22年) 1冊 ・滞欧日記『その日その日』(1922年) 1冊 ・滞欧日記『バリからスペイン、イギリスへ』(1922年) 1冊 ・スクラップブック (黒田重太郎記、芸術巡礼紀行連載記事) 1冊 ・『欧州芸術巡礼紀行』(十字館、1923年) 1冊 ・小野竹喬、酒井哲朗あて書簡(1970年6月19日付け) 1通 ・作品モデル聞き取り調査記録 (和歌山県立美術館次長・笹尾猛、1970年2月13日、印南町にて) 1部 ・「中辺路町にて調査の休憩時 (左:和高伸二囑託研究員、右:酒井哲朗初代学芸員、1970年頃)」写真 1枚 ・「中辺路町にて調査の休憩時、1970年頃)」写真 1枚 ・「《秋の頃》、1970年頃撮影」写真 1枚 ・「野長瀬晩花生家、1970年頃撮影」写真 1枚 ・リーフレット「ちかの平安の郷 かめや (旧野長瀬晩花生家)」 1葉 ・図録『大夢・晩花』(和歌山県立近代美術館、1970年) 1冊 ・和高伸二著、和歌山県立近代美術館編『野長瀬晩花』(近野振興会、1975年) 1冊 ・リーフレット『野長瀬晩花』(和歌山県立近代美術館、2014年) 1葉 ・図録『国画創作協会の全貌展』(笠岡市立竹喬美術館・和歌山県立近代美術館編・新潟県立万代島美術館、2018年) 1冊 ・調査道具一式(鉛筆、赤鉛筆、メジャー、布メジャー、デジタルカメラ、フィルムカメラ、35mmボジフィルム、マスク、手袋) 					

4. 託されるコレクション

川口 軌外	港	1957 (昭和 32)	油彩、キャンバス	117.0×80.4	作者寄贈
高井 貞二	故郷の風景	1956 (昭和 31)	油彩、キャンバス	101.6×137.0	作者寄贈
村井 正誠	母と子	1952 (昭和 27)	油彩、キャンバス	162.3×131.0	作者寄贈
泉 茂	焦燥	1993 (平成 5)	アクリル絵具、キャンバス	162.3×130.4	泉照子氏寄贈
建島 覚造	WAVING FIGURE 36A (小)	1986 (昭和 61)	木、ウレタン塗料	32.2×10.0×10.0	建島嘉氏寄贈
建島 覚造	WAVING FIGURE 37B (小)	1986 (昭和 61)	木	28.0×8.0×8.0	建島嘉氏寄贈
建島 覚造	WAVING FIGURE 32 (大)	1986 (昭和 61)	木、ウレタン塗料	198.1×50.0×50.0	作者寄贈
建島 覚造	ドローイング	1991 (平成 3)	鉛筆、紙	25.7×36.4	建島嘉氏寄贈
田中 恭吉	バラの刺	1914 (大正 3)	油彩、キャンバス	45.5×33.4	恩地邦郎氏寄贈
恩地 孝四郎	海の女	1912 (明治 45 / 大正元)	油彩、キャンバス	45.0×33.3	恩地邦郎氏寄贈
藤森 静雄	花	1915 (大正 4)	油彩、キャンバス	33.0×24.0	恩地邦郎氏寄贈
浜地 清松	暖炉	1911 (明治 44)	油彩、キャンバス	102.2×82.1	古座町立津荷小学校寄贈
佐伯 祐三	オペセルヴァトワール附近	1927 (昭和 2)	油彩、キャンバス	73.2×91.8	玉井一郎氏寄贈
梅原 龍三郎	静浦 (口野) 風景	1929 (昭和 4)	油彩、キャンバス	60.8×50.1	篠田博之氏、篠田めぐみ氏寄贈

作者名/資料名	作品名	制作年	材質、技法	寸法 (cm)	所蔵/備考
ラウル・デュフィ	コンポティエのある静物	1940 (昭和15)頃	油彩、キャンバス	65.2×81.2	森林平氏寄贈
横尾 忠則	MAJOR ARCANA	1985 (昭和60)	リトグラフ、紙	235.0×198.8	堀内俊男氏寄贈
名和 晃平	PixCell - Sheep	2002 (平成14)	ミクストメディア	80.0×37.0×124.0	田中恒子氏寄贈
パラモデル	パラモデリック・グラフィティ (沢田マンションの屋上庭園)	2007 (平成19)	ラムダプリント	120.0×100.0	田中恒子氏寄贈
山本 容子	To the park	1978 (昭和53)	エッチング、紙	45.3×59.8	ブリッジ寄贈
安東 菜々	Electric Wire 4	1977 (昭和52)	シルクスクリーン、紙	53.0×77.0	ブリッジ寄贈
田中 孝	Tree	1977 (昭和52)	シルクスクリーン、紙	54.1×80.0	ブリッジ寄贈

5. 見せてのこす 展覧会とサステイナビリティ

ヘス＝ラファエル・ソト	黄の縁とT	1985 (昭和60)	絵具、金属、木	103.5×103.5	
イサム・ノグチ	黒いシルエット	1958 (昭和33)	アルミニウム	241.0×73.0×60.0	
ジョセフ・アルバース	Formulation: Articulation 3 PORTFOLIO I, FOLDER 2	1972 (昭和47)	シルクスクリーン、紙	25.5×30.7	
ジョセフ・アルバース	Formulation: Articulation 15 PORTFOLIO I, FOLDER 8	1972 (昭和47)	シルクスクリーン、紙	15.8×43.9	
ジョセフ・アルバース	Formulation: Articulation 25 PORTFOLIO I, FOLDER 14	1972 (昭和47)	シルクスクリーン、紙	20.5×38.3	
ジョセフ・アルバース	Formulation: Articulation 69 PORTFOLIO II, FOLDER 3	1972 (昭和47)	シルクスクリーン、紙	32.0×37.2	
ジョセフ・アルバース	Formulation: Articulation 109 PORTFOLIO II, FOLDER 26	1972 (昭和47)	シルクスクリーン、紙	34.3×34.5	
五姓田 芳柳	相川龍藏守胤肖像	1887 (明治20)	顔料、絹	127.0×40.3	
野長瀬 晩花	[少女像]	1923 (大正12)頃	墨、顔料、紙	63.6×49.5	木崎みさを氏寄贈
島村 三七雄	カジノ・ド・パリの踊り子	1936 (昭和11)	油彩、キャンバス	80.5×65.0	森林平氏寄贈
<ul style="list-style-type: none"> ・輸送トラック (模型) ・展示に関する道具 ・虫害対策関係ツール ・温湿度計 ・和歌山県立美術館・和歌山県立近代美術館発行図録 (一部) ・和歌山県立近代美術館コレクションに関する他館発行図録 ・「もうひとつの日本美術史」「コレクションの50年」看板色校正とチラシ ・『もうひとつの日本美術史』図録および色校正 					

6. 支えるしくみをつくる

・和歌山県立近代美術館 スタンプラリー (2015-2019年)
・和歌山県立近代美術館 スタンプラリー (2020年)
・友の会版画: 吉原英雄、舟田潤子、集治千晶、坪田政彦、横尾忠則、中路規夫、山本容子 各1点
・「この人はだれ?」展 鑑賞カードセット (2008年)
・「ここはどこ?」展 鑑賞カードセット (2009年)
・なつやすみの美術館展ポスター (2011-2020年)
・なつやすみの美術館展ワークシート (2013-2020年)
・『「もっと、光を」ドキドキ少年撮影隊 ミュージアム編 記録集』 (2013年)
・和歌山大学美術館部による「たまごせんせいとわくわくアートツアー」観賞ガイド (2013、2016、2019年)
・『和歌山県立近代美術館ニュース』80号 (2014年)
・こども美術館部鑑賞ツール (2016-2020年)
・「森のちから」ポスター (2010、2012年)
・佐藤時啓 リヤカメラ (2013年)

7. これまでとこれから

・パネル展示および来館者によるコメントシート

3-4.コレクション名品選

会期 : 2021年1月5日(土)～1月24日(日) 20日間

会場 : 展示室B(1階)

主催 : 和歌山県立近代美術館

入場者数 : 1,745名

内容 : 県展と同時期に開催するため、通常の1/3の規模となったが、所蔵品からよりすぐった作品で構成。

展示点数 : 38作家47点 *展示室外を含む

担当学芸員 : 奥村泰彦

関連事業 : ・こども美術館部「えらぶあつめる、あつまるえらぶ。」1月9日(土) 11:00～12:00 4名、1月10日(日) 11:00～12:00 4名 青木加苗

制作物 : ・出品目録(A4判8頁)

・プレスリリース(A4判2頁)

入場料金 : 無料

工夫 : 展示作品数が少なくなることから、和歌山ゆかりの作家に限定し、前半を戦前、後半を戦後の作品に大きく分けて紹介した。出品目録に作家の略歴等を記載するとともに、各作家が和歌山県内のどこにゆかりを持つのかを簡単に示した地図で作家への親近感を持てるよう工夫した。また、各作家の生没年表を掲示して時間の流れを追った展示であることを示した。

自己評価・課題・改善案 : 県展への来館者が、歴史的な美術の流れを知る機会とできたが、空調の安定性を保つため入口扉を全開にできず、入口がわかりにくくなった。展示室入口の掲示をより大きくするなど、観客を誘導する工夫が必要である。

関連記事 : ・「近代美術の流れ振り返る 24日まで「コレクション名品選」『紀伊民報』2021年1月9日、6面

・「コレクション名品選 24日まで近代美術館で無料公開」『わかやま新報』2021年1月9日、7面

・「県ゆかり名品一堂に 県立近代美術館」『読売新聞』2021年1月19日、29面

情報掲載 : ・「県立近代美術館コレクション名品選」『和歌山特報』2021年1月1日、28面

・「〈otent〉和歌山県立近代美術館 コレクション名品選」『Natts』Vol.241、2021年1月7日発行、p.17

・「〈イベントカレンダー〉県ゆかりの作家の30点」『ニュース和歌山』2021年1月9日、6面

コレクション名品選 出品目録

*特に記載のない作品は当館蔵

No.	作者名	作品名	制作年	材質、技法	寸法 (cm)	所蔵/備考
1	保田 龍門	少女	1925 (大正 14)	ブロンズ	173.5×67.0×43.0	
2	建畠 大夢	憩ふ女	1925 (大正 14) 鑄造 1970 (昭和 45)	ブロンズ	113.0×39.0×73.0	
3	神中 糸子	海岸風景	1888-1892 (明治 21-25)	油彩、キャンバス	38.0×80.4	神中茂次氏寄贈
4	浜地 清松	暖炉	1911 (明治 44)	油彩、キャンバス	102.2×82.1cm	古座町立津荷小学校寄贈
5	保田 龍門	少年	1912 (明治 45/ 大正元)	油彩、キャンバス	45.8×60.6	保田春彦氏寄贈
6	寺中 美一	自画像	1916 (大正 5)	油彩、キャンバス	45.7×33.6	立石靖子氏寄贈
7	恩地 孝四郎	海の女	1912 (明治 45/ 大正元)	油彩、キャンバス	45.0×33.3	恩地邦郎氏寄贈
8	木下 孝則	後向の裸女の習作	1925 (大正 14)	油彩、キャンバス	100.1×80.3	木下米氏寄贈
9	木下 義謙	横たはれる裸体の習作	1926 (大正 15/ 昭和元)	油彩、キャンバス	73.0×117.0	作者寄贈
10	碓 伊之助	ブザンソン風景	1924 (大正 13)	油彩、キャンバス	50.1×60.8	
11	建畠 大夢	夢	1939 (昭和 14) 鑄造 1982 (昭和 57)	ブロンズ	168.5×40.0×47.7	
12	原 勝四郎	裸婦	1930 (昭和 5)	油彩、厚紙	72.0×60.5	
13	高井 貞二	煙	1933 (昭和 8)	油彩、キャンバス	91.1×117.0	高井志づ氏寄贈
14	村井 正誠	URBAIN No.1	1936 (昭和 11)	油彩、キャンバス	112.2×194.2	
15	森 有材	ピエロ	1932 (昭和 7)	油彩、キャンバス	91.3×73.0	河野喬氏寄贈
16	川口 軌外	少女と貝殻	1934 (昭和 9)	油彩、キャンバス	167.3×267.2	
17	石垣 栄太郎	K. K. K.	1936 (昭和 11)	油彩、キャンバス	76.8×91.6	石垣綾子氏寄贈
18	杉本、ヘンリー	Strange Home	1969 (昭和 44)	油彩、キャンバス	162.3×130.8	
19	保田 龍門	大國主命とすせり姫 / すさのおの命	1942 (昭和 17)	木(樟)	44.5×71.0×17.0	辻井徹氏寄贈
20	浜口 陽三	くるみ	1961 (昭和 36)	メソチント、紙	14.4×10.2	
21	保田 春彦	ソフィット B	1977 (昭和 52)	銅	32.0×31.6×31.0	
22	建畠 覚造	DISK 5	1977 (昭和 52)	アルミニウム、木	37.5×86.0×32.5	建畠嘉氏寄贈
23	松谷 武判	WORK-63-9	1963 (昭和 38)	ビニール接着剤、油彩、水彩、キャンバス	187.0×192.0	
24	関根 美夫	作品 #395-396	1975 (昭和 50)	油彩、キャンバス	162.5×261.2	
25	宇佐美 圭司	水族館の中の水族館 No.2	1967 (昭和 42)	油彩、キャンバス	185.2×276.0	
26	泉 茂	割れる三角	1983 (昭和 58)	油彩、キャンバス	259.0×194.0	
27	野田 裕示	WORK 505	1988 (昭和 63)	アクリル絵具、キャンバス	262.3×183.2×7.0	
28	湯川 雅紀	福耳	2011 (平成 23)	油彩、キャンバス	182.0×259.0×4.5	
29	妻木 良三	境界 E-II	2011 (平成 23)	鉛筆、ケント紙	101.0×72.0	
30	小柳 裕	The Light with the Palm Leaves (Source of Light 14-3)	2014 (平成 26)	油彩、アクリル絵具、キャンバス、パネル	162.4×132.2	
31	坂井 淑恵	Whale	2017 (平成 29)	油彩、キャンバス	112.0×145.5	
32	小河 朋司	COLOR TINT-RED-	1996 (平成 8)	木、アクリル絵具、ミックスホワイト	115.0×250.0×38.5	作者寄贈

No.	作者名	作品名	制作年	材質、技法	寸法 (cm)	所蔵／備考
展示室外の作品						
1階 〈エントランス、リーディング・コーナー〉						
33	秋山 陽	META-VOID	2004 (平成 16)	陶	130.0×125.0×136.0	寄贈
34	クルーガー, バーバラ	無題 (私を覚えている)	1988 (昭和 63)	シルクスクリーン、ビニール	378.7×268.1	
35	ステラ, フランク	ラッカ III	1968 (昭和 43)	アクリル絵具、キャンバス	304.0×760.0	
36	グレコ, エミリオ	病人を看護する	1963 (昭和 38)	ブロンズ	157.0×186.5×12.0	玉井一郎氏寄贈
2階 〈ホワイエ、テラス〉						
37	フラナガン, バリー	ねじまがった釣鐘の上を跳ぶ野兎	1989 (平成元)	ブロンズ	230.0×187.0×128.5	
38	鈴木久雄	木の現象〈喬木 1〉	1997 (平成 9)	鍛造ステンレス鋼	244.0×76.0×82.0	作者寄贈
39	鈴木久雄	木の現象〈喬木 2〉	1997 (平成 9)	鍛造ステンレス鋼	244.0×76.0×82.0	作者寄贈
40	鈴木久雄	散距離	2008 (平成 20)	鍛造ステンレス鋼	472.0×590.0×180.0	作者寄贈
41	鈴木久雄	交叉距離	2009 (平成 21)	鍛造ステンレス鋼	340.0×800.0×624.0	作者寄贈
展外 〈ライトコート〉						
42	建畠 覚造	MANJI	1982 (昭和 57)	ステンレススチール	270.0×170.0×75.0	作者寄贈
43	スネルソン, ケネス	着地	1969 (昭和 44)	ステンレススチール	250.0×1000.0×360.0	
44	北尾 博史	アシモトノセカイ	1999 (平成 11)	銅、鉄	200.0×500.0×500.0	田中恒子氏寄贈
45	保田 春彦	球を覆う幕舎	1994 (平成 6)	ステンレススチール	208.0×335.0×305.0	
46	保田 春彦	聚落を開く壁 II	1994-1995 (平成 6-7)	鉄	60.0×127.5×451.2	
47	ノグチ, イサム	雲の山	1982 (昭和 57)	酸化処理した鉄	176.0×113.0×71.8	



会場風景



4-1. 芸術に親しもう！ おでかけ美術館

第2回 紀中地方 田中秀介展「かなたの先日ふみこんで今日」

会期 : 2020年9月10日(木)～10月25日(日) 40日間

主催 : 和歌山県立近代美術館、和歌山県福祉事業団

会場 : ぎやらりーながわ(御坊市御坊105)

入場者数 : 590名

内容 : 「芸術に親しもう！ おでかけ美術館」は、2021年度に開催予定の「紀の国わかやま総文2021」「紀の国わかやま文化祭2021」に向けて気運向上を図り、美術館に来館することが困難な地域にある社会教育施設等を会場として、和歌山ゆかりの若手作家を起用した企画展を開催する。今年度は「なつやすみの美術館10」展で紹介する田中秀介氏の作品を紀中地方で展示した。1. 睨み、2. 傍ら、3. 案件、4. 案外、5. 他人事、6. 呆然、の6部で構成。近隣の学校からの来館を促す予定であったが、新型コロナウイルス感染症の拡大が懸念されたため、団体鑑賞は実施できなかった。作家の協力をあおいでインターネットを介した作品紹介や、ウェブを通してのワークショップに取り組んだ。また美術館の活動内容についても知る機会とし、特別展(大規模展)へ誘導した。2019年度には紀南、太地町で実施した。2021年度は紀北地方で開催の予定。

展示点数 : 1作家41点

担当学芸員 : 奥村泰彦

関連事業 : ・かなたのプログラム:

(1) かなたのあしたにふみこむあなたワークシート

例年通り学校の宿題としての来館呼びかけは困難であったが、学齢を問わない1種のワークシートを作成。

(2) かなたのあしたにふみこむ POST

感想を書いて投函できる「ポスト」を設置。

(3) はざまにお邪魔 <https://www.momaw.jp/2020/hazama/>

ウェブから自由に参加できるワークショップとして、身の回りにある何かと何かのはざまに私物を置いて写真を撮影し、日常をいつもより意識して過ごせるよう促した。

- ・和歌山県立近代美術館公式 Youtube チャンネルにて「田中秀介展「かなたの先日ふみこんで今日」 展示風景」ウェブ配信(9月13日配信)
- ・和歌山県立近代美術館公式 Youtube チャンネルにて「田中秀介さんと見る「かなたの先日ふみこんで今日」」1～6ウェブ配信(9月13日配信)

制作物 : ・ポスター(B2判、オフセット印刷)

・チラシ(A4判、オフセット印刷)

・出品目録(A4判6頁)

・ワークシート(A4判4頁)

・展示記録パンフレット(A5判16頁)

入場料金 : 無料

工夫 : 美術館での展覧会の構成を守って、伝統的な日本家屋の特質を生かした施設の中に田中秀介氏の作品を配置し、邸内をめぐることで作品に出会う驚きを演出した。

自己評価・課題・改善案 : 新型コロナウイルス感染症流行対策のため、学校からの来館を招くことができず、その点では所期の目的を達成できなかったが、紀中地方において展覧会で作品に触れる機会を提供できたことには好意的な反響があり、施設の運営を行っている社会福祉法人和歌山県福祉事業団とも良好な関係を築くことができた。

関連記事 : ・原見泰弘「アートギャラリーの新たな展開～「芸術に親しもう！おでかけ美術館」の開催～」『くろしお』第43号、2020年9月、p.27

・「日常モチーフ不思議作品 御坊 画家・田中さん 2.6メートル大作」『読売新聞』2020年9月25日、26面

おでかけ美術館 田中秀介展「かなたの先日ふみこんで今日」 出品目録

No.	作者名	作品名	制作年	材質、技法	寸法 (cm)	所蔵/備考
1. 睨み						
1	田中 秀介	寸前に我なし	2020 (令和2)	油彩、キャンバス	67.0×60.0	個人蔵
2	田中 秀介	こ	2017 (平成29)	油彩、キャンバス	130.0×162.0	個人蔵
3	田中 秀介	一見秘蔵	2018 (平成30)	油彩、キャンバス	31.0×25.0	個人蔵
4	田中 秀介	普段落景	2019 (令和元)	油彩、キャンバス	105.0×120.0	個人蔵
5	田中 秀介	つつい配す	2019 (令和元)	油彩、キャンバス	20.0×22.0	個人蔵
6	田中 秀介	角情	2018 (平成30)	油彩、キャンバス	31.0×25.0	個人蔵
7	田中 秀介	余りなじみ	2018 (平成30)	油彩、キャンバス	72.0×60.0	個人蔵
8	田中 秀介	日用紋	2018 (平成30)	油彩、キャンバス	45.0×38.0	個人蔵
2. 傍ら						
9	田中 秀介	只中のしらしめ	2020 (令和2)	油彩、キャンバス	31.0×25.0	個人蔵
10	田中 秀介	黙光	2018 (平成30)	油彩、キャンバス	72.0×60.0	個人蔵
11	田中 秀介	備蓄遊び	2020 (令和2)	油彩、キャンバス	25.0×20.0	個人蔵
12	田中 秀介	問答のよりどころ	2020 (令和2)	油彩、キャンバス	73.0×61.0	個人蔵
13	田中 秀介	影漬し	2018 (平成30)	油彩、キャンバス	72.0×60.0	個人蔵
14	田中 秀介	前向き迷子	2019 (令和元)	油彩、キャンバス	38.0×45.0	個人蔵
3. 案件						
15	田中 秀介	白化っくれ	2018 (平成30)	油彩、キャンバス	97.0×130.0	個人蔵
16	田中 秀介	石代わり	2018 (平成30)	油彩、キャンバス	72.0×60.0	個人蔵
17	田中 秀介	面積おこし	2016 (平成28)	油彩、木製パネルに紙	145.0×110.0	個人蔵

No.	作者名	作品名	制作年	材質、技法	寸法 (cm)	所蔵／備考
18	田中 秀介	成り板	2018 (平成 30)	油彩、キャンバス	100.0×78.0	個人蔵
19	田中 秀介	凹世	2018 (平成 30)	油彩、キャンバス	130.0×162.0	個人蔵
20	田中 秀介	右から西へ	2018 (平成 30)	油彩、キャンバス	90.0×70.0	個人蔵
4. 案内						
21	田中 秀介	横風情	2020 (令和 2)	油彩、キャンバス	70.0×110.0	個人蔵
22	田中 秀介	化門	2018 (平成 30)	油彩、キャンバス	130.0×162.0	個人蔵
23	田中 秀介	一刻の主役	2017 (平成 29)	油彩、キャンバス	97.0×130.0	個人蔵
24	田中 秀介	界面のしらべ	2019 (令和元)	油彩、キャンバス	194.0×130.3	個人蔵
25	田中 秀介	三日前	2017 (平成 29)	油彩、キャンバス	90.0×70.0	個人蔵
26	田中 秀介	ラッキー待ち	2019 (令和元)	油彩、キャンバス	30.0×20.0	個人蔵
5. 他人事						
27	田中 秀介	晴れて虚勢	2019 (令和元)	油彩、キャンバス	110.5×70.0	個人蔵
28	田中 秀介	寄ってたかって偶発寓意	2018 (平成 30)	油彩、キャンバス	162.0×194.0	個人蔵
29	田中 秀介	昼隅	2020 (令和 2)	油彩、キャンバス	25.0×20.0	個人蔵
30	田中 秀介	生計の表皮	2018 (平成 30)	油彩、キャンバス	90.0×70.0	個人蔵
31	田中 秀介	突貫風情	2018 (平成 30)	油彩、キャンバス	102.0×130.0	個人蔵
32	田中 秀介	無興味本位	2018 (平成 30)	油彩、キャンバス	145.0×110.0	個人蔵
33	田中 秀介	むくろにも平日	2018 (平成 30)	油彩、キャンバス	110.0×145.0	個人蔵
34	田中 秀介	無料の静穏	2017 (平成 29)	油彩、キャンバス	78.0×100.0	個人蔵
6. 呆然						
35	田中 秀介	一望で顕著まみれ	2020 (令和 2)	油彩、キャンバス	67.0×60.0	個人蔵
36	田中 秀介	ここまでの先	2020 (令和 2)	油彩、キャンバス	145.0×110.0	個人蔵
37	田中 秀介	言葉なく勝手に旺盛	2017 (平成 29)	油彩、キャンバス	97.0×130.0	個人蔵
38	田中 秀介	無縁はおあいこ	2019 (令和元)	油彩、キャンバス	127.0×145.0	個人蔵
39	田中 秀介	平和	2020 (令和 2)	油彩、キャンバス	162.0×194.0	個人蔵
40	田中 秀介	とどく悠遠の所在、ゆるる微塵の器	2017 (平成 29)	油彩、キャンバス	194.0×162.0	個人蔵
41	田中 秀介	古今台頭摩擦	2019 (令和元)	油彩、キャンバス	259.0×194.0	個人蔵



チラシ表／裏

ポスター



パンフレット



会場風景



普及事業

1 学校・団体鑑賞の受入

- ・団体での来館数

2020年4月～2021年3月

団体種別	美術館による対応有		自由鑑賞	
	件数	延人数	件数	延人数
一般	4件	58名	2件	28名
教員	11件	95名	0件	0名
大学	5件	87名	1件	26名
高等学校	9件	119名	0件	0名
中学校	16件	914名	5件	365名
小学校	28件	1008名	0件	0名
幼稚園	0件	0名	0件	0名
その他(専門学校など)	1件	35名	0件	0名
計	74件	2,316名	8件	415名
総計	82件 2,701名			

2 学校・教員等と連携した事業

- ・施設利用の浸透を図り、学校教育との連携を深め、団体での来館に際して事前に要望のあった場合には担当者・教員との打ち合わせを行い、必要に応じて鑑賞用補助プリントを作成するなどの活動を行った。

- ・和歌山美術館教育研究会

2011(平成23)年度より、学校教育との連携強化を目的とした研究会を継続して開催している。

2013(平成25)年度から、夏季休暇中に開催する展覧会「なつやすみの美術館」のワークシートの作成を教員たちと協力して行っている。コロナ禍のため来館が困難な時期には、オンラインも利用して活動を行った。

中学校を中心に夏休み中の宿題での来館を呼びかけており、和歌山市内については毎年ほとんどの中学校からの来館があったが、今年度は感染症拡大防止のため、また市内各校の夏季休暇が1週間に短縮されたため、呼びかけを中止した。

開催記録：78回：2020年5月30日(土)12名(オンライン併用)、79回：6月13日(土)10名(オンライン併用)、80回：6月20日(土)10名(オンライン併用)、81回：7月4日(土)10名、82回：7月11日(土)10名、83回：8月29日(土)5名、84回：10月31日(土)5名、85回：2021年1月23日(土)6名、86回：3月6日(土)6名



和歌山美術館教育研究会(オンライン会合の様子)

- ・和歌山大学教育学部・和歌山県教育委員会連携協議会連携事業

ミュージアム・ボランティアの受入を行った。

受入人数：3名

活動：2020年10月15日(金) あいさつ・打合せ／10月24日(日)「こども美術館部」補助／11月3日(水) 学校来館補助

- ・和歌山市中学校教科等別研修会(美術科)の開催

当館での開催に協力し、意見交換等を行った。

2020年11月25日(火) 参加20名

- ・和歌山大学教育学部の学芸員資格取得に関する一部開設授業科目への協力

2020年8月1日(土)「和歌山大学図工教材研究集中講義」講義を当館で実施 出席1名

2020年9月25日(金)「和歌山大学展示論」講義を当館で実施 出席21名

2020年10月24日(土)「和歌山大学教育学部図画工作」講義を当館で実施 出席16名

2020年12月6日(日)「和歌山大学資料保存論」講義を当館で実施 出席43名

- ・和歌山大学教育学部附属中学校美術科研究授業への協力

恒例となっている3年生のアートプロジェクト授業の立案に協力した。オリジナルのランプシェードを制作して、校内の樹木などに展示。

2020年2月13日(木)～2月19日(水)

- ・和歌山市こども総合支援センターへの訪問と来館の受入

2020年10月9日(金) 訪問 / 10月13日(火) 来館

- 『わかやま探検ミュージアム』(季刊・県内全小学校4～6年生に配布)
隔号に展覧会紹介記事を掲載した。

- 放送大学面接授業

2020年6月3日(水)、4日(木)の2日間を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大のため中止。

3 博物館実習生・インターンシップ・教員研修などの受入

- 大学での博物館学芸員資格取得のために必要な履修科目である博物館実習の実習生を受け入れた。

期間：2020年8月7日(金)～10日(月)、12日(水)～13日(木) (計6日間)

受入校	受入人数
京都ノートルダム女子大学	1名
甲南女子大学	1名
和歌山大学	2名
計3大学	4名

- 文部科学省の推進するキャリア教育の一環として、教育委員会並びに各学校の取り組んでいる職場体験学習、インターンシップ等を受け入れた。
※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、予定していた中学生の職場体験学習はすべて中止。

2020年4月～2021年3月

受入件数	校数	人数	日数	延人数
高校生	3校	4名	2日	8名
計	3校	4名	2日	8名

2020年7月5日(水)、6日(木)

和歌山県立和歌山商業高等学校2年1名

和歌山県立紀北支援学校2年2名

和歌山大学附属特別支援学校2年1名

4 『和歌山県立近代美術館ニュース』の刊行

- 年4回、各2,500部を発行した。

No.103 (2020年7月10日発行)

井上芳子：「日・チェコ交流100周年 ミュシャと日本、日本とオルリク」展 調査ノート

宮本久宣：保田龍門《四季(春夏秋冬)》について コレクション展2020-春より

青木加苗：ご来館の目的は何ですか？6年目に入ったスタンプラリー

植野比佐見：「保存」の話をしよう。⑬ウイルスよりは大きいけれども

Museum Calendar、メールマガジン/Facebook ページ/twitter ご案内、友の会案内

No.104 (2020年12月25日発行)

奥村泰彦：なつやすみの美術館10「あまたの先日ひしめいて今日」

青木加苗：協力から協働へ 和歌山美術館教育研究会となつやすみの美術館10

宮本久宣：川端龍子の版画—錦絵 FOR YOU—

奥村一郎：ホイットニー美術館での石垣栄太郎作品展示 メキシコ壁画運動とアメリカ美術

植野比佐見：「保存」の話をしよう。⑭50周年ですから

メールマガジン/Facebook ページ/twitter ご案内、友の会案内

No.105 (2021年3月16日発行)

植野比佐見：版画の歴史はもうひとつの日本美術史 開館50周年記念「もうひとつの日本美術史—近現代版画の名作2020」

藤本真名美(編集)：紙上シンポジウム「もようがたり」/企画展もようづくし

植野比佐見：「保存」の話をしよう。⑮IPMという手法

青木加苗：今年も美連協大賞「優秀カタログ賞」を受賞！—『もうひとつの日本美術史—近代版画の名作 2020』
メールマガジン / Facebook ページ / twitter ご案内、友の会案内

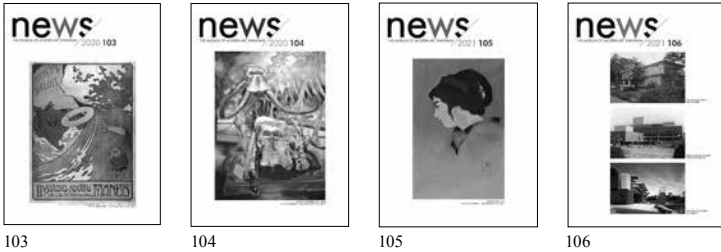
No.106 (2021年3月31日発行)

宮本久宣：展覧会とコレクションと 和歌山県立近代美術館 コレクションの 50 年

青木加苗：和歌山「ここ」に美術館がある理由「わけ」美術館を展示する 和歌山県立近代美術館のサステナビリティ

植野比佐見：「保存」の話をしよう。@役に立ちませんように

Museum Calendar、メールマガジン / Facebook ページ / twitter ご案内、友の会案内



5 広報および情報提供

1 メディア等への情報発信

- ・ 県内外の新聞社、放送局、出版社等約 380 か所に事業案内を送付し（うち約 150 か所にメールによるプレスリリース）、報道、掲載を依頼。また取材等の要請に応じて情報を提供した。
- ・ 展覧会や特別事業ごとに県庁記者クラブ、教育記者クラブにて資料提供を行い、県内の新聞社、放送局に事業案内の報道、掲載を依頼した。
- ・ カレンダー、機関誌等を発行し、関係諸機関及び来館者等に提供することで、美術館の概要や展覧会の内容、スケジュール等の周知、利用促進を図った。
- ・ 展覧会ごとに、ポスター、チラシ等を作成し、全国関係諸機関、県下各市町村及び小中高校、大学、教育機関など約 3,000 か所に配布した。
- ・ 県発行の広報誌『県民の友』に、毎月事業案内を掲載した。
- ・ 各種メディアの取材に協力し、展覧会等の紹介を行った。
和歌山市観光課海外向けホームページ my secret Wakayama に情報を提供 (<https://www.mysecretwakayama.com/introduce/1939/>)
- ・ 泉州・紀北ミュージアムネットワークを通じた広報活動を行った。
- ・ 和歌山県職員に対し電子掲示板、庁内メール等で展覧会の案内をした。
- ・ ミュージアムぐるっとパス・関西 2020 に加入。
- ・ 美術館の認知度を高めるため、施設内におけるロケーション撮影等に協力した。
- ・ 「開館 50 周年記念展」に関する重点広報の取り組み
タウン誌『Lism』（有料広告）
JR 和歌山駅壁面広告および駅構内サイネージ（有料広告）
和歌山バスにて美術館ラッピングバスの運行（有料広告）
地元有力企業（オークワ、紀陽銀行）でのポスター掲示とチラシ設置
- ・ 『読売新聞』（和歌山版）に「県立美術館 50 周年コレクションの名品」を連載（2020 年 11 月～）



ラッピングバス

2 WEB による広報

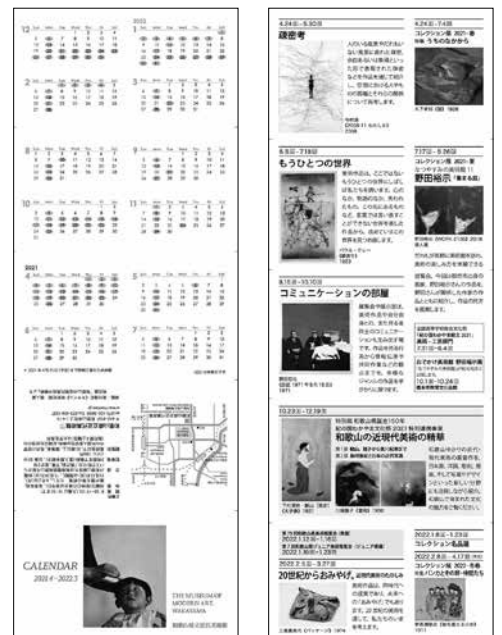
- ・ ウェブサイトを一部リニューアルし、スマートフォン対応に修正。美術館の概要や展覧会の内容、スケジュールの情報を提供した。
- ・ メールマガジン（html 版とテキスト版）にて、美術館で開催されるさまざまな展覧会及びプログラムへの参加をよびかけた。
149 号（2020 年 4 月 24 日発行）から 158 号（2021 年 3 月 23 日発行）まで計 10 回発行。登録読者数 html 版 604 名、テキスト版 35 名、計 638 名、2021 年 3 月 23 日現在）
- ・ Facebook、Twitter、Instagram、Google My Business、YouTube を通じて情報を発信した。

3 広報印刷物の制作

- ・ 2020 年度展覧会カレンダー 6.1 × 10.5cm 巻き 5 っ折（10 頁）
- ・ ポスター、チラシ等（各展覧会報告の項を参照）

4 県民への直接的情報提供

- ・ 作者や展覧会等についての問い合わせ 4 件に対応した。



カレンダー

6 県民や地域との連携

1 ボランティア活動の受入

- ・ 図書資料の仕分け、データ入力、配架、資料整理を行った。

2020年4月～2021年3月 活動のべ77人

- ・ 和歌山大学教育学部と県教育委員会連携協議に基づくミュージアム・ボランティア

登録人数：3名(2学校・教育等と連携した事業を参照)

2 友の会等の支援組織の活動への協力

(1) 和歌山県立近代美術館友の会

「和歌山県立近代美術館友の会」を組織し、当館の活動に支援を受けるとともに、楽しみながら美術作品に親しむ機会を設けた。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、例年実施するコンサートや美術鑑賞ツアー等の事業は休止した。

- ・ 会員の状況

一般会員：144名、学生：2名、賛助会員：10名 特別会員：1名 計157名

- ・ 助成事業の実績

会員が美術館事業に理解を持ち、常に美術作品に親しみをもち、常設展及び企画展・特別展の観覧並びに図録の購入に対して助成を行った。

展覧会入場者延人数：114人 「もようづくし」28人、「あまたの先日ひしめいて今日」26人、「もうひとつの近代美術史」45人、「コレクションの50年」15人

図録購入：30冊

- ・ 版画プレゼント

古本有理恵氏制作の版画(4種類)の中から1点を頒布。

引換期間：2020年10月11日(日)～2021年1月24日(日)

版画プレゼント 古本有理恵



《ラナンキュラス》2020 銅版(凹凸版)、紙 イメージ13.3×15.5cm / シート26.7×23.8cm



《カトレア》2020 銅版(凹凸版)、紙 イメージ13.3×15.5cm / シート26.7×23.8cm



《カラー》2020 銅版(凹凸版)、紙 イメージ13.3×14.7cm / シート26.7×23.8cm



《ヒヤシンス》2020 銅版(凹凸版)、紙 イメージ14.5×13.1cm / シート26.7×23.8cm

- ・ 館広報誌、その他への情報提供

美術館が発行するミュージアムカレンダー、美術館ニュース、広報紙などを配布し、その他への情報提供をした。

(2) NPO 和歌山文化芸術支援協会(wacss)

- ・ 「森のちからXII」への協力

2020年11月に実施が予定されていたが、新型コロナウイルス感染症拡大のため中止となった。

- ・ 夏休みアートワークショップ「思い出を重ねて、誰も知らない思い出を描こう！」への協力。(展覧会事業「なつやすみの美術館10」に詳細)

3 地域と連携した事業

- ・ 芸術に親しもう！ おでかけ美術館 第2回 紀中地方 田中秀介展「かなたの先日ふみこんで今日」(展覧会事業「おでかけ美術館」に詳細)

- ・ 第74回和歌山県美術展覧会(県展)〈日本画・書・工芸・洋画・写真・彫塑〉

2021年1月13日(水)～1月17日(日) 展示室A(1階)・展示室C(2階) 入場料金：無料

*当館では一般部門を展示。県民ギャラリー等において招待作家展を展示。

・ 第 6 回和歌山県ジュニア美術展覧会

2021 年 1 月 20 日(水)～1 月 24 日(日) 展示室 A (1 階) 入場料金：無料

主催：和歌山県

共催：和歌山県教育委員会、和歌山県立近代美術館、和歌山県美術家協会、毎日新聞社和歌山支局、一般財団法人 和歌山県文化振興財団、橋本市、新宮市、上富田町

協賛：公益財団法人 大桑教育文化振興財団協力 協力(ジュニア県展のみ)：和歌山県美術連盟、和歌山県書写教育研究会

・ 第 15 回わかやまマジカルミュージックツアー

2020 年 10 月 25 日(日) 約 2,000 名

会場：アプローチプラザほか

主催：わかやまマジカルミュージックツアー実行委員会

・ ミュージアム クリフ映画会

2020 年 7 月 24 日(金) 約 100 名

会場：アプローチプラザ

主催：和歌山県 BBS 連盟

・ 第 20 回秋のシャンソンカーニバル

2020 年 10 月 17 日(土) 約 100 名

会場：アプローチプラザ周辺

主催：和歌山シャンソン友の会

・ きのくに音楽祭 2020 きのくにピクニックコンサート～オルカプラスがやって来る!

2020 年 10 月 11 日(土) 約 100 名

会場：エントランス広場

主催：きのくに音楽祭実行委員会

・ 関西文化の日

2020 年 11 月 14 日(土)、15 日(日)

入場料を無料とするほか、ナイトミュージアムとして 21 時まで開館し、和歌山市と連携して「竹燈夜」などのイベントを開催した。

・ 県警音楽隊たそがれコンサート

新型コロナウイルス感染症拡大のため中止

・ 公益財団法人 脇村奨学会主催「第 25 回学芸員研究会」への学芸員派遣

新型コロナウイルス感染症拡大のため中止

・ 第 25 回「名月に舞う」

新型コロナウイルス感染症拡大のため中止



ナイトミュージアム



わかやまちなかミュージアムガイド (A4 両面)

4 県内博物館・図書館施設等と連携した事業

・ 県立 5 館が連携してスタンプラリーを実施した。

・ 和歌山県博物館施設等災害対策連絡会議の活動に幹事館として参加した。

(2020 年 3 月 15 日に幹事会、研修会の開催が予定されていたが、新型コロナウイルス拡散防止のため中止)



和歌山県立近代美術館スタンプラリー (6.0 × 29.7cm 三つ折)

5 国内外の美術館や関連組織等と連携した事業展開

・ 特別展「もうひとつの日本美術史—近代版画の名作 2020」では、福島県立美術館と協働して調査研究を行い、展覧会を開催した。

6 観光資源として活用できる方策

・ 県と和歌山市が連携し、和歌山周辺の街中に残る史跡等を紹介するとともに、周辺での回遊性を高めるため、「わかやまちなかミュージアムガイド」を配布。2017 年より継続して各館の相互割引を実施。

・ 観光ガイドなどへの広報を行い、展覧会のみならず訪問先として施設全体を紹介してもらうよう取り組んだ。

・ オリジナルスタンプによる和歌山県立近代美術館スタンプラリーを実施し、通年のリピーター獲得に取り組んだ。

作品貸付

下記9件の展覧会に作品の貸付を行った。

展覧会名、会期、貸出先、作家名《作品名》、制作年、所蔵註記の順に記載。

*新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、一部展覧会で会期中の休館や会期の延長などが行われた。

1. Vida Americana: Mexican Muralists Remake American Art, 1925-1945 [前年度より]

2020年2月17日～5月24日(途中休館を挟んで2021年1月31日まで会期延長) ホイットニー美術館

石垣栄太郎《ボナス・マーチ》1932

石垣栄太郎《人民戦線の人々》1936-1937頃

以上2点

2. 開館50周年 兵庫県立近代美術館→兵庫県立美術館 超・名品展

2020年4月11日～6月7日(6月2日～7日のみ開館) 兵庫県立美術館
建畠大夢《お湯のつかれ》1916/1970 鋳造

保田龍門《クリスティーヌの首》1922/1985 鋳造

以上2点

3. 喜多村進と徳川頼貞—南葵音楽文庫をめぐるひとびと—

2020年8月29日～10月4日 和歌山県立博物館

『南紀藝術』第1号から第10号

以上10点

4. 舞妓モダン

2020年10月6日～11月29日 京都府京都文化博物館

野長瀬暁花《大原女と舞妓》1916頃

野長瀬暁花《舞妓図》1916頃

以上2点

5. 京都の美術 250年の夢 第1部～第3部総集編 江戸から現代へ

2020年10月10日～12月6日 京都市美術館

今村源《1994-2 ネガシダ》1994

亀井玄兵衛《黒い家の風景》1928

徳力富吉郎《祇園町の夜更》1933

堀内正和《人差指》1966

山田光《作品》1953

以上5点

6. 倉重光則+天野純治展

2020年11月14日～12月25日 横須賀美術館

天野純治《FAR EAST97-GRAPHITE-35》1997

天野純治《FAR EAST97-R-37》1997

以上2点

7. 〈脱皮する大地 浅間山〉長岡國人展

2021年1月16日～2月7日 佐久市立近代美術館

長岡國人《HORIZONT/MON》1972

長岡國人《ISEKI/PY I》1974

長岡國人《ISEKI/PY V》1975

長岡國人《ISEKI/PY = PLN》1975

長岡國人《ISEKI/PY XVII》1978

長岡國人《ISEKI/PY XXII》1979

長岡國人《ISEKI/PY XXIII》1979

長岡國人《ISEKI/PY XXIV》1979

長岡國人《ISEKI/PY XXVI》1981

長岡國人《ISEKI/PY XXVIII》1981

長岡國人《ISEKI/PY XXXI》1981

長岡國人《ISEKI/PY XXXVI》1984

長岡國人《ISEKI/PY XXXVII》1985

以上13点

8. 没後70年 南薫造

2021年2月20日～4月11日 東京ステーションギャラリー

2021年4月20日～6月13日(4月20日～5月9日のみ開館、6月21日～23日臨時開館) 広島県立美術館 [次年度]

2021年7月3日～8月29日 久留米市美術館 [次年度]

南薫造《魚見(『美術新報』第11巻第3号所収)》1912

南薫造《舟おろし》1910～13

南薫造《風景》1910～13

南薫造《浦の漁灯》1913

以上4点

9. あやしい絵展

2021年3月23日～5月16日(3月23日～4月24日のみ開館) 東京国立近代美術館

2021年7月3日～8月15日 大阪歴史博物館 [次年度]

田中恭吉《太陽と花(私輯『月映』II)》1913

田中恭吉《焦心(私輯『月映』II)》1914

田中恭吉《病児(私輯『月映』IV うつそみ)》1914

田中恭吉《冬蟲夏草(公刊『月映』III)》1914

田中恭吉《死人とあとに残れるもの》1914

田中恭吉《綺はれゆく歓喜と悲愁》1915

以上6点

調査・研究・発表活動および対外協力活動

山野英嗣

- ・「もうひとつの日本美術史—近現代版画の名作 2020」展の企画および図録への執筆
- ・執筆：「今、「近現代」日本版画をふりかえる。」『もうひとつの日本美術史—近現代版画の名作 2020』展』図録、2020年7月11日、pp.16-19
- ・講演：「日本の近現代美術を『版画』表現で再考する」（2020年11月3日 / 和歌山県立近代美術館）
- ・執筆：「山本鼎《漁夫》」（連載：県立近代美術館 50周年コレクションの名品①）『読売新聞和歌山版』、2020年11月11日、28面
- ・執筆：「『近代』そして『前衛』について、ひとり言」『美連協ニュース』No.146、美術館連絡協議会事務局、2020年5月、p.16
- ・講演：「日本の『近現代』美術を『版画』表現で再考する」（2020年7月28日 / 福島県立美術館）
- ・執筆：「近代美術館をふりかえり、県立美術館に期待する」『アートランブル』67、68号、兵庫県立美術館、2020年9月18日、pp.6-7
- ・執筆：「阪神間モダニズムと今竹七郎」『没後20年 今竹七郎 近代日本デザインのパイオニア』展図録、西宮市大谷記念美術館、2020年10月、pp.8-15
- ・講演：「阪神間モダニズムと今竹七郎」（2020年10月18日 / 西宮市大谷記念美術館）
- ・「博物館コミュニケーション論」講義（2020年春 Semester / 立命館大学大学院）
- ・地方独立行政法人大阪市博物館機構大阪中之島美術館準備室博物館等資料収集委員会に出席（2020年10月28日 / 株式会社住友倉庫大阪支店）
- ・第74回堺市展（洋画部門）審査（2020年11月2日 / 堺市立文化館）
- ・高知県立美術館資料収集審査会に出席（2020年11月13日 / 高知県立美術館）
- ・国立国際美術館作品収集委員会に出席（2020年11月27日 / 国立国際美術館）
- ・第74回姫路市美術展（日本画部門）審査（2020年12月9日 / 姫路市立美術館）
- ・国立国際美術館美術作品購入選考委員会に出席（2021年1月26日 / 国立国際美術館）
- ・兵庫県立美術館作品収集会議に出席（2021年1月27日 / 書面開催）
- ・高砂市美術展 2021（洋画部門）審査（2021年2月1日 / 高砂市文化保健センター）
- ・徳島県立近代美術館資料収集委員会に出席（2021年2月3日 / 徳島県立近代美術館美術館）
- ・愛媛県美術品等収集評価委員会に出席（2021年2月9日 / 愛媛県美術館）
- ・所属学会：美学会、美術史学会
- ・執筆：「誤読から表現へ—田中秀介の作品」『芸術に親しもう！ おでかけ美術館 第2回 紀中地方 田中秀介展「あなたの先日ふみこんで今日」パンフレット』、2020年9月10日、pp.2-3
- ・執筆：「木村秀樹《Pencil 2-3》」（連載：県立近代美術館 50周年コレクションの名品③）『読売新聞和歌山版』、2020年12月9日、28面
- ・執筆：「なつやすみの美術館 10「あまたの先日ひしめいて今日」」『和歌山県立近代美術館ニュース』No.104、2020年12月25日、pp.1-2
- ・執筆：「「水平線について」について」『Karen Okimi; About "the Horizon"』オリエ アートギャラリー、2020年、ノンブルなし
- ・執筆：「呉本俊松 ケールでファッションナブルでズレている」『Toshimatsu Kuremoto 2017-2021』2021年3月16日、p.33
- ・執筆：「和歌山県立近代美術館のボランティア活動について」『ミュゼ』87号、2021年3月16日、p.3
- ・執筆：「アールブリュット和歌山—発見と継続」『アールブリュット和歌山魂のあところ II』社会福祉法人和歌山県福祉事業団、2021年3月31日、p.5
- ・配信：「田中秀介さんと見る「あまたの先日ひしめいて今日」」2020年8月5日配信、<https://www.youtube.com/watch?v=x7DH3IGtOvw>
- ・配信：「田中秀介さんと見る「あなたの先日ふみこんで今日」その1-6」2020年9月13日配信、<https://www.youtube.com/watch?v=BPemdYtmtNU>
- ・講演：令和2年度兵庫県立美術館ミュージアム・ボランティアコーディネーター養成セミナー講師、2021年2月21日、オンライン
- ・講義：関西学院大学「博物館経営論」（原久子講師）講義映像協力
- ・講義：和歌山大学「博物館学資料論」（橋本唯子准教授）講義映像協力
- ・紀の国わかやま文化祭 2021 企画委員
- ・公益財団法人堀江オルゴール博物館理事
- ・所属学会：美学会、美術史学会、美学芸術学会、アートドキュメンテーション学会、版画学会

井上芳子

- ・「コレクション展 2020-夏/特集 浜口陽三」の企画および関連事業の実施
- ・講演：「竹久夢二と『月映』」（2020年10月4日 / 和歌山県立近代美術館）
- ・執筆：「「日・チェコ交流 100周年 ミュシャと日本、日本とオルリック」展調査ノート」『和歌山県立近代美術館ニュース』No.103、pp.1-4
- ・執筆：「田中恭吉《冬虫夏草》」（連載：県立近代美術館 50周年コレクションの名品⑤）『読売新聞和歌山版』、2021年1月27日、24面
- ・講演：「保田龍門の芸術について」（2020年12月12日 / 粉河ふるさとセンター）

植野比佐見

奥村泰彦

- ・「なつやすみの美術館 10 あまたの先日ひしめいて今日」の企画および関連事業の実施
- ・「芸術に親しもう！おでかけ美術館 田中秀介展「あなたの先日ふみこえて今日」」の企画、パンフレット編集および関連事業の実施
- ・「コレクション名品選」の企画および関連事業の実施
- ・執筆：「川口軌外（1892～1966）《少女と貝殻》」『須田記念 視覚の現場 第三号』一般財団法人 きょうと視覚文化振興財団、2020年8月30日、p.21
- ・執筆：「和歌山県立近代美術館における「コレクションと美術館」」『須田記念 視覚の現場 第三号』一般財団法人 きょうと視覚文化振興財団、2020年8月30日、pp.67-70
- ・「開館 50周年記念 もうひとつの日本美術史—近現代版画の名作 2020」展の企画、図録編集および関連事業の実施
- ・「コレクション展 2019-冬/特集 ニホンラシサを探せ」の企画および関連事業の実施
- ・講演：「版画のきた道 美術が自分ごとになるとき」（2020年11月22日 / 和歌山県立近代美術館）
- ・執筆：「版画が息づくところ—印刷と美術の「版画」とその周辺」『もうひとつの日本美術史—近現代版画の名作 2020』展』図録、2020年7月11日
- ・執筆：「「保存」の話をしよう。⑬ウイルスよりは大きいけれども」『和歌

山県立近代美術館ニュース』No.103、p.7

- ・執筆：「「保存」の話をしよう。㊤ 50周年ですから」『和歌山県立近代美術館ニュース』No.104、p.7
- ・執筆：「版画の歴史はもうひとつの日本美術史 開館50周年記念展「もうひとつの日本美術史—近現代版画の名作2020」」『和歌山県立近代美術館ニュース』No.105、pp.1-2
- ・執筆：「「保存」の話をしよう。㊦ IPMという手法」『和歌山県立近代美術館ニュース』No.105、p.7
- ・執筆：「「保存」の話をしよう。㊧役に立ちませんように」『和歌山県立近代美術館ニュース』No.106、p.7
- ・執筆：「人と作品 恩地孝四郎—抒情・あるいは抽象の感情」（『紫明』第48、2021年3月、pp.43-51
- ・執筆：「展覧会スポットライト もうひとつの日本美術史」『版画芸術』第188号、2020年6月1日、pp.188-199
- ・執筆：「福島と和歌山で「もうひとつの日本美術史 近現代版画の名作2020」展」2020年8月、『ときの忘れもの』ブログ
- ・執筆：「版画 関西と関東ははっきり もうひとつの日本美術史(上)」『読売新聞』2020年10月2日、13面
- ・執筆：「作家の精神の表れを追う もうひとつの日本美術史(中)」『読売新聞』2020年10月4日、31面
- ・執筆：「石版印刷で精密表現 もうひとつの日本美術史(下)」『読売新聞』2020年10月7日、13面
- ・所属学会：保存修復学会、明治美術学会

奥村一郎

- ・「コレクション展2020-春/特集 浜地清松」の企画および実施
- ・「開館50周年記念 和歌山県立近代美術館 コレクションの50年」展の企画および関連事業の実施
- ・「開館50周年記念 美術館を展示する 和歌山県立近代美術館のサステイナビリティ」展の企画および関連事業の実施
- ・執筆：「ホイットニー美術館での石垣栄太郎作品展示 メキシコ壁画運動とアメリカ美術」『和歌山県立近代美術館ニュース』No.104、pp.5-6
- ・執筆：「石垣栄太郎 移民として、画家として」『地方史研究の最前線：紀州・和歌山』、清文堂出版、2020年12月28日、pp.230-234
- ・執筆：「井田照一《Stone, Paper and Stone》」（連載：県立近代美術館50周年コレクションの名品④）『読売新聞和歌山版』、2021年1月13日、26面
- ・執筆：「野田哲也《日記1977年8月10日》」（連載：県立近代美術館50周年コレクションの名品⑦）『読売新聞和歌山版』、2021年3月10日、30面
- ・執筆：「美術館のこれまでとこれからのために 和歌山県立近代美術館コレクションの50年」『新美術新聞』2020年12月1日、2面
- ・「サウンドアート学確立による20世紀アート史の書き換え」[平成30年度科学研究費助成事業、課題番号18K18488、研究代表者・中川眞(大阪市立大学特任教授)]研究協力者
- ・所属学会：日本移民学会

宮本久宣

- ・「開館50周年記念 もうひとつの日本美術史—近現代版画の名作2020」展の企画、図録編集および関連事業の実施
- ・「開館50周年記念 和歌山県立近代美術館 コレクションの50年」展の

企画および関連事業の実施

- ・「開館50周年記念 美術館を展示する 和歌山県立近代美術館のサステイナビリティ」展の企画および関連事業の実施
- ・執筆：「錦絵 FOR YOU 川端龍子、鶴田吾郎によるスケッチ倶楽部の版画」『もうひとつの日本美術史—近現代版画の名作2020』展』図録、2020年7月11日
- ・執筆：「保田龍門《四季(春夏秋冬)》について コレクション展2020-春より」『和歌山県立近代美術館ニュース』No.103、p.5
- ・執筆：「川端龍子の版画—錦絵 FOR YOU—」『和歌山県立近代美術館ニュース』No.104、p.4
- ・執筆：「展覧会とコレクションと 和歌山県立近代美術館 コレクションの50年」『和歌山県立近代美術館ニュース』No.106、pp.1-3
- ・執筆：「浜口陽三《赤い鉢と黒いさくらんぼ》」（連載：県立近代美術館50周年コレクションの名品②）『読売新聞和歌山版』、2020年11月25日、28面
- ・美術史学会美術館博物館委員会、専門委員
- ・所属学会：美術史学会

青木加苗

- ・「開館50周年記念 もうひとつの日本美術史—近現代版画の名作2020」展の企画、図録編集および関連事業の実施
- ・「開館50周年記念 和歌山県立近代美術館 コレクションの50年」展の企画および関連事業の実施
- ・「開館50周年記念 美術館を展示する 和歌山県立近代美術館のサステイナビリティ」展の企画および関連事業の実施
- ・執筆：「版画の「学び」方—美術学校への道のり」『もうひとつの日本美術史—近現代版画の名作2020』展』図録、2020年7月11日
- ・執筆：「ご来館の目的は何ですか？ 6年目に入ったスタンプラリー」『和歌山県立近代美術館ニュース』No.103、p.6
- ・執筆：「協力から協働へ 和歌山美術館教育研究会となつやすみの美術館10」『和歌山県立近代美術館ニュース』No.104、pp.2-3
- ・執筆：「今年も美連協大賞「優秀カタログ賞」を受賞—『もうひとつの日本美術史—近現代版画の名作2020』」『和歌山県立近代美術館ニュース』No.105、p.7
- ・執筆：「和歌山[ここ]に美術館がある理由[わけ] 美術館を展示する 和歌山県立近代美術館のサステイナビリティ」『和歌山県立近代美術館ニュース』No.106、pp.3-6
- ・執筆：「美術館再開をめぐって—学芸員の備忘録」『ウェブ版「美術手帖」』、2020年5月27日
- ・執筆：「世界の終わりを遠ざける方法」『ぼくのおくさん☆柴川俊之展 PLANET HOME』つなぎ美術館、2020年7月
- ・執筆：「ドイツ語圏のジャポニスム試論—木版技術伝播の一断面」『美術運動史研究会ニュース』No.181、美術運動史研究会、2020年10月
- ・執筆：「美術館を展示する 和歌山県立近代美術館のサステイナビリティ」(シリーズ Curator's Voice)『ウェブ版「美術手帖」』、2021年1月26日
- ・執筆：「エドヴァルド・ムンク《病める子》」（連載：県立近代美術館50周年コレクションの名品⑥）『読売新聞和歌山版』、2021年2月10日、26面
- ・講義：「美術館とコミュニティがつながりつづけるしくみを考える」成安造形大学「コミュニティデザイン概論」、2020年6月18日(事前収録)
- ・講義：「茅野市美術館を一緒にサポートしませんか+9 きほん編 第4回「ほかの美術館を知ろう—和歌山県立近代美術館の活動」(2021年2月23日/茅野市民館マルチホール)、オンライン
- ・和歌山大学美術館部サークル外部指導員(2015年~)

- ・ ICOM ICFA 理事 (2019 年 9 月～) : 理事会出席 (オンライン) 2020 年 5 月 22 日、7 月 3 日、9 月 4 日、10 月 16 日、2021 年 2 月 19 日
- ・ 「博物館総合調査」委員 (2019 年～) / 報告書分担執筆『令和元年度 日本の博物館総合調査報告書』(14. 展示、15. 教育普及活動、および館種別分析 3. 公立美術館を担当) 公益財団法人日本博物館協会、2020 年 9 月
- ・ 京都市立芸術大学大学院美術研究科非常勤講師「美術史特論 2」、2020 年 9 月 23 日～25 日
- ・ 2019 年度 DNP 文化振興財団 グラフィック文化に関する学術研究助成「ドイツ語圏のジャポニスム：ヴァルター・クレムとカール・ティーマンの多色木版画を中心に」(2018 年度より継続、新型コロナウイルス感染症拡大により助成期間延長)
- ・ 所属学会：ICOM ICFA、意匠学会、美学会、美術科教育学会、美術史学会

藤本真名美

- ・ 「もようづくし」展の企画および関連事業の実施
- ・ 執筆：「紙上シンポジウム「もようがたり」 企画展もようづくし」『和歌山県立近代美術館ニュース』No.105、pp.3-6
- ・ 執筆：「前川千帆《新日本百景 滯八丁(和歌山縣)》」(連載：県立近代美術館 50 周年コレクションの名品⑧)『読売新聞和歌山版』、2021 年 3 月 24 日、28 面
- ・ 執筆：「〈資料紹介〉前川千帆年譜」『大正イマジュリイ』第 15 号、2020 年 5 月 31 日、pp.82-108
- ・ 執筆：「原点へ回帰する京都近美」『京都国立近代美術館ニュース 視る』第 506 号、2020 年 8 月 24 日、pp.6-7
- ・ 執筆：『近代京都日本画史』、求龍堂、2020 年 8 月 30 日(植田彩芳子、中野慎之、森光彦との共著)
- ・ 発表：「村上華岳作品における目の表現 一前期国展出品作を中心に」美術史学会西支部例会 (2020 年 11 月 21 日/京都ノートルダム女子大学、オンライン)
- ・ 所属学会：大正イマジュリイ学会、明治美術学会、美術史学会

収集事業

和歌山県立近代美術館美術作品収集方針

- 日本画 1. 下村観山、川端龍子を軸とする院展の作家たち
2. 野長瀬晩花を軸とする国画創作協会の作家たち
- 洋画 3. 川口軌外を軸とする1930年協会、初期独立美術協会の作家たち
4. 村井正誠を軸とする自由美術家協会、モダンアート協会の作家たち
5. 石垣栄太郎、ヘンリー杉本、高井貞二を軸とするアメリカで学んだ作家たち
- 版画 6. 本県にゆかりのある恩地孝四郎、田中恭吉、逸見享、吉田政次、浜口陽三らを軸とする近現代版画
- 彫刻 7. 本県にゆかりのある建島覚造、保田春彦を軸とする現代彫刻
- その他 8. 戦後美術
- ア パンリアル美術協会
 - イ 走泥社
 - ウ デモクラート美術家協会
 - エ 具体美術協会
9. 現代の美術
10. 海外の美術

和歌山県立近代美術館美術作品選定委員会委員

- 榎本長治 会社社長
- 五十殿利治 筑波大学名誉教授、同特命教授、独立行政法人国立美術館理事
- 建島 哲 多摩美術大学学長／埼玉県立近代美術館館長
- 三木哲夫 兵庫県陶芸美術館館長

第44回美術作品選定委員会

- 日時：2021年2月7日(日) 午後2時より開催
- 出席：榎本長治委員、建島哲委員(委員長)、三木哲夫委員
- 内容：購入候補作品ならびに受贈候補作品について、受入の妥当性について協議を行った。

2020年度収蔵作品点数

- 購入 36点(日本画2点、洋画2点、版画32点)
- 受贈 18件336点(日本画1点、洋画8点、水彩・素描20点、版画96点、写真204点、工芸3点、資料4点) *組作品の個別点数を含めると350点

榎原恵子氏より奈良原一高アーカイブズコレクションから、奈良原一高写真作品204点を寄贈いただいた。また高山和子氏より大久保一旧蔵の版画34点とともに、書簡など旧蔵資料を一括して寄贈いただいた。昨年度に引き続き、大家利夫氏より自身が製本や装幀に関わった特装本や所蔵絵画など49点(水彩・素描19点、版画25点、工芸1点、資料4点)の寄贈を受けた。

2020年度収蔵作品

* 各作品について、作者名(和英)、作品名、制作年、技法材質(形状)、寸法(cm、特記なき平面作品はイメージサイズ)、台帳番号、種別を記した。
 * 作者名(五十音順、日本人作家/外国人作家)、制作年(昇順)に従って配列している。ただし、まとまったコレクションなどについては、個別に掲載した。



1 川端 龍子 KAWABATA Ryushi
 野に咲く花
 大正中期
 顔料、絹
 92.7 × 76.8
 [12500] 日本画



2 国吉 康雄 KUNIYOSHI Yasuo
 ベッドに横たわる裸婦
 1916(大正5)～1918(大正7)頃
 エッチング(ジンク板)、紙
 7.5 × 10.1(イメージ) / 11.6 × 11.7(シート)
 [12502] 版画



3 国吉 康雄 KUNIYOSHI Yasuo
 右に首をかしげる女
 1916(大正5)～1918(大正7)頃
 エッチング(ジンク板)、紙(第2シート)
 10.0 × 7.6(イメージ) / 12.5 × 9.8(シート)
 [12503] 版画



4 国吉 康雄 KUNIYOSHI Yasuo
 服を脱ぐ女
 1916(大正5)～1918(大正7)頃
 ドライポイント(銅板)、紙
 10.1 × 7.6(イメージ) / 21.4 × 16.9(シート)
 [12504] 版画



5 国吉 康雄 KUNIYOSHI Yasuo
 椅子にうづくまる裸婦
 1916(大正5)～1918(大正7)頃
 ドライポイント(ジンク板)、紙
 10.1 × 7.6(イメージ) / 13.8 × 10.7(シート)
 [12505] 版画



6 国吉 康雄 KUNIYOSHI Yasuo
 ヨチヨチ歩きの子供を支える女
 1916(大正5)～1918(大正7)頃
 ドライポイント(銅板)、紙
 10.2 × 7.6(イメージ) / 15.6 × 10.7(シート)
 [12506] 版画



7 国吉 康雄 KUNIYOSHI Yasuo
 うづくまる裸婦
 1916(大正5)～1918(大正7)頃
 エッチング(ジンク板)、紙
 6.2 × 8.7(イメージ) / 9.8 × 12.5(シート)
 [12507] 版画



8 国吉 康雄 KUNIYOSHI Yasuo
 女の頭・腕・胸
 1916(大正5)～1918(大正7)頃
 ドライポイント(ジンク板)、紙
 10.0 × 7.5(イメージ) / 12.7 × 10.2(シート)
 [12508] 版画



9 国吉 康雄 KUNIYOSHI Yasuo
 抱き合う男と女
 1916(大正5)～1918(大正7)頃
 エッチング(ジンク板)、紙
 10.2 × 7.6(イメージ) / 14.2 × 11.6(シート)
 [12509] 版画



10 国吉 康雄 KUNIYOSHI Yasuo
 女の顔
 1916(大正5)～1918(大正7)頃
 ドライポイント(ジンク板)、紙
 12.5 × 10.0(イメージ) / 19.6 × 13.1(シート)
 [12510] 版画



11 国吉 康雄 KUNIYOSHI Yasuo
 公園のベンチに座る人
 1916(大正5)～1918(大正7)頃
 エッチング(ジンク板)、紙
 10.0 × 7.5(イメージ) / 13.2 × 10.0(シート)
 [12511] 版画



12 国吉 康雄 KUNIYOSHI Yasuo
 足をつかむ右向きの裸婦
 1916(大正5)～1918(大正7)頃
 エッチング(銅板)、紙
 7.6 × 10.1(イメージ) / 13.8 × 16.2(シート)
 [12512] 版画



13 国吉 康雄 KUNIYOSHI Yasuo
 後脚で立つ馬の前の母と子
 1916(大正5)～1918(大正7)頃
 エッチング(ジンク板)、紙
 10.1 × 7.5(イメージ) / 14.5 × 9.7(シート)
 [12513] 版画



14 国吉 康雄 KUNIYOSHI Yasuo
 女、リンゴと男
 1916(大正5)～1918(大正7)頃
 ドライポイント(ジンク板)、紙
 10.0 × 12.5(イメージ) / 14.1 × 18.9(シート)
 [12514] 版画



15 国吉 康雄 KUNIYOSHI Yasuo
 脚をあげて座る裸婦
 1916(大正5)～1918(大正7)頃
 ドライポイント(ジンク板)、紙(第2シート)
 12.7 × 10.1(イメージ) / 18.2 × 13.8(シート)
 [12515] 版画



16 国吉 康雄 KUNIYOSHI Yasuo
パイプとテーブルのそばでの抱擁
 1916 (大正5) ~ 1918 (大正7) 頃
 ドライポイント (ジンク板)、紙
 10.0 × 7.5 (イメージ) / 16.3 × 12.9 (シート)
 [12516] 版画



17 国吉 康雄 KUNIYOSHI Yasuo
すわる裸婦と子供
 1916 (大正5) ~ 1918 (大正7) 頃
 ドライポイント (銅板)、紙 (第3ステート)
 10.1 × 7.6 (イメージ) / 20.5 × 16.3 (シート)
 [12517] 版画



18 国吉 康雄 KUNIYOSHI Yasuo
一人が眠っている二人の裸婦
 1916 (大正5) ~ 1918 (大正7) 頃
 ドライポイント (ジンク板)、紙 (第2ステート)
 7.6 × 10.2 (イメージ) / 12.4 × 17.6 (シート)
 [12518] 版画



19 国吉 康雄 KUNIYOSHI Yasuo
テーブルの回りの人々
 1916 (大正5) ~ 1918 (大正7) 頃
 エッチング (銅板)、紙 (第2ステート)
 12.6 × 10.1 (イメージ) / 20.4 × 16.4 (シート)
 [12519] 版画



20 国吉 康雄 KUNIYOSHI Yasuo
円筒を持つ裸婦
 1916 (大正5) ~ 1918 (大正7) 頃
 ドライポイント (ジンク板)、紙 (第1ステート)
 12.5 × 8.8 (イメージ) / 18.7 × 14.1 (シート)
 [12520] 版画



21 国吉 康雄 KUNIYOSHI Yasuo
ネックレスを付けた左向きの裸婦(1)
 1916 (大正5) ~ 1918 (大正7) 頃
 ドライポイント (ジンク板)、紙
 12.6 × 8.7 (イメージ) / 19.3 × 13.5 (シート)
 [12521] 版画



22 国吉 康雄 KUNIYOSHI Yasuo
ネックレスを付けた左向きの裸婦 (2)
 1916 (大正5) ~ 1918 (大正7) 頃
 ドライポイント (ジンク板)、紙
 12.6 × 8.8 (イメージ) / 16.2 × 12.1 (シート)
 [12522] 版画



23 国吉 康雄 KUNIYOSHI Yasuo
4人の裸婦 (クリシー通りのカフェ)
 1928 (昭和3)
 リトグラフ、紙
 23.8 × 33.8 (イメージ) / 32.5 × 50.0 (台紙)
 [12523] 版画



24 古賀 春江 KOGA Harue
梅
 1933 (昭和8)
 木版、紙
 35.2 × 27.1 (イメージ) / 36.8 × 28.1 (シート)
 [12524] 版画



25 坂井 淑恵 SAKAI Yoshie
漏れた人
 1997 (平成9)
 油彩、カンヴァス
 130.7 × 161.7
 [12498] 洋画



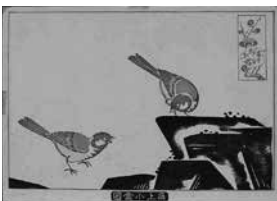
26 田中 秀介 TANAKA Shusuke
古今台頭摩擦
 2019 (令和元)
 油彩、キャンパス
 259.0 × 194.0
 [12499] 洋画



27 徳力 富吉郎 TOKURIKI Tomikichiro
人形 (II)
 1927 (昭和2) 頃
 木版、紙
 32.0 × 48.5 (シート)
 [12525] 版画



28 徳力 富吉郎 TOKURIKI Tomikichiro
庭上小禽図
 1927 (昭和2) 頃
 木版、紙
 20.3 × 28.5 (イメージ) / 21.5 × 29.9 (シート)
 [12526] 版画



29 永瀬 義郎 NAGASE Yoshiro
沈鐘
 1922 (大正11)
 木版、紙
 39.0 × 28.8 (イメージ) / 48.0 × 38.6 (シート)
 [12528] 版画



30 永瀬 義郎 NAGASE Yoshiro
母の愛
 1922 (大正11) [1929年摺り]
 木版、紙 (紺紙金泥摺)
 25.7 × 19.1 (シート)
 [12527] 版画



31 永瀬 義郎 NAGASE Yoshiro
髪
 1927 (昭和2)
 木版、紙 (紺紙金泥摺)
 31.5 × 25.5 (シート)
 [12529] 版画



32 野長瀬 晩花 NONAGASE Banka
[都をどり]
1917 (大正6) 頃
顔料、絹 (二曲一隻屏風)
148.7 × 139.6
[12501] 日本画



33 平塚 運一 HIRATSUKA Un'ichi
湖へゆく道、信州木崎湖
1933 (昭和8)
木版、紙
29.0 × 36.7 (イメージ) / 31.7 × 40.2 (シート)
[12530] 版画



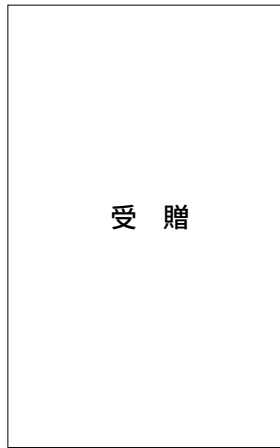
34 前川 千帆 MAEKAWA Senpan
夏の花
1939 (昭和14)
木版、紙
31.3 × 35.2 (イメージ) / 34.0 × 37.2 (シート)
[12531] 版画



35 安井 曾太郎 YASUI Sotaro
外房風景
1932 (昭和7)
木版、紙
27.7 × 39.7 (イメージ) / 31.9 × 44.2 (シート)
[12532] 版画

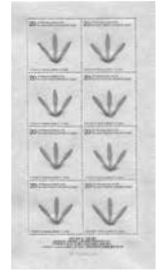


36 安井 曾太郎 YASUI Sotaro
十和田湖の秋
1935 (昭和10) 9月
木版、紙
28.5 × 40.3 (イメージ) / 32.4 × 44.6 (シート)
[12533] 版画



1~20
太田 三郎 OTA Saburo
Post War 75 広島の子
2020 (令和2)
レーザープリント、紙 (20点組)
各21.0 × 11.8 (シート)
田中恒子氏寄贈
[12538 ~ 12557] 版画

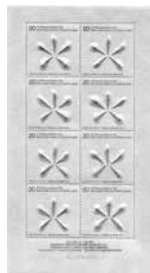
1 太田 三郎 OTA Saburo
Post War 75 広島の子
1 シマトネリコ
[12538] 版画



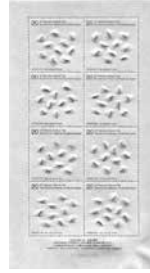
2 太田 三郎 OTA Saburo
Post War 75 広島の子
2 トウカエデ
[12539] 版画



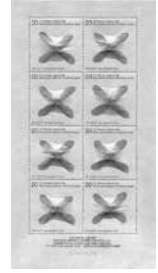
3 太田 三郎 OTA Saburo
Post War 75 広島の子
3 モミジバスズカケノキ
[12540] 版画



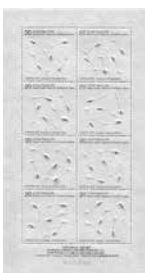
4 太田 三郎 OTA Saburo
Post War 75 広島の子
4 クロガネモチ
[12541] 版画



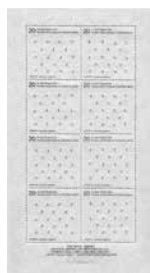
5 太田 三郎 OTA Saburo
Post War 75 広島の子
5 イロハカエデ
[12542] 版画



6 太田 三郎 OTA Saburo
Post War 75 広島の子
6 セイヨウタンポポ
[12543] 版画



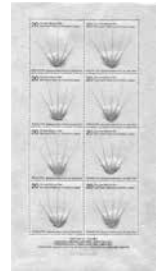
7 太田 三郎 OTA Saburo
Post War 75 広島の子
7 ノボロギク
[12544] 版画



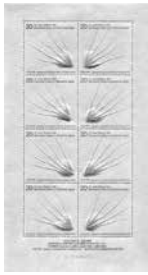
8 太田 三郎 OTA Saburo
Post War 75 広島の子
8 ナズナ
[12545] 版画



9 太田 三郎 OTA Saburo
Post War 75 広島の子
9 アオカモジゲサ
[12546] 版画



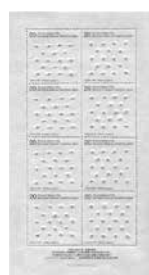
10 太田 三郎 OTA Saburo
Post War 75 広島の子
10 カモジグサ
[12547] 版画



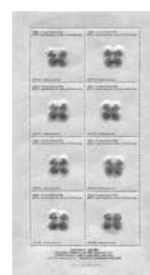
11 太田 三郎 OTA Saburo
Post War 75 広島の子
11 ナギナタガヤ
[12548] 版画



12 太田 三郎 OTA Saburo
Post War 75 広島の子
12 シロツメクサ
[12549] 版画



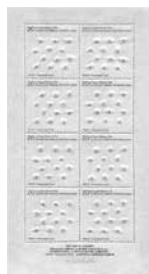
13 太田 三郎 OTA Saburo
Post War 75 広島の子
13 タチアオイ
[12550] 版画



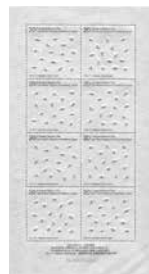
14 太田 三郎 OTA Saburo
Post War 75 広島の子
14 ナガミヒナゲシ
[12551] 版画



15 太田 三郎 OTA Saburo
Post War 75 広島の子
15 イヌビワ
[12552] 版画



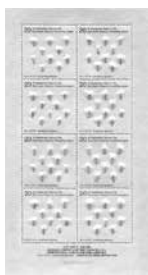
16 太田 三郎 OTA Saburo
Post War 75 広島の子
16 メヒシバ
[12553] 版画



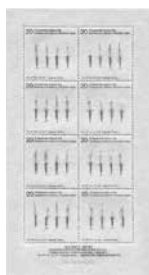
17 太田 三郎 OTA Saburo
Post War 75 広島の子
17 オオデンニンギク
[12554] 版画



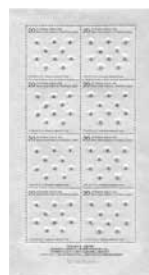
18 太田 三郎 OTA Saburo
Post War 75 広島の子
18 センチコウ
[12555] 版画



19 太田 三郎 OTA Saburo
Post War 75 広島の子
19 フレンチマリーゴールド
[12556] 版画



20 太田 三郎 OTA Saburo
Post War 75 広島の子
20 シマズメノヒエ
[12557] 版画



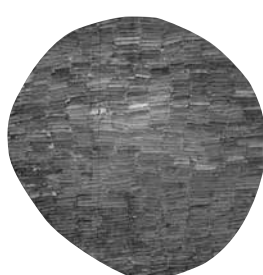
21 坂井 淑恵 SAKAI Yoshie
中の人
1995 (平成 7)
油彩、キャンバス
162.1 × 162.1
小島静二氏寄贈
[12537] 洋画



22 佐原 光 SAHARA Akira
城跡の群
1978 (昭和 53)
油彩、キャンバス
130.0 × 162.5
岩橋保雄氏寄贈
[12534] 洋画



23 原田 要 HARADA Kaname
楕円の絵
2020 (令和 2)
顔料、アクリル絵具、パネル
145.0 × 142.0
田中恒子氏寄贈
[12558] 洋画



24 平岡 権八郎 HIRAOKA
Gonpachiro
風景
制作年不詳
油彩、板 (5点組)
各 14.0 × 18.0
岩橋保雄氏寄贈
[12535] 洋画



25 福井 良之助 FUKUI Ryonosuke
土蔵のある風景
1960 年代後半～1970 年代前半
油彩、キャンバス
72.5 × 61.0
寄贈
[12562] 洋画



26 三栖 敏雄 MISU Toshio

父の像

1920 (大正9) 頃
油彩、板
33.2 × 24.2
三栖敏彦氏寄贈
[12564] 洋画



27 三栖 敏雄 MISU Toshio

母の像

1920 (大正9) 頃
油彩、板
33.2 × 23.9
三栖敏彦氏寄贈
[12565] 洋画



28 三栖 敏雄 MISU Toshio

自画像

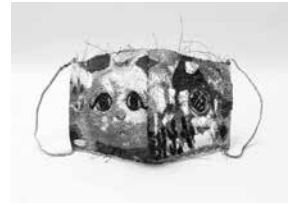
1950 年代後半
油彩、キャンバス
41.3 × 32.2
三栖敏彦氏寄贈
[12566] 洋画



29 宮田 彩加 MIYATA Sayaka

MASK - 招き猫 -

2020 (令和2)
ミシン糸、平ゴム
15.5 × 12.5 × 9.0
田中恒子氏寄贈
[12559] 工芸



30 宮田 彩加 MIYATA Sayaka

MASK - 鮭 -

2020 (令和2)
ミシン糸、平ゴム
15.5 × 12.5 × 9.0
田中恒子氏寄贈
[12560] 工芸



31 湯川 三舟 YUKAWA Sansyu

早春 / 積翠 / 暁霧 / 雪後

1930 (昭和5)
顔料、絹 (4 幅対)
各 135.3 × 53.3
橋本誠之氏寄贈
[12561] 日本画



早春 [12561-1]



積翠 [12561-2]



暁霧 [12561-3]



雪後 [12561-4]

32 東京新詩社発行

『明星画譜』

1905 (明治38) 発行
書籍 (木版画 12 点収載)
30.1 × 22.5
木股知史氏寄贈
[12536] 版画



表紙

三宅 克己 MIYAKE Kokki

1 五月雨

木版、紙
15.0 × 9.9 (イメージ) / 16.2 × 10.9 (シート)
[12536-1] 版画



藤島 武二 FUJISHIMA Takeji

2 清見寺

木版、紙
12.2 × 17.9 (イメージ) / 13.2 × 19.2 (シート)
[12536-2] 版画



中澤 弘光 NAKAZAWA Hiromitsu

3 春日の巫女

木版、紙
18.8 × 11.6 (イメージ) / 20.0 × 12.7 (シート)
[12536-3] 版画



和田 英作 WADA Eisaku

4 巴里郊外

木版、紙
9.1 × 17.4 (イメージ) / 10.2 × 18.4 (シート)
[12536-4] 版画



オルリク, エミール ORLIK, Emil

5 日本婦人と印度人

木版、紙
12.4 × 8.6 左 (イメージ) / 8.8 × 5.6 右 (イ
メージ) / 13.8 × 19.6 (シート)
[12536-5] 版画



三宅 克己 MIYAKE Kokki

6 明治座スケッチ

木版、紙
15.2 × 21.0 (イメージ) / 16.2 × 22.0 (シート)
[12536-6] 版画



中澤 弘光 NAKAZAWA Hiromitsu

7 山火事

木版、紙
11.4 × 15.8 (イメージ) / 12.6 × 17.0 (シート)
[12536-7] 版画



藤島 武二 FUJISHIMA Takeji
8 花あやめ

木版、紙
12.6 × 11.2(イメージ) / 13.6 × 12.3(シート)
[12536-8] 版画



三宅 克己 MIYAKE Kokki
9 吉田口の富士

木版、紙
10.6 × 16.6(イメージ) / 11.6 × 17.8(シート)
[12536-9] 版画



中澤 弘光 NAKAZAWA Hiromitsu
10 巳年正月

木版、紙
18.0 × 13.1(イメージ) / 19.2 × 14.1(シート)
[12536-10] 版画



藤島 武二 FUJISHIMA Takeji
11 ぼけの花

木版、紙
18.8 × 11.4(イメージ) / 20.0 × 12.6(シート)
[12536-11] 版画



和田 英作 WADA Eisaku
12 そぞろあるき

木版、紙
21.8 × 10.8(イメージ) / 23.0 × 12.1(シート)
[12536-12] 版画



藤島 武二 FUJISHIMA Takeji
[裏表紙]

木版、紙
30.1 × 22.5



裏表紙

33 ピカソ、パブロ PICASSO, Pablo
人物：二人の男とひとりの女

1969(昭和44)
鉛筆、紙
50.2 × 65.3(シート)
寄贈
[12563] 水彩・素描



大家利夫
コレクション
(大家利夫氏寄贈)

34 柄澤 齊 KARASAWA Hitoshi
スフィンクスの影

気谷誠『メリヨンの小さな橋』特装本口絵の別刷
1987(昭和62)
木口木版・雁皮刷り、紙
9.6 × 6.1(イメージ) / 23.0 × 16.6(シート)
[12567] 版画



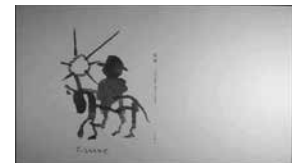
35 大家 利夫 OHIE Toshio
井上武雄(詩) 井上長三郎(画)

『記録』
制作 指月社
1992(平成4)
書籍、函
詩学社
22.6 × 17.4 × 1.8(書籍)、23.0 × 17.5 × 2.0(函)
[12568] 工芸



36 井上 長三郎 INOUE Chozaburo
井上武雄(詩)『記録』表紙の別刷り

1992(平成4)
リトグラフ、紙
32.1 × 55.4(シート)
[12569] 版画



37 草間 彌生 KUSAMA Yayoi
『草間彌生版画集』特装版

[函等の制作 大家利夫]
1992(平成4)
書籍、版画3点、シルクスクリン刷りの表紙および函
27.6 × 22.2 × 2.1(書籍)、39.0 × 30.6 × 0.6(版画たとう)、41.0 × 32.2 × 3.8(特装函)、41.8 × 33.0 × 5.0(保護ケース)
[12570] 版画



38 山本 容子 YAMAMOTO Yoko
『シェイクスピアのソネット』特装本の試し刷り

デザイン 渡辺和雄、制作 大家利夫
1995(平成7)
扉1葉、版画1葉、本文19葉
[12571] 版画



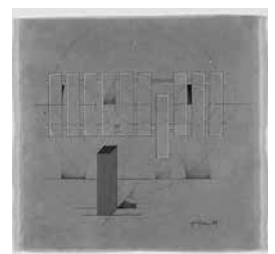
39 山本 容子 YAMAMOTO Yoko
小林秀雄

1999(平成11)
ソフトグラウンドエッチング・手彩、紙
4.8 × 7.2(イメージ)、5.0 × 7.5(プレートマーク)、24.9 × 35.3(シート)
[12572] 版画

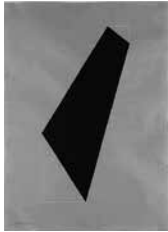


40 佐藤 達 SATO Satoru
[円と長方形と直方体のドローイング]

1984(昭和59)
鉛筆・色鉛筆・水彩またはアクリル絵具、紙、額
26.3 × 27.3(シート)
[12573] 水彩・素描



41 佐藤 達 SATO Satoru
 [黒い四角形のドローイング]
 1984 (昭和 59)
 鉛筆・水彩またはアクリル絵具、紙
 53.7 × 38.8
 [12574] 水彩・素描



42 久保 卓治 KUBO Takuji
 「Takuji Kubo Engraved London」
 ポスター Nov. 28-Dec. 10 1994 /
 GALLERIA GRAFICA
 1994 (平成 6)
 ビュラン・リトグラフ、紙
 16.8 × 24.3 (イメージ) / 19.6 × 27.0 (プ
 レートマーク) / 63.7 × 44.6 (シート)
 [12575] 版画



43 久保 卓治 KUBO Takuji
 Notre-Dame, The Spire (ノートル
 ダム・ザ・スパイヤー)
 1997 (平成 9)
 ビュラン、紙
 28.4 × 21.2 (イメージ) / 31.4 × 24.3 (プ
 レートマーク) / 47.8 × 38.5 (シート)
 [12576] 版画



44 白石 かずこ SHIRAIISHI Kazuko
 トライスター, スザンヌ
 Treister, Suzanne
 ロマンチックな時間
 1996 (平成 8)
 カラーインク・黒インク、紙
 26.2 × 34.7
 [12577] 水彩・素描



45 清水 洋子 SHIMIZU Yoko
 石版画集『流れるはなびら』
 1991 (平成 3)
 石版画 9 葉貼り込み、書籍、函
 74.5 × 52.5 × 1.6 (函) / 73.7 × 52.2 × 1.4
 (書籍) / パンフレット挟み込み
 [12578] 版画



46 O Jun
 [ピンクのドローイング・顔]
 1990 (平成 2)
 グワッシュ・鉛筆、紙
 112.6 × 76.0
 [12579] 水彩・素描



47 O Jun
 [ピンクのドローイング]
 1990 (平成 2)
 グワッシュ・鉛筆、紙
 112.8 × 76.3
 [12580] 水彩・素描



48 O Jun
 [ドローイング]
 1990 (平成 2)
 鉛筆・サインペン・コンテ、紙
 63.5 × 53.5
 [12581] 水彩・素描



49 O Jun
 [ドローイング]
 1990 (平成 2)
 鉛筆・サインペン・コンテ、紙
 63.5 × 53.5
 [12582] 水彩・素描



50 O Jun
 [ドローイング]
 1990 (平成 2)
 鉛筆・コンテ・サインペン、紙
 63.5 × 53.5
 [12583] 水彩・素描



51 O Jun
 [ドローイング]
 1990 (平成 2)
 鉛筆・サインペン・グワッシュ、紙
 63.5 × 53.5
 [12584] 水彩・素描



52 O Jun
 [ドローイング]
 1990 (平成 2)
 鉛筆・コンテ・サインペン・グワッシュ、紙
 63.5 × 53.5
 [12585] 水彩・素描



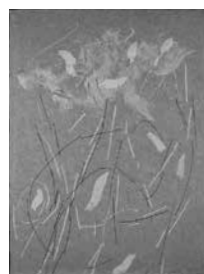
53 O Jun
 [ドローイング]
 1990 (平成 2)
 鉛筆・サインペン・グワッシュ、紙
 63.5 × 53.5
 [12586] 水彩・素描



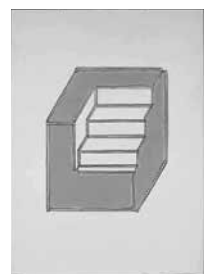
54 O Jun
 [雁皮紙へのドローイング]
 1990 (平成 2)
 サインペン・クレヨン・グワッシュ、雁皮紙
 95.1 × 70.4
 [12587] 水彩・素描



55 O Jun
 [雁皮紙へのドローイング]
 1990 (平成 2)
 サインペン・クレヨン・グワッシュ、雁皮紙
 94.3 × 70.0
 [12588] 水彩・素描



56 O Jun
 [階段のドローイング]
 1990 (平成 2)
 鉛筆・クレヨン・グワッシュ、紙
 70.3 × 50.0
 [12589] 水彩・素描



57 O Jun
Gebirgeflug [山岳飛行]

1995 (平成7)
グワッシュ、紙
87.7 × 66.8
[12590] 水彩・素描



58 O Jun
種を蒔く人・女

2010 (平成22)
アクアチント、紙
13.5 × 6.8 (イメージ) / 13.9 × 7.2 (プレート
マーク) / 28.2 × 24.5 (シート)
[12591] 版画



59 O Jun
左耳

制作年不詳
アクリル絵具、紙
22.7 × 17.5
[12592] 水彩・素描



60 O Jun
コップ

制作年不詳
鉛筆・色鉛筆またはクレヨン、マットボード
37.4 × 27.3
[12593] 水彩・素描



61 ミシェル, マリウス MICHEL, Marius
植物模様のデザイン原画

1919 (大正8)
鉛筆・色鉛筆・金彩、紙
30.8 × 21.5
[12594] 水彩・素描



62 デュヴァル, ミシェル DUVAL, Michel
[闘牛]

制作年不詳
マーヴル、紙
11.4 × 22.0 (イメージ) / 29.2 × 38.3 (シート)
[12595] 水彩・素描



63 ヴァレリー, ポール VALERY, Paul
『ALBUM DE MONSIEUR TESTE』
[ムッシュ・テスト集]

銅版画 10 点
1945 (昭和20)
書籍、函
Édition de la Galerie Charpentier
33.0 × 25.6 × 2.8 (書籍) / 33.5 × 26.0 ×
3.8 (函)
[12596] 版画



64 コステル, ジェルマン・ド
COSTER, Germaine de
『27 BÊTES PAS SI BÊTES』 [それほど
愚かではない27の動物]

1950 (昭和25)
書籍、函
Insita Cruce Cor Floret
14.5 × 14.4 × 1.2 (書籍) / 15.2 × 14.0 ×
1.5 (函)
[12597] 版画



65 フロコン, アルベール
FLOCON, Albert
『TRAITÉ DU BURIN』 [ビュラン
の扱い]

1952 (昭和27)
Librairie August Blaizot, Paris
22.6 × 17.1 × 2.8 (書籍) / 23.8 × 17.8 ×
4.8 (函)
[12598] 版画



66 フロコン, アルベール
FLOCON, Albert
『TOPO-Graphies ESSAI SUR
L'ESPACE DU GRAVEUR』
[トポ - グラフィ 版画の空間につ
いてのエッセー]

AUX DÉPENS D'UN AMATEUR. SE
VEND CHEZ LUCIEN SCHELER -
PARIS, 1961
1961 (昭和36)
書籍、函
24.0 × 16.4 × 3.9 (書籍) / 26.2 × 18.0 ×
4.8 (函)
[12599] 版画



67 門坂 流 KADOSAKA Ryu
[溪流・多色]

制作年不詳
ビュラン、紙
23.4 × 18.2 (イメージ) / 24.0 × 18.4 (プ
レートマーク) / 47.8 × 38.5 (シート)
[12600] 版画



68 門坂 流 KADOSAKA Ryu
[溪流・モノクローム]

制作年不詳
ビュラン、紙
21.1 × 14.6 プレート / 34.3 × 26.0 (シート)
[12601] 版画



69 山下 清澄 YAMASHITA Kiyozumi
[建物と窓]

制作年不詳
エッチング・多色刷り、紙、葉書用紙に貼
り付け
4.0 × 2.8 (イメージ) / 14.7 × 9.8 (シート)
[12602] 版画



70 尾崎 ユタカ OZAKI Yutaka

『On the Earth』
エンゲレーヴィング5点組 / 藤井敬子 (ポー
トフォリオのデザイン、製作)
1996 (平成8)
銅版画 5 葉、扉、函 (窓マット付)
ガレリア・グラフィカ
12.6 × 17.5 × 1.7 (函)
[12603] 版画



71 尾崎 ユタカ OZAKI Yutaka
星座の散歩

1998 (平成10)
エンゲレーヴィング・エッチング、紙
2.0 × 4.0 (イメージ) / 2.4 × 4.4 (プレ
ートマーク) / 11.2 × 15.9 (シート)
[12604] 版画



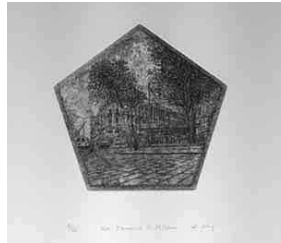
72 尾崎 ユタカ OZAKI Yutaka
L'Afrodite di Botticelli

2005 (平成 17)
エングレーヴィング・エッチング・メゾチント、紙
7.6 × 8.0 (イメージ) / 18.4 × 8.8 (プレートマーク) / 20.2 × 16.9 (シート)
[12605] 版画



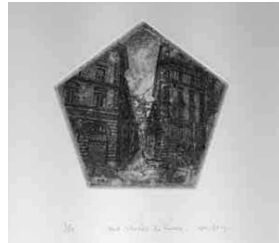
73 尾崎 ユタカ OZAKI Yutaka
Un Incrocio di Milano [ミラノの交差点]

2005 (平成 17)
エッチング、紙
13.3 × 8.8 (イメージ・プレートマーク) / 20.2 × 17.0 (シート)
[12606] 版画



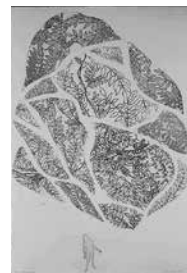
74 尾崎 ユタカ OZAKI Yutaka
Una Strada di Roma [ローマの道]

2005 (平成 17)
エッチング、紙
18.3 × 8.6 (イメージ・プレートマーク) / 20.6 × 16.9 (シート)
[12607] 版画



75 藤井 敬子 FUJII Keiko
Wistaria-wind-

1995 (平成 7)
エッチング、紙
78.6 × 53.5
[12608] 版画



76 藤井 敬子 FUJII Keiko
Parfum

制作年不詳
エッチング、紙
9.7 × 7.3 (イメージ) / 19.7 × 16.9 (シート)
[12609] 版画



77 黒田 維理 KURODA Iri
[ヴェニス風景]

制作年不詳
リトグラフ、紙
50.8 × 37.0 (イメージ) / 59.0 × 43.4 (シート)
[12610] 版画



78 塩見 奈々 SHIOMI Nana
鯨を食う民族 牛を食う民族

タイポグラフィ・ワークショップ・ロンドン・1994
1994 におけるアラン・キッチングとの合作
1994 (平成 6)
凸版、紙
88.9 × 64.5
[12611] 版画



79 [シェア、スーザン]
[SHARE, Susan]
「BOOK ARTS EXHIBITION 1990」
ポスター

1990 (平成 2)
カリグラフィ、活版印刷、紙
48.3 × 21.6 (シート)
[12612] 資料



80 [資料]
前田青郵作 桃花の木版画

制作年不詳
木版、紙
49.2 × 38.5 (イメージ) / 52.4 × 41.9 (シート)
[12613] 資料



81 [資料]
大蔵省印刷局製造 首里城

デザイン 土器一行 / 凹版彫刻 小倉尚芝
1992 (平成 4) 年以降
エングレーヴィング、紙
9.8 × 15.0 (イメージ) / 12.8 × 17.8 (シート)
二折り
[12614] 資料



82 [資料]
エコール・エスティエンヌにおける「日本の紙」展 オープニング招待状

大家利夫による企画展
1973 (昭和 48)
洋紙に活字印刷、越前奉書に凸版印刷
20.6 × 9.4
[12615] 資料



大久保一
コレクション
(高山和子氏寄贈)

83 大内 青圃 OUCHI Seiho
護国四天王

1932 (昭和 7)
木版、紙
4.8 × 6.4 (イメージ) / 9.4 × 13.4 (シート)
[12616] 版画



84 小野 忠重 ONO Tadashige
遠浅の岸 島原にて

1966 (昭和 41) / 1973 ~ 1974 (昭和 48 ~ 49) 摺り
木版、紙
13.9 × 23.3 (シート)
[12617] 版画



85 川上 澄生 KAWAKAMI Sumio
クリスマスカード

1931 (昭和 6)
木版、紙 (2 枚組)
10.6 × 15.2 (シート)
[12618] 版画



86 川上 澄生 KAWAKAMI Sumio
 とらむぶ繪
 1939 (昭和 14)
 木版、手彩色、紙 (55点組)
 10.7 × 7.0 (各シート)
 [12619] 版画



87 川西 英 KAWANISHI Hide
 六月の庭
 1945 (昭和 20)
 木版、紙
 23.6 × 30.5 (イメージ) / 28.0 × 34.6 (シート)
 [12620] 版画



88 川西 英 KAWANISHI Hide
 [かけひ]
 1950 (昭和 25) 頃
 木版、紙
 35.1 × 37.7 (イメージ) / 37.0 × 39.2 (シート)
 [12621] 版画



89 川西 英 KAWANISHI Hide
 女学院
 1955 (昭和 30)
 木版、紙
 11.4 × 15.0 (イメージ) / 12.0 × 15.6 (シート)
 [12622] 版画



90 川西 英 KAWANISHI Hide
 [明石城の桜]
 1956 (昭和 31) 頃
 木版、紙 (色紙)
 23.6 × 24.2 (イメージ) / 26.7 × 27.4 (シート)
 [12623] 版画



91 川西 英 KAWANISHI Hide
 シンフォニー
 1959 (昭和 34)
 木版、紙
 19.2 × 13.9 (イメージ) / 21.1 × 15.7 (シート)
 [12624] 版画



92 川西 英 KAWANISHI Hide
 港
 1960 (昭和 35)
 木版、紙 (短冊)
 35.9 × 6.0 (イメージ) / 36.4 × 6.5 (シート)
 [12625] 版画



93 川西 英 KAWANISHI Hide
 [卓上静物]
 不詳 (戦前と推定)
 木版、紙
 23.6 × 30.5 (イメージ) / 28.0 × 34.6 (シート)
 [12626] 版画



94 川西 英 KAWANISHI Hide
 [神戸港]
 不詳 (1950年代)
 木版、紙
 14.1 × 9.1 (イメージ) / 14.9 × 9.7 (シート)
 [12627] 版画



95 川西 英 KAWANISHI Hide
 [神戸港俯瞰]
 不詳 (1950年代)
 木版、紙
 10.0 × 14.9 (イメージ) / 10.0 × 15.2 (シート)
 [12628] 版画



96 川西 英 KAWANISHI Hide
 [バラ]
 不詳
 木版、紙
 28.0 × 25.0 (イメージ) / 30.5 × 27.5 (シート)
 [12629] 版画



97 川西 英 KAWANISHI Hide
 [黄色いバラ]
 不詳
 木版、紙
 16.1 × 11.4 (イメージ) / 16.7 × 12.1 (シート)
 [12630] 版画



98 川西 祐三郎 KAWANISHI Yuzaburo
 冬の詩
 1972 (昭和 47)
 木版、紙
 33.8 × 24.3 (イメージ) / 39.0 × 28.2 (シート)
 [12631] 版画



99 川西 祐三郎 KAWANISHI Yuzaburo
 初日の出
 不詳
 木版、紙
 24.7 × 30.9 (イメージ) / 34.1 × 42.1 (シート)
 [12632] 版画



100 平塚 運一 HIRATSUKA Un'ichi
 一月 梅
 不詳
 木版、紙
 10.6 × 9.1 (イメージ) / 12.4 × 10.8 (シート)
 [12633] 版画



101 平塚 運一 HIRATSUKA Un'ichi
 二月 伊豆風景
 不詳
 木版、紙
 9.1 × 10.8 (イメージ) / 10.6 × 12.4 (シート)
 [12634] 版画



102 平塚 運一 HIRATSUKA Un'ichi
三月 豊後白杵深田石佛

不詳
木版、紙
9.1×11.0(イメージ)／10.8×12.8(シート)
[12635] 版画



103 平塚 運一 HIRATSUKA Un'ichi
四月 浅間山残雪

不詳
木版、紙
9.2×11.1(イメージ)／10.8×12.8(シート)
[12636] 版画



104 平塚 運一 HIRATSUKA Un'ichi
五月 濠端風景

不詳
木版、紙
9.4×11.5(イメージ)／11.2×13.1(シート)
[12637] 版画



105 平塚 運一 HIRATSUKA Un'ichi
六月 伊豆小下田之富士

不詳
木版、紙
9.0×11.0(イメージ)／10.9×12.4(シート)
[12638] 版画



106 平塚 運一 HIRATSUKA Un'ichi
七月 松江風景

不詳
木版、紙
9.1×11.1(イメージ)／10.9×12.9(シート)
[12639] 版画



107 平塚 運一 HIRATSUKA Un'ichi
八月 阿蘇山

不詳
木版、紙
8.9×11.0(イメージ)／10.9×12.5(シート)
[12640] 版画



108 平塚 運一 HIRATSUKA Un'ichi
九月 石山秋月

不詳
木版、紙
9.2×11.1(イメージ)／10.9×13.0(シート)
[12641] 版画



109 平塚 運一 HIRATSUKA Un'ichi
十月 鬼怒川温泉

不詳
木版、紙
8.8×11.0(イメージ)／10.8×12.7(シート)
[12642] 版画



110 平塚 運一 HIRATSUKA Un'ichi
十一月 慶州瞻星臺

不詳
木版、紙
9.1×11.5(イメージ)／11.2×13.1(シート)
[12643] 版画



111 平塚 運一 HIRATSUKA Un'ichi
十二月 長崎風景

不詳
木版、紙
9.4×11.1(イメージ)／11.0×12.6(シート)
[12644] 版画



112 深澤 素一 TUKAZAWA Sakuichi
花籠

1932(昭和7)
木版、紙
10.7×10.7(シート)
[12645] 版画



113 古川 龍生 FURUKAWA Ryusei
小草図

1929(昭和4)／1935(昭和10) 摺り
木版、紙
26.6×24.2(イメージ)／30.3×27.9(シート)
[12646] 版画



114 前田 藤四郎 MAEDA Toshiro
紅型

1939(昭和14)
リノカット、紙
43.5×30.8(イメージ)／48.2×34.1(シート)
[12647] 版画



115 松村 松次郎 MATSUMURA Matsujiro
[河童]

制作年不詳
木版、紙
13.6×18.1(イメージ)／14.6×19.1(シート)
[12648] 版画



116 作者不詳 Unknown
[風景]

制作年不詳
木版、紙
10.4×14.2(イメージ)／11.5×15.0(シート)
[12649] 版画

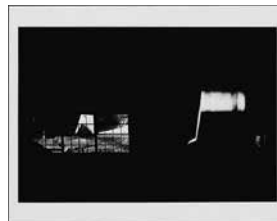


奈良原一高
コレクション
(楳原恵子氏寄贈)

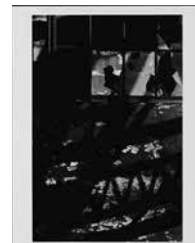
117 奈良原一高 NARAHARA Ikko
無国籍地
1954 (昭和 29) ~ 1956 (昭和 31) /
プリント 2016
ラムダプリント
32.7 × 21.7 (イメージ) / 35.6 × 27.9 (シート)
[12650] 写真



118 奈良原一高 NARAHARA Ikko
無国籍地
1954 (昭和 29) ~ 1956 (昭和 31) /
プリント 1987
ゼラチン・シルバー・プリント
22.3 × 33.0 (イメージ) / 27.9 × 35.6 (シート)
[12651] 写真



119 奈良原一高 NARAHARA Ikko
無国籍地
1954 (昭和 29) ~ 1956 (昭和 31) /
プリント 1987
ゼラチン・シルバー・プリント
21.7 × 32.9 (イメージ) / 27.9 × 35.6 (シート)
[12652] 写真



120 奈良原一高 NARAHARA Ikko
無国籍地
1954 (昭和 29) ~ 1956 (昭和 31) /
プリント 1987
ゼラチン・シルバー・プリント
32.9 × 21.6 (イメージ) / 35.6 × 27.9 (シート)
[12653] 写真



121 奈良原一高 NARAHARA Ikko
無国籍地
1954 (昭和 29) ~ 1956 (昭和 31) /
プリント 1987
ゼラチン・シルバー・プリント
33.0 × 21.5 (イメージ) / 35.6 × 27.9 (シート)
[12654] 写真



122 奈良原一高 NARAHARA Ikko
無国籍地
1954 (昭和 29) ~ 1956 (昭和 31) /
プリント 1987
ゼラチン・シルバー・プリント
33.0 × 21.8 (イメージ) / 35.6 × 27.9 (シート)
[12655] 写真



123 奈良原一高 NARAHARA Ikko
無国籍地
1954 (昭和 29) ~ 1956 (昭和 31) /
プリント 1987
ゼラチン・シルバー・プリント
33.1 × 21.7 (イメージ) / 35.6 × 27.9 (シート)
[12656] 写真



124 奈良原一高 NARAHARA Ikko
無国籍地
1954 (昭和 29) ~ 1956 (昭和 31) /
プリント 1987
ゼラチン・シルバー・プリント
33.1 × 21.7 (イメージ) / 35.6 × 27.9 (シート)
[12657] 写真



125 奈良原一高 NARAHARA Ikko
無国籍地
1954 (昭和 29) ~ 1956 (昭和 31) /
プリント 1987
ゼラチン・シルバー・プリント
33.0 × 21.6 (イメージ) / 35.6 × 27.9 (シート)
[12658] 写真



126 奈良原一高 NARAHARA Ikko
無国籍地
1954 (昭和 29) ~ 1956 (昭和 31) /
プリント 1987
ゼラチン・シルバー・プリント 33.0 × 21.8 (イ
メージ) / 35.6 × 27.9 (シート)
[12659] 写真



127 奈良原一高 NARAHARA Ikko
無国籍地
1954 (昭和 29) ~ 1956 (昭和 31) /
プリント 1987
ゼラチン・シルバー・プリント
33.0 × 21.8 (イメージ) / 35.6 × 27.9 (シート)
[12660] 写真



128 奈良原一高 NARAHARA Ikko
無国籍地
1954 (昭和 29) ~ 1956 (昭和 31) /
プリント 1987
ゼラチン・シルバー・プリント
33.1 × 21.4 (イメージ) / 35.6 × 27.9 (シート)
[12661] 写真



129 奈良原一高 NARAHARA Ikko
「人間の土地」より 緑なき島 一軍
艦島：軍艦島全景
1954 (昭和 29) ~ 1957 (昭和 32) /
プリント 1986
ゼラチン・シルバー・プリント
22.0 × 32.9 (イメージ) / 27.9 × 35.6 (シート)
[12662] 写真



130 奈良原一高 NARAHARA Ikko
「人間の土地」より 緑なき島
一軍艦島：岩壁
1954 (昭和 29) ~ 1957 (昭和 32) /
プリント 1997
ゼラチン・シルバー・プリント
47.7 × 32.0 (イメージ) / 50.8 × 40.6 (シート)
[12663] 写真



131 奈良原一高 NARAHARA Ikko
「人間の土地」より 緑なき島
一軍艦島：岩壁
1954 (昭和 29) ~ 1957 (昭和 32) /
プリント 1986
ゼラチン・シルバー・プリント
22.0 × 32.8 (イメージ) / 27.9 × 35.6 (シート)
[12664] 写真



132 奈良原 一高 NARAHARA Ikko
「人間の土地」より 緑なき島
一軍艦島：地下道

1954 (昭和 29) ~ 1957 (昭和 32) /
プリント 1997
ゼラチン・シルバー・プリント
31.9 × 37.9 (イメージ) / 40.6 × 50.8 (シート)
[12665] 写真



133 奈良原 一高 NARAHARA Ikko
「人間の土地」より 緑なき島
一軍艦島：地下道

1954 (昭和 29) ~ 1957 (昭和 32) /
プリント 1997
ゼラチン・シルバー・プリント
47.9 × 31.9 (イメージ) / 50.8 × 40.6 (シート)
[12666] 写真



134 奈良原 一高 NARAHARA Ikko
「人間の土地」より 緑なき島
一軍艦島：雪の貯炭場

1954 (昭和 29) ~ 1957 (昭和 32) /
プリント 1997
ゼラチン・シルバー・プリント
31.8 × 48.3 (イメージ) / 40.6 × 50.8 (シート)
[12667] 写真



135 奈良原 一高 NARAHARA Ikko
「人間の土地」より 緑なき島
一軍艦島：浴場

1954 (昭和 29) ~ 1957 (昭和 32) /
プリント 1997
ゼラチン・シルバー・プリント
31.8 × 48.0 (イメージ) / 40.6 × 50.8 (シート)
[12668] 写真



136 奈良原 一高 NARAHARA Ikko
「人間の土地」より 緑なき島
一軍艦島：浴場

1954 (昭和 29) ~ 1957 (昭和 32) /
プリント 2002
ラムダプリント
32.9 × 21.8 (イメージ) / 35.6 × 27.9 (シート)
[12669] 写真



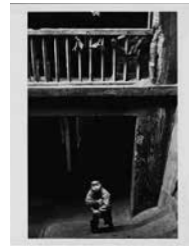
137 奈良原 一高 NARAHARA Ikko
「人間の土地」より 緑なき島
一軍艦島：アパート俯瞰、屋景

1954 (昭和 29) ~ 1957 (昭和 32) /
プリント 2002
ゼラチン・シルバー・プリント
47.9 × 32.0 (イメージ) / 50.8 × 40.6 (シート)
[12670] 写真



138 奈良原 一高 NARAHARA Ikko
「人間の土地」より 緑なき島
一軍艦島：お使いの子供

1954 (昭和 29) ~ 1957 (昭和 32) /
プリント 1986
ゼラチン・シルバー・プリント
33.0 × 21.8 (イメージ) / 35.6 × 27.9 (シート)
[12671] 写真



139 奈良原 一高 NARAHARA Ikko
「人間の土地」より 緑なき島
一軍艦島：潜水服のある風景

1954 (昭和 29) ~ 1957 (昭和 32) /
プリント 1997
ゼラチン・シルバー・プリント
41.7 × 31.7 (イメージ) / 50.8 × 40.6 (シート)
[12672] 写真



140 奈良原 一高 NARAHARA Ikko
「人間の土地」より 緑なき島
一軍艦島：アマリスのあるバルコニ

1954 (昭和 29) ~ 1957 (昭和 32) /
プリント 1996
ゼラチン・シルバー・プリント
31.1 × 48.0 (イメージ) / 40.6 × 50.8 (シート)
[12673] 写真



141 奈良原 一高 NARAHARA Ikko
「人間の土地」より 緑なき島
一軍艦島：中ノ島の無縁墓地

1954 (昭和 29) ~ 1957 (昭和 32) /
プリント 1996
ゼラチン・シルバー・プリント
32.6 × 21.5 (イメージ) / 35.6 × 27.9 (シート)
[12674] 写真



142 奈良原 一高 NARAHARA Ikko
「人間の土地」より 緑なき島
一軍艦島：アパートの屋上

1954 (昭和 29) ~ 1957 (昭和 32) /
プリント 1997
ゼラチン・シルバー・プリント
48.1 × 32.1 (イメージ) / 50.8 × 40.6 (シート)
[12675] 写真



143 奈良原 一高 NARAHARA Ikko
「人間の土地」より 火の山の麓
一黒神村：破れた野良

1954 (昭和 29) ~ 1957 (昭和 32) /
プリント 1999
ゼラチン・シルバー・プリント
32.8 × 21.7 (イメージ) / 50.8 × 27.9 (シート)
[12676] 写真



144 奈良原 一高 NARAHARA Ikko
「人間の土地」より 火の山の麓
一黒神村：薪運び

1954 (昭和 29) ~ 1957 (昭和 32) /
プリント 1987
ゼラチン・シルバー・プリント
21.6 × 32.8 (イメージ) / 27.9 × 35.6 (シート)
[12677] 写真



145 奈良原 一高 NARAHARA Ikko
「人間の土地」より 火の山の麓
一黒神村：メンコ遊び

1954 (昭和 29) ~ 1957 (昭和 32) /
プリント 1987
ゼラチン・シルバー・プリント
33.0 × 21.6 (イメージ) / 35.6 × 27.9 (シート)
[12678] 写真



146 奈良原 一高 NARAHARA Ikko
「人間の土地」より 火の山の麓
一黒神村：露天風呂

1954 (昭和 29) ~ 1957 (昭和 32) /
プリント 1999 年
ゼラチン・シルバー・プリント
32.9 × 21.6 (イメージ) / 35.6 × 27.9 (シート)
[12679] 写真



147 奈良原 一高 NARAHARA Ikko
「人間の土地」より 火の山の麓
一黒神村：牛を追う少年、燃島

1954 (昭和 29) ~ 1957 (昭和 32) /
プリント 1987
ゼラチン・シルバー・プリント
22.8 × 33.0 (イメージ) / 27.9 × 35.6 (シート)
[12680] 写真



148 奈良原 一高 NARAHARA Ikko
「人間の土地」より 火の山の麓
— 黒神村: 燃島の流木

1954 (昭和 29) ~ 1957 (昭和 32) /
プリント 1987
ゼラチン・シルバー・プリント
33.0 × 21.8 (イメージ) / 35.6 × 27.9 (シート)
[12681] 写真



149 奈良原 一高 NARAHARA Ikko
「人間の土地」より 火の山の麓
— 黒神村: 埋れた鳥居

1954 (昭和 29) ~ 1957 (昭和 32) /
プリント 2020
ラムダプリント
40.5 × 27.0 (イメージ) / 50.8 × 40.6 (シート)
[12682] 写真



150 奈良原 一高 NARAHARA Ikko
「人間の土地」より 火の山の麓
— 黒神村: 船底に横たわる怪我人

1954 (昭和 29) ~ 1957 (昭和 32) /
プリント 1987
ゼラチン・シルバー・プリント
21.8 × 33.0 (イメージ) / 27.9 × 35.6 (シート)
[12683] 写真



151 奈良原 一高 NARAHARA Ikko
「人間の土地」より 火の山の麓
— 黒神村: 雨の日の熔岩の入江

1954 (昭和 29) ~ 1957 (昭和 32) /
プリント 1997
ゼラチン・シルバー・プリント
31.8 × 48.0 (イメージ) / 40.6 × 50.8 (シート)
[12684] 写真



152 奈良原 一高 NARAHARA Ikko
「人間の土地」より 火の山の麓
— 黒神村: 月の出の入江

1954 (昭和 29) ~ 1957 (昭和 32) /
プリント 1999
ゼラチン・シルバー・プリント
32.8 × 21.6 (イメージ) / 35.6 × 27.9 (シート)
[12685] 写真



153 奈良原 一高 NARAHARA Ikko
「王国」より 沈黙の園

1958 (昭和 33) / プリント 1996
ゼラチン・シルバー・プリント
47.6 × 31.3 (イメージ) / 50.8 × 40.6 (シート)
[12686] 写真



154 奈良原 一高 NARAHARA Ikko
「王国」より 沈黙の園

1958 (昭和 33) / プリント 1998
ゼラチン・シルバー・プリント
31.8 × 48.1 (イメージ) / 40.6 × 50.8 (シート)
[12687] 写真



155 奈良原 一高 NARAHARA Ikko
「王国」より 沈黙の園

1958 (昭和 33) / プリント 1984
ゼラチン・シルバー・プリント
47.8 × 31.5 (イメージ) / 50.8 × 40.6 (シート)
[12688] 写真



156 奈良原 一高 NARAHARA Ikko
「王国」より 沈黙の園

1958 (昭和 33) / プリント 1997
ゼラチン・シルバー・プリント
47.7 × 32.4 (イメージ) / 50.8 × 40.6 (シート)
[12689] 写真



157 奈良原 一高 NARAHARA Ikko
「王国」より 沈黙の園

1958 (昭和 33) / プリント 1998
ゼラチン・シルバー・プリント
31.7 × 47.7 (イメージ) / 40.6 × 50.8 (シート)
[12690] 写真



158 奈良原 一高 NARAHARA Ikko
「王国」より 沈黙の園

1958 (昭和 33) / プリント 1997
ゼラチン・シルバー・プリント
47.6 × 34.1 (イメージ) / 50.8 × 40.6 (シート)
[12691] 写真



159 奈良原 一高 NARAHARA Ikko
「王国」より 沈黙の園

1958 (昭和 33) / プリント 1996
ゼラチン・シルバー・プリント
47.9 × 32.1 (イメージ) / 50.8 × 40.6 (シート)
[12692] 写真



160 奈良原 一高 NARAHARA Ikko
「王国」より 沈黙の園

1958 (昭和 33) / プリント 1997
ゼラチン・シルバー・プリント
31.9 × 47.8 (イメージ) / 40.6 × 50.8 (シート)
[12693] 写真



161 奈良原 一高 NARAHARA Ikko
「王国」より 沈黙の園

1958 (昭和 33) / プリント 1996
ゼラチン・シルバー・プリント
47.8 × 31.7 (イメージ) / 50.8 × 40.6 (シート)
[12694] 写真



162 奈良原 一高 NARAHARA Ikko
「王国」より 沈黙の園

1958 (昭和 33) / プリント 2020
ラムダプリント
21.8 × 32.9 (イメージ) / 27.9 × 35.6 (シート)
[12695] 写真



163 奈良原 一高 NARAHARA Ikko
「王国」より 沈黙の園

1958 (昭和 33) / プリント 1997
ゼラチン・シルバー・プリント
36.2 × 4.77 (イメージ) / 40.6 × 50.8 (シート)
[12696] 写真



164 奈良原 一高 NARAHARA Ikko

「王国」より 沈黙の園

1958 (昭和 33) / プリント 1997
ゼラチン・シルバー・プリント
47.7 × 37.8 (イメージ) / 50.8 × 40.6 (シート)
[12697] 写真



165 奈良原 一高 NARAHARA Ikko

「王国」より 沈黙の園

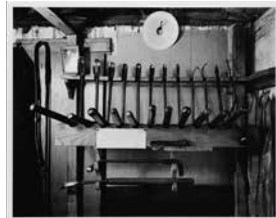
1958 (昭和 33) / プリント 1997
ゼラチン・シルバー・プリント
31.6 × 47.8 (イメージ) / 40.6 × 50.8 (シート)
[12698] 写真



166 奈良原 一高 NARAHARA Ikko

「王国」より 沈黙の園

1958 (昭和 33) / プリント 1998
ゼラチン・シルバー・プリント
38.1 × 47.7 (イメージ) / 40.6 × 50.8 (シート)
[12699] 写真



167 奈良原 一高 NARAHARA Ikko

「王国」より 沈黙の園

1958 (昭和 33) / プリント 1997
ゼラチン・シルバー・プリント
37.8 × 47.7 (イメージ) / 40.6 × 50.8 (シート)
[12700] 写真



168 奈良原 一高 NARAHARA Ikko

「王国」より 沈黙の園

1958 (昭和 33) / プリント 1997
ゼラチン・シルバー・プリント
31.8 × 47.8 (イメージ) / 40.6 × 50.8 (シート)
[12701] 写真



169 奈良原 一高 NARAHARA Ikko

「王国」より 沈黙の園

1958 (昭和 33) / プリント 1998
ゼラチン・シルバー・プリント
31.8 × 47.8 (イメージ) / 40.6 × 50.8 (シート)
[12702] 写真



170 奈良原 一高 NARAHARA Ikko

「王国」より 沈黙の園

1958 (昭和 33) / プリント 1997
ゼラチン・シルバー・プリント
47.6 × 31.8 (イメージ) / 50.8 × 40.6 (シート)
[12703] 写真



171 奈良原 一高 NARAHARA Ikko

「王国」より 沈黙の園

1958 (昭和 33) / プリント 1997
ゼラチン・シルバー・プリント
47.7 × 31.5 (イメージ) / 50.8 × 40.6 (シート)
[12704] 写真



172 奈良原 一高 NARAHARA Ikko

「王国」より 沈黙の園

1958 (昭和 33) / プリント 1997
ゼラチン・シルバー・プリント
47.7 × 32.1 (イメージ) / 50.8 × 40.6 (シート)
[12705] 写真



173 奈良原 一高 NARAHARA Ikko

「王国」より 沈黙の園

1958 (昭和 33) / プリント 1997
ゼラチン・シルバー・プリント
47.8 × 32.1 (イメージ) / 50.8 × 40.6 (シート)
[12706] 写真



174 奈良原 一高 NARAHARA Ikko

「王国」より 沈黙の園

1958 (昭和 33) / プリント 1998
ゼラチン・シルバー・プリント
47.9 × 37.7 (イメージ) / 50.8 × 40.6 (シート)
[12707] 写真



175 奈良原 一高 NARAHARA Ikko

「王国」より 沈黙の園

1958 (昭和 33) / プリント 1996
ゼラチン・シルバー・プリント
47.7 × 30.2 (イメージ) / 50.8 × 40.6 (シート)
[12708] 写真



176 奈良原 一高 NARAHARA Ikko

「王国」より 沈黙の園

1958 (昭和 33) / プリント 1997
ゼラチン・シルバー・プリント
31.9 × 47.5 (イメージ) / 40.6 × 50.8 (シート)
[12709] 写真



177 奈良原 一高 NARAHARA Ikko

「王国」より 沈黙の園

1958 (昭和 33) / プリント 1997
ゼラチン・シルバー・プリント
31.7 × 47.8 (イメージ) / 40.6 × 50.8 (シート)
[12710] 写真



178 奈良原 一高 NARAHARA Ikko

「王国」より 沈黙の園

1958 (昭和 33) / プリント 1997
ゼラチン・シルバー・プリント
47.7 × 36.1 (イメージ) / 50.8 × 40.6 (シート)
[12711] 写真



179 奈良原 一高 NARAHARA Ikko

「王国」より 沈黙の園

1958 (昭和 33) / プリント 1998
ゼラチン・シルバー・プリント
47.6 × 31.8 (イメージ) / 50.8 × 40.6 (シート)
[12712] 写真



180 奈良原 一高 NARAHARA Ikko
「王国」より 沈黙の園
1958 (昭和 33) / プリント 1998
ゼラチン・シルバー・プリント
47.6 × 31.8 (イメージ) / 50.8 × 40.6 (シート)
[12713] 写真



181 奈良原 一高 NARAHARA Ikko
「王国」より 沈黙の園
1958 (昭和 33) / プリント 1998
ゼラチン・シルバー・プリント
47.8 × 31.9 (イメージ) / 50.8 × 40.6 (シート)
[12714] 写真



182 奈良原 一高 NARAHARA Ikko
「王国」より 沈黙の園
1958 (昭和 33) / プリント 1996
ゼラチン・シルバー・プリント
47.8 × 31.6 (イメージ) / 50.8 × 40.6 (シート)
[12715] 写真



183 奈良原 一高 NARAHARA Ikko
「王国」より 沈黙の園
1958 (昭和 33) / プリント 1998
ゼラチン・シルバー・プリント
47.9 × 31.9 (イメージ) / 50.8 × 40.6 (シート)
[12716] 写真



184 奈良原 一高 NARAHARA Ikko
「王国」より 沈黙の園
1958 (昭和 33) / プリント 1998
ゼラチン・シルバー・プリント
47.9 × 31.8 (イメージ) / 50.8 × 40.6 (シート)
[12717] 写真



185 奈良原 一高 NARAHARA Ikko
「王国」より 沈黙の園
1958 (昭和 33) / プリント 1998
ゼラチン・シルバー・プリント
47.8 × 31.6 (イメージ) / 50.8 × 40.6 (シート)
[12718] 写真



186 奈良原 一高 NARAHARA Ikko
「王国」より 沈黙の園
1958 (昭和 33) / プリント 1998
ゼラチン・シルバー・プリント
47.8 × 32.2 (イメージ) / 50.8 × 40.6 (シート)
[12719] 写真



187 奈良原 一高 NARAHARA Ikko
「王国」より 沈黙の園
1958 (昭和 33) / プリント 1998
ゼラチン・シルバー・プリント
31.7 × 47.8 (イメージ) / 40.6 × 50.8 (シート)
[12720] 写真



188 奈良原 一高 NARAHARA Ikko
「王国」より 沈黙の園
1958 (昭和 33) / プリント 1998
ゼラチン・シルバー・プリント
31.3 × 47.8 (イメージ) / 40.6 × 50.8 (シート)
[12721] 写真



189 奈良原 一高 NARAHARA Ikko
「王国」より 沈黙の園
1958 (昭和 33) / プリント 1998
ゼラチン・シルバー・プリント
31.5 × 47.7 (イメージ) / 40.6 × 50.8 (シート)
[12722] 写真



190 奈良原 一高 NARAHARA Ikko
「王国」より 沈黙の園
1958 (昭和 33) / プリント 1998
ゼラチン・シルバー・プリント
31.5 × 48.1 (イメージ) / 40.6 × 50.8 (シート)
[12723] 写真



191 奈良原 一高 NARAHARA Ikko
「王国」より 沈黙の園
1958 (昭和 33) / プリント 1998
ゼラチン・シルバー・プリント
32.0 × 48.0 (イメージ) / 40.6 × 50.8 (シート)
[12724] 写真



192 奈良原 一高 NARAHARA Ikko
「王国」より 沈黙の園
1958 (昭和 33) / プリント 1997
ゼラチン・シルバー・プリント
47.8 × 31.6 (イメージ) / 50.8 × 40.6 (シート)
[12725] 写真



193 奈良原 一高 NARAHARA Ikko
「王国」より 沈黙の園
1958 (昭和 33) / プリント 1998
ゼラチン・シルバー・プリント
47.9 × 31.7 (イメージ) / 50.8 × 40.6 (シート)
[12726] 写真



194 奈良原 一高 NARAHARA Ikko
「王国」より 沈黙の園
1958 (昭和 33) / プリント 1997
ゼラチン・シルバー・プリント
31.5 × 47.8 (イメージ) / 40.6 × 50.8 (シート)
[12727] 写真



195 奈良原 一高 NARAHARA Ikko
「王国」より 沈黙の園
1958 (昭和 33) / プリント 1997
ゼラチン・シルバー・プリント
47.8 × 35.8 (イメージ) / 50.8 × 40.6 (シート)
[12728] 写真



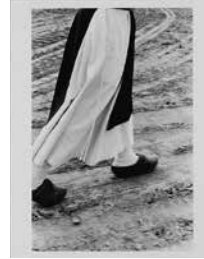
196 奈良原 一高 NARAHARA Ikko
「王国」より 沈黙の園
1958 (昭和 33) / プリント 1998
ゼラチン・シルバー・プリント
47.9 × 31.6 (イメージ) / 50.8 × 40.6 (シート)
[12729] 写真



197 奈良原 一高 NARAHARA Ikko
「王国」より 沈黙の園
1958 (昭和 33) / プリント 1998
ゼラチン・シルバー・プリント
37.6 × 47.6 (イメージ) / 40.6 × 50.8 (シート)
[12730] 写真



198 奈良原 一高 NARAHARA Ikko
「王国」より 沈黙の園
1958 (昭和 33) / プリント 1999
ゼラチン・シルバー・プリント
32.9 × 21.8 (イメージ) / 35.6 × 27.9 (シート)
[12731] 写真



199 奈良原 一高 NARAHARA Ikko
「王国」より 沈黙の園
1958 (昭和 33) / プリント 1997
ゼラチン・シルバー・プリント
47.8 × 26.8 (イメージ) / 50.8 × 40.6 (シート)
[12732] 写真



200 奈良原 一高 NARAHARA Ikko
「王国」より 沈黙の園
1958 (昭和 33) / プリント 1999
ゼラチン・シルバー・プリント
33.0 × 31.9 (イメージ) / 35.6 × 27.9 (シート)
[12733] 写真



201 奈良原 一高 NARAHARA Ikko
「王国」より 沈黙の園
1958 (昭和 33) / プリント 1998
ゼラチン・シルバー・プリント
48.0 × 31.5 (イメージ) / 50.8 × 40.6 (シート)
[12734] 写真



202 奈良原 一高 NARAHARA Ikko
「王国」より 沈黙の園
1958 (昭和 33) / プリント 1998
ゼラチン・シルバー・プリント
31.5 × 47.8 (イメージ) / 40.6 × 50.8 (シート)
[12735] 写真



203 奈良原 一高 NARAHARA Ikko
「王国」より 沈黙の園
1958 (昭和 33) / プリント 1996
ゼラチン・シルバー・プリント
47.9 × 31.1 (イメージ) / 50.8 × 40.6 (シート)
[12736] 写真



204 奈良原 一高 NARAHARA Ikko
「王国」より 沈黙の園
1958 (昭和 33) / プリント 1997
ゼラチン・シルバー・プリント
47.6 × 31.7 (イメージ) / 50.8 × 40.6 (シート)
[12737] 写真



205 奈良原 一高 NARAHARA Ikko
「王国」より 沈黙の園
1958 (昭和 33) / プリント 1998
ゼラチン・シルバー・プリント
31.7 × 48.0 (イメージ) / 40.6 × 50.8 (シート)
[12738] 写真



206 奈良原 一高 NARAHARA Ikko
「王国」より 沈黙の園
1958 (昭和 33) / プリント 1998
ゼラチン・シルバー・プリント
31.8 × 48.0 (イメージ) / 40.6 × 50.8 (シート)
[12739] 写真



207 奈良原 一高 NARAHARA Ikko
「王国」より 沈黙の園
1958 (昭和 33) / プリント 1997
ゼラチン・シルバー・プリント
47.8 × 31.7 (イメージ) / 50.8 × 40.6 (シート)
[12740] 写真



208 奈良原 一高 NARAHARA Ikko
「王国」より 沈黙の園
1958 (昭和 33) / プリント 1997
ゼラチン・シルバー・プリント
37.9 × 47.7 (イメージ) / 40.6 × 50.8 (シート)
[12741] 写真



209 奈良原 一高 NARAHARA Ikko
「王国」より 沈黙の園
1958 (昭和 33) / プリント 1998
ゼラチン・シルバー・プリント
47.6 × 31.7 (イメージ) / 50.8 × 40.6 (シート)
[12742] 写真



210 奈良原 一高 NARAHARA Ikko
「王国」より 沈黙の園
1958 (昭和 33) / プリント 1997
ゼラチン・シルバー・プリント
32.1 × 47.8 (イメージ) / 40.6 × 50.8 (シート)
[12743] 写真



211 奈良原 一高 NARAHARA Ikko
「王国」より 沈黙の園
1958 (昭和 33) / プリント 1998
ゼラチン・シルバー・プリント
31.8 × 47.8 (イメージ) / 40.6 × 50.8 (シート)
[12744] 写真



212 奈良原 一高 NARAHARA Ikko
「王国」より 沈黙の園
1958 (昭和 33) / プリント 1997
ゼラチン・シルバー・プリント
47.5 × 38.0 (イメージ) / 50.8 × 40.6 (シート)
[12745] 写真



213 奈良原 一高 NARAHARA Ikko
「王国」より 沈黙の園
1958 (昭和 33) / プリント 1997
ゼラチン・シルバー・プリント
47.6 × 30.9 (イメージ) / 50.8 × 40.6 (シート)
[12746] 写真



214 奈良原 一高 NARAHARA Ikko
「王国」より 沈黙の園
1958 (昭和 33) / プリント 1997
ゼラチン・シルバー・プリント
31.8 × 47.4 (イメージ) / 40.6 × 50.8 (シート)
[12747] 写真



215 奈良原 一高 NARAHARA Ikko
「王国」より 沈黙の園
1958 (昭和 33) / プリント 1997
ゼラチン・シルバー・プリント
47.5 × 32.0 (イメージ) / 50.8 × 40.6 (シート)
[12748] 写真



216 奈良原 一高 NARAHARA Ikko
「王国」より 沈黙の園
1958 (昭和 33) / プリント 1997
ゼラチン・シルバー・プリント
31.5 × 47.5 (イメージ) / 40.6 × 50.8 (シート)
[12749] 写真



217 奈良原 一高 NARAHARA Ikko
「王国」より 沈黙の園
1958 (昭和 33) / プリント 1997
ゼラチン・シルバー・プリント
31.5 × 47.5 (イメージ) / 40.6 × 50.8 (シート)
[12750] 写真



218 奈良原 一高 NARAHARA Ikko
「王国」より 沈黙の園
1958 (昭和 33) / プリント 1997
ゼラチン・シルバー・プリント
31.6 × 47.6 (イメージ) / 40.6 × 50.8 (シート)
[12751] 写真



219 奈良原 一高 NARAHARA Ikko
「王国」より 沈黙の園
1958 (昭和 33) / プリント 1997
ゼラチン・シルバー・プリント
47.8 × 31.8 (イメージ) / 40.6 × 50.8 (シート)
[12752] 写真



220 奈良原 一高 NARAHARA Ikko
「王国」より 沈黙の園
1958 (昭和 33) / プリント 1997
ゼラチン・シルバー・プリント
47.6 × 32.2 (イメージ) / 50.8 × 40.6 (シート)
[12753] 写真



221 奈良原 一高 NARAHARA Ikko
「王国」より 沈黙の園
1958 (昭和 33) / プリント 1997
ゼラチン・シルバー・プリント
32.1 × 47.7 (イメージ) / 40.6 × 50.8 (シート)
[12754] 写真



222 奈良原 一高 NARAHARA Ikko
「王国」より 沈黙の園
1958 (昭和 33) / プリント 1997
ゼラチン・シルバー・プリント
47.7 × 32.0 (イメージ) / 40.6 × 50.8 (シート)
[12755] 写真



223 奈良原 一高 NARAHARA Ikko
「王国」より 沈黙の園
1958 (昭和 33) / プリント 1997
ゼラチン・シルバー・プリント
33.4 × 47.6 (イメージ) / 40.6 × 50.8 (シート)
[12756] 写真



224 奈良原 一高 NARAHARA Ikko
「王国」より 沈黙の園
1958 (昭和 33) / プリント 1997
ゼラチン・シルバー・プリント
47.8 × 32.0 (イメージ) / 50.8 × 40.6 (シート)
[12757] 写真



225 奈良原 一高 NARAHARA Ikko
「王国」より 壁の中
1956 (昭和 31) ~ 1958 (昭和 33) /
プリント 1998
ゼラチン・シルバー・プリント
47.6 × 31.8 (イメージ) / 50.8 × 40.6 (シート)
[12758] 写真



226 奈良原 一高 NARAHARA Ikko
「王国」より 壁の中
1956 (昭和 31) ~ 1958 (昭和 33) /
プリント 1998
ゼラチン・シルバー・プリント
30.2 × 47.6 (イメージ) / 40.6 × 50.8 (シート)
[12759] 写真



227 奈良原 一高 NARAHARA Ikko
「王国」より 壁の中
1956 (昭和 31) ~ 1958 (昭和 33) /
プリント 1973
ゼラチン・シルバー・プリント
33.5 × 49.2 (イメージ) / 40.6 × 50.8 (シート)
[12760] 写真



228 奈良原 一高 NARAHARA Ikko
「王国」より 壁の中

1956 (昭和 31) ~ 1958 (昭和 33) /
プリント 1998
ゼラチン・シルバー・プリント
47.5 × 31.9 (イメージ) / 50.8 × 40.6 (シート)
[12761] 写真



229 奈良原 一高 NARAHARA Ikko
「王国」より 壁の中

1956 (昭和 31) ~ 1958 (昭和 33) /
プリント 1999
ゼラチン・シルバー・プリント
47.7 × 31.2 (イメージ) / 50.8 × 40.6 (シート)
[12762] 写真



230 奈良原 一高 NARAHARA Ikko
「王国」より 壁の中

1956 (昭和 31) ~ 1958 (昭和 33) /
プリント 1998
ゼラチン・シルバー・プリント
35.7 × 47.7 (イメージ) / 40.6 × 50.8 (シート)
[12763] 写真



231 奈良原 一高 NARAHARA Ikko
「王国」より 壁の中

1956 (昭和 31) ~ 1958 (昭和 33) /
プリント 1998
ゼラチン・シルバー・プリント
31.8 × 47.6 (イメージ) / 40.6 × 50.8 (シート)
[12764] 写真



232 奈良原 一高 NARAHARA Ikko
「王国」より 壁の中

1956 (昭和 31) ~ 1958 (昭和 33) /
プリント 1998
ゼラチン・シルバー・プリント
31.3 × 47.6 (イメージ) / 50.8 × 40.6 (シート)
[12765] 写真



233 奈良原 一高 NARAHARA Ikko
「王国」より 壁の中

1956 (昭和 31) ~ 1958 (昭和 33) /
プリント 1998
ゼラチン・シルバー・プリント
47.8 × 31.7 (イメージ) / 50.8 × 40.6 (シート)
[12766] 写真



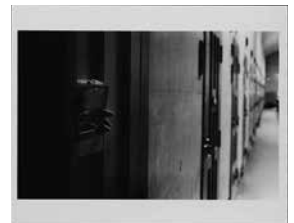
234 奈良原 一高 NARAHARA Ikko
「王国」より 壁の中

1956 (昭和 31) ~ 1958 (昭和 33) /
プリント 1998
ゼラチン・シルバー・プリント
47.7 × 31.8 (イメージ) / 50.8 × 40.6 (シート)
[12767] 写真



235 奈良原 一高 NARAHARA Ikko
「王国」より 壁の中

1956 (昭和 31) ~ 1958 (昭和 33) /
プリント 1998
ゼラチン・シルバー・プリント
30.7 × 47.6 (イメージ) / 40.6 × 50.8 (シート)
[12768] 写真



236 奈良原 一高 NARAHARA Ikko
「王国」より 壁の中

1956 (昭和 31) ~ 1958 (昭和 33) /
プリント 1999
ゼラチン・シルバー・プリント
33.3 × 47.8 (イメージ) / 40.6 × 50.8 (シート)
[12769] 写真



237 奈良原 一高 NARAHARA Ikko
「王国」より 壁の中

1956 (昭和 31) ~ 1958 (昭和 33) /
プリント 1998
ゼラチン・シルバー・プリント
47.8 × 31.6 (イメージ) / 50.8 × 40.6 (シート)
[12770] 写真



238 奈良原 一高 NARAHARA Ikko
「王国」より 壁の中

1956 (昭和 31) ~ 1958 (昭和 33) /
プリント 1998
ゼラチン・シルバー・プリント
31.5 × 47.8 (イメージ) / 50.8 × 40.6 (シート)
[12771] 写真



239 奈良原 一高 NARAHARA Ikko
「王国」より 壁の中

1956 (昭和 31) ~ 1958 (昭和 33) /
プリント 1998
ゼラチン・シルバー・プリント
47.7 × 30.6 (イメージ) / 50.8 × 40.6 (シート)
[12772] 写真



240 奈良原 一高 NARAHARA Ikko
「王国」より 壁の中

1956 (昭和 31) ~ 1958 (昭和 33) /
プリント 1998
ゼラチン・シルバー・プリント
31.9 × 47.7 (イメージ) / 40.6 × 50.8 (シート)
[12773] 写真



241 奈良原 一高 NARAHARA Ikko
「王国」より 壁の中

1956 (昭和 31) ~ 1958 (昭和 33) /
プリント 1998
ゼラチン・シルバー・プリント
31.9 × 47.7 (イメージ) / 40.6 × 50.8 (シート)
[12774] 写真



242 奈良原 一高 NARAHARA Ikko
「王国」より 壁の中

1956 (昭和 31) ~ 1958 (昭和 33) /
プリント 1998
ゼラチン・シルバー・プリント
31.5 × 47.6 (イメージ) / 40.6 × 50.8 (シート)
[12775] 写真



243 奈良原 一高 NARAHARA Ikko
「王国」より 壁の中

1956 (昭和 31) ~ 1958 (昭和 33) /
プリント 1997
ゼラチン・シルバー・プリント
31.4 × 47.8 (イメージ) / 40.6 × 50.8 (シート)
[12776] 写真



244 奈良原 一高 NARAHARA Ikko
「王国」より 壁の中
1956 (昭和 31) ~ 1958 (昭和 33) /
プリント 1975
ゼラチン・シルバー・プリント
20.8 × 13.7 (イメージ) / 25.3 × 20.3 (シート)
[12777] 写真



245 奈良原 一高 NARAHARA Ikko
「王国」より 壁の中
1956 (昭和 31) ~ 1958 (昭和 33) /
プリント 1997
ゼラチン・シルバー・プリント
47.6 × 31.8 (イメージ) / 25.3 × 20.3 (シート)
[12778] 写真



246 奈良原 一高 NARAHARA Ikko
「王国」より 壁の中
1956 (昭和 31) ~ 1958 (昭和 33) /
プリント 1997
ゼラチン・シルバー・プリント
47.7 × 31.4 (イメージ) / 50.8 × 40.6 (シート)
[12779] 写真



247 奈良原 一高 NARAHARA Ikko
「王国」より 壁の中
1956 (昭和 31) ~ 1958 (昭和 33) /
プリント 1999
ゼラチン・シルバー・プリント
31.9 × 47.8 (イメージ) / 40.6 × 50.8 (シート)
[12780] 写真



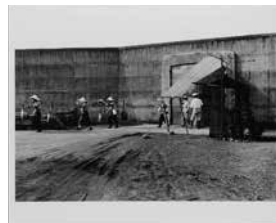
248 奈良原 一高 NARAHARA Ikko
「王国」より 壁の中
1956 (昭和 31) ~ 1958 (昭和 33) /
プリント 1999
ゼラチン・シルバー・プリント
47.6 × 32.2 (イメージ) / 50.8 × 40.6 (シート)
[12781] 写真



249 奈良原 一高 NARAHARA Ikko
「王国」より 壁の中
1956 (昭和 31) ~ 1958 (昭和 33) /
プリント 1998
ゼラチン・シルバー・プリント
47.7 × 31.9 (イメージ) / 50.8 × 40.6 (シート)
[12782] 写真



250 奈良原 一高 NARAHARA Ikko
「王国」より 壁の中
1956 (昭和 31) ~ 1958 (昭和 33) /
プリント 1997
ゼラチン・シルバー・プリント
31.7 × 47.5 (イメージ) / 40.6 × 50.8 (シート)
[12783] 写真



251 奈良原 一高 NARAHARA Ikko
「王国」より 壁の中
1956 (昭和 31) ~ 1958 (昭和 33) /
プリント 1998
ゼラチン・シルバー・プリント
31.8 × 47.6 (イメージ) / 40.6 × 50.8 (シート)
[12784] 写真



252 奈良原 一高 NARAHARA Ikko
「王国」より 壁の中
1956 (昭和 31) ~ 1958 (昭和 33) /
プリント 1997
ゼラチン・シルバー・プリント
31.7 × 47.5 (イメージ) / 40.6 × 50.8 (シート)
[12785] 写真



253 奈良原 一高 NARAHARA Ikko
「王国」より 壁の中
1956 (昭和 31) ~ 1958 (昭和 33) /
プリント 1998
ゼラチン・シルバー・プリント
31.2 × 47.6 (イメージ) / 40.6 × 50.8 (シート)
[12786] 写真



254 奈良原 一高 NARAHARA Ikko
「王国」より 壁の中
1956 (昭和 31) ~ 1958 (昭和 33) /
プリント 1997
ゼラチン・シルバー・プリント
47.6 × 32.0 (イメージ) / 50.8 × 40.6 (シート)
[12787] 写真



255 奈良原 一高 NARAHARA Ikko
「王国」より 壁の中
1956 (昭和 31) ~ 1958 (昭和 33) /
プリント 1997
ゼラチン・シルバー・プリント
31.9 × 47.6 (イメージ) / 40.6 × 50.8 (シート)
[12788] 写真



256 奈良原 一高 NARAHARA Ikko
「王国」より 壁の中
1956 (昭和 31) ~ 1958 (昭和 33) /
プリント 1997
ゼラチン・シルバー・プリント
47.8 × 31.8 (イメージ) / 50.8 × 40.6 (シート)
[12789] 写真



257 奈良原 一高 NARAHARA Ikko
「王国」より 壁の中
1956 (昭和 31) ~ 1958 (昭和 33) /
プリント 1997
ゼラチン・シルバー・プリント
47.8 × 31.8 (イメージ) / 50.8 × 40.6 (シート)
[12790] 写真



258 奈良原 一高 NARAHARA Ikko
「王国」より 壁の中
1956 (昭和 31) ~ 1958 (昭和 33) /
プリント 1997
ゼラチン・シルバー・プリント
47.7 × 31.7 (イメージ) / 50.8 × 40.6 (シート)
[12791] 写真



259 奈良原 一高 NARAHARA Ikko
「王国」より 壁の中
1956 (昭和 31) ~ 1958 (昭和 33) /
プリント 1997
ゼラチン・シルバー・プリント
47.8 × 31.6 (イメージ) / 50.8 × 40.6 (シート)
[12792] 写真



276 奈良原 一高 NARAHARA Ikko
 「消滅した時間」より 人工湖の見えるブルーサイド、ユタ
 1971 (昭和 46) / プリント 1975
 ゼラチン・シルバー・プリント
 26.4 × 39.7 (イメージ) / 50.8 × 50.8 (シート)
 [12809] 写真



277 奈良原 一高 NARAHARA Ikko
 「消滅した時間」より 砂漠を走る車の影、アリゾナ
 1971 (昭和 46) / プリント 1975
 ゼラチン・シルバー・プリント
 26.4 × 39.7 (イメージ) / 40.6 × 50.8 (シート)
 [12810] 写真



278 奈良原 一高 NARAHARA Ikko
 「消滅した時間」より イリノイの長い塀
 1972 (昭和 47) / プリント 1975
 ゼラチン・シルバー・プリント
 26.4 × 40.0 (イメージ) / 50.8 × 40.6 (シート)
 [12811] 写真



279 奈良原 一高 NARAHARA Ikko
 「消滅した時間」より 二つのサンタクロース、ニューヨーク
 1972 (昭和 47) / プリント 1975
 ゼラチン・シルバー・プリント
 26.7 × 39.9 (イメージ) / 40.6 × 50.8 (シート)
 [12812] 写真



280 奈良原 一高 NARAHARA Ikko
 「消滅した時間」より ホワイト・サンズの稲妻、ニューメキシコ
 1972 (昭和 47) / プリント 1975
 ゼラチン・シルバー・プリント
 26.6 × 3.98 (イメージ) / 40.6 × 50.8 (シート)
 [12813] 写真



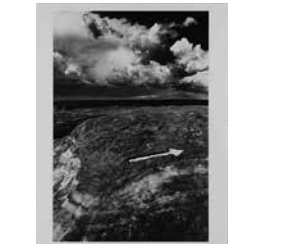
281 奈良原 一高 NARAHARA Ikko
 「消滅した時間」より 二つのごみ缶、ニューメキシコ
 1972 (昭和 47) / プリント 1975
 ゼラチン・シルバー・プリント
 26.9 × 39.9 (イメージ) / 37.0 × 49.9 (シート)
 [12814] 写真



282 奈良原 一高 NARAHARA Ikko
 「消滅した時間」より ロッキーの残雪、コロラド
 1971 (昭和 46) / プリント 1998
 ゼラチン・シルバー・プリント
 33.1 × 47.6 (イメージ) / 40.6 × 50.8 (シート)
 [12815] 写真



283 奈良原 一高 NARAHARA Ikko
 「消滅した時間」より 刻まれた矢印、アリゾナ
 1972 (昭和 47) / プリント 1996
 ゼラチン・シルバー・プリント
 47.7 × 32.3 (イメージ) / 50.8 × 40.6 (シート)
 [12816] 写真



284 奈良原 一高 NARAHARA Ikko
 「消滅した時間」より レイク・パウエルの水路、ユタ
 1971 (昭和 46) / プリント 1997
 ゼラチン・シルバー・プリント
 31.8 × 47.7 (イメージ) / 40.6 × 50.8 (シート)
 [12817] 写真



285 奈良原 一高 NARAHARA Ikko
 「消滅した時間」より 霊園、カリフォルニア
 1972 (昭和 47) / プリント 1997
 ゼラチン・シルバー・プリント
 47.8 × 32.1 (イメージ) / 50.8 × 40.6 (シート)
 [12818] 写真



286 奈良原 一高 NARAHARA Ikko
 「消滅した時間」より 夏の家、コロラド
 1972 (昭和 47) / プリント 1973
 ゼラチン・シルバー・プリント
 34.3 × 26.7 (イメージ) / 35.6 × 27.9 (シート)
 [12819] 写真



287 奈良原 一高 NARAHARA Ikko
 「消滅した時間」より ハイウエー・テレフォン、ニューメキシコ
 1972 (昭和 47) / プリント 1975
 ゼラチン・シルバー・プリント
 26.5 × 39.8 (イメージ) / 37.0 × 50.0 (シート)
 [12820] 写真



288 奈良原 一高 NARAHARA Ikko
 「消滅した時間」より インディアン村のガソリンスタンド、ニューメキシコ
 1972 (昭和 47) / プリント 1997
 ゼラチン・シルバー・プリント
 31.7 × 47.6 (イメージ) / 40.6 × 50.8 (シート)
 [12821] 写真



289 奈良原 一高 NARAHARA Ikko
 「消滅した時間」より 月夜のエアストリーム・トレーラー、ユタ
 1972 (昭和 47) / プリント 1973
 ゼラチン・シルバー・プリント
 33.3 × 49.6 (イメージ) / 40.6 × 50.8 (シート)
 [12822] 写真



290 奈良原 一高 NARAHARA Ikko
 「消滅した時間」より 夜のプール、カリフォルニア
 1972 (昭和 47) / プリント 1974
 ゼラチン・シルバー・プリント
 38.5 × 49.5 (イメージ) / 40.6 × 50.8 (シート)
 [12823] 写真



291 奈良原 一高 NARAHARA Ikko
 「消滅した時間」より ジャクリーン・マスクの二人、ニューヨーク
 1970 (昭和 45) / プリント 1973
 ゼラチン・シルバー・プリント
 36.1 × 49.6 (イメージ) / 40.6 × 50.8 (シート)
 [12824] 写真



292 奈良原 一高 NARAHARA Ikko
「消滅した時間」より スロットマ
シーン・ガール、ネバダ
1972 (昭和 47) / プリント 1975
ゼラチン・シルバー・プリント
28.1 × 18.6 (イメージ) / 23.7 × 30.4 (シート)
[12825] 写真



293 奈良原 一高 NARAHARA Ikko
「消滅した時間」より 虎のマスク
ト、カリフォルニア
1972 (昭和 47) / プリント 1980
ゼラチン・シルバー・プリント
19.0 × 28.0 (イメージ) / 25.5 × 30.3 (シート)
[12826] 写真



294 奈良原 一高 NARAHARA Ikko
「消滅した時間」より 岩肌に見える
窓—ローラースケート場、コロラド
1972 (昭和 47) / プリント 1975
ゼラチン・シルバー・プリント
26.5 × 39.9 (イメージ) / 40.6 × 50.8 (シート)
[12827] 写真



295 奈良原 一高 NARAHARA Ikko
「消滅した時間」より バスで過ぎ
る街角、テキサス
1971 (昭和 46) / プリント 1973
ゼラチン・シルバー・プリント
22.8 × 33.4 (イメージ) / 27.9 × 35.6 (シート)
[12828] 写真



296 奈良原 一高 NARAHARA Ikko
「消滅した時間」より トイレッ
ト、フォーコーナズ
1971 (昭和 46) / プリント 1997
ゼラチン・シルバー・プリント
31.8 × 47.7 (イメージ) / 40.6 × 50.8 (シート)
[12829] 写真



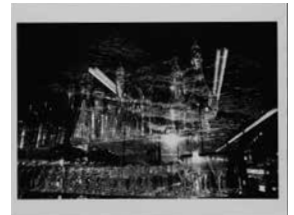
297 奈良原 一高 NARAHARA Ikko
「消滅した時間」より 遊技場、
ニューヨーク
1972 (昭和 47) / プリント 1997
ゼラチン・シルバー・プリント
32.5 × 49.3 (イメージ) / 40.6 × 50.8 (シート)
[12830] 写真



298 奈良原 一高 NARAHARA Ikko
「消滅した時間」より 夜の道、
フロリダ
1972 (昭和 47) / プリント 1973
ゼラチン・シルバー・プリント
26.6 × 34.6 (イメージ) / 27.7 × 35.3 (シート)
[12831] 写真



299 奈良原 一高 NARAHARA Ikko
「消滅した時間」より グラスと
太陽、カリフォルニア
1972 (昭和 47) / プリント 1997
ゼラチン・シルバー・プリント
32.4 × 47.7 (イメージ) / 40.6 × 50.8 (シート)
[12832] 写真



300 奈良原 一高 NARAHARA Ikko
「消滅した時間」より コミュニ
ョンの窓、コロラド
1972 (昭和 47) / プリント 1977
ゼラチン・シルバー・プリント
26.6 × 34.4 (イメージ) / 40.6 × 50.8 (シート)
[12833] 写真



301 奈良原 一高 NARAHARA Ikko
「消滅した時間」より 裸のベッド、
ニューメキシコ
1972 (昭和 47) / プリント 1973
ゼラチン・シルバー・プリント
33.4 × 22.2 (イメージ) / 27.9 × 35.6 (シート)
[12834] 写真



302 奈良原 一高 NARAHARA Ikko
「消滅した時間」より モニュメント
パレーの見える車窓、アリゾナ
1971 (昭和 46) / プリント 1973
ゼラチン・シルバー・プリント
27.1 × 34.3 (イメージ) / 27.9 × 35.6 (シート)
[12835] 写真



303 奈良原 一高 NARAHARA Ikko
「消滅した時間」より 壊れた
ウォータータンク、アリゾナ
1971 (昭和 46) / プリント 1974
ゼラチン・シルバー・プリント
22.7 × 34.1 (イメージ) / 27.9 × 35.6 (シート)
[12836] 写真



304 奈良原 一高 NARAHARA Ikko
「消滅した時間」より 夜のモーテ
ル、カリフォルニア
1972 (昭和 47) / プリント 1973
ゼラチン・シルバー・プリント
23.0 × 33.7 (イメージ) / 27.9 × 35.6 (シート)
[12837] 写真



305 奈良原 一高 NARAHARA Ikko
「消滅した時間」より ゴースト
シティの少女、アリゾナ
1971 (昭和 46) / プリント 1973
ゼラチン・シルバー・プリント
18.8 × 27.9 (イメージ) / 27.9 × 35.6 (シート)
[12838] 写真



306 奈良原 一高 NARAHARA Ikko
「消滅した時間」より 夜のキャン
プ、ユタ
1972 (昭和 47) / プリント 1974
ゼラチン・シルバー・プリント
22.9 × 34.4 (イメージ) / 25.4 × 35.6 (シート)
[12839] 写真



307 奈良原 一高 NARAHARA Ikko
「消滅した時間」より ゴースト
シティ、アリゾナ
1971 (昭和 46) / プリント 1973
ゼラチン・シルバー・プリント
22.7 × 34.2 (イメージ) / 25.4 × 35.6 (シート)
[12840] 写真



308 奈良原 一高 NARAHARA Ikko
 「消滅した時間」より ワシントン、
 ワシントン D. C.
 1972 (昭和 47) / プリント 1992
 ゼラチン・シルバー・プリント
 21.2 × 31.6 (イメージ) / 27.9 × 35.6 (シート)
 [12841] 写真



309 奈良原 一高 NARAHARA Ikko
 「消滅した時間」より 射撃、ユタ
 1972 (昭和 47) / プリント 1997
 ゼラチン・シルバー・プリント
 32.1 × 47.8 (イメージ) / 40.6 × 50.8 (シート)
 [12842] 写真



310 奈良原 一高 NARAHARA Ikko
 「消滅した時間」より 水浴、ルイ
 ジアナ
 1971 (昭和 46) / プリント 1975
 ゼラチン・シルバー・プリント
 34.3 × 22.8 (イメージ) / 27.9 × 35.6 (シート)
 [12843] 写真



311 奈良原 一高 NARAHARA Ikko
 「消滅した時間」より フォルト・
 リーの空き地、ニュージャージー
 1971 (昭和 46) / プリント 1973
 ゼラチン・シルバー・プリント
 22.7 × 34.0 (イメージ) / 27.9 × 35.6 (シート)
 [12844] 写真



312 奈良原 一高 NARAHARA Ikko
 「消滅した時間」より 空き部屋、
 ニューヨーク
 1973 (昭和 48) / プリント 1973
 ゼラチン・シルバー・プリント
 47.7 × 32.0 (イメージ) / 40.6 × 50.8 (シート)
 [12845] 写真



313 奈良原 一高 NARAHARA Ikko
 「消滅した時間」より ゴーストタ
 ウンの雑貨店、コロラド
 1971 (昭和 46) / プリント 1985
 ゼラチン・シルバー・プリント
 18.6 × 28.1 (イメージ) / 27.9 × 35.6 (シート)
 [12846] 写真



314 奈良原 一高 NARAHARA Ikko
 「消滅した時間」より セントラル
 パーク、ニューヨーク
 1971 (昭和 46) / プリント 1974
 ゼラチン・シルバー・プリント
 22.8 × 34.1 (イメージ) / 27.9 × 35.6 (シート)
 [12847] 写真



315 奈良原 一高 NARAHARA Ikko
 「消滅した時間」より 真夜中のマ
 ヌカン、モンタナ
 1972 (昭和 47) / プリント 1973
 ゼラチン・シルバー・プリント
 22.8 × 34.1 (イメージ) / 37.6 × 49.0 (シート)
 [12848] 写真



316 奈良原 一高 NARAHARA Ikko
 「デュシャン大ガラスと瀧口修造
 シガー・ボックス」より
 1973 (昭和 48) / プリント 2018
 クリスタル・プリント
 23.3 × 33.2 (イメージ) / 35.5 × 43.0 (シート)
 [12849] 写真



317 奈良原 一高 NARAHARA Ikko
 「デュシャン大ガラスと瀧口修造
 シガー・ボックス」より
 1973 (昭和 48) / プリント 2018
 クリスタル・プリント
 33.1 × 25.7 (イメージ) / 43.0 × 35.5 (シート)
 [12850] 写真



318 奈良原 一高 NARAHARA Ikko
 「デュシャン大ガラスと瀧口修造
 シガー・ボックス」より
 1973 (昭和 48) / プリント 2018
 クリスタル・プリント
 22.8 × 33.0 (イメージ) / 35.5 × 43.0 (シート)
 [12851] 写真



319 奈良原 一高 NARAHARA Ikko
 「デュシャン大ガラスと瀧口修造
 シガー・ボックス」より
 1973 (昭和 48) / プリント 2018
 クリスタル・プリント
 33.2 × 23.2 (イメージ) / 43.0 × 35.5 (シート)
 [12852] 写真



320 奈良原 一高 NARAHARA Ikko
 「デュシャン大ガラスと瀧口修造
 シガー・ボックス」より
 1973 (昭和 48) / プリント 2018
 クリスタル・プリント
 33.2 × 21.8 (イメージ) / 43.0 × 35.5 (シート)
 [12853] 写真



友の会
 プレゼント版画
 (和歌山県立近代美術館
 友の会寄贈)

321 舟田 潤子 FUNADA Junko
 踊る食卓を運ぶポット
 2015 (平成 27)
 ドライポイント・エッチング・手彩色、紙
 9.9 × 10.0 (イメージ) / 14.2 × 14.1 (シート)
 [12854] 版画



322 舟田 潤子 FUNADA Junko
 梅の花のお家
 2015 (平成 27)
 ドライポイント・エッチング・手彩色、紙
 9.8 × 9.8 (イメージ) / 14.2 × 14.2 (シート)
 [12855] 版画



323 舟田 潤子 FUNADA Junko
みかん茶のショータイム

2015 (平成 27)
ドライポイント・エッチング・手彩色、紙
9.8 × 10.0 (イメージ) / 14.1 × 14.1 (シート)
[12856] 版画



324 舟田 潤子 FUNADA Junko
旅するケーキ

2015 (平成 27)
ドライポイント・エッチング・手彩色、紙
9.8 × 10.0 (イメージ) / 14.3 × 14.2 (シート)
[12857] 版画



325 舟田 潤子 FUNADA Junko
ようこそ!

2015 (平成 27)
ドライポイント・手彩色、紙
7.0 × 10.0 (イメージ) / 16.5 × 17.0 (シート)
[12858] 版画



326 舟田 潤子 FUNADA Junko
猫カフェ

2015 (平成 27)
ドライポイント・手彩色、紙
10.0 × 10.0 (イメージ) / 17.0 × 17.0 (シート)
[12859] 版画



327 舟田 潤子 FUNADA Junko
咲く馬

2015 (平成 27)
ドライポイント・手彩色、紙
10.0 × 7.0 (イメージ) / 17.2 × 16.2 (シート)
[12860] 版画



328 舟田 潤子 FUNADA Junko
歌う青い家鳥

2015 (平成 27)
ドライポイント・手彩色、紙
10.0 × 10.0 (イメージ) / 17.0 × 17.1 (シート)
[12861] 版画



329 古本 有理恵 FURUMOTO Arie
芍薬

2016 (平成 28)
銅版 (凹凸版)、紙
12.5 × 12.6 (イメージ) / 26.8 × 24.0 (シート)
[12862] 版画



330 古本 有理恵 FURUMOTO Arie
藤

2016 (平成 28)
銅版 (凹凸版)、紙
12.9 × 12.7 (イメージ) / 27.0 × 24.1 (シート)
[12863] 版画



331 古本 有理恵 FURUMOTO Arie
百合

2016 (平成 28)
銅版 (凹凸版)、紙
12.7 × 12.8 (イメージ) / 26.9 × 24.0 (シート)
[12864] 版画



332 古本 有理恵 FURUMOTO Arie
竜胆

2016 (平成 28)
銅版 (凹凸版)、紙
12.8 × 12.8 (イメージ) / 27.0 × 24.2 (シート)
[12865] 版画



333 古本 有理恵 FURUMOTO Arie
ラナンキュラス

2020 (令和 2)
銅版 (凹凸版)、紙
13.3 × 15.5 (イメージ) / 26.7 × 23.8 (シート)
[12866] 版画



334 古本 有理恵 FURUMOTO Arie
カトレア

2020 (令和 2)
銅版 (凹凸版)、紙
13.3 × 15.5 (イメージ) / 26.7 × 23.8 (シート)
[12867] 版画



335 古本 有理恵 FURUMOTO Arie
カラー

2020 (令和 2)
銅版 (凹凸版)、紙
13.3 × 14.7 (イメージ) / 26.7 × 23.8 (シート)
[12868] 版画



336 古本 有理恵 FURUMOTO Arie
ヒヤシンス

2020 (令和 2)
銅版 (凹凸版)、紙
14.5 × 13.1 (イメージ) / 26.7 × 23.8 (シート)
[12869] 版画



図書資料収集

2020 年度購入

逐次刊行物 13 タイトル 69 冊

(内訳)

1	アサヒカメラ	3 冊
2	イラストレーション	4 冊
3	近代画説	1 冊
4	芸術新潮	12 冊
5	新建築	12 冊
6	西洋美術研究	1 冊
7	版画芸術	4 冊
8	光と其階調(日本写真学会報)	13 冊
9	美術研究	3 冊
10	美術手帖	6 冊
11	美術フォーラム 21	2 冊
12	+81	2 冊
13	炎芸術	6 冊

単行本 41 タイトル 58 冊

(内訳)

1	小林清栄	『小林清栄画集』	小林清栄	1974 年
2	株式会社第一アートセンター編	『日本写真全集 1』	小学館	1985 年
3	株式会社第一アートセンター編	『日本写真全集 2』	小学館	1986 年
4	株式会社第一アートセンター編	『日本写真全集 3』	小学館	1986 年
5	株式会社第一アートセンター編	『日本写真全集 4』	小学館	1987 年
6	株式会社第一アートセンター編	『日本写真全集 5』	小学館	1986 年
7	株式会社第一アートセンター編	『日本写真全集 6』	小学館	1986 年
8	株式会社第一アートセンター編	『日本写真全集 7』	小学館	1987 年
9	株式会社第一アートセンター編	『日本写真全集 8』	小学館	1987 年
10	株式会社第一アートセンター編	『日本写真全集 9』	小学館	1987 年
11	株式会社第一アートセンター編	『日本写真全集 10』	小学館	1987 年
12	株式会社第一アートセンター編	『日本写真全集 11』	小学館	1986 年
13	株式会社第一アートセンター編	『日本写真全集 12』	小学館	1988 年
14		『洋画の遺産 明治～平成の物故作家たち』	マリア書房	1992 年
15	奈良原一高	『無国籍地 Stateless Land - 1954』	クレオ	2004 年
16		『黒川紀章著作集』1～18 巻	勉誠出版	2006 年
17	中村啓信	『明治時代カラー写真の巨人 日下部金兵衛』	国書刊行会	2006 年
18	東京都写真美術館	『幻のモダニスト: 写真家 堀野正雄の世界』	国書刊行会	2012 年
19	梅本貞雄、緒川直人	『写真師たちの幕末維新 日本初の写真史家・梅本貞雄の世界』	国書刊行会	2014 年
20	ディディエ・オットンジェ、柏木博、遠藤ゆかり(訳)	『シュルレアリスム辞典』	創元社	2016 年
21	八條忠基	『有職装束大全』	平凡社	2018 年
22	佐藤志乃	『ハンカラの時代: 大観、未醒らと日本画成立の背景』	人文書院	2018 年
23	小林健二	『描かれた能楽 芸能と絵画が織りなす文化史』	吉川弘文館	2019 年
24	李禹煥	『李禹煥 全版画 1970-2019』	阿部出版	2019 年
25	村上征勝ほか	『文化情報学事典』	勉誠出版	2019 年
26	森重和雄	『幕末・明治の写真師列伝』	雄山閣	2019 年
27	一般社団法人 日本美術家連盟	『美術家の健康と安全 増補改訂 2020 年版』	阿部出版	2020 年
28	佐野真由子	『万博学 万国博覧会という、世界を把握する方法』	思文閣出版	2020 年
29		『日本印刷文化史』	印刷博物館	2020 年
30	岩崎奈緒子、中野慎之、森道彦、横内裕人	『日本の表装と修理』	勉誠出版	2020 年
31	大島徹也ほか	『川端実 満ちゆく絵画』	大塚美術	2020 年
32	美学会	『美学の事典』	丸善出版	2020 年
33	高野明彦、嘉村哲郎	『デジタルアーカイブ・ベーシックス 4 アートシーンを支える』	勉誠出版	2020 年
34	平芳幸浩	『日本現代美術とマルセル・デュシャン』	思文閣出版	2021 年
35	日本文教出版	『中学美術 1 美術との出会い』	日本文教出版	2021 年
36	日本文教出版	『中学美術 2・3 上 学びの実感と広がり』	日本文教出版	2021 年
37	日本文教出版	『中学美術 2・3 下 学びの探求と未来』	日本文教出版	2021 年
38	日本造形教育研究会	『中学校美術 1 発見と創造』	開隆堂	2021 年
39	日本造形教育研究会	『中学校美術 2・3 探求と継承』	開隆堂	2021 年
40	酒井忠康ほか	『中学美術 1』	光村図書	2021 年
41	酒井忠康ほか	『中学美術 2・3』	光村図書	2021 年

ガレリアグラフィカ旧蔵図書 50 冊

(内訳)

1	WEIGEL, Rudolph	Suppléments au Le Peintre-Graveur de Adam Bartsch	Leipzig, Chez Rudolph Weigel	1843
2	BARTSCH, Adam	Le Peintre Graveur vol. 2, 3, Nouvelle Édition	Leipzig, Chez J. A. Barth	1854
3	BARTSCH, Adam	Le Peintre Graveur vol. 4, Nouvelle Édition	Leipzig, Chez J. A. Barth	1854
4	BARTSCH, Adam	Le Peintre Graveur vol. 6, Nouvelle Édition	Leipzig, Chez J. A. Barth	1866
5	BARTSCH, Adam	Le Peintre Graveur vol. 7, Nouvelle Édition	Leipzig, Chez J. A. Barth	1866
6	BARTSCH, Adam	Le Peintre Graveur vol. 8, Nouvelle Édition, Reproduction Facsimilé	Leipzig, Chez J. A. Barth	1866
7	BARTSCH, Adam	Le Peintre Graveur vol. 9, Nouvelle Édition, Reproduction Facsimilé	Leipzig, Chez J. A. Barth	1866
8	BARTSCH, Adam	Le Peintre Graveur vol. 10, 11, Nouvelle Édition, Reproduction Facsimilé	Leipzig, Chez J. A. Barth	1866
9	BARTSCH, Adam	Le Peintre Graveur vol. 12, 13, Nouvelle Édition, Reproduction Facsimilé	Leipzig, Chez J. A. Barth	1866
10	BARTSCH, Adam	Le Peintre Graveur vol. 14, Nouvelle Édition, Reproduction Facsimilé	Leipzig, Chez J. A. Barth	1866
11	BARTSCH, Adam	Le Peintre Graveur vol. 15, Nouvelle Édition, Reproduction Facsimilé	Leipzig, Chez J. A. Barth	1867
12	BARTSCH, Adam	Le Peintre Graveur vol. 16, Nouvelle Édition	Leipzig, Chez J. A. Barth	1870
13	BARTSCH, Adam	Le Peintre Graveur vol. 1718, Nouvelle Édition	Leipzig, Chez J. A. Barth	1870
14	BARTSCH, Adam	Le Peintre Graveur vol. 19, Nouvelle Édition	Leipzig, Chez J. A. Barth	1870
15	BARTSCH, Adam	Le Peintre Graveur vol. 20, 21, Nouvelle Édition	Leipzig, Chez J. A. Barth	1870
16	BARTSCH, Adam	Le Peintre Graveur vol. 1, Nouvelle Édition, Reproduction Facsimilé	Leipzig, Joh. Ambr. Barth	1876
17	BARTSCH, Adam	Le Peintre Graveur vol. 5, Nouvelle Édition, Reproduction Facsimilé	Leipzig, Joh. Ambr. Barth	1876
18	Mascha, Ottokar	Félicien Rops und sein Werk	München, Albert Langen	1910
19	MONTESQUIOU, Robert de	Paul Helleu: Peintre et Graveur	Paris, H. Floury	1913
20	Maillard, Robert	Dictionnaire universel de l'art et des artiste 1	Paris, Fernand Hazan	1967
21	Maillard, Robert	Dictionnaire universel de l'art et des artiste 2	Paris, Fernand Hazan	1967
22	Maillard, Robert	Dictionnaire universel de l'art et des artiste 3	Paris, Fernand Hazan	1967
23	KARSCH, Florian	Otto Dix, Hannover, Fackelträger-Verlag Schmidt-Küster GmbH	1970	
24	LEYMARIE, Jean	Les Gravures des Impressionnistes: Manet, Pissarro, Renoir, Cézanne, Sisley	Paris, Arts et Métiers Graphics	1971
25	SCHIEFLER, Gustav	Verzeichnis des graphischen Werks Edvard Munchs: bis 1906	Oslo, J. W. Cappelens Forlag A · S	1974
26	SCHIEFLER, Gustav	Verzeichnis des graphischen Werks Edvard Munchs: 1906-1926	Oslo, J. W. Cappelens Forlag A · S	1974
27	KARSCH, Florian	Otto Mueller: Das Graphische Gesamtwerk, Berlin, Galerie Nierendorf	1974	
28	FORBERG, Gabriele	L'œuvre Graphique de Gustave Doré , Tome I	Paris, Arthur Hubschmid	1976
29	FORBERG, Gabriele	L'œuvre Graphique de Gustave Doré , Tome II	Paris, Arthur Hubschmid	1976
30	SCHRENK, Klaus	Honoré Daumier: Das lithographische Werk, vol. I	Herrscing, Manfred Pawlak Verlagsgesellschaft mbH	1977
31	SCHRENK, Klaus	Honoré Daumier: Das lithographische Werk, vol. II	Herrscing, Manfred Pawlak Verlagsgesellschaft mbH	1977
32	SINGER, Hans Wolfgang	Max Klingers Radierungen Stiche und Steindrucke, New York, Martin Gordon, Inc.	1978	
33	LANDAU, David	Catalogo Completo dell'opera grafica di Georg Pencz: I Classici Dell Incisione 6-7	Milano, Salamon e Agustoni editori	1978
34	GINESTET, Colette de, POUILLON, Catherine	Jacques Villon: Les Estamps et les Illustrations Catalogue Raisonné	Paris, Arts et Métiers Graphics	1978
35	MELOT, Michel	L'œuvre Gravé de Boudin, Corot, Daubigny, Dupré, Jongkind, Millet, Théodore Rousseau	Paris, Arts et Métiers Graphics	1978
36	HOUFE, Simon	The Dictionary of British Book Illustrators and Caricaturists: 1800-1914	Woodbridge, Antique Collectors' Club	1978

37	GUÉRIN, Marcel	J.-L. Forain, Lithographie: Catalogue Raisonné de L'œuvre Lithographié de l'artiste	San Francisco, Alan Wofsy Fine Arts	1980
38	GUÉRIN, Marcel	L'œuvre Gravé de Gauguin	San Francisco, Alan Wofsy Fine Arts	1980
39	SCHNESSEL, S. Michael and KARMEL, Mel	The Etching of Louis Icart	Exton, Schiffer Publishing Ltd.	1982
40	SYDOW-ZIRKWITZ, Heinrich v.	Fuchs-Graphik: Sydows Katalog einer idealen Sammlung	Berlin, Studio 69 Berlin	1983
41	HEMIN, Y., KROHG, G., PERLS, K., RAMBERT, A.	Pascin: Catalogue Raisonné, Tome I: Peintures, aquarelles, pastels, dessins	Paris, Editions Abel Rambert	1984
42	BAILLY-HERZBERG, Janine	Dictionnaire de L'estampe en France 1830-1950	Paris, Arts et Métiers Graphics	1985
43	MASON, Rainer Michael	Jean Fautrier: Les Estampes	Genève, Le Cabinet des Estampes	1986
44	CHRISTIAN, John	Reproductive Engravings after Sir Edward Coley Burne-Jones	London, Julian Hartnoll	1988
45	LISTER, Raymond	Catalogue Raisonné of the Works of Samuel Palmer	Cambridge, Cambridge University Press	1988
46	SCHUSTER, Thomas E., ENGEN, Rodney	Printed Kate Greenaway: A Catalogue Raisonné	London, T. E. Schuster	1989
47	KRUGLEWSKY, Lieselotte	Horst Jansen: Radierungen und Lithographien in der Griffelkunst 1958-1989	Hamburg, Verlag St. Gertrude GmbH	1989
48	OSTERWALDER, Marcus	Dictionnaire des Illustrateurs 1800-1914	Neuchâtel, Ides et Calendes	1989
49	HEMIN, Y., KROHG, G., PERLS, K., RAMBERT, A.	Pascin: Catalogue Raisonné, Tome III: Simplicissimus, gravures, lithographies, illustrations, sculpture, objet	Paris, Editions Abel Rambert	1990
50	PEREDA, Juan Carlos	Pascin: Rufino Tamayo: Catalogue Raisonné: Prints 1925-1991	Madrid, Turner	2004

保存事業

1 作品・資料の状態調査

- ・ 展示、貸出の機会にあわせて継続的に所蔵品の状態を調査し、保存上の対策を必要とする作品については、マウントや額の改良・交換を中心に処置を進めた。

2 作品・資料の保存修復

- ・ 館外の保存修復専門家による状態調査を行い、修復が必要と判断された作品のうち、優先順位の高いものについて処置を実施した。

〈油彩作品〉

- 1 ヘンリー杉本《カメルハイランド海辺》1937（昭和12）油彩、キャンバス

主な処置内容：

描画層浮き上がり部分を膠水で接着、表面のクリーニング、旧ワニス・加筆を除去、油性画布による旧耳補強布の除去、破損部接着、麻布による耳補強・支持体の変形修正、裏面クリーニング、充填整形、補彩、ワニス塗布、額の新調

処置者：村松裕美、額装：画箋堂

〈紙本作品〉

- 1 長永治良《虫相撲》1932年 木版、紙
- 2 駒井哲郎《河岸》1935年 銅版、紙
- 3 笠木實《のぶ》1940年 銅版、紙
- 4 古賀春江《梅》木版、紙
- 5 徳力富吉郎《太秦の牧場》1921年頃 木版、紙
- 6 織田一磨《月夜の景（奈良）》1918年頃
- 7 麻田辨白《風景》制作年不詳 木版、紙
- 8 エミール・オルリック《日本の彫師》1900年 木版、紙
- 9 エミール・オルリック《日本の摺師》1900年 木版、紙

主な処置内容：

状態調査、台紙分離、本紙および台紙の変色・染みの軽減、台紙の脱酸素処置、欠損部・破れ補修、ヒンジ接着ほか

処置者：坂本雅美

3 作品・資料の保存環境の整備

- ・ 展示室、収蔵庫等作品保管区画の温湿度観察
- ・ 収蔵庫、展示資材倉庫等の清掃
- ・ IPM（総合有害生物管理）の一環として、外部の専門家に委託してトラップによるモニタリングを館内98箇所、4回実施（6月、9月、12月、3月）。常に調査すべき16箇所では8回実施（4月、5月、7月、8月、9月、10月、11月、2月）
- ・ 収蔵庫・展示室・展示ケース内のホルムアルデヒド・酢酸・蟻酸を測定する空気環境測定（7月、12月の2回）
- ・ 展示室等のブンガノンによる燻蒸（2階：3月、1階・地下：4月）
- ・ 収蔵庫・展示室など22箇所をエアースンプラーにより採取、培養検査を行う空中浮遊菌調査（12月）
- ・ 新収蔵作品・受託作品を中心にエキヒュームSによる被覆燻蒸（3月）

4 作品・資料の管理

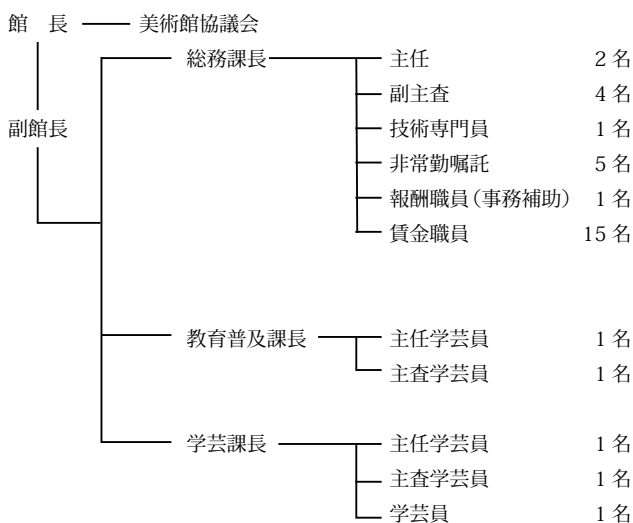
- ・ 作品の状態調査、展示、貸出記録、台帳・データベースの管理を日常的に実施、更新処理を行っている。

5 作品・資料のデータ公開

- ・ 展覧会出品目録、新収蔵作品目録を年報に掲載した。

管理運営

組織



機構及び職員配置

館長：山野 英嗣
副館長：岡本 邦敬

総務課 総務課長：花田 眞秀（和歌山県立博物館総務課長兼務）
主任：平林 照浩（和歌山県立博物館主任兼務）
主任：藤井 達也（和歌山県立博物館主任兼務）
副主査：池田 真理（和歌山県立博物館副主査兼務）
副主査：堀田 礼子（和歌山県立博物館副主査兼務）
副主査：井上 佳典（和歌山県立博物館副主査兼務）
副主査：苗代 吉登（和歌山県立博物館副主査兼務）
技術専門員：寺井 武志（非常勤嘱託）

教育普及課 教育普及課長：奥村 泰彦
主任学芸員：奥村 一郎
主査学芸員：青木 加苗

学芸課 学芸課長：井上 芳子
主任学芸員：植野 比佐見
主査学芸員：宮本 久宣
学芸員：藤本 真名美

非常勤嘱託：5名、報酬職員（事務補助）：1名、賃金職員（監視）：15名

和歌山県立近代美術館協議会委員

任期2年：2020年11月2日まで

	氏名（◎会長、○副会長）	役職
	犬塚 博志	和歌山市立貴志南小学校 校長／和歌山県美育連盟 委員長
◎	榎本 長治	会社社長
	川瀬 和男	会社社長
○	酒井 哲朗**	福島県立美術館 名誉館長
	清水 達三*	日本画家、和歌山県美術家協会 会長
	建畠 哲*	多摩美術大学 学長／埼玉県立近代美術館 館長
	谷 奈々	（一般財団法人）和歌山社会経済研究所 研究委員／（公益財団法人）和歌山県国際交流協会 理事
	廣本 直子	紀の国トレイナート 主宰
	真砂 美香	紀の川市社会教育委員／わかやまメディアリテラシー研究会 代表
	山脇 佐江子*	元姫路市立美術館 館長／独立行政法人国立美術館 監事
	雪山 行二*	富山県美術館 館長
	渡部 幹雄	和歌山大学附属図書館 館長／和歌山大学 名誉教授

氏名五十音順、現在 委員 12名

* は、和歌山県立近代美術館評価部会委員。** は部会長。現在委員 5名

和歌山県立近代美術館協議会委員名簿

任期2年：2020年11月3日～2021年11月2日

	氏名(◎会長)	役職
◎	榎本長治	会社社長
	奥村孝	和歌山市立額賀小学校 校長/和歌山県美育連盟 会長
	五十殿利治	筑波大学 名誉教授
	川瀬和男	会社社長
	清水達三	日本画家、和歌山県美術家協会 会長
	建畠哲	多摩美術大学 学長/埼玉県立近代美術館 館長
	谷奈々	(一般財団法人)和歌山社会経済研究所 研究委員/(公益財団法人)和歌山県国際交流協会 理事
	廣本直子	紀の国トレイナート 主宰
	真砂美香	紀の川子ども・子育て会議委員/わかやまメディアリテラシー研究会 代表
	三木哲夫	兵庫陶芸美術館 館長
	雪山行二	富山県美術館 館長
	渡部幹雄	和歌山大学 名誉教授

氏名五十音順、現在 委員 12名

第68回和歌山県立近代美術館協議会

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため書面により開催。2019(平成31・令和元)年度事業報告、2020(令和2)年度事業予定についての会議資料を2020年6月28日(日)に各委員へ送付し、当館の運営についての意見を求めた。

第69回和歌山県立近代美術館協議会

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため書面により開催。2020(令和2)年度事業報告、2021(令和3)年度事業案などについての会議資料を2020年11月1日(日)に各委員へ送付し、意見を求めた。

第8回和歌山県立近代美術館評価部会

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、書面により開催。2019(平成31・令和元)年度美術館運営評価、および2020(令和2)年度美術館運営目標などについての会議資料を、2020年6月28日(日)に各委員へ送付し、意見を求めた。

安全と快適性

I 施設・設備の維持管理

1. 施設

- ・設備の定期的な保守管理、日常的なメンテナンス、修繕、関係職員への教育等による安全確保
- ・施設・設備の定期的な保守管理、日常的メンテナンスを行うと共に、経年劣化による修繕箇所を把握し、空調設備、ブロック塀改修、所蔵美術作品修復等の修繕を予算の範囲内で実施することにより安全確保を行った。

2. 施設・設備の改修や新たな整備

- ・1階展示室照明設備取替工事を実施した。ダウンライト、スポットライト、壁面展示ケースの照明をLED化した。

3. 日常的なメンテナンス等による施設の美観の保持・衛生管理

- ・日々メンテナンスを行い設備の保持、施設の美観等衛生管理を行った。
- ・天井の防水機能劣化に対して部分修繕を行った。

2 快適性の向上

1. バリアフリー対策・ユニバーサルデザイン等の対応
 - ・必要に応じて導線上の点字ブロックの修繕、自動ドア等の改修を行った。
2. 利用者に対する接遇
 - ・職員に対し、利用者への適切な対応をするよう指導した。
3. 快適性向上のための上記以外の取り組み
 - ・正面入り口及び地下駐車場に鳥害（鳥糞）対策を行った。

3 危機管理

1. 危機管理・防災体制
 - ・地震及び火災時の避難訓練を実施した。
2. 個人情報の保護・データ管理
 - ・講演会等の展覧会関連事業開催に伴う参加者及び学芸員育成にかかる実習生の情報管理を適切に行った。

4 職員研修

- ・研修への参加には、できる限り対応した。

5 情報公開・利用者のニーズなどの把握

1. 使命、目標、計画などの方針の公開
 - ・和歌山県立近代美術館の使命を 2016 年 3 月 4 日よりホームページで公開している。
2. 実績や評価結果の公開
 - ・2019（平成 31・令和元）年度実績評価について、2021 年 4 月 8 日にホームページで公開した。
（2020（令和 2）年度実績評価についても、追ってホームページで公開予定）
3. 入館者情報（年齢層・地域・情報入手手段等）の把握
 - ・アンケートにより入館者情報の把握を行った。
4. 利用者の満足度・ニーズなどの把握
 - ・アンケートにより利用者の満足度・ニーズなどの調査を行った。
5. 調査結果等を反映した運営
 - ・エントランス床のクリーニング清掃を行った。
 - ・展示作品のキャプション等のデザイン変更を行った。



1階展示室照明設備取替工事中の看板

関係法規・規則・規定等

○和歌山県立近代美術館設置及び管理条例

昭和 45 年 10 月 6 日
和歌山県条例第 64 号
改正 平成 6 年 3 月 30 日条例第 18 号

和歌山県立近代美術館設置および管理条例をここに公布する。

和歌山県立近代美術館設置及び管理条例 (平 6 条例 18・改称)

(設置)

第 1 条 近代美術に関する資料を収集し、保管し、又は展示して一般公衆の観覧に供するとともに、美術に関する資料の調査、研究等を行い、もって美術文化の向上に資するため、和歌山県立近代美術館(以下「近代美術館」という。)を設置する。

(平 6 条例 18・一部改正)

(位置)

第 2 条 近代美術館は、和歌山市吹上一丁目 4 番 14 号に置く。

(平 6 条例 18・一部改正)

(事業)

第 3 条 近代美術館は、第 1 条の目的を達成するため、次に掲げる事業を行う。

- (1) 近代美術に関する作品その他の近代美術に関する資料を収集し、保管し、又は展示して一般公衆の利用に供すること。
- (2) 美術に関する専門的、技術的な調査研究を行うこと。
- (3) 美術に関する展覧会、研究会、講習会等の開催及び資料の刊行

(平 6 条例 18・一部改正)

(使用料)

第 4 条 近代美術館を使用する者は、和歌山県使用料及び手数料条例(昭和 22 年和歌山県条例第 28 号)の定めるところにより、使用料を納めなければならない。

(委任)

第 5 条 近代美術館の管理に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

付 則

この条例は、昭和 45 年 11 月 2 日から施行する。

附 則 (平成 6 年 3 月 30 日条例第 18 号)

この条例は、平成 6 年 4 月 1 日から施行する。

○和歌山県立近代美術館管理規則

昭和 45 年 10 月 22 日
和歌山県教育委員会規則第 20 号
改正 昭和 53 年 4 月 1 日教育委員会規則第 12 号
昭和 56 年 5 月 28 日教育委員会規則第 7 号
昭和 63 年 3 月 31 日教育委員会規則第 13 号
平成 元 年 3 月 31 日教育委員会規則第 7 号
平成 6 年 3 月 31 日教育委員会規則第 8 号
平成 13 年 3 月 30 日教育委員会規則第 11 号
平成 17 年 2 月 25 日教育委員会規則第 2 号
平成 19 年 3 月 30 日教育委員会規則第 15 号

和歌山県立近代美術館管理規則を次のように定める。

和歌山県立近代美術館管理規則

(目的)

第 1 条 この規則は、和歌山県立近代美術館設置及び管理条例(昭和 45 年和歌山県条例第 64 号。以下「条例」という。)第 5 条の規定に基づき、和歌山県立近代美術館(以下「近代美術館」という。)の管理に関し法令、条例及び他の規則に定めのあるものを除くほか、必要な事項を定めることを目的とする。

(開館時間)

第 2 条 近代美術館の開館時間は、午前 9 時 30 分から午後 5 時までとする。
2 館長は、特別の事情がある場合においては、前項の開館時間を変更することができる。この場合においては、館長は、その旨を教育長に報告するものとする。

(休館日)

第 3 条 近代美術館の休館日は、次のとおりとする。
(1) 毎週月曜日(その日が国民の祝日に関する法律(昭和 23 年法律第 178 号)に規定する休日(以下「休日」という。)に当たるときは、その日後においてその日に最も近い土曜日、日曜日又は休日でない日)
(2) 年始(1 月 1 日から同月 3 日まで)
(3) 年末(12 月 29 日から同月 31 日まで)
(4) 前 3 号に定めるもののほか、特別の事情により館長が臨時に休館を必要と認め、教育長の承認を得た日
2 館長は、必要があると認めるとき、その他特別の事情があるときは、前項第 1 号から第 3 号までに掲げる休館日を変更することができる。この場合においては、館長は、その旨を教育長に報告するものとする。
3 非常変災その他急迫の事情があるときは、館長は、臨時に休館することができる。この場合においては、館長は、次に掲げる事項を直ちに教育長に報告するものとする。
(1) 休館の期間
(2) 非常変災その他急迫の事情の概要
(3) その他必要と認める事項

(職員)

第 4 条 近代美術館に、館長のほか必要な職員を置く。

(課の設置及び所掌事務)

第 5 条 近代美術館に、次の課を置く。
総務課
教育普及課
学芸課

- 2 総務課においては、次の事務をつかさどる。
 - (1) 館長印、館印その他公印の管守に関すること。
 - (2) 職員の身分、服務その他人事に関すること。
 - (3) 文書の收受、発送、編さん及び保存に関すること。
 - (4) 予算、決算及び会計に関すること。
 - (5) 近代美術館の施設、設備及び物品の管理に関すること。
 - (6) その他学芸課の主管に属しないこと。
- 3 教育普及課においては、次の事務をつかさどる。
 - (1) 美術に関する知識の向上及び普及並びに美術の振興に関すること。
 - (2) 学校等の教育、学術又は文化に関する諸施設に対する助言及び支援並びに当該施設との協力に関すること。
 - (3) 国内外の美術館等関係諸団体との連絡及び協力に関すること。
 - (4) 近代美術に関する展覧会、講演会及び研究会等の立案、調整及び実施に関すること。
 - (5) 美術館活動(美術品等の展示及び収集並びに美術の普及活動等をはじめとして広く美術館において行う諸活動をいう。)に係る調査研究に関すること。
- 4 学芸課においては、次の事務をつかさどる。
 - (1) 美術品及び美術に関する資料の収集、管理及び保存に関すること。
 - (2) 近代美術に関する展覧会の立案、調整及び実施に関すること。
 - (3) 近代美術に関する調査研究及び資料の刊行に関すること。
 - (4) 近代美術館協議会に関すること。

(入館の拒絶、制限及び退館命令)

- 第6条** 館長は、次の各号のいずれかに該当する者に対しては、入館を拒絶し、又は退館を命ずることができる。
- (1) 伝染性疾患のある者
 - (2) 陳列品を汚損し、又は近代美術館の施設及び設備をき損するおそれのある物品を所持している者
 - (3) 館内の秩序を乱すと認められる者
 - (4) その他館長において近代美術館の管理上入館を不相当と認めた者
- 2 館長は、近代美術館の管理上必要があると認めるときは、入館に制限を加えることができる。

(損害賠償の義務)

- 第7条** 入館者は、その責めに帰すべき事由により陳列品を汚損し、近代美術館の施設及び設備をき損し、又は滅失したときは、その損害の賠償をしなければならない。

(委任)

- 第8条** この規則に定めるもののほか、近代美術館の管理に関し必要な事項は、教育長の承認を得て館長が定める。

付 則

この規則は、昭和45年11月2日から施行する。

附 則(昭和53年4月1日教育委員会規則第12号)

この規則は、公布の日から施行する。

附 則(昭和56年5月28日教育委員会規則第7号)

この規則は、公布の日から施行する。

附 則(昭和63年3月31日教育委員会規則第13号)

この規則は、昭和63年4月1日から施行する。

附 則(平成元年3月31日教育委員会規則第7号)

この規則は、平成元年4月1日から施行する。

附 則(平成6年3月31日教育委員会規則第8号)

この規則は、平成6年4月1日から施行する。

附 則(平成13年3月30日教育委員会規則第11号)

この規則は、平成13年4月1日から施行する。

附 則(平成17年2月25日教育委員会規則第2号)

この規則は平成17年4月1日から施行する。

附 則(平成19年3月30日教育委員会規則第15号)

この規則は平成19年4月1日から施行する。

○和歌山県博物館協議会条例

昭和 57 年 3 月 29 日
和歌山県条例第 11 号
改正 平成 24 年和歌山県条例 28 号

和歌山県博物館協議会条例をここに公布する。

和歌山県博物館協議会条例

(設置)

第 1 条 博物館法(昭和 26 年法律第 285 号)第 20 条の規定に基づき、次の表の左欄に掲げる博物館にそれぞれ当該右欄に掲げる博物館協議会(以下「協議会」という。)を設置する。

博物館の名称	協議会の名称
和歌山県立近代美術館	和歌山県立近代美術館協議会
和歌山県立博物館	和歌山県立博物館協議会
和歌山県立紀伊風土記の丘	和歌山県立紀伊風土記の丘協議会
和歌山県立自然博物館	和歌山県立自然博物館協議会

(委員の任命の基準)

第 2 条 協議会の委員(以下「委員」という。)は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から、教育委員会が任命する。

(委員の定数)

第 3 条 委員の定数は、15 人以内とする。

(任期)

第 4 条 委員の任期は、2 年とする。ただし、委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。
2 委員は、再任されることができる。

(会長等)

第 5 条 協議会に、会長及び副会長 1 人を置く。
2 会長及び副会長は、委員の互選により定める。
3 会長は、会務を総理し、協議会を代表する。
4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第 6 条 協議会の会議は、会長が招集し、その議長となる。
2 協議会は、委員の半数以上の出席がなければ、会議を開くことができない。
3 協議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(小委員会及び部会)

第 7 条 協議会は、小委員会又は部会を置くことができる。
2 小委員会に委員長を、部会に部会長を置く。
3 委員長及び部会長は、委員のうちから会長が指名する。
4 小委員会又は部会に属する委員は、会長が指名する。

(庶務)

第 8 条 協議会の庶務は、当該博物館において処理する。

(委任)

第 9 条 この条例に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、教育委員会が定める。

附 則

この条例は、昭和 57 年 4 月 1 日から施行する。

附 則 (平成 24 年 3 月 23 日条例第 28 号)

この条例は、平成 24 年 4 月 1 日から施行する。

○和歌山県立近代美術館美術作品選定委員会設置要綱

(平成元年8月1日教育長決定)

改正 平成14年3月1日

和歌山県立近代美術館美術作品選定委員会設置要綱を次のように定める

和歌山県立近代美術館美術作品選定委員会設置要綱

(目的)

第1条 和歌山県博物館協議会条例(昭和57年和歌山県条例第11号)第7条の規定に基づき、和歌山県立近代美術館(以下「美術館」という。)において収集する美術作品の選定に関する事務を適正かつ円滑に行うことを目的として、和歌山県立近代美術館美術作品選定委員会(以下「委員会」という。)を設置する。

(業務)

第2条 委員会は、美術館において収集する美術作品の選定に関する事項を審議する。

(構成)

第3条 委員会は、委員5名以内をもって構成する。
2 委員は、和歌山県立近代美術館協議会会長(以下「協議会会長」という。)が和歌山県立近代美術館協議会委員のうちから指名する。
3 委員の任期は、2年とし、再任することができる。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長)

第4条 委員会に、委員長を置く。
2 委員長は、委員のうちから協議会会長が指名する。
3 委員長は、会務を総理する。ただし、委員長に事故があるときは、あらかじめ協議会会長が指定する委員が会務を総理する。

(会議)

第5条 委員会の会議は、和歌山県立近代美術館長(以下「館長」という。)が招集する。
2 委員会の会議には、館長が、必要に応じて、委員でない者の出席を求めることができる。

(庶務)

第6条 委員会の庶務は、美術館において処理する。

(その他)

第7条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し、必要な事項は、館長が定める。

附 則

この要綱は、平成元年8月1日から施行する。

改正文(平成14年教育長決定)抄

この要綱は、平成14年3月1日から施行する。

○和歌山県立近代美術館評価部会設置要綱

平成26年4月1日施行

(目的)

第1 和歌山県博物館協議会条例(昭和57年和歌山県条例第11号)第7条の規定に基づき、和歌山県立近代美術館(以下「美術館」という。)の運営の状況等を評価することを目的として、和歌山県立近代美術館評価部会(以下「部会」という。)を設置する。

(業務)

第2 部会の業務は、次に掲げるとおりとする。
(1) 美術館の運営について評価する項目を定め、各項目について評価を行う。
(2) 館長が行った新規採用学芸員に係る条件付き採用期間中の評価及び既存の学芸員に係る3年に1度の評価に関し、意見を述べる。

(委員)

第3 委員の定数は、5人以内とする。
2 委員は、和歌山県立近代美術館協議会会長(以下「協議会会長」という。)が和歌山県立近代美術館協議会委員のうちから指名する。

(任期)

第4 委員の任期は、2年とし、再任することができる。ただし、委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(部会長)

第5 部会に、部会長を置く。
2 部会長は、委員のうちから協議会会長が指名する。
3 部会長は、会務を総理する。ただし、部会長に事故があるときは、あらかじめ協議会会長が指定する委員が会務を総理する。

(会議)

第6 部会の会議は、美術館長(以下「館長」という。)が招集する。
2 部会の会議には、館長が、必要に応じて、委員でない者の出席を求めることができる。

(庶務)

第7 委員会の庶務は、美術館において処理する。

(その他)

第8 この要綱に定めるもののほか、部会の運営に関し必要な事項は、館長が定める。

○和歌山県立近代美術館美術品貸付規則

昭和 46 年 10 月 12 日
和歌山県教育委員会規則第 26 号
改正 昭和 56 年 8 月 29 日教委規則第 15 号
平成元年 3 月 31 日教委規則第 8 号
平成 31 年 4 月 5 日教委規則第 17 号

和歌山県立近代美術館美術品貸付規則を次のように定める。

和歌山県立近代美術館美術品貸付規則

(目的)

第 1 条 この規則は、和歌山県立近代美術館が所蔵する美術品（以下「美術品」という。）の貸付けに関し必要な事項を定めることを目的とする。

(貸付)

第 2 条 和歌山県立近代美術館長（以下「館長」という。）は、その目的が公の性質をもち、かつ、美術文化の普及上適当と認められた場合に、次項に規定する者に対して美術品を貸し付けることができるものとする。

2 美術品の貸付けを受けることのできる者は、国並びに地方公共団体及び公益法人その他これらに準ずる団体とする。

(申請手続)

第 3 条 美術品の貸付けを受けようとする者は、次に掲げる事項を記載した借受申請書を館長に提出しなければならない。

- (1) 申請者の氏名又は名称及び住所
- (2) 借り受けようとする美術品の名称及び数量
- (3) 使用目的
- (4) 陳列等のための施設の名称及びその場所並びに施設の概要
- (5) 借受期間
- (6) 借受期間中における保管及び管理の方法
- (7) その他参考となる事項

(貸付承認)

第 4 条 館長は、美術品の貸付けを承認したときは、美術品貸付承認通知書（別記様式）を申請者に交付する。

(貸付期間)

第 5 条 美術品の貸付期間は、通常 2 月以内（以下「1 期間」という。）とする。ただし、館長が必要と認めるときは、貸付期間を更新し、又は延長することができる。

(借受書等)

第 6 条 美術品の貸付承認を受けた者は、次に掲げる事項を記載した借受書を館長に提出しなければならない。

- (1) 借り受ける美術品の名称及び数量
- (2) 借受期間
- (3) 返納期日
- (4) 返納場所
- (5) 貸付条件に従う旨

2 貸付承認をした美術品の引渡しは、前項の借受書の提出があったとき、これを行う。

3 館長は、美術品が返還されたときは、これと引換えに返還を受けた旨の受領書を交付するものとする。

(遵守事項等)

第 7 条 貸付承認をした美術品の荷造り及び輸送並びに保管、返納等に要する費用は、借受人の負担とする。

2 貸付期間中の美術品の保管及び管理は、借受人の責任とし、亡失、汚損又は損傷のあったときは、賠償の責めを負うものとする。

3 美術品の借受人は、当該美術品を借り受けた目的以外に使用してはならない。

(貸付料)

第 8 条 美術品の貸付料は、1 点につき 1 期間 3,300 円とし、第 5 条ただし書の貸付期間の延長の場合にあつては、1 月以内の延長期間については 1,650 円とし、1 月を超える延長期間については 3,300 円とする。

2 特別の事情がある場合においては、貸付料を増減し、又は免除することがある。

3 既納の貸付料は、これを返還しない。

(貸付けの取消し)

第 9 条 館長は、美術品の貸付けを受けた者が、この規則及び貸付条件を守らないときは、その承認を取り消し、当該美術品の返還を求めることができる。

(補則)

第 10 条 この規則に定めるもののほか、美術品の貸付けに関し必要な事項は、教育長の承認を得て館長が定める。

付 則

1 この規則は、公布の日から施行する。

2 和歌山県立美術館美術品貸付規程（昭和 42 年和歌山県教育委員会規則第 22 号）は、廃止する。

附 則（昭和 56 年 8 月 29 日教育委員会規則第 15 号）
この規則は、昭和 56 年 9 月 1 日から施行する。

附 則（平成元年 3 月 31 日教育委員会規則第 8 号）
この規則は、平成元年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 31 年 4 月 5 日教育委員会規則第 17 号）
この規則は、公布の日から施行する。ただし、第 2 条の規定は、平成 31 年 10 月 1 日から施行する。

別記様式（第 4 条関係）

番号			
年 月 日			
美術品貸付承認書			
殿			
和歌山県立近代美術館長 印			
年 月 日付けで承認申請のあった当館所蔵の美術品の貸付けについては、下記によって承認する。			
記			
1 貸付品	種別	作者名	題名
	材質	形状	製作年
2 貸付期間	年 月 日から	年 月 日まで	
3 貸付料	金	円	
上記貸付料は、美術品借り受けのとき、又はその日までに県指定金融機関へ払い込むこと。			
4 美術品の輸送の際の取扱い及び保管管理については、館長の指示に従い、十分注意するとともに、貸付中のいっさいの責任を借受人において負うものとする。			
5 美術品は、当館係員立合いのうえ借受書と引換えに引き渡すものとする。			
6 その他和歌山県立近代美術館美術品貸付規則の各条項を遵守するとともに館長の指示に従うこと。			

備考 この承認書には、和歌山県立近代美術館美術品貸付規則を添付すること。

○和歌山県立近代美術館美術作品寄託規程

昭和 46 年 10 月 12 日
和歌山県教育委員会告示第 12 号
改正 平成 6 年 3 月 31 日教委告示第 1 号

和歌山県立近代美術館美術作品寄託規程を次のように定める。

和歌山県立近代美術館美術作品寄託規程

(趣旨)

第 1 条 この規程は、和歌山県立近代美術館(以下「美術館」という。)における美術作品の寄託に関し必要な事項を定めるものとする。

(受託)

第 2 条 美術作品の所有者(以下「所有者」という。)が展示保存又は調査研究の目的をもって、美術作品の保管の寄託の申入れがあったときは、この規程の定めるところにより、美術館はこれを無償で受託するものとする。

(寄託)

第 3 条 所有者が、美術作品を寄託しようとするときは、別記第 1 号様式による保管依頼書を提出し、館長の承認を受けなければならない。

(受入れ及び返還)

第 4 条 館長は、美術作品を受領したときは、所有者に、別記第 2 号様式による受託証書を交付するものとする。

- 2 寄託品の返還を受けようとする者は、原則として返還を受けようとする日の 1 月前に別記第 3 号様式による返還請求書を館長に提出しなければならない。
- 3 寄託品は、受託証書と引き換えに、これを所有者に返還するものとする。
- 4 寄託品の返還を受けようとする者が、所有者の代理人であるときは、受託証書に、委任状その他代理人であることを証する書類を添えなければならない。

(寄託期間及び期間の更新)

第 5 条 寄託期間は、3 年とする。ただし、館長が必要と認めるときは、所有者の承諾を得てこの期間を短縮又は更新することがある。寄託期間を経過後寄託者から返還の請求がない場合は寄託期間の更新をしたものとみなす。

2 寄託期間の更新をするときは、受託証書の書換えを行うものとする。

(所有者の変更等)

第 6 条 売買、相続等により寄託品の所有者に変更があったとき、又は所有者の氏名、名称若しくは住所等に変更があったときは、その所有者(所有者変更の場合は、新所有者)は、所有権の移転その他氏名、名称等の変更を証する書類を受託証書に添えて、館長に届け出て、受託証書の書換えを受けなければならない。

(受託証書の再交付)

第 7 条 受託証書を忘失し、又は著しく破損したときは、所有者は、これらを証明するに足る書類(破損の場合は、その受託証書)を添えて、速やかに館長に受託証書の再交付を申請しなければならない。

(作品輸送経費の負担)

第 8 条 所有者は、寄託品の搬入又は返還に要する荷造り及び運搬の経費を負担しなければならない。ただし、館長において特にその必要がないと認めた場合は、この限りでない。

(補則)

第 9 条 この規程に定めるもののほか美術品の寄託に関し必要な事項は、教育長の承認を得て館長が定める。

付 則

この規程は、告示の日から施行する。

附 則(平成 6 年 3 月 31 日教育委員会告示第 1 号)

この規程は、平成 6 年 4 月 1 日から施行する。

別記第 1 号様式(第 3 条関係)

美術作品保管依頼書	
種 別	
作 品 名	
作 者 名	
製 作 年 月 日	
附 属 品	
作品の所在地	
寄 託 期 間	年 月 日から 年 月 日まで

上記作品について下記事項承諾のうえ、寄託を申し入れます。

年 月 日

和歌山県立近代美術館長 殿

住所
氏名 ㊞

記

- 1 寄託期間経過後、私から返還請求をしない場合は、この期間の更新に同意したものとします。
- 2 寄託した美術作品が天災その他の避けられない事故によって汚損又は亡失した場合における補償の請求はいたしません。
- 3 展示保存又は調査研究に資するため写真撮影することに同意します。

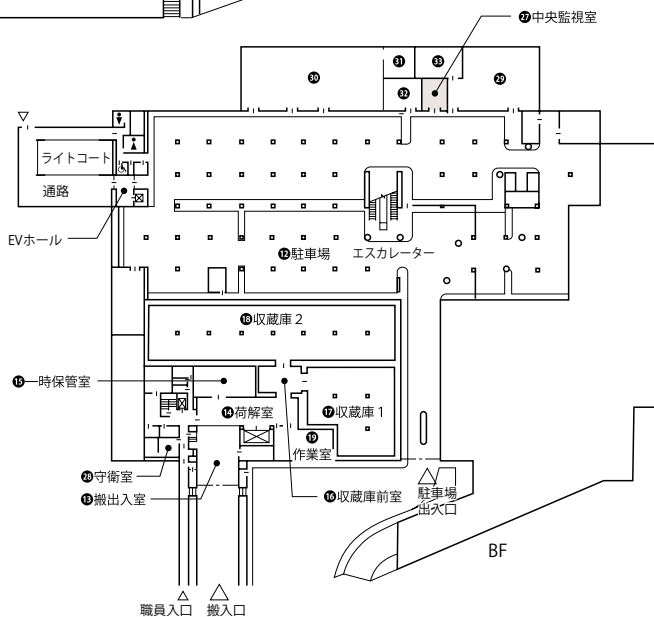
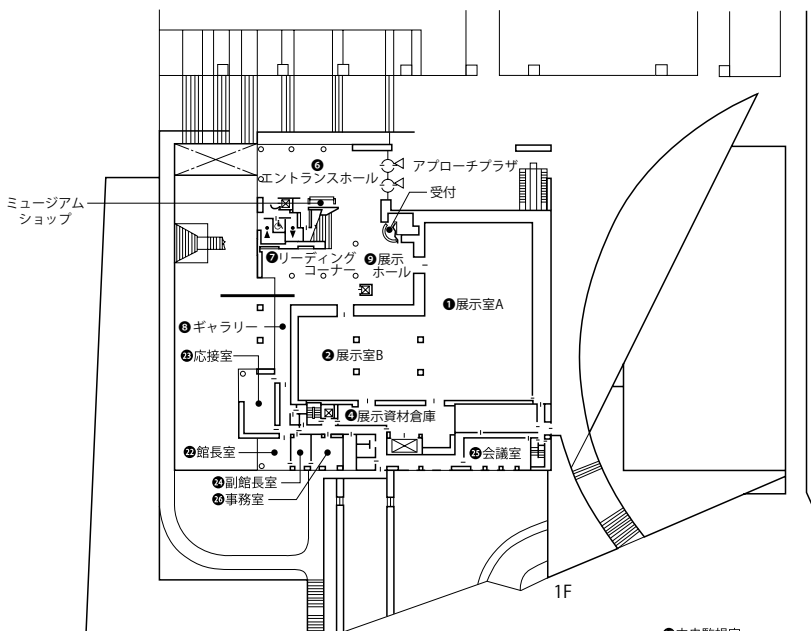
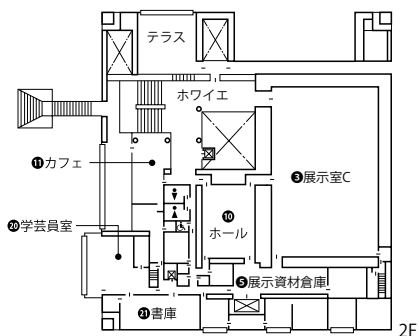
別記第2号様式(第4条関係)

	文書番号
	年 月 日
受託証書	
作品名	
附属品	
寄託期間	
	年 月 日から
	年 月 日まで
上記作品の保管を和歌山県立近代美術館美術作品寄託規程(昭和46年和歌山県教育委員会告示第12号)により受託しました。	
年 月 日	
住所	
氏名	様
	和歌山県立近代美術館長 印

別記第3号様式(第4条関係)

返還請求書	
作品名	
附属品	
寄託期間	
	年 月 日から
	年 月 日まで
上記の作品の返還を和歌山県立近代美術館美術作品寄託規程(昭和46年和歌山県教育委員会告示第12号)により請求します。	
年 月 日	
和歌山県立近代美術館長 殿	
	住所
	氏名
	印

建築概要



部門別面積表

部門	室名	面積 (㎡)
展示部門		
①	展示室 A	1,057.0
②	展示室 B	486.1
③	展示室 C	1,038.6
④	展示資材倉庫 (1F)	136.2
⑤	展示資材倉庫 (2F)	121.5
(小 計)		2,839.4
サービス部門		
⑥	エントランスホール	402.2
⑦	リーディングコーナー	217.8
⑧	ギャラリー	46.9
⑨	展示ホール	134.0
⑩	ホール	181.5
ホール前室、映写室、控室 A、倉庫		74.6
⑪	カフェ	105.1
厨房		62.0
テラス		217.9
化粧室		181.9
⑫	駐車場	2,480.1
EV ホール、廊下、階段、その他		1,670.7
(小 計)		5,774.7
収蔵部門		
⑬	搬出入室	108.4
⑭	荷解室	130.0
⑮	一時保管室	81.0
⑯	収蔵庫前室	61.4
⑰	収蔵庫 1	342.5
⑱	収蔵庫 2	685.6
⑲	作業室	82.0
(小 計)		1,490.9
調査部門		
⑳	学芸員室、倉庫	123.2
㉑	書庫	113.1
(小 計)		236.3
管理部門		
㉒	館長室	
㉓	応接室	
㉔	副館長室	
㉕	会議室	
㉖	事務室	
㉗	中央監視室	
㉘	守衛室	444.7
控室 B		
控室 C		
控室 D		
更衣室		
救護室		
㉙	電気室	212.4
㉚	マシンルーム	364.9
㉛	消火ポンプ室	38.7
㉜	ハロンボンベ室	51.2
㉝	発電機室	58.1
空調機械室		295.5
倉庫、その他		31.1
(小 計)		1,496.6
合 計		11,837.9
階数		
階数	各階面積	
2F	2,916.8	
1F	3,436.8	
BF	5,484.3	
合 計 (延床面積)	11,837.9	

近代美術館・博物館 建築概要

所在地	和歌山市吹上一丁目4番14号
敷地面積	23,356.78㎡
監理	和歌山県土木部営繕課
設計監理	(株)黒川紀章建築都市設計事務所
施工	竹中・清水・戸田特定建築工事共同企業体 きんでん・伊藤電気特定電気設備工事共同企業体 日立プラント・長谷川冷機特定機械設備工事共同企業体
総工費	137億8086万円 〔総事業費 192億633万1千円(用地費含む)〕
工事期間	1991年10月～1994年3月

建物概要

構造	RC造(鉄筋コンクリート構造) 地上2階地下1階建
建築面積	7,087.17㎡ (美術館部分4,500.62㎡ 博物館部分2,586.55㎡)
延床面積	18,704.50㎡(駐車場3,460.40㎡を含む) (美術館部分11,837.90㎡ 博物館部分6,866.60㎡)
仕上	外装 外壁 磁器質タイル、アルミパネルアルマイト仕上、アルミカーテンウォール 屋上 アスファルト防水の上コンクリート押え 庇 フッ素ステンレス鋼板、アルミパネル アルマイト仕上

設備概要

電気設備

受変電設備	3φ3W6600V 60Hz 変圧器 1φ600KVA(うち美術館300KVA 博物館300KVA) 3φ1550KVA(うち美術館900KVA 博物館650KVA)
自家発電設備	ディーゼル機関 4サイクル 440PS 1800rpm 3φ3W6600V 375KVA
蓄電池設備	キュービクル式直流電源装置 容量 300AH

空調設備

熱源設備	空気熱源熱回収型スクリュウ式ヒートポンプ冷凍機 165RT+110RT 蓄熱槽 1560㎡
排煙設備	自然排煙+機械排煙6系統(うち美術館4系統 博物館2系統)

衛生設備

給水設備	受水槽 上水10㎡、雑用水29㎡ 受水方式 加圧給水ポンプ方式
排水設備	汚水・雨水分流式(公共下水道へ放流)

消火設備	ハロンガス消火(収蔵部門各室・展示部門各室・書庫) /屋内消火栓/スプリンクラー/消火器/泡消火(駐車場)
------	--

自動火災報知設備	(館内守衛室にて集中管理)
煙感知器	光電スポット型 美術館239台 博物館139台
熱感知機	差動スポット型 美術館91台 博物館52台 定温スポット型 美術館17台 博物館13台

防災・防犯設備(館内守衛室にて集中管理)

受信盤	複合GR型 1020回線
ITV監視装置、防災アンプ	(720W)
監視カメラ	美術館29台(うち展示室9台) 博物館15台(うち展示室6台)
防犯センサー	

展示・保存環境

		面積	床材	天上高
展示部門	1F 展示室 A	1,057.0㎡	ナラフローリング	5m
	ケース	L13,706 × D1,200 × H3,372 + L31,070 × D1,200 × H3,372 (mm)		
	1F 展示室 B	486.1㎡	同上	4m
	2F 展示室 C	1,038.6㎡	同上	5m
	ケース	L25,211 × D1,200 × H3,372 (mm)		
	1F 展示資材倉庫	136.2㎡	ビニアスタイル	4m
	2F 展示資材倉庫	121.5㎡	同上	4m
収蔵部門	収蔵庫 1 (立体)	342.5㎡	耐水合板下地 ブナフローリング	4m
	収蔵庫 2 (平面)	685.6㎡	同上	4m
	前室	61.4㎡	同上	4m
	一時保管室	81.0㎡	モザイクパーケット	4m
	作業室	82.0㎡	ビニアスタイル	5.8m
	荷解室	130.0㎡	同上	5.8m
	搬出入口	108.4㎡	モルタル金ゴテ／エポキシ系塗床	4.8m
展示照明 (1 階)	ハロゲンダウンライト／蛍光灯 (着脱式)／ハロゲンスポットライト (着脱式)			
(2 階)	すべて紫外線防止、高演色タイプ、無段階調光可能			
	LED ダウンライト／LED スポットライト (着脱式)／LED 壁面ケース内ライト			
	高演色タイプ、無段階調光調色可能			
	* 2021 年 1 月から 4 月にかけて 2 階展示室照明改修工事を実施			
空 調	展示室	2 系統		
	収蔵庫	2 系統		
	展示室	設定温度	通年 22℃	
		設定湿度	通年 55%	
	収蔵庫	設定温度	通年 22℃	
	設定湿度	通年 55%		
作品専用昇降機	油圧式・30m/min・最大積載量 3.0 トン			
	H3,000 × W5,000 × D2,500 (mm)			

案内

利用案内

開館時間 9:30～17:00 (入場は16:30まで)
休館日 毎週月曜日 (祝日のときはその翌平日)
年末年始 (12月29日～1月3日)
展示替え期間
駐車場 有料 (90台収容)

交通案内

JR 和歌山駅又は南海電鉄和歌山市駅からバスで約10分、
「県庁前」下車、徒歩2分
(和歌山城の南、県庁前交差点すぐ)



2020（令和 2）年度
和歌山県立近代美術館年報

編集・発行 和歌山県立近代美術館 ©2022
〒640-8137 和歌山県和歌山市吹上 1-4-14
tel. 073-436-8690 fax. 073-436-1337
2022（令和 4）年 3 月 31 日発行
印刷 中和印刷紙器株式会社

